### 大学受験難関特別コース100日

# TRAINING PAPER

# DAILY® PROGRAM

# 英語

# 《見本》



第 1 日	長文読解	関係代名詞who, that, which ·······4
第 2 日	長文読解	接続詞that ······14
第 3 日	長文読解	比較構文(同等比較)24
第 4 日	長文読解	結果を表す副詞節34
第 5 日	英作文	かけがえのない人生
	(an irreco	verable life of his own) ······45
第6日	長文読解	不定詞の副詞用法(原因)58
第7日	長文読解	may have+過去分詞······68
第 8 日	長文読解	過去完了80
第 9 日	英作文	最後にものをいう
	(ultimatel	y make(s) difference) ······90
第 10 日	演習問題·	103
第 11 日	長文読解	help+原形不定詞+目的語······109
第 12 日	長文読解	過去分詞の形容詞用法119
第 13 日	長文読解	状況を表すit······129
第 14 日	長文読解	動名詞の意味上の主語140
第 15 日	英作文	すませてしまう(take care of $\sim$ )…151
第 16 日	長文読解	不定詞の形容詞用法162
第 17 日	長文読解	接続詞once·····173
第 18 日	長文読解	should have+過去分詞······184
第 19 日	英作文	決めてかかる
		or granted that ···) ·····194
第20日		208
〈付録〉	重要熟語	300+類義語・反意語215

# TRAINING PAPER .

大学受験デイリープログラム高校英語 一難関特別コース―

#### 効果的な使い方

#### ♣英語の受験対策を100日間で完成させます。

- ●大学受験デイリープログラム―難関特別コース―英語 100 日は,英語の受験に備えて,完全な 実力を養成するために編集されたトレーニングペーパーの特別コースです。
- ●このデプロでは, [長文読解] [英作文] [語句・短文問題] に分けて学習していきます。
- ●〈第1・2巻〉長文読解は、速〈正確に解釈する力を養うための構成、英作文は、〈第3巻〉も含めて、基本的な表現を確認しつつ、英訳しにくい重要表現を練習する構成です。 〈第3巻〉長文読解は、解釈上、特に難点となることがらを取り上げ、解釈力を向上させます。 〈第4巻〉長文読解は、評論文などのテキストを通して英文の構造をつかみ、大意把握の練習をします。英作文は、各分野ごとの例題をもとにして、表現力の向上をはかります。

#### ♣1日の学習を効果的に進めるために

●長文読解の日の構成

単語・語句・表 現 のチェック

確認トレーニング

テキスト

トレーニング

答

解

重要熟語 300 反復10回トレ ーニング 速読するために,まずテキスト中の重要単語・熟語・ 表現を覚え,例文で確認。

〈第5巻〉出題形式別入試の難問を解きながら受験対策を万全にします。

→その日のうちに確実に覚えてしまうこと。

文を句,節などの意味のまとまりに区切って速く正確に訳す練習。訳す上での重要ポイントも押さえます。 (テキストは1日に2つ)

→長文読解では速く正確に 読むのがカギ。解釈力を 徹底的に身につけること。

入試頻出の重要熟語を毎日 50ずつ繰り返し学習します。

→語彙力がすべての基盤。

#### ●英作文の日の構成

例 題

確認トレーニン グ

重要表現

トレーニング

実戦トレーニング

重要表現の多い例題を読み, まず基本的な表現を確認し てしまいます。

→ここも1つのポイント。 おろそかにしないこと。

例題中の重要表現の訳し方 についての解説を読んだあ と,重要表現を類似の日本 文でトレーニングします。

→英語特有の表現に慣れ, 訳し方のコツを身につけ ること。

例題全文を自力で訳します。

→英訳できなければ前に戻って確認。あいまいなまま前に進まないこと。

- \*英作文の学習日のほとんどには、後半に〔語句・短文問題〕の学習があります。
- \*〔英作文(語句・短文問題)〕の日の末尾には、単語・語句の復習チェックがあります。

#### ●演習問題日

#### 長文読解の 演習問題

一度学習したテキストを 使って,全訳,英問英答等 のトレーニングをします。

英作文の 演習問題 一度学習した例題を使って空所補充,全訳等のトレーニングをします。

#### ●総合演習

#### 総合演習問題

第5巻の最後にある,実 戦形式の演習問題です。 試験のつもりで取り組み なさい。

#### ♣使い方のくふう

- ●最近の入試は解釈力,表現力を重視する傾向にあります。プログラムに沿って1日1日と学習を進めていくとき,次のようなくふうをすると,よりいっそう効果的です。
  - ①単語・語句・表現のチェックでまちがえた個所は赤で印をつけ、正しい意味やつづりをその 日のうちに覚えてしまうこと。また、次の学習日にはいる前に、赤印のついた語の復習をす る習慣を身につけてしまうようにしなさい。
  - ②〈第1巻付録〉重要熟語300+類義語・反意語は、入試に頻繁に出てくるものです。重要熟語300の例文の付録とともに、常に手もとにおいて利用し、確実に覚えてしまいなさい。
  - ③表現力を養うには例文を数多く覚えることです。音読し、暗記することを心がけなさい。
  - ④長文速読のコツは、意味のまとまりごとに読みながら内容を理解していくことです。本書では、この要領を身につけることができるように構成しています。この方法で確実に速読する力を身につけましょう。
  - ⑤日本語らしい表現をいかに英語らしい表現にするかが英作文のポイントです。そのためには、 日本語の表現と英語の表現を対応させ、例文で覚えてしまわなければなりません。
  - ⑥発音・アクセントの問題も数多く出題されます。〈第4巻付録〉発音・アクセントのルール もおおいに活用しなさい。

#### ♣入試問題を解くのに必要なこと

#### 長文読解

●入試で出題される読解問題はますます長文化の傾向にあります。そのためには、英文を頭から 意味のまとまりごとに読みながら英文の構成を理解し、速く正確に大意をつかむ訓練をするこ とです。多読の中で語彙力を増やし、長文を読み慣れておくこともたいせつです。

#### 英作文

●日常的な話題についての50字前後の日本文を英訳させる問題が最近の入試傾向です。本書の例文をとおして基本文型を覚え、重要な単語・熟語・慣用表現を確実に身につけることが効果的な対策です。

#### 語句・短文問題

- ●最近の語句・短文の入試問題は、熟語や慣用表現の知識をためす問題がほとんどです。熟語と 慣用表現の実力を身につけておきなさい。どのような問題でも合格点がとれます。
- ◎本書では、これらのことが身につくための必要十分な単語・語句・表現、質の良い例文、大学 入試問題を用意してプログラムを組んであります。十分に活用して合格を目指してください。 【注】本書では、アクセントの表記を最も重要な第1アクセントに限って示しています。

## 大学受験デイリープログラム

#### 難関特別コース100日

# 英 語

第1巻(第1日~第20日)

#### ◆長文読解

読解力を身につけ, 英文が速読できるようにするために

- ①重要事項・熟語・表現・文法事項など解釈のための重要ポイントをできるだけ多くふくみ,かつ,英文として良質のテキストを入試問題から選んであります。
- ②入試問題の長文を10行前後のパラグラフ(段落)に分けて学習します。
- ③パラグラフに分けたテキストを, 意味単位ごとにくぎり, くぎりごとに 解釈のトレーニングをしていきます。解釈のための重要ポイントは, 随 時説明されています。

#### ◆英作文

全文を英訳する力を身につけるため

- ①入試問題の中から比較的長い英作文問題を選んであります。
- ②テキスト中の英訳しにくい日本語の表現を選び出し,その表現ごとのトレーニングをします。

#### ◆語句 · 短文問題

入試傾向として熟語の知識をためす問題が圧倒的に多いので ①重要熟語を、例文を示しながら徹底的にトレーニングします。

#### ◆その他

英語力の基盤をなす単語・熟語・表現のトレーニングは、さまざまな場面でくり返し行い、語彙力の充実をはかります。

第 1 日

#### 長文読解・速読トレーニング ①

学習日 月 日

読解のポイント

関係代名詞 who, that, which/疑問詞+to-不定詞 the +形容詞

きょうから 3 日間は,広島大学の入試問題をテキストにしてトレーニングをします。長文を,意味のまとまりごとに,短くくぎってその内容を的確につかむことが,長文読解の第一歩であり,それができれば,速読が可能になります。まず,この方法を徹底的に身につけなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答え) (1) occupational	
(3) transplant [trænsplænt]	
(5) cure(名)	
(7) communication	
	(10) purchase(名) [pə́:rtʃəs]
(II) invitátion	
*(3) transplant は、〈trans (移る) + pla translate (翻訳する)、transport (運ぶ 2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え)	
** ** ***	(2) 病気
	(4) 徴候, (病気の)症状
	(6) 心配,不安
(7) 伝達,コミュニケーション	
(9) 状況,場面	
(11) 招待	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)
(1) culture shock	(2) occupational disease
	(4) result from $\sim$
(5) a thousand and one $\sim$	(6) adapt oneself to $\sim$
	(8) take $\sim$ seriously
*(6)の adapt [ədæpt]は,adopt [ədápt 詞の意味「買う」を覚えなさい。	:] (採用する)とまちがえないように気をつけなさい。(7)の purchase は,
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えば	t 3.)
	(2) 職業病
	(4) ~(の結果)から生ずる
(5) 無数の~	(6) ~に順応する

(7) 購入する	(8) ~を真剣に考える
----------	--------------

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### ■ 確認トレーニング ■■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

--●例文中の単語チェック --

fever 熱・熱病 poverty 貧乏 means 方法 solve 解決する differing 異なる

- (1) His death was caused by a fever.
- (2) Disease often results from poverty.
- (3) There is [are] a thousand and one means to solve the problem.
- (4) Man adapted himself to the differing condition of most parts of the globe.
- (5) He didn't take your words seriously.
  - 認 (1) 彼の死は熱病が原因であった。 (2) 病気はしばしば、貧困によって生じる。 (3) その問題を解決するための、無数の方法があります。 (4) 人間は地球の大部分の地域の異なる条件に自分を順応させた。 (5) 彼はあなたの言葉を真剣に考えなかった。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけて、何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

#### トレーニング 💳

英文を読むときには、意味のまとまりごとにくぎって、できるだけ前から順に訳していくほうが、速く、多くの 文が理解できます。実際の入試では、速読、速解がカギになるので、このトレーニングでは、この方法で、テキス トを読んでいきます。

■ 冒頭の例にならい、次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### ーテキスト1――

– Part 1 <del>–</del>

Culture shock might be called an occupational disease of people  $\not$  who have been suddenly transplanted abroad.  $\not$  Like most illnesses,  $\not$  it has its own symptoms and cure.  $\not$ 

Culture shock is caused by the anxiety that results from losing all our familiar signs and symbols of social communication. Those signs or cues include the thousand and one ways in which we adapt ourselves to the situations of daily life: when to shake hands and what to say when we meet people, when and how to give tips, how to make purchases, when to accept and when to refuse invitations, when to take statements seriously and when not.

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後との

つながりがよくなるようにくふうしなさい。

一つにまとめたものです。

Culture shock might be called an occupational disease of people /
* might be called は「~と言ってよいかもしれない」です。
~ who have been suddenly transplanted abroad. /
Like most illnesses, /
~ it has its own symptoms and cure. /
* it, its は, culture shock を指します。
(1)~(4)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
Culture shock is caused by the anxiety /
$\sim$ that results from losing all our familiar signs and symbols of social communication. /
* that の先行詞は the anxiety です。
(5), (6)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
Those signs or cues include the thousand and one ways /
$\sim$ in which we adapt ourselves to the situations of daily life : /
* which は前置詞 in の目的語として用いられ,先行詞は the thousand and one ways です。
(7), (8)をまとめて, 自然な日本語の文にしなさい。

(10)	~ when and how to give tips, /
(11)	~ how to make purchases, /
(12)	~ when to accept and when to refuse invitations, /
(13)	~ when to take statements seriously and when not. /
	*(9)以降の文はすべて、〈疑問詞+ to 不定詞〉の形です。when to $\sim$ (いつ $\sim$ すべきか),what to $\sim$ (何を $\sim$ すべきか),how to $\sim$ (どう $\sim$ すべきか)などがあります。ほかにも,where to $\sim$ ,which to $\sim$ などがあります。最後の when not は,when not to take statements seriously の省略形です。

#### ------〈解答〉----

- 2 (1) カルチャーショックは人々の(一つの)職業病といえるかもしれない。
  - (2) (その人々は)、突然、海外に移住させられた。
  - (3) 大多数の病気のように
    - \* like はこの場合、「~のように」の意味です。
  - (4) それ(カルチャーショック)には、それ独自の症状と治療法がある。
  - (5) カルチャーショックは、不安が原因で引き起こされる。

□ (9)~(13)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

- (6) (その不安は)社会上の伝達(コミュニケーション)の使い慣れた身振りや合い図すべてを失うことから生ずる。
  - \* familiar の訳語に注意しなさい。「よく知っている」「慣れている」などと訳します。
- (7) それらの身振りや合い図は無数の方法をふくんでいる。
- (8) (その方法で)われわれは、日常生活のいろいろな状況に自分たちを順応させている。
- (9) (たとえば)人に会ったとき, いつ握手し, 何と言うか
- (10) いつ, どのようにチップを与えるか
- (11) どのように買物をするのか
- (12) どんな場合に招待をうけ、どんな場合に招待を断るべきなのか
- (13) どんな場合に人の言ったことを真剣にうけとめ、どんな場合にそうしないか(などである)。
  - \*(12), (13)の when は,「どんな場合に」と訳すほうが,より自然な日本語になります。
- A カルチャーショックは、突然、海外に移住させられた人々のひとつの職業病といえるかもしれない。大多数の病気のように、それには、それ独自の症状と治療法がある。
- B カルチャーショックは、社会上のコミュニケーションの、使い慣れた身振りや合い図すべてを失うことから生ずる不安によって引き起こされる。
- © それらの身振りや合い図は、われわれが日常生活のいろいろな状況に自分たちを順応させる無数の方法をふくんでいる。
- □ たとえば、人に会ったとき、いつ握手し、何を言うか、いつ、どのようにチップを与えるか、どのように買い物をするか、どんな場合に招待に応じ、どんな場合に招待を断るべきか、どんな場合に人の言ったことを真剣にうけとめ、どんな場合にそうしないか、などである。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。 次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えん	<b>\$</b> 2.)
(1) individual(名) [indəvídʒuəl]	(2) affect
	(4) adjustment [ədʒástmənt]
	(6) national(名)
	(8) last(動)
(9) circumstance	
まり「個人」です。(3)の動詞形は,sá adjúst (順応させる)です。(6)は,形容	る」の意味で,al は性質を表す形容詞の語尾です。「分けられないもの」で tisfy (満足させる),名詞形は satisfáction (満足)です。(4)の動詞形は, 詞としては「国家の,国民の」という意味ですが,ここでは名詞として「あ す。(8)はここでは動詞として使います。
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは	‡ 1.)
(1) 個人	(2) 影響する,作用する
	(4) 順応,適応
	(6) 国民
	(8) 続く,持ちこたえる
(9) 状況	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)
(1) differ in $\sim$	(2) go through
	(4) in the process
	(6) associate with $\sim$
	(8) depend on $\sim$
	に覚えなさい。(1) different from ~ (~とは異なる) (2) go on ~ing (~しth ~ という形で使います。(8)は depend upon も使います。
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えば	t 3.)
(1) ~の点で異なる	(2) 経験する,くぐり抜ける
	(4) その過程における
	(6) ~と共同でやる,つき合う
	(8) ~次第である, ~による
では、いまチェックした語句と表現を、実際	祭の文中で訳せるかどうか確認しなさい。
確認トレーニング	
下線部に注意して,次の文が訳せるかどう	か確認しなさい。
┌──●例文中の単語チェック ────	
height 高さ hardship 苦難 agreeme	ent 意見の一致・合意
8 12 C	1917-1 N H 101

- (1) This building and that building differ in height.
- (2) She has gone through many hardships since I last met her.
- (3) At last we went on to an agreement.
- (4) Don't associate yourself with such people.
- (5) Your success here depends on effort and ability.
  - 図 (1) このビルと、あのビルは、高さという点で異なっている。 (2) 彼女はこの前私が会ってから多くの苦難を体験した。 (3) とうとうわれわれは、合意に達した。 (4) あのような人たちと付き合ってはいけません。 (5) ここでのあなたの成功は努力と能力にかかっている。

知らなかったもの、まちがったものには、赤で印をつけ、何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

#### トレーニング

ーテキスト1―

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

Individuals differ greatly in the degree / to which culture shock affects them. / Although not common, / there are individuals who cannot live in foreign countries. / However, those who have seen people go through culture shock and on to a satisfactory adjustment can distinguish steps in the process. During the first

-Part 2 -

few weeks most individuals are delighted by the new. They stay in hotels, and associate with nationals who speak their language and are polite and gracious to foreigners. This honeymoon stage may last from a few days or weeks to six months, depending on circumstances.

\* However で始まる文は,一カ所でくぎり,主部と述部の二つの部分に分けなさい。 speak their language と,are polite and gracious to foreigners は,どちらも who に続くので,途中でくぎって はいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。

- 2 前間でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) Individuals differ greatly in the degree /
  - (2)  $\sim$  to which culture shock affects them. /
    - \*完全な文に直すと, culture shock affects them to the degree となります。to which は to the degree です。
  - (1)、(2)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。(「カルチャーショックが影響を与える程度には個人差がある」と訳すと日本語らしくなります。)

(3)	Although not common, /		
(4)	$\sim$ there are individuals who cannot live in foreign countries. $/$		
(5)	However, those who have seen people go through culture shock and on to a satisfactory adjustment /		
	* those who は the people who ですが,次の people とは別の人々を指します。 go through ~ and on to … は,go through ~ と,go on to … を一つにまとめたものです。 have seen people go ~ とありますが,want people to go と比較しなさい。see という知覚動詞(他には,watch,hear,feel)のあとでは,不定詞は原形を用いるというきまりによるのです。		
(6)	~ can distinguish steps in the process. /		
В	* steps in the process でひとつの意味のまとまりで、意味は「その過程のいろいろな段階」です。 (3) $\sim$ (6)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。		
(7)	During the first few weeks /		
(8)	~ most individuals are delighted by the new. /		
(0)	* the new は「新しいもの」の意味ですが、ここでは「新しい経験」です。このように〈the +形容詞〉は、名詞の働きをします。人の性質に関する形容詞の場合には、「~のような人々」と訳します。例 the poor (貧しい人々)また、物の性質に関する形容詞の場合には、「~のような物」と訳します。 例 the beautiful (美しい物)		
(9)	They stay in hotels, and associate with nationals /		
()	* stay in は「~に滞在する」,nationals は「当地の人々」です。		
(10)	$\sim$ who speak their language and are polite and gracious to foreigners. $/$		
	* their は, (9)の they と同じ人物を指します。つまり,most individuals で,意味的にはあとの foreigners にあたることを文脈上おさえることが必要です。		
C	(7)~(10)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。		
(11)	This honeymoon stage may last from a few days or weeks to six months, /		
(12)	* a few days or weeks は、a few days or a few weeks のように、a few を補って考えます。 ~ depending on circumstances. /		
	* depending on ~ は「そしてそれは ~ 次第である」です。		

and the second of the second o

① (11), (12)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### <del>----</del>〈解答〉<del>-----</del>

- 2 (1) 個人個人は、その程度という点で大いに異なる
  - (2) カルチャーショックはその程度にまで彼らに影響を与える
  - (3) よくあるというわけではないが,
    - \* common は「共通の」「よくある」で「全員にあてはまる」となります。
  - (4) 外国に住めない人たちがいる。
    - \* there are  $\sim$  は「 $\sim$ がいる」,individuals は「人たち」と訳してかまいません。
  - (5) しかし,人々がカルチャーショックを経験し、申し分ない順応(の段階)まで進んでいるのを見たことのある人たちは、
    - \* go on to a satisfactory adjustment は、「申し分なく順応した」と訳すと日本語らしくなります。
  - (6) その過程における(いろいろな)段階を区別することができる。
  - (7) 最初の二,三週間
  - (8) ほとんどの人々(外国人)は、新しい経験に喜ぶ。
    - \*英語では受動態を用いますが、日本語に訳す場合は、能動態のように訳します。他の例として、be satisfied with  $\sim$  ( $\sim$ に満足する)などがあります。
  - (9) 彼らはホテルに滞在し、(次のような)当地の人々とつきあう。
  - (10) (その当地の人々は)彼らのことばを話し、外国人に対し礼儀正しく、思いやりがある。
  - (11) この幸福なときは,二,三日,または二,三週間から,六ヵ月間続くかもしれない。
  - (12) それは(幸福な時が続く長さは)事情次第である。
- 面 カルチャーショックが彼らに影響を与える程度という点では個人個人で大いに異なっている。
- B よくあるというわけではないが、外国には住めない人がいる。しかし、人々がカルチャーショックを経験し、申し分なく順応したのを見た者は、この過程における、いろいろな段階を区別することができる。
- © 最初の二,三週間,ほとんどの人々は,新しい経験に喜ぶ。彼らはホテルに滞在し、彼ら外国人のことばを話し、外国人に対して礼儀正しくおもいやりのある当地の人々とつきあう。
- $\square$  この幸福なときは、二、三日、または二、三週間から、六ヵ月間続くかも知れない。それは、事情によって異なる。

変わったトレーニングなので、最初はとまどったかもしれませんが、これがじつは正攻法の読解トレーニングなのです。かならず実力がつきますから、自信をもって学習を続けなさい。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

#### 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (1~50・第1回)

に適切な語を記入し,日本語に合う熟語を完成させなさい。(⇒は類義語,園は反意語を示す)  $\Rightarrow$  no \_\_\_\_\_ than  $\sim$  ( $\sim$   $\$  ) □1 ~と同じだけ、~も as  $\_$  as  $\sim$ ⇒ long as ~ □ 2 ~である限り as \_\_\_\_ as ~ □3 ~を説明する account  $\_$ □ 4 ~とつきあう associate  $\sim$  $\Rightarrow$  keep \_\_\_\_\_ with  $\sim$ for  $\sim$ ⇒ \_\_\_ to ~ □5 ~に関しては、~に関していうと □ 6 とりわけ,特に \_\_\_\_ all all □7 ほとんど apply  $\_\_$  $\Rightarrow$  be applicable  $\sim$ □8 ~に当てはまる □9 それでも、それにもかかわらず and \_\_\_\_ ⇒ \_\_\_\_(いつも) □10 (その間)ずっと, いつも \_\_\_\_ the time oneself to  $\sim$ □11 ~に専念する ⇒ concentrate \_\_\_\_~ □12 ~のほかに、その上に ⇒ \_\_\_\_ addition (その上に) ⇒ so to \_\_\_\_\_ □13 いわば as it 図 at \_\_\_\_\_(少なくとも) □14 せいぜい, 多くても at \_\_\_\_\_ □15 今までのところ, まだ \_\_\_\_ yet 図 not \_\_\_\_\_(まだ~でない) □16 大量の~, たくさんの~  $\Rightarrow$  large quantity  $\sim$ \_\_\_\_ great deal (大量の~) □17 ~の余地がある admit  $\Rightarrow$  allow \_\_\_\_ ~ □18 そのままに、あるがままに it is \_\_\_\_ to ~ □19 ~に関して、について 圆 at \_\_\_\_\_(多くても) □20 少なくとも \_\_\_\_\_least □21 一種の~ a sort  $\_\_$  $\Rightarrow$  a \_\_\_\_\_ of  $\sim$ oneself to  $\sim$ □22 ~に順応する  $\Rightarrow$  \_\_\_\_\_ oneself to  $\sim$ \_\_\_\_ the same time ⇒ at \_\_\_\_\_ time □23 同時に □24 時々 at □25 ~を見舞う  $\Rightarrow$  inquire \_\_\_\_  $\sim$ ⇒ be \_\_\_\_\_ with ~ (~に精通 be with  $\sim$ □26 ~と知り合いだ,~に精通している している) according  $\_\_$   $\sim$ □27 ~によると、~に従って ⇒ in agreement \_\_\_\_ ~(~に従 って) □28 ~に着手している be engaged  $\sim$  $\Rightarrow$  have  $\sim$  hand at any \_\_\_\_ □29 とにかく work □30 仕事をして 図 at \_\_\_\_\_(休息をして) □31 詳しく, 十分に at (full) ⇒ \_\_\_\_\_ detail (詳しく) □32 ~に従事している be \_\_\_\_\_ in  $\sim$ ing  $\Rightarrow$  be \_\_\_\_\_ in  $\sim$ ing □33 概して, 一般に ⇒ as \_\_\_\_ ~ as \_\_\_\_ ~ □34 まるで~かのように be \_\_\_\_\_ with  $\sim$  $\Rightarrow$  be \_\_\_\_\_ with  $\sim$ □35 ~に直面する □36 ~の結果として  $_{---}$  a result  $_{---}$   $\sim$  $\Rightarrow$  \_\_\_\_ consequence \_\_\_  $\sim$  $\sim$  and the \_\_\_\_\_ □37 ~など, ~の類  $\Rightarrow$  ~ and so (forth)

□38 ~を犠牲にして	the cost $\sim$	$\Rightarrow$ at the of $\sim$
	a matter fact	⇒ fact
□40 まるで~のように	as $_{}\sim$	$\Rightarrow$ as $\sim$
□41 ~は別として, ~のほかに	apart $\_$	⇒(そのほかに)
□42 一度に <b>,</b> 同時に	a time	⇒ at the time (同時に)
□43 ~の危険をおかして	the risk $\sim$	$\Rightarrow$ at the of $\sim$
	be absorbed $\_\_$	図 be tired ~(~に飽きてい
		る)
□45 全般的に、全体として、概して	a whole	⇒ in the(概して)
□46 ~のように見える, ~と思われる	to do (be) $\sim$	$\Rightarrow$ to do (be) $\sim$
□ <b>47</b> かえって	the more	⇒ more and, increasingly
□48 そういうものとして	as	
□49 ~に…するのを許す	$\sim$ to do $\cdots$	厦 prevent $\sim$ ing ( $\sim$ が…
		するのを妨げる)
□50 (場所)~まで,~の限りは	as $_{}$ as $\sim$	⇒ far as ~ (~の限りは)

1 much less 2 long so 3 for explain 4 with company 5 as as 6 above particularly
7 but almost 8 to to 9 yet nevertheless 10 all always 11 apply on 12 well in
13 were speak 14 most least 15 as yet 16 a, of a, of 17 of of 18 as 19 as regarding
20 at most 21 of kind 22 adjust adapt 23 at a 24 times occasionally 25 after after
26 acquainted familiar 27 to with 28 on in 29 rate anyhow 30 at rest 31 length in
32 engaged occupied 33 rule generally 34 if though 35 faced confronted 36 as, of in, of
37 like on 38 at, of expense 39 as, of in 40 though if 41 from besides 42 at same
43 at, of peril 44 in of 45 as main 46 appear seem 47 all more 48 such 49 allow from

50 far so

第2日

長文読解・速読トレーニング ②

学習日 月 日

読解のポイント 強調構文(It is ~ that … )/接続詞 that

第1日めのトレーニングで、長文を短いまとまりにくぎって内容を的確につかむ方法が身につきま したか。きょうからは、徐々にそれを早くやれるように努めなさい。きょうのテキストは、きのうの テキストの続きです。上に示したポイントのほかにも、重要構文や、重要表現があります。それにも 注意してトレーニングをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは2.)	
(1) mentálity	(2) remáin
	(4) hostile [hástəl∕hóstail]
	(6) évidently
	(8) transportátion
(9) indifferent	
hostility(敵意), (5)の名詞形は aggression (侵 さい。	k] (特有な)です。アクセントに注意しなさい。(4)の名詞形は 是略行為•攻撃)です。(9)は different の反対語ではないので注意しな
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えば 1.) (1) 知能 精神状態	(2) ~のままである,とどまる
	(4) 敵意のある
	(6) 明らかに
	(8) 輸送, 乗り物
(9) 無関心な	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答え)	は 4.)
(1) cope with $\sim$	(2) host country
	(4) be indifferent to $\sim$
(5) concern over $\sim$	
*(3)には、別の意味として「(悪い癖などが)ぬけ て」という意味です。	る」という意味もあります。(5)の over は,「~について, ~に関し
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) ~にうまく対処する	(2) 滞在国
(3) ~から生じる	(4) ~に無関心である
(5) ~についての関心	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック -

invention 発明 appearance 外観

- (1) John is not able to cope with the difficulties of his position.
- (2) All inventions grow out of necessity.
- (3) Mary is indifferent to her appearance.
  - **訒** (1) ジョンは,自分の立場の難局にうまく対処できない。(2) すべての発明は必要から生じる。
    - (3) メリーは、自分がどんなかっこうをしているかに無関心である。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけて、何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

#### トレーニング

英文を意味のまとまりにくぎる場合,いちばん大きな切れめは、文を修飾する部分と、修飾される部分です。また、先行詞と、関係節も意味のうえでは切れめになります。このことを頭に入れて、きょうのトレーニングをしなさい。

■ 冒頭の例にならい、次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### - テキスト1ー

– Part 3 –

But this mentality does not normally last / if the foreign visitor remains abroad / and has seriously to cope with real conditions of life. / It is then that the second stage begins, characterized by a hostile and aggressive attitude toward the host country. This hostility evidently grows out of the genuine difficulty which the visitor experiences in the process of adjustment. There are house troubles, transportation troubles, shopping troubles, and also the fact that people in the host country are largely indifferent to all these troubles. They help, but they don't understand your great concern over these difficulties.

\* a hostile and aggressive attitude toward the host country の toward 以下は attitude にかかるので切ってはい けません。

There are  $\sim$  以下の文は,-カ所でくぎり,大きく二つの部分に分けなさい。 最後の文は,このままでかまいません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

(1)	But this mentality does not normally last /
(2)	* this mentality は,honeymoon stage にいるときの精神状態です。 ~ if the foreign visitor remains abroad /
	* remain abroad は「海外にとどまる」です。 外国人の呼び方がかわってきているので注意しなさい。
(3)	~ and has seriously to cope with real conditions of life. /
	* real conditions of life は,「実際のさまざまな生活の条件」です。 has seriously to … は,has と to の間に seriously がはさまっているので注意しなさい。この文も(2)の if に続いています。
A	(1)~(3)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。((2), (3)は, (1)より先に訳すと, より自然になります。)
(4)	It is then that the second stage begins, /
	* It is ~ that … の形で,~の部分を強調する構文です。「…なのは,まさに~である」と訳します。it is ~ who, it is ~ which の形で用いられることもあります。 second stage は「第二段階」です。
(5)	$\sim$ characterized by a hostile and aggressive attitude toward the host country. $\diagup$
	*(5)は, (4)の the second stage を説明しています。
В	(4),(5)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
(6)	This hostility evidently grows out of the genuine difficulty /
(7)	* evidently をまず訳してから,残りを訳しなさい。 ~ which the visitor experiences in the process of adjustment. /
C	(6), (7)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
(8)	There are house troubles, transportation troubles, shopping troubles, /
	* house troubles は「家を買ったり,借りたりする際の苦労」です。trouble は,困難と言っても苦労するという意

味の困難です。(6)で出てきた difficulty は、簡単かどうかという点での難しさを表します。

(9)  $\sim$  and also the fact that people in the host country are largely indifferent to all these troubles.  $\nearrow$ 

\*(9)は、(8)の There are  $\sim$  に続くので「 $\sim$ もある」と訳します。 the fact は people in the host country  $\sim$  で、訳は「 $\sim$ という事実」とします。

(10) They help, but they don't underestand your great concern over these difficulties.

\* great は「大きい」です。your は,外国に滞在している人々を指します。

□ (8)~(10)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉-----

- 2 (1) しかし、ふつうはこの精神状態は続かない。
  - (2) もし、外国人の訪問者が外国にとどまる場合
  - (3) また、実際のさまざまな生活の条件に、真剣に対処しなければいけない場合
  - (4) 第二段階が始まるのは、まさにそのときである。
  - (5) (そして、それは)滞在国に対する敵意のある、攻撃的な態度によって特徴づけられる。
  - (6) 明らかにこの敵意は、本当の困難から生じている。
  - (7) (その困難を)訪問者は、順応の過程で経験する。
  - (8) 家を買ったり、借りたりする際の苦労、乗り物での苦労、買い物の苦労がある。
  - (9) また、滞在国の人々はこれらすべての苦労に、大部分が無関心であるという事実もある。
  - (10) 彼らは助けてはくれるが、これらの困難についてのあなたがた(外国人たち)のたいへんな心配は理解していない。
- しかし、もし外国人の訪問者が外国にとどまり、実際のさまざまな生活の条件に真剣に対処しなければいけない場合は、ふつう、この精神状態は続かない。
- **⑤** 第二段階が始まるのはまさにそのときで、それは滞在国に対する敵意のある、攻撃的な態度によって特徴づけられる。
- [C] 明らかにこの敵意は、訪問者が順応の過程で経験する正真正銘の困難から生じている。
- ② 家を買ったり、借りたりする際の苦労、乗り物の苦労、買い物の苦労があり、また、滞在国の人々はこれらすべての苦労には、大部分が無関心であるという事実もある。彼らは助けてはくれるが、これらの困難についてのあなたがたのたいへんな心配は、理解していない。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)

(1) 11	(0) (1 ): [
(1) therefore	(2) unsympathetic [ʌnsimpəθétik]

(3) worry(名)	(4) band(動)
	(6) stage
	(8) crisis [kráisis]
	(10) breakdown
*(2)の un は否定を表します。(3)の wor	ry は名詞形と動詞形が同じです。 ここでは名詞形です。 (5)の criticize ととも
に, crític (批評家), crítical (批判的	Jな), criticism (批評)も覚えなさい。
<b>2.</b> 次の日本語を英語にしなさい。(答え	は 1.)
(1) したがって	(2) 同情的でない
	(4) 団結する
	(6) 段階, 舞台
(7) 感覚,意味	
(9) 神経質な, 心配でたまらない	(10) 衰弱,挫折
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	、(答えは 4.)
-	(2) band together with $\sim$
	(4) in a sense
	(6) if not
(7) nervous breakdown	
じ意味です。(6)の if not は otherwis	
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答え	
	(2) ~と団結する(4) なる音味で
	(4) ある意味で (6) そうでないならば
(7) 神経衰弱	
(1) 1下配工がある	<del></del>
では,いまチェックした語句と表現を,実	<b>『際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。</b>
確認トレーニング ■■■■	
下線部に注意して、次の文が訳せるかど	うか確認しなさい。
●例文中の単語チェック	
fellow 仲間 enemy 敵 true 真実な	
(1) He is sympathetic to the poor.	

<del>-- 18 --</del>

園 (1) 彼は貧しい人々に対して同情的だ。 (2) 彼らは仲間と一致団結して敵にあたった。 (3) あ

(2) They <u>banded together with</u> their fellows against the enemy.

(4) Are you free this evening? If not, I will call on you tomorrow.

(3) What you say is true in a sense.

なたの言うことはある意味では真実である。 (4) 今晩あなたはおひまでしょうか。もしおひま でなければ明日おたずねします。

知らなかったもの, まちがったものには, 赤で印をつけ, 何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

#### トレーニング

11 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は22参照)

Γ	—— テキスト 1 ———————————————————————————————————
	Therefore, you often think / that they must be cold and unsympathetic to you and your worries. / The result is that you often say, / "I just don't like them." You become aggressive, you band together with your fellow countrymen and criticize the host country, its ways, and its people. The second stage of culture shock is in a sense the crisis of the disease. If you come out of it, you stay; if not, you leave before you reach the stage of a nervous breakdown. (広島大 改題)
<b>L.</b>	* The second stage of culture shock でひとまとまりとしてくぎりなさい。ここでは主部のはたらきをしていす。 最後の if not で始まる文は before の前でくぎりなさい。
	取後の if not と始まる文は before の前でくさりなさい。 before は直前の leave にかかっていることに注意しなさい。
	切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
(1)	Therefore, you often think /
(2)	~ that they must be cold and unsympathetic to you and your worries. /
(3)	* that は名詞節を導く接続詞で「~ということ」と訳し、that 以下の節が think の目的語になっています。 The result is that you often say、/

\* you often say の say の内容を言っていることに注意しなさい。

■ (1)~(4)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。

(5)	You become aggressive, /
(6)	~ you band together with your fellow countrymen /
(7)	$\sim$ and criticize the host country, its ways, and its people. /
	* its は the host country's を指します。
В	(5)~(7)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
(8)	The second stage of culture shock is /
(9)	$\sim$ in a sense the crisis of the disease. /
	* crisis の複数形は crises [kráisi:z] となります。
(10)	If you come out of it, you stay; /
	* it は,the crisis of the disease を指します。
(11)	~ if not, you leave /
	* if not は,if you don't come out of it が省略された形です。
(12)	~ before you reach the stage of a nervous breakdown. /
	* before 以下は,leave にかかっていることに注意しなさい。
C	(8)~(12)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。

#### ──〈解答〉───

- 2 (1) したがって、あなたがた外国人たちはしばしば考えてしまう。
  - (2) 彼ら(その国の人たち)が、自分たちや自分たちの悩みに対して冷淡で同情的でないにちがいないと
    - \* they は具体的には people in the host country のことです。

you と your worries はそれぞれ「自分たち」,「自分たちの悩み」と訳します。

- (3) その結果は、あなたがたはしばしば(~と)言う。
- (4) 「私は彼らを好きになれない。」と
- (5) あなたがたは、攻撃的になる
- (6) 同国人と一緒に団結し,
- (7) そして滞在している国や、そのやり方、その国民を批判する。
  - \* host country は,外国人を受け入れる国のことから,(外国人の)滞在している国と訳します。ways は,個人的なやり方,流儀の意味で,広い意味では「文化」を指します。

- (8) カルチャーショックの第二段階は,
- (9) ある意味ではその病気の峠である。
  - \* the disease は, culture shock と考えなさい。crisis は「(病気の)峠」です。
- (10) もし、それ(病気の峠)をぬけ出すと、外国人は滞在し、
- (11) もし、そうでないのならば(危険な状態からぬけ出すことができないのならば)外国人は去る。
  - \* leave の後に the host country を入れて考えなさい。leave は「去る, あとにする」の意味です。また, そこから意 訳して「母国へ帰る」としてもかまいません。
- (12) 神経衰弱になる前に,
  - \* reach the stage of a nervous breakdown を直訳すると「神経衰弱の段階に達する」となります。 before は、「~の前に」としないで「~しない(ならない)うちに」としてもかまいません。
- □ したがって、あなたがた外国人たちは、当地の人々が自分たちや自分たちの悩みに対して冷淡で同情的ではないにちがいないと、しばしば考えてしまう。その結果、外国人たちは、「私は彼らを好きになれない」としばしば言うということになる。
- **B** 外国人たちは攻撃的になり、同国人と一緒に団結し、そして滞在している国や、そのやり方、その国民を批判する。
- © カルチャーショックの第二段階は、ある意味ではその病気の峠(一番危険な場面)である。もし、それをぬけ出すと外国人は滞在を続け、もしそうでないのならば、神経衰弱になる前に母国へ帰ってゆく。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

#### 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (51~100・第1回)

#### \_\_\_\_に適切な語を記入し,日本語に合う熟語を完成させなさい。(⇒は類義語,図は反意語を示す)

□ 1	~と通信する	with $\sim$	$\Rightarrow$ with $\sim$
□ 2	~に偶然出くわす	come ~	⇒ come ~
□ 3	(戦争・火事などが急に)起こる	out	⇒
□ 4	~に依存する	on ~	$\Rightarrow$ rely $\sim$
□ 5	~を相続する, ~に入る	come ~	⇒(~を相続する) <b>,</b>
			enter (~に入る)
□ 6	~せざるを得ない	be to do $\sim$	$\Rightarrow$ be to do $\sim$
□ 7	もし~がなければ	but $\_\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ it were not $\sim$
□ 8	~を世話する	care $\_\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ take care $\sim$
□ 9	~を求める	call ~	<b>⇒</b>
□10	けっして~でない	by means	$\Rightarrow$ not $\sim$ by any
□11	~せずにはいられない	cannot ~ing	$\Rightarrow$ cannot do $\sim$
□12	~をあてにする,~に頼る	on $\sim$	⇒ depend ~ (~に頼る)
□13	~するようになる	to do $\sim$	$\Rightarrow$ to do $\sim$
□14	~を廃止する	do with $\sim$	<b>⇒</b>
□15	~の商売をする,~をあきなう	deal ~	$\Rightarrow$ trade $\_\_\_$
□16	~に忠実である	be faithful $\_\_$	$\Rightarrow$ be true $\sim$
□17	~を育てる	up ~	<b>⇒</b>
□18	(本が)出版される,出る	come	図 come ~ (~に入る)
□19	~から成り立つ,~から成る	consist $\_\_$	$\Rightarrow$ be made of $\sim$
□20	~と…を見分ける	distinguish $\sim$	$\Rightarrow$ discriminate $\sim$
□21	~がない,~から解放されている	be free $\sim$	⇒ be ~ (~がない)
□22	~を引き起こす	bring $\_\_\_$ $\sim$	⇒
□23	立ち寄る	drop	⇒ in
□24	~をつくづく考える	dwell $\_$	
□25	~を処理する,~を扱う	deal ~	⇒ do ~ (~を扱う)
□26	~からにげる	from $\sim$	$\Rightarrow$ run from $\sim$
□27	~から始める	begin $\sim$	圆 end ~ (~に終わる)
□28	とても,大変	so much	⇒
□29	~に専念する	devote to $\sim$	$\Rightarrow$ oneself to $\sim$
□30	~するのに十分, ~ほど…である		⇒ ~ as to do … (…ほど~で
			ある)
□31	~を…に分ける	$\sim$ into $\cdots$	$\Rightarrow$ $\sim$ into $\cdots$
□32	たとえ~としても	though $\sim$	$\Rightarrow$ even ~
□33	起こる、生じる	come	⇒ place (起こる)
□34	~から生ずる, ~の出である	come $\_\_$	⇒ be born ~ (~の出である)
□35	~がなければ	except ~	$\Rightarrow$ but $\sim$
□36	~を固守する	cling $\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ to $\sim$
□37	かわるがわる	by	$\Rightarrow$ one the other
			(another)

□38 ためになることをする	do	<u> </u>
□39 ~から…を追い出す	clean $\_$ $\sim$ of $\cdots$	$\Rightarrow$ $\sim$ out of $\cdots$
□40 ~に集中する, ~に熱中する	concentrate $\_\_$ $\sim$	⇒ oneself to ~ (~に熱中
		する)
□41 電話をかける	up	⇒ up
□42 ~から…をうばう	deprive $\sim$ ···	$\Rightarrow$ strip $\sim$ ···
□43 ~を処理する	with $\sim$	$\Rightarrow$ deal $\sim$
□44 ~を始める	enter $\_$	$\Rightarrow$ set $\sim$
□45 ふっと思いうかぶ,偶然~に会う	come $\_$	⇒ meet ~ by(偶然~に
		会う)
□46 ~せずにはいられない	cannot do $\sim$	⇒ cannot ~ing
□47 ~によって,~を通じて	means $\sim$	⇒(~を通じて)
□48 ~を…と比較する	compare $\sim$ ···	⇒ make a between
		$\sim$ and $\cdots$
□49 自分だけで,ひとりで	oneself	⇒
□50 いっしょに行く, 現われる	come	⇒up (現われる)

<sup>1</sup> communicate correspond 2 upon across 3 break happen 4 depend on 5 into inherit 6 obliged compelled 7 for if, for 8 for of 9 for demand 10 no reason 11 help but 12 count on 13 come get 14 away abolish 15 in in 16 to to 17 bring raise 18 out into 19 of up 20 from from 21 from without 22 about cause 23 in stop 24 on 25 with with 26 escape away 27 with in 28 ever awfully 29 oneself apply 30 enough so 31 divide separate 32 even if 33 about take 34 of of 35 for for 36 to stick 37 turns after 38 good do 39 out drive 40 on devote 41 call ring 42 of of 43 do with 44 into about 45 across chance 46 but help 47 by, of through 48 with comparison 49 by alone 50 along turn

第3日

#### 長文読解・速読トレーニング ③

学習日 月 日

読解のポイント 比較構文(同等比較)/副詞(句)を強める倒置構文

きょうは、きのうまで2日間トレーニングしてきたテキストの最後の部分を学習します。きょうの テキストには比較表現や相関語句の表現もいくつか出てきます。このような表現の訳に注意してトレ ーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) succeed	(2) environment [inváiərənmənt]
(3) bear(動)	(4) superior $[sju(:)pi(:)\partial ri\partial r]$
(5) humor	(6) recovery
*(3)は名詞では「クマ」という意味になります。 詞形は recover (回復する)です。	。(4)の反意語は,inferior [infí(:)əriər] (劣った,下の)です。(6)の動
<b>2. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 1.)	
(1) 成功する,続く	(2) 環境
(3) たえる, なんとかする	(4) まさった,優勢な
(5) ユーモア	(6) 回復
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答え	i t 4.)
(1) succeed in $\sim$	(2) get around
	(4) open the way into $\sim$
(5) take $\sim$ attitude	(6) exert oneself
(7) joke about $\sim$	(8) on the way to $\sim$
く,出しぬく,(困難などを)避ける」などの	えておきなさい。(2)の get around [round] には,「(人の) 裏をか 意味もあります。(3)は for oneself (自分自身のために, 独力で), oneself (自分自身に, 自分だけに) などを覚えなさい。oneself は,
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.)	
(1) ~に成功する	(2) 歩き回る
(3) ひとりで	(4) ~への道を開く
(5) ~といった態度をとる	(6) 本領を発揮する,努力する
(7) ~について冗談を言う	(8) ~の途中で,近づいて

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### 確認トレーニング

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック ―

boss 上司 grade 成績

- (1) He succeeded in the entrance examination of the university
- (2) He built a model airplane by himself.
- (3) The boss took a strong attitude toward us.
- (4) She exerted herself to get good grades.
  - 駅 (1) 彼は大学の入学試験に合格した。 (2) 彼はひとりで模型の飛行機を作った。 (3) 上司は われわれに強い態度をとった。 (4) 彼女は良い成績を得るために努力した。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

#### トレーニング

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### ーテキスト1―

–Part 5 –

If the visitor succeeds in getting some knowledge of the language and begins to get around by himself, he is beginning to open the way into the new cultural environment. The visitor still has difficulties but he takes a "this is my problem and I have to bear it" attitude. Usually in this stage the visitor takes a superior attitude to people of the host country. His sense of humour begins to exert itself. Instead of criticizing, he jokes about the people and even about his or her own difficulties. He or she is now on the way to recovery.

\*最初の If  $\sim$  以下は,意味のまとまりごとに大きく三部分に分けなさい。 but he takes a "this is  $\sim$ " attitude は,take a  $\sim$  attitude の構文なので,くぎる必要はありません。 the visitor takes a superior attitude to people of  $\sim$  の,to 以下は,attitude にかかるのでくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

- 2 前間でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) If the visitor succeeds in getting some knowledge of the language  $\nearrow$

<sup>\*</sup> the visitor は「訪問者」ですが,ここでは「外国人」とした方が意味がよくつかめます。

	Succeed in でには、動石削または石削が続きます。
•	$\sim$ and begins to get around by himself, $/$
-	* begins の主格は the visitor ですが,ここでは省略されています。
	$\sim$ he is beginning to open the way into the new cultural environment. $/$
	* the way into は「~への道」という意味です。way と into の間でくぎってはいけません。
(	(1)~(3)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
_	The visitor still has difficulties /
-	* has は,「もつ」と直訳しないで「~がある」と訳します。
	$\sim$ but he takes a "this is my problem and I have to bear it" attitude. $\diagup$
	*"this is ~ bear it"は attitude にかかっているので「" ~ "という態度」と訳します。
	Usually in this stage /
	$\sim$ the visitor takes a superior attitude to people of the host country. $/$
	* attitude to~ (~に対する態度)の to が toward のときもあります。
	4)~(7)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
E	His sense of humour begins to exert itself. /
***	* one's sense of 〜は「〜の感覚,〜感」です。 例 a sense of direction (方向感覚) itself は His sense of humour を指します。
	nstead of criticizing, /
	* instead of ∼は「∼のかわりに」です。
	~ he jokes about the people /
	* the people は the people of the host country です。
•	- and even about his or her own difficulties. /
	* about の前に jokes を補って考えます。
	Ie or she is now on the way to recovery. /

☑ (8)~(12)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

カカケケ ヽ	
 <b>唯会〉一</b>	

- 2 (1) もし訪問者がその国のことばをいくらかは身につけることに成功し、
  - \* some は、「いくらかの、多少の」という意味です。
  - (2) そして、ひとりで歩きまわり始めるようになると、
  - (3) 彼は新しい文化環境への道を開き始めている。
  - (4) 訪問者には、まだ困難がある。
  - (5) しかし、彼は「これは私の問題だ、だからそれにたえなければならない」という態度をとる。
  - (6) 通常,この段階で
  - (7) 訪問者は滞在国の人々に対して優越的な態度をとる。
  - (8) 彼(訪問者)のユーモアの感覚が力を発揮し始める。
  - (9) 批判するかわりに,
  - (10) 彼は(滞在国の)人々について冗談を言う。
  - (11) 彼あるいは彼女自身の困難についてさえも
  - (12) 彼あるいは彼女は、今や治りかけている。
    - \* visitor が男女どちらの場合もあるので、He or she と表現しています。
- 回 もし、訪問者がその国のことばをいくらかは身につけることに成功し、そしてひとりで歩きまわり始めるようになると、彼は新しい文化環境への道を開き始めていることになる。
- B 訪問者には、まだ困難がある。しかし、彼は、「これは私の問題だ、だからそれにたえなければならない」という 態度をとる。通常、この段階で訪問者は滞在国の人々に対して優越的な態度をとる。
- © 訪問者のユーモアの感覚が力を発揮し始める。批判するかわりに、彼は滞在国の人々について冗談を言うし、彼あるいは彼女自身の困難についてさえも冗談を言う。彼らは今や治りかけている。

では,テキストの続きへ進みます。まず,単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1.	次の	単語の	音味	を書	きな	さい。	(答えは 2.)
----	----	-----	----	----	----	-----	----------

(1) custom	(2) operate [ápəreit]
(3) surroundings	(4) strain(名)
(5) disappéar	(6) compléte(形)
(7) miss	

\*(2)の名詞形は、operátion (操作、活動)です。(3)は、Part 5 で出てきた environment と同義語です。動詞 surround は「取り囲む」の意味です。(5)は、(dis (否定の意) + appear (出現する)〉です。dis は、dishonest、 disagree、discover などでも同じく否定を表しているので覚えておきなさい。

2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えば	<b>1</b> 1.)
(1) 習慣	(2) 活動する,動く
	(4) 緊張, (心の)重圧
	(6) 完全な
(7) (人が)いないのをさびしく思う	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)
(1) a way of living	(2) a feeling of anxiety
	(4) for a long time
(5) not always	(6) be sure
	(8) on leave
	(10) for ever
(II) become (get) accustomed to $\sim$	
い))、〈not + necessarily (必ずしも〜	否定する表現です。他に〈not + all〉,〈not + every (全てが 〜 とは限らな 〜 とは限らない)〉 も覚えておきなさい。 + 2 \
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは	•
	(2) 不安感
	(4) 長い間
	(6) 確信している
	(8) 休暇で
	(10) 永久に
(11) ~に慣れる	
では,いまチェックした語句と表現を,実際	8の文中で訳せるかどうか確認しなさい。
確認トレーニング 🗪	
下線部に注意して,次の文が訳せるかどう	か確認しなさい。
──●例文中の単語チェック ───	
arithmetic 算数 majórity 大多数 sta	age 舞台 weather 天候
(1) She has <u>a</u> good <u>grasp of</u> arithmetic.	
(2) The opinion of the majority is not a	always right.
(3) She was <u>not only</u> a star on the stag	e, but (also) in the screen.
(4) You'll soon become (get) accustome	ed to this cold weather.

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

さにすぐ慣れるだろう。

図 (1) 彼女は算数がよくわかる。 (2) 大多数の意見が必ずしも正しいとは限らない。 (3) 彼女は舞台の上でのスターであるだけでなく, スクリーンのスターでもある。 (4) あなたはこの寒

#### トレーニング

#### ■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2を照)

	In the fourth stage, your adjustment is about as complete as it can be. The visitor now accepts the customs of the country as just another way of living. You operate within the new surroundings without a feeling of anxiety, although there are moments of social strain. Only with a complete grasp of all the cues of social communication will this strain disappear. For a long time the individual will understand what the national is saying but he is not always sure what the national means. With a complete adjustment you not only accept the food, drinks, habits, and customs, but actually begin to enjoy them. When you go home on leave, you may even take things back with you; and if you leave for ever, you generally miss the country and the people to whom you have become accustomed. (広島大 改題)
<u> </u>	* Only with a complete … の文は,順序がかわっているので気をつけなさい。ここは,大きく二ヵ所にくぎさい。
前	切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。  「問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
(1)	In the fourth stage, /
(2)	~ your adjustment is about as complete as it can be. /
	your wayan to the same of the
(3)	* as ~ as は同等比較で、意味は「~と同じくらい」です。また、so ~as … で表現することもできます。  The visitor now accepts the customs of the country /
(3) (4)	* as ~ as は同等比較で,意味は「~と同じくらい」です。また,so ~as … で表現することもできます。
(3) (4)	* as ~ as は同等比較で,意味は「~と同じくらい」です。また,so ~as … で表現することもできます。 The visitor now accepts the customs of the country /
(4)	* as ~ as は同等比較で、意味は「~と同じくらい」です。また、so ~as … で表現することもできます。 The visitor now accepts the customs of the country / ~ as just another way of living. / * as は「~として」です。

(7)	$\sim$ although there are moments of social strain. $\nearrow$
(8)	Only with a complete grasp of all the cues of social communication /
(9)	~ will this strain disappear. /
	*(9)をもとの形になおすと,this strain will disappear ですが,only をふくんだ(8)の部分が文全体の先頭に置かれていますので,主語と助動詞(will)の位置が逆になっています。これを倒置構文と言います。only をふくむ副詞句が文頭に来ると必ず主語と(助)動詞は位置が逆になります。
В	(5)~(9)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(10)	For a long time /
(11)	~ the individual will understand /
(12)	~ what the national is saying /
(13)	~ but he is not always sure /
(14)	~ what the national means. /
C	(10)~(14)をまとめて,自然な日本語にしなさい。
(15)	With a complete adjustment /
(16)	$\sim$ you not only accept the food, drinks, habits, and customs, but actually begin to enjoy them. $\diagup$
(1.6)	* not only A but (also) B は相関語句ですから、途中でくぎれません。only の代わりに merely, simply, just, alone などが、また also の代わりに likewise, as well などが使われます。
(17)	When you go home on leave, /
(18)	~ you may even take things back with you; /
(19)	* even は「~でさえ」です。 ~ and if you leave for ever, /
\±0/	

(20)	$\sim$ you generally miss the country and the people $/$
(21)	~ to whom you have become accustomed. /
D	(15)~(21)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉-----

#### 2 (1) 第四段階において

- (2) あなたがた(外国人たち)の順応は、およそ、それ(順応)が(完了)可能なのと同じくらい完了している。 \*(2)は、「順応が完了したのも同然である」と訳すとより自然になります。
- (3) 訪問者は、このときにその国の習慣を受け入れる。
- (4) たんに、別の生活の方法(生活様式)として
- (5) あなたがたは、新しい環境の中で動く(活動する)。
- (6) 不安感を持つことなく
- (7) 社会的な緊張を受ける時があるけれども,
- (8) 社会上のコミュニケーションの糸口をすべて完全に理解するだけで,
- (9) この緊張は消えるでしょう。
- (10) 長い間
- (11) 個人(外国人)は理解するだろう。
- (12) 当地の人々が何を言っているのかを,
- (13) しかし、彼(外国人)は、必ずしも確信しているとは限らない。
- (14) 当地の人々が何を意味しているのかを,
- (15) 完全な順応(をする)とともに
- (16) あなたがた(外国人たち)は、たんに食べ物、飲み物、習慣、慣習を受け入れるだけでなく、実際にそれら(食べ物、飲み物、習慣)を楽しみ始める。
- (17) 休暇であなたがたが帰国するとき,
- (18) あなたがたは、それらのものをもって帰ることさえするかもしれない。
- (19) そしてあなたがたが永久に(その国を)離れる場合には,
- (20) 一般にあなたがたはその国や、その(国の)人々を恋しく思う。
- (21) (その人々に対し)あなたがたが、(これまでずっと)慣れ親しんできた。
- ⑤ 第四段階においては、あなたがたの順応はおよそ完了したのも同然である。訪問者は、このときに、その国の習慣を、たんに別の生活様式として受け入れる。
- ⑤ あなたがたは、新しい環境の中で不安感を持つことなく活動する。しかし、社会的な緊張を感じる時はある。社会上のコミュニケーションの糸口をすべて完全に理解するだけで、この緊張は消えるでしょう。
- © 長い間,外国人は当地の人々が何を言っているのかわかるようになるだろうが,当地の人々が何を意味しているのか,必ずしも確信しているとは限らない。
- 回 完全な順応をするとともに、あなたがたはたんに食べ物、飲み物、習慣、慣習を受け入れるだけでなく、実際に、それらを楽しみ始める。休暇であなたがたが帰国するとき、それらのものをもって帰ることさえするかもしれない。そしてあなたがたが永久にその国を離れる場合には、一般にあなたがたは、その国やあなたがたがこれまでずっと慣れ親しんできた人々を恋しく思う。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

#### 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (101~150・第1回)

	に適切な語を記入し,日本語に合	う熟語を	∵完成させなさい。(⇒は類	<b>頁義</b> 語	ら, 図は反意語を示す) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
□ 1	~から便りがある	hear	~	⇒	write ~ (~に手紙を書く)
	~に苦労する	-	difficulty in ∼ing		be to do ~ (容易に~す
					る) (日別に )
□ 3	~を発見する, ~を考えつく	find	~	➾	think ~ (~を考え出す),
			<del></del>	(	 discover(発見する)
<b>4</b>	~と一致して, ~に従って		$\_$ accordance $\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$	according ~ (~に従って)
□ 5	~に反対する	go	~	$\Rightarrow$	
□ 6	決して~でない,少しも~でない		from ~ing	$\Rightarrow$	anything~ (決して~で
				7	\$\(\rangle\)
□ 7	たとえば	for _		$\Rightarrow$	for
□ 8	(習慣などを)やめる,~から出る	get	of ~	反	get ~ (~に入る)
□ 9	~とうまくやっていく	get _	with $\sim$	$\Rightarrow$	get with $\sim$
□10	独力で, 自分で		oneself	⇒ .	oneself (自分ひとりで)
	暮らしていく, ~に乗る	get _	~	反	get ~ (~から降りる)
□12	もし~がなかったら		_ it were not for $\sim$	$\Rightarrow$	but ~
□13	~をやり抜く,成し遂げる		_ through with $\sim$	➾	
<b>□14</b>	実際は		_ fact		a matter fact
□15	~につけこむ, ~をだます	impos	e ~	⇒.	(~をだます)
□16	~しない, ~できない	fail _	do ~	➾	, can't
<b>□17</b>	永久に		good		
□18	~し続ける,進む,続く		~ing	$\Rightarrow$	
□19	~を襲う,~を持ちあげる,遅らせ		up ~	⇒ <u>1</u>	 raise (持ちあげる), delay (遅らせ
る				Ž	3)
□20	いずれにせよ,とにかく		any case	⇒	
□21	ずっと遠くに離れて	far			the distance
□22	~にもかかわらず		$_{-}$ all $\sim$	$\Rightarrow$	spite $\sim$
□23	それだけで、本来は		itself		(本来)
<b>□24</b>	とくに	in			
□25	ある意味では	in	sense	反i	n senses (あらゆる意味
					~)
□26	手短に言えば	in	<del></del>	⇒ t	o a long story short
□27	~したい気がする	feel _	~ing	⇒	a mind to do $\sim$
□28	~にもかかわらず	in	of ~	⇔	all $\sim$ , with all $\sim$ ,
					espite
□29	前金で、前もって	in		⇒	(前もって)
□30	~に関しては		to ~		n relation $\sim$
□31	終わりにのぞんで,最後に	in			 (最後に)
□32	~する限りでは,~だけでは		as ~		o the of ~ (~の限りで
		_	<del></del>		<u> </u>
□33	~に到着する	get	~	⇒	, arrive at (in)

□34 爆発する,発射される	go	⇒(爆発する)
□35 ~の点から, ~によって	in of $\sim$	$\Rightarrow$ by of $\sim$ ( $\sim$ によって)
□36 終わらせる	get $\_$	⇒
<b>□37</b> ~のために	the sake $\sim$	⇒ for one's
□38 ~を支持して, ~に賛成して	in of $\sim$	⇒ the side of ~ (~を支持して)
□39 ~を取り除く	rid ~	⇒ rid ~ (~から…を取り 除く)
□40 ~を差し出す, 耐える	hold $\sim$	⇒(差し出す), bear (耐える)
□41 もどる, 帰る	back	⇒
□42 ~に加えて、~のほかに	in addition $\_\_\_$	⇒(そのほかに)
□43 一般に	in	⇒ generally
□44 ~に関して	in to $\sim$	⇒
□45 あちこち歩きまわる	go	⇒ about
□46 (ある状態)になる,~に入る	get ~	厦 get of ~ (~から出る)
□47 一つには~, また一つには…	for thing $\sim$ , for	$\Rightarrow$ $\sim$ , the $\cdots$
	···	
□48 ~を自由にとって食べる	oneself to $\sim$	$\Rightarrow$ $\sim$ to oneself
<b>□49</b> ~のために	for one's	$\Rightarrow$ the sake $\sim$
□50 (値段・質が)下がる	go	図 go(上がる)

<sup>-----</sup> 解答 ------

<sup>1</sup> from to 2 have easy 3 out out 4 in, with to 5 against oppose 6 far but
7 instance example 8 out into 9 along on 10 for by 11 on off 12 if for 13 go accomplish
14 in as, of 15 on deceive 16 to don't 17 for forever 18 on continue 19 hold 20 in anyhow
21 away in 22 for in, of 23 in essentially 24 particular particularly 25 a all 26 short make
27 like have 28 spite for 29 advance beforehand 30 regard to 31 conclusion finally 32 far best
33 to reach 34 off explode 35 terms means 36 through finish 37 for, of sake 38 favor on
39 get, of of 40 out offer 41 get return 42 to besides 43 general 44 relation concerning
45 about walk 46 into out 47 one, another one, other 48 help serve 49 sake for, of

第4日

#### 長文読解・速読トレーニング ④

学習日 月 日

読解のポイント

仮定法過去完了/結果を表す副詞節 比較級で最上級の意味を表す構文

きょうは、青山学院大学の入試問題をテキストに学習します。きょうのテキストには「仮定法条件節の倒置による if の省略」や「比較級+ than any other」などの英文読解で大切な構文が出てきます。このような構文に注意してトレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答え	は 2.)
(1) catastrophic [kætəstráfik]	(2) overwhelm [ouvərhwélm]
(3) destróy	(4) overlay [ouvə <i>r</i> léi]
(5) preserve	
(7) occur [əkə́:r]	
(9) pecúliar	
(ll) óbject(名)	
(13) course	
(15) eruption	
*(3)の名詞形は, destrúction (破壊)で [ábdʒikt], 動詞は[əbdʒékt] (反対す 2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え	
	(2) 圧倒する,埋没させる
	(4) かぶせる
	(6) 災害
	(8) 設立する, 作る
(9) 特殊な	
(11) 物体	
	(14) 存在,生活(様式)
(15) 噴火, 勃発	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	。(答えは 4.)
(1) the space of $\sim$	(2) massive covering
(3) in $\sim$ details	(4) come to a stop
(5) tens of thousands of $\sim$ *(3)は、in detail (詳しく、詳細に)と	(6) throughout the course of $\sim$
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答え	
(1) ~の间	(2) 巨大なおおい

(3) ~の細部にわたり	(4) 停止する
(5) 何万もの~	(6) ~の過程を通じて

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### ■■■ 確認トレーニング ■■■

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

--●例文中の単語チェック -

treaty 条約 relation 関係 facilties 施設 indispénsable 不可欠な commúnity life 共同生活 fight 戦争・争い

- (1) Although the peace treaty came to a stop, the two nations kept a good relation.
- (2) Tokyo has tens of thousands of public facilities indispensable to community life.
- (3) <u>Throughout the course of</u> the European history, there occurred a great many fights here and there.
  - 図 (1) 平和条約は停止したが、その二つの国は友好関係を保った。 (2) 東京は共同生活に不可欠な何万もの公共施設をもっている。 (3) ヨーロッパ史を通して、あちこちでたくさんの戦争が起きた。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

#### トレーニング 🕶

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### ーテキスト 2 — Part 1 —

1904 years ago, within the space of a very few catastrophic hours, Pompeii and Herculaneum were overwhelmed by Mount Vesuvius and buried deep down in the earth. But they were not destroyed. Beneath the massive covering which overlaid them, they were preserved, as they would never have been had the disaster not occurred. The peculiar conditions established by ash and mud were such that even the smallest and most fragile objects of daily use have survived. And so that August day, when that whole busy world came to a stop, can be reconstructed in tens of thousands of details, far more completely than any other day that ever happened throughout the whole course of the ancient world. And the many years of existence and development that had gone before the eruption can be reconstructed too. (青山学院大 改題)

<sup>\*</sup> far more completely ~ 以下は、全体で最上の意味を表すので、途中でくぎらないようにしなさい。 最後の文は、主部と述部に大きく分けなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

2 前間でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

	~ within the space of a very few catastrophic hours, /
	~ Pompeii and Herculaneum were overwhelmed by Mount Vesuvius /
-	~ and buried deep down in the earth. /
	* buried は, (3)の were に続いています。
	But they were not destroyed. /
(	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
	Beneath the massive covering which overlaid them, /
	~ they were preserved, /
	~ as they would never have been /
	* as は「~のように,~のような姿で」です。
	been の次に preserved が省略されています。 <b>~ had the disaster not occurred.</b> /
	*もとの形は if the disaster had not occurred で、このように仮定を表す副詞節のなかで接続詞 if を省略すると倒置が起こり、主語と(助)動詞が逆になります。この文は過去の事実と反対の想像を表す仮定法過去完了の条件節で、主節は(8)の文です。
	(6)~(9)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
	The peculiar conditions established by ash and mud were such that /
	* such that は such (peculiar conditions) that ~ (たいへん特殊な条件なので~)と考えます。that 以下は結果を表す副詞節になります。
	~ even the smallest and most fragile objects of daily use have survived. /

	And so that August day, /
~	* so は「そのため」です。 ~ when that whole busy world came to a stop, /
~	~ can be reconstructed in tens of thousands of details, /
~	-far more completely than any other day /
	* 〈比較級…than any other ~〉の形式は,最上級の意味を表します。more … than any other のうしろには, 詞の単数形がくることに注意しなさい。
^	- that ever happened throughout the whole course of the ancient world. /
(1:	2)~(16)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
A	And the many years of existence and development /
^	— that had gone before the eruption /
	* go は「続く」です。 ~ can be reconstructed too. /
^	

### 2

- (2) 悲劇的なほんの二,三時間の間に
- (3) ポンペイとヘルクラネウムは、ベスビオス山によってのみ込まれ
- (4) 地中深く埋められた。
- (5) しかし、それら(ポンペイとヘルクラネウム)は、破壊されなかった。
- (6) それらをおおった巨大なおおいの下に
- (7) それらは、保存された
- (8) それらがけっして保存されなかったであろうような姿で

② (10), (11)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

- (9) もしその災害が起こっていなかったなら
  - \* had the disaster ~以下は、自然な日本語としては、(8)よりも先に訳します。
- (10) 灰と泥で作られた条件は、たいへん特殊だったので
- (11) 日常に使う、もっとも小さく、もっともこわれやすいものでさえ(生き)残った。
- (12) そして、そのため、あの八月の日は
- (13) (その日に)あの活気ある世の中全体が停止したのだが
- (14) 何万という細部にわたり、再構築され得るのである
- (15) ほかのどんな日よりも, はるかに完全に
- (16) (その日は)古代世界の全過程を通じて、かつて起こった
  - \* the whole course of the ancient world は、「古代世界の全歴史」と訳してもかまいません。
- (17) そして、長年にわたる生活(様式)と発展は
  - \* the many years of  $\sim$  は of 以下からではなく,最初から訳していったほうが日本語らしくなります。意味は「長年の $\sim$ 」となります。
- (18) (それらは)火山の爆発以前にずっと続いていた
- (19) また再構築され得るのである。
- △ 1904年前,悲劇的なわずか数時間以内に,ポンペイとヘルクラネウムは,ベスビオス山によってのみ込まれ,地中深く埋められた。しかし,これらの町は破壊されなかった。
- 図 それらの町をおおった巨大なおおいの下に、もし災害が起こっていなかったなら、けっして保存されなかったような姿で、町は保存された。
- © 灰や泥で作られた状況は、たいへん特殊だったので、日常に使うもっとも小さく、もっともこわれやすい物でさえも残った。
- □ そして、そのため、あの八月の日は、その日にあの活気のある世の中全体が停止したのだが、古代世界の全過程を通じてかつて存在したほかのどんな日よりもはるかに完全に、何万という細部にわたり再構築され得るのである。
- E そして、火山の爆発以前にずっと続いていた長年にわたる生活様式と発展もまた再構築され得るのである。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1	次の単語の	の意味を書き	もかさい	(ダラけ2)

(1) reflection	(2) offer(動) [ɔ́(:)fər]
(3) parallel(動) [pærəlel]	(4) vacuum [vækjuəm]
(5) emptiness	(6) underline(動)
(7) innumerable(形) [in <i>j</i> ú:m∂rəbl]	(8) intimate [íntəmit]
(9) universal	(10) ferocious [fəróuʃəs]
(II) horrifying	(12) philosophical [filəsáfik∂l]
(13) site [sait]	

\*(1)の動詞形は、reflect (反映する)です。「熟考する」という意味を表すときは on や over などがつきます。(3)は熟語、be parallel to [with] (平行な、相当する)も覚えなさい。(5)の形容詞形は empty です。(7)は ⟨in (否定) + numerable (数えられる)〉で成り立っています。意味は「数えられないほどたくさんの」です。

2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え)	は 1.)		
(1) 反映,熟考	(2) 提供する		
(3) 匹敵する, 比較する	(4) 真空,空白		
(5) 空虚さ	(6) 強調する,下線を引く		
(7) 無数の	(8) 密接な関係の		
(9) 全体の、普遍的な	(10) 残忍な,恐ろしい		
(11) 恐るべき	(12) 哲学的な		
(13) 位置, 遺跡			
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	, (答えは 4.)		
(1) no $\sim$ more $\cdots$ than $-$	(2) be on $\sim$ terms		
(3) even the least	(4) good and evil		
	「〜と仲がよい」です。term (期間, 用語)は,「関係, 支払いなどの条件, ることに注意しなさい。(3)は <(even + )the + 最上級>で「もっとも 〜 (でます。		
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答え)			
	(2) ~な間柄である		
(3) もっとも~でない…さえも	(4) 善悪		
では、いまチェックした語句と表現を、実 確認トレーニング <b>確認トレーニング</b> 下線部に注意して、次の文が訳せるかど 例文中の単語チェック	うか確認しなさい。		
precious 貴重な difference 相違			
(1) Nothing is more precious than time	ne.		
(2) Mary and Jack were not on intima	ate terms.		
(3) You must know the difference bet	ween good and evil.		
<b>訒</b> (1) 時間ほど貴重なものはない なたは善悪の別をわきまえなけ	。 (2) メアリーとジャックは親密な間柄ではなかった。 (3) あればならない。		

知らなかったもの、まちがえたものには赤で印をつけ、何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

**B** (3), (4)をまとめて自然な日本語にしなさい。

# 11 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

	—— テキスト 2 <del>— — Part 2 — —</del>
	No mirror of the past could possibly be more vivid than the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum; a visit to the two places is an experience that can be paralleled nowhere in the world. In that strange vacuum, its emptiness underlined by innumerable signs of long-arrested activity, life and death seem to be on particularly intimate terms. The smiling countryside all round makes the universal marks of ferocious destruction peculiarly horrifying.  Even the least philosophical of tourists visiting these sites cannot quite escape unfashionable reflections about good and evil, and how they often come together.
-	* the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum はくぎってはいけません。 最後の文は,三つに分けなさい。
遃	切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。
Ħ	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
	No mirror of the past could possibly be more vivid than /
L)	
1)	No mirror of the past could possibly be more vivid than $/$ * no $\sim$ more $\cdots$ than $-$ は「 $-$ ほど $\sim$ なものはない」です。possibly は「おそらく」です。
1)	No mirror of the past could possibly be more vivid than / $ * no \sim more \cdots than - ti - te \times to \text{ obstacl} \ \texttt{cf.} possibly \ ti + te \times to \times to \text{ obstacl} \ \texttt{the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum} ; / $
1) 2)	No mirror of the past could possibly be more vivid than /  * no ~ more … than — は「一ほど~なものはない」です。possibly は「おそらく」です。 ~ the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum; /  * offered の前に which is を補って考えなさい。
1) 2) A	No mirror of the past could possibly be more vivid than /  * no ~ more … than — は「一ほど~なものはない」です。possibly は「おそらく」です。 ~ the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum; /  * offered の前に which is を補って考えなさい。  (1), (2)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。  ~ a visit to the two places is an experience /  * a visit to ~は「~への訪問」です。
1) 2)	No mirror of the past could possibly be more vivid than /  * no ~ more … than — は「一ほど~なものはない」です。possibly は「おそらく」です。 ~ the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum; /  * offered の前に which is を補って考えなさい。 (1), (2)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。  ~ a visit to the two places is an experience /

nowhere は「どこにも~ない」です。nowhere 一語で文全体を否定するという英語的な否定の表現です。

	$\sim$ its emptiness underlined by innumerable signs of long-arrested activity, $\nearrow$
	* underlined の前に which is を補って考えます。 long-arrested は「長い間停止していた」です。
	$\sim$ life and death seem to be on particularly intimate terms. /
	(5)~(7)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
	The smiling countryside all round /
	* all round は「あたりの,周りに」です。
ı	smiling は「ほほえみかけるような」から「平穏な」と訳します。  ~ makes the universal marks of ferocious destruction peculiarly horrifying. /
	(8), (9)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
)	Even the least philosophical of tourists visiting these sites /
1	* visiting these sites は tourists にかかっています。 ~ cannot quite escape unfashionable reflections about good and evil, /
	* good and evil は「善悪」です。
)	$\sim$ and how they often come together. /
	* how 以下は reflections about に続いていることに注意しなさい。

<del>--</del>〈解答〉<del>-----</del>

❷ (1) おそらく,いかなる過去という鏡も(~)ほどいきいきと写しているものはないであろう。

<sup>(2)</sup> ポンペイとヘルクラネウムによって私たちに伝えられる昔の姿以上に

<sup>\*</sup> offer は「提供する,与える」から「伝える」の意になります。reflection は「反射,映像」から「面影を伝えるも

- の, 昔の姿」となります。
- (3) この二都市への訪問は(~の)経験である
- (4) (経験は)世界のどんなところでも匹敵しえない。
- (5) その不思議な真空地帯においては、
- (6) 長い間停止していた活動の無数の形跡によって強調されている空虚さ(においては)
- (7) 生と死は、とくに親しい関係にあるように思える。
- (8) 平穏なあたりの田園風景
- (9) (それは)恐ろしい破滅の普遍的な姿をいっそう恐ろしいものにしている。
  - \*  $\langle make + A + B \rangle$  は  $[A \in B \ ctal ]$  です。
- (10) これらの遺跡をおとずれる観光客のなかでもっとも哲学的でない人でさえ
  - \* 〈the least +形容詞(副詞)〉は「もっとも~でない」です。
- (11) (その人は)善悪についての当世風でない考えから逃れることができない。
  - \* cannot escape  $\sim$  は「 $\sim$ から逃れることができない」ですが「 $\sim$ せざるをえない」としてもかまいません。
- (位) それら(善悪)がどのようにしてしばしばいっしょにやってくるか
- 国 おそらく、いかなる過去の鏡も、ポンペイとヘルクラネウムによって伝えられる昔の姿ほど、いきいきとは写していないであろう。
- この二都市への訪問は、世界のどんなところでも匹敵しうるもののない経験である。
- © その不思議な真空地帯で、長い間停止していた活動の無数の形跡によって強調されている空虚さにおいては、生と死は、とくに親しい関係にあるように思える。
- □ 平穏なあたりの田園風景は、おそろしい破滅の普遍的な姿をいっそう恐ろしいものにしている。
- E これらの遺跡をおとずれる観光客のなかでもっとも哲学的でない人でさえも、善悪について、そしてそれらがしばしばどのようにしていっしょにやってくるかについての現実離れした考えにふけらざるをえなくなるのである。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (151~200・第1回)

	_ に適切な語を記入し,日本語に合う	う熟語を完成させなさい。(⇒は類	i義語, 図は反意語を示す)
□ 1	~を理解する,わかる	make $\sim$	⇒
	自分の言うことを人にわからせる		4 -
4	Environ Je ve anni de la company de la compa		~をわからせる)
□ 3	同様に	in the way	⇒
	~したほうがよい	may (might) well do	
4	- U/C (a ) N- a V-	~	
□ 5	努力する	an effort	⇒ oneself
	まず第一に	the first	⇔ first all
	~を主張する	$\sim$ insist $\sim$	⇒ persist ~
	~を軽べつする,~を見下ろす	look down	図 look to ~ (~を尊敬する)
	~となる, ~に至らせる	lead~	⇒ end ~ (~となる)
	~を維持する	keep ~	⇒
	~の世話をする, ~に気をつける	look~	⇒ take of ~ (~の世話をす
	Openia E y S, TOXYE E Y S		る)
□12	(~することを)決心する	make one's	⇒, determine
		to do ~	
□13	~を軽んじる,~を軽く見る	make of $\sim$	図 make of ~(~を重んじ
			る)
□14	ますます	more more	⇒, all the more
	~を利用する	make of $\sim$	⇒
	~について、~の場合には	in case of $\sim$	⇒ case ~ (~の場合には)
	むなしく、むだに	in	⇒(むだに)
	~することにしている	it a to do ~	$\Rightarrow$ be the habit $\sim$ ing
	~を取りもどす、~をうめ合わせる	make up~	⇒ for ~ (~をうめ合
			わせる)
□20	~に出くわす, ~を経験する	meet $\sim$	⇒ come ~ (~に出くわ
			す)
□21	~の間に	in the of $\sim$	⇒
□22	~から考えて、~に照らして		⇒ the light ~ (~に照
			らして)
□23	もはや~ではない	no ~	$\Rightarrow$ not $\sim$ any
□24	・たとえ何が~でも	no matter $\_$ $\sim$	⇒
□25	· やっとのことで~する	to do ~	$\Rightarrow$ contrive do $\sim$
□26	少しも~でない	not ~ all	$\Rightarrow$ not $\sim$ the least
□27	'結局は	the long	⇒ all
	り少なくとも~	not than ~	$\Rightarrow$ least $\sim$
	) ~するつもりである	to do ~	$\Rightarrow$ to do $\sim$
	) ただ〜にすぎない	$^{-}$ no than $\sim$	<b>⇒</b>
	. 多少, いくぶん	more less	⇒ to some(ある程度ま
	•		で)

□32 少しも~でない	not $\sim$ in the	⇒ not ~ at all, by no means (決して ~でない)
□33 ~を…と見なす, ~を…だと思う	look on $\sim$ ···	$\Rightarrow$ think $\sim$ as
□34 ~に寄与する, ~に向かって進む	make $\_\_\_$ $\sim$	⇒(~に寄与する)
□35 ~だけでなく…も	merely $\sim$	$\Rightarrow$ only $\sim$ (also)
	(also) ···	
□36 ~を傍観する,~を見物する	look (upon) $\sim$	⇒(見物する)
□37 ~な生活を送る	lead a $\sim$	$\Rightarrow$ a $\sim$ life
□38 ~も…も―でない	~	$\Rightarrow$ not $\sim$
□39 ~を楽しみにして待つ,~を期待する		⇒
□40 ~をできるだけ利用する	make the of $\sim$	⇒ make the best of ~ (~をもっとよく利用する)
□41 放っておく, 一人にしておく	leave	⇒ alone
□42 ~するのはもっともだ	may do (be) $\sim$	$\Rightarrow$ good reason do $\bigcirc$ do
□43 きっと,疑いなく	no	⇒ doubt
□44 ~するとすぐに	no $\sim$ than	$\Rightarrow$ $\sim$ when,
		$\sim$ before
□45 (辞書などで)調べる,~を見上げる	look ~	⇒(〈辞書などで〉調べ
		る)
□46 ~を…にまかせる	leave $\sim$ ···	⇒ ~ to … (~を信頼して
		…させる)
	keep $\cdots$ $\sim$ ing	⇒ prevent ··· ~ing
□48 はかどる, 前進する	make	⇒(前進する)
□49 ~についていく,遅れないようにす	keep up $\_$	$\Rightarrow$ keep with (of) $\sim$
3		
□50 ~を尊敬する, ~を賞讃する	up to $\sim$	⇒(~を尊敬する)

 解签	
# = =	

<sup>1</sup> out understand 2 understood understand 3 same likewise 4 as had 5 make exert 6 in, place of 7 on in 8 on (upon) up 9 to in 10 up maintain 11 after care

<sup>12</sup> up, mind decide 13 light much 14 and increasingly 15 use utilize 16 the in 17 vain uselessly

<sup>18</sup> make, rule in, of 19 for compensate 20 with across 21 course during 22 view in, of

<sup>23</sup> longer more 24 what whatever 25 manage to 26 at in 27 in, run after 28 less at

<sup>29</sup> mean intend 30 more only 31 or extent 32 least 33 as of 34 for contribute

<sup>35</sup> not, but not, but 36 on watch 37 life live 38 neither, nor either, or 39 forward anticipate

<sup>40</sup> most use 41 alone let 42 well have, to 43 doubt beyond 44 sooner hardly, scarcely

<sup>45</sup> up consult 46 to trust 47 from from 48 progress advance 49 with abreast 50 look respect

第5日

英作文①

学習日 月 日

重要表現 かけがえのない人生 今の娘

恩恵を与えてくれる

an irrecoverable life of his own a girl of this generation grant us the benefit of ...

「かけがえのない人生」ということばは、もっとも日本語的な言いまわしの一つで、とっさに英語におきかえにくい表現でしょう。「かけがえのない」がどんな意味なのかよく考え、これにふさわしい自然な英語表現を覚えることが大切です。こうした点に注意しながら学習を進めなさい。

#### 一例 題1 -

私たちひとりびとりの人生は、本当にかけがえのない人生であります。このことを改めて確認し、その人生を深く感動して受けとめることが大切だと思います。 (同志社大)

例題にふくまれている表現をひとつひとつトレーニングしていきます。まず,次の表現を覚えなさい。

# 確認トレーニング ■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

# ▶私たちひとりびとりの人生

- (a) each one of us has life  $\sim$  (「私たちひとりびとりは〈人生〉をもっている」とした場合)
- (b) our life is  $\sim$  (「ひとりびとり」にこだわらず「私たちの人生」とした場合)
- (1) 彼らひとりびとりの人生
- (2) 私の子供たちひとりびとりの人生
- (3) 学生ひとりびとりの人生
  - 〈訳 例〉 (1) each one of them has life または their life is
    - (2) each one of my children has life または my children's life is
    - (3) each one of the students has life または the students' life is

#### ▶このことを改めて確認する

- (a) confirm this fact once again
- (b) realize the fact once more (「確認する」を「認識する」とした場合)
  - \*「このこと」は「この事実」,「改めて」は「もう一度,再び」の意味です。
- (4) この現実を改めて確認する
- (5) あなたの無実を改めて確認する

- (6) 世界状況を改めて確認する
  - 〈訳 例〉 (4) confirm this actuality once again または realize the actuality once more
    - (5) confirm your innocence once again または realize your innocence once more
    - (6) confirm the world situation once again または realize the world situation once more

#### ▶深く感動して受けとめる

- (a) accept [it] with deep appreciation (「深く感謝して受けとめる」と考えた場合)
- (b) feel very grateful to receive [it] (「~を受けてたいへんありがたく思う」と考えた場合)
- (7) あなたの御親切を深く感動して受けとめる
- (8) 彼の招待を深く感謝して受けとめる
- (9) 彼女の教えを深く感動して受けとめる
  - 〈訳 例〉 (7) accept your kindness with deep appreciation または feel very grateful to receive your kindness
    - (8) accept his invitation with deep appreciation または feel very grateful to receive his invitation
    - (9) accept her teaching with deep appreciation  $\sharp t$  if feel very grateful to receive her teaching

#### ▶~することが大切だと思う

- (a) it is important to ~ (「~すること」を意味上の主語として it ~ to … の構文を使った場合)
- (b) we should make it a point to ~ (行為者を主語とした場合)
  - \* make it a point to  $\sim$  , make a point of  $\sim$ ing , make a point that  $\sim$  は,「 $\sim$ することを重視する」, つまり「必ず $\sim$ するようにする」です。
- (10) 寝る前に歯をみがくことが大切だと思う。
- (11) 出かけるときは行き先を家族に告げることが大切だと思う。
  - 〈訳 例〉(10) It is important to brush your (our) teeth before you (we) go to bed. または We should make it a point to brush our teeth before going to bed.
    - (11) It is important to tell your family where you are going when leaving home. または We should make it a point to tell our family where we are going when leaving home.

以上の基本的な表現は、何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。

次は、例題1の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてトレーニングします。

#### ─── 重要表現1●かけがえのない人生 ──

① **an irrecoverable life of one's own** (recover 〈回復する,取り戻す〉から irrecoverable, つまり「失ったが最後,取り戻すことができない」,「自分自身の取り戻しはきかない人生」と考えます。)

<ul> <li>② one's irreplaceable life (replace 〈取り替える〉から irreplacable, つまり「取り替えることができない」,「~の取り替えのきかない人生」と考えます。)</li> <li>③ the only life (one) we have (「私たちのもっている唯一の人生」と考えます。 life は、すでに述べられているので、繰り返しをさけて one を用います。)</li> <li>*①, ②の one's, ③の we は、文脈によって正しく変更しなさい。</li> </ul>
それでは,トレーニングに進みます。
トレーニング
11 〔 〕の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「かけがえのない人生」という意味の英語表現を完成させなさい。
(1) ( recover, irrecoverable, recoverable ) life one's (2) one's ( replace, placable, irreplaceable ) (3) life we ( do, have, do not, don't have )
② 次の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
(1) だれだってかけがえのない人生を与えられている。 is given
(2) あの子は私のかけがえのない息子です。 The child
(3) あなたのかけがえのない友とはだれのことですか。
Who ??
<ul><li>(4) なにが女のかけがえのない宝なのだろうか。</li><li>What women's?</li></ul>
(1) an, irrecoverable, of, own (2) irreplaceable, life (3) the, only, have  (1) Everybody is given an irrecoverable life of his own. (2) The child is the only son I have. (3) Who is your irreplaceable friend? (4) What is women's irreplaceable treasure?
実戦トレーニング ■ 1
3 例題1全文を英語に訳しなさい。
私たちひとりびとりの人生は、本当にかけがえのない人生であります。このことを改めて確認し その人生を深く感動して受けとめることが大切だと思います。

(訳 例) **B** Each one of us has an irrecoverable life of his own. It is important to confirm this fact once again and accept it with deep appreciation. または Our life is truly the only one we have. We should make it a point to realize the fact once more and feel very grateful to receive it.

#### 一例 題2 ----

これが、息子と娘でございます。今の娘ですので、私よりもずっと背が高いんでございますけれど、若い時の私によく似ております。 (中央大)

まず、次の表現を覚えなさい。母親が知人に自分の子どもを紹介している場面を頭に入れておくこと。

### ■ 確認トレーニング ■■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

#### ▶これが、息子と娘でございます。

- (a) This is my son and this is my daughter.
- (b) May I introduce my son and daughter to you?
- (c) Let me introduce my son and daughter to you.
  - \*(a)の場合,息子が複数ならば,These are  $\sim$ . となります。日本文には「私の」がなくても,英語では my が必要です。introduce は「紹介する」です。紹介は男性を女性(同年輩のばあい)に,目下の者を目上の人へ,が決まりです。 $\langle$ introduce 目下 to 目上 $\rangle$ です。この順序が逆だと礼儀に反することになります。
- (1) これが、主人でございます。
- (2) これが、子供たちでございます。
- (3) これが、兄と妹でございます。
  - <訳 例> (1) This is my husband. または May I introduce my husband to you? または Let me introduce my husband to you.
    - (2) These are my children. または May I introduce my children to you? または Let me introduce my children to you.
    - (3) This is my older brother and this is my younger sister. または May I introduce my older brother and younger sister to you? または Let me introduce my older brother and younger sister to you.

#### ▶〜よりずっと背が高い

- (a) be much taller than  $\sim$
- (b) be far taller than ~ (「ずっと」を「はるかに」と考えた場合)
- (4) ~よりずっと背が低い
- (5) ~よりずっと重い

### (6) ~よりずっと有能だ

- 〈訳 例〉 (4) be much shorter than  $\sim$  または be far shorter than  $\sim$ 
  - (5) be much heavier than  $\sim$  \$\pi t \text{if be far heavier than } \simes
  - (6) be much more competent than  $\sim$  \$\pi k \text{if be far more competent than } \sigma\$

#### ▶若い時の私

- (a) me when I was younger (「若い」を「もっと若かった」と考えた場合)
- (b) me in my youth (「青春時代」と考えた場合)
- (c) me in my girlhood (「娘時代」と考えた場合)\*「私」は、文脈上、目的格とします。
- (7) 若い時の彼
- (8) 10代の頃の彼女
- (9) 学生だった私たち
  - 〈訳 例〉 (7) him when he was younger または him in his youth または him in his boyhood
    - (8) her when she was a teen-ager  $\sharp t \wr t$  her in her teens  $\sharp t \wr t$  her in her adolescence
    - (9) us when we were students または us in our school days
    - \*(8)の場合,「10 代」は teens,「20 代」は twenties, そして「思春期(10 代)」は adolescence です。

### ▶よく似ている

- (a) be the very image of ~ (「似ている」を「生き写し」つまり image とした場合)
- (b) look(s) exactly like ~ (「よく」を「まさしく」とした場合)
- (c) look(s) much like ~ (「よく」を「大変」とした場合)
- (10) 彼の父親によく似ている
- (11) まったくあなたそっくりだ
- (12) あまり私たちに似ていない
  - 〈訳 例〉 (10) be the very image of his father または look(s) much like his father
    - (11) be the very image of you  $\sharp t \wr look(s)$  exactly like you  $\sharp t \wr look(s)$  much like you
    - (12) be not the very image of us  $\sharp t \wr t$  do not look exactly like us  $\sharp t \wr t$  do not look much like us

以上の基本的な表現は、何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。 次は、例題2の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてトレーニングします。

① ② ③	a girl of this generation (「今の」を「この世代の」とした場合) she belongs to the younger generation (「今の」を「より若い世代の」とした場合) a child of this age (「今の」を「この時代の」とした場合) *①, ③のように句で表現してもいいし, ②のように, 節として表現してもかまいません。
7	たれでは,トレーニングに進みます。
	トレーニング ======
	〔 〕の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「今の娘」という意味の英 長現を完成させなさい。
(2)	girl (on, in, of) this generation  She to the (youth, young, younger, now) generation  a child this (time, age, day)
2 3	マの日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
	私は今の娘たちにとても関心がある。 much interested in 君は今の子供らしくないね。
(3)	look like やはり、彼らは今の世代だよ。 After all,
(4)	今の若者が何を考えているのか, ちっともわからない。 I at all what are
<b>〈</b> 角	平 答> 1 (1) a, of (2) belongs, younger (3) of, age  2 (1) I am much interested in girls of this generation. (2) You don't look like a child of this age. (3) After all, they belong to the younger generation. (4) I don't understand at all what youths of this age are thinking.
3	別題2全文を英語に訳しなさい。 これが,息子と娘でございます。今の娘ですので,私よりもずっと背が高いんでございますけれ 若い時の私によく似ております。
- - -	

**====** 重要表現 1 ● **今の娘** <del>=======</del>

This is my son and this is my daughter. My daughter, a girl of this generation, is much taller than I am. But she is the very image of me in my youth. または May I introduce my son and daughter to you? My girl, since she belongs to the younger generation, is far taller than I am. But she is exactly like me when I was younger. または Let me introduce my son and daughter to you. My daughter is much taller than I since she is a child of this age, yet looks much like me in my girlhood.

# -例 題3 ----

本というものはわれわれがふつうは会えないような偉大なる天才にもめぐり会えるという,大変な恩恵を与えてくれるものである。時間にも制限を受けず,すなわち,どんな昔の人にも,対面できるのである。 (大阪大)

では,次の表現を覚えなさい。

## ■■ 確認トレーニング ■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

#### ▶本というものは

- (a) books
  - \*この文脈では,「本」の性格(抽象概念) を指す場合の the book, どの「本」でもという意味を表す a book (any book)のどちらも用いません。
- (1) 本というものは適切に選べば終生の友となれる。
- (2) 言語というものは、人間が発明した中で最も早い時期のもののひとつである。
  - 〈訳 例〉 (1) Books can become your lifelong friends if you choose them properly.
    - (2) Language is one of the earliest inventions of human beings.

#### ▶ふつうは会えないような偉大なる天才

- (a) great geniuses whom we could never meet in actual life
- (b) great geniuses whom it would be impossible to see in reality
  - \*「ふつう」は、「通常は」と考えずに、「現実に」と考えます。「会えない」は、「たとえ望んでも」を言外にふくむ仮定法の動詞形とします。「天才」は複数ですから、つづりに注意しなさい。
- (3) ふつうは訪れることができないような高貴な人々
- (4) ふつうは登れないような高い山々
- (5) ふつうは買えないような高価な宝石

- 〈訳 例〉 (3) noble people whom we could never visit in actual life または noble people whom it is impossible to see in reality
  - (4) high mountains which we could never climb in actual life または high mountains which it is impossible to climb in reality
  - (5) expensive jewels which we could never buy in actual life または expensive jewels which it is impossible to buy in reality

#### ▶めぐり会える

- (a) encounter with
- (b) meeting
- (c) coming across
  - \*前とのつながりから、「めぐり会い」と考え、名詞または動名詞で表します。(a)、(b)、(c)のいずれも、偶然性がふくまれます。
- (6) 美しい婦人とめぐり会える
- (7) 旧友にめぐり会える
- (8) よき教師にめぐり会える
  - \*課題文では、「めぐり会う」対象は複数形が要求されているので、応用問題も複数形にしてさしつかえありません。
  - 〈訳 例〉 (6) encounter with a beautiful lady または meeting a beautiful lady または coming across a beautiful lady
    - (7) encounter with an old friend または meeting an old friend または coming across an old friend
    - (8) encounter with a good teacher  $\sharp t \not t$  meeting a good teacher  $\sharp t \not t$  coming across a good teacher

#### ▶どんな昔の人

- (a) people in the past
- (b) people in ancient days (times)
  - \*「どんな」は、特に訳出せず、「人」を複数形にします。 days も times も複数形になっていることに注意しなさい。
- (9) どんな昔の習慣
- (10) どんな昔の建物
- (11) どんな昔の都
  - 〈訳 例〉 (9) customs in the past または customs in ancient days
    - (10) buildings in the past または buildings in ancient days
    - (11) cities in the past または cities in ancient days

▶ च	けなわち
	a) that is to say,
,	b) in other words,
(0	e) namely,
	*慣用句としてそのまま覚えなさい。say,words,namely のあとにカンマを忘れてはいけません。
(12)	彼はそれから 3 時間後,すなわち,11 時ごろに帰宅した。
(13)	日本の国会は二院より成る,すなわち参議院と衆議院。
(14)	すなわち(言い換えれば),彼は大英雄になった。
⟨┋	(12) He came home three hours later, that is to say, about eleven o'clock. (13) The Japanese Diet consists of two Houses, namely, the House of Councilors and the House of Representatives.
	(14) He became, in other words, a great hero.
Đ	以上の基本的な表現は,何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。
	次上の基本的な表現は、内皮も自動したショ・たテンとに近れています。
,	
	=重要表現1 ● 恩恵を与えてくれる ====================================
1 2	a benefit we receive from ~ is … (「私たちが~から受ける恩恵は…である」と考えた場合) ~ grant us the benefit of … (「~は私たちに…という恩恵をさずける」と考えた場合) * benefit につく不定冠詞,定冠詞の区別に気をつけなさい。①では,「私たちが受ける数多くの恩恵の一つ」という考え方です。②は,of で限定された特定の「恩恵」です。benefit につける形容詞は tremendous,marvellous,wonderful などです。
	それでは、トレーニングに進みます。
	トレーニング
<b>1</b> 味α	〔 〕の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「恩恵を与える」という意 の英語表現を完成させなさい。
(1) (2)	benefit we receive ( to, for, from ) $\sim$ is $\cdots$ ( give, take, grant ) us benefit $\sim$
2	欠の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
(1)	人の日本語の意外を致り入入とうの為でしませた。
	私たちが音楽から受ける素晴らしい恩恵は、心の平安である。
(2)	

(3)	私が先生	から受けた大きな恩恵は数多い。
	There ar	re many great
(4)		たちの人生を豊かにしてくれるという恩恵を与えてくれる。
	Learning	genriching
<1		(1) a, from (2) grant, the, of (1) A marvellous benefit we receive from music is peace of mind. (2) Fine arts grant us the benefit of nurturing our sensibility. (3) There are many great benefits I received from my teacher. (4) Learning grants us the benefit of enriching our life.
	= 重要表現	!2 ●時間にも制限されず ────────────────
① ② ———		being restricted by time (副詞句として表した場合) es not interfere with ~ing (「時間が~することに介入しない」と考えた場合)
ž	それでは,ト	レーニングに進みます。
		の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「時間を制限されず」とい 表現を完成させなさい。
(1)		being (restrict, restricted, restricting) by time
		jeing (restricted, restricted, restricting ) by time interfere (to, with, from) ~ing
		の意味を表す英文を完成させなさい。
(1)	時間に制	限されずに勉強したいものだ。
(1)	I want to	•
(2)	時間に制	
	Time	reading this book.
(3)		限なしに生活できる人は少ない。
	Very few	·
(4)	時間に制	限されずに海外旅行した。
	Time	<u> </u>
<b>&lt;f</b>		(1) without, restricted (2) does, not, with (1) I want to study without being restricted by time. (2) Time does not interfere with reading this book. (3) Very few can live without being restricted by time. (4) Time did
		not interfere with travelling abroad.

. The control of the

# ■■ 実戦トレーニング ■■■

# 5 例題3全文を英語に訳しなさい。

	本という	うものは	われわれ	がふつうは	:会えない	ような偉大権	なる天才に	もめぐり会え	るという,	大发
な	恩恵を与	すえてく	れるもの	である。時	間にも制	限を受けず,	すなわち,	どんな昔の	)人にも,対	面で
き	るのであ	5る。								
		**	er bar <sup>a</sup> ri							
							****			

A tremendous benefit we receive from books is the encounter with great geniuses whom we could never meet in actual life. In other words, we can meet people in the past without being restricted by time. または Books grant us the marvellous benefit of coming across great geniuses whom it would be impossible to meet in reality. That is to say, time does not interfere with meeting people in ancient days.

では、単語・語句・表現のチェックできょうの学習をしめくくりなさい。

忘れているものがあったら、その学習日にもどって用例を再確認しておきなさい。

〈単語	吾の復習〉			
●第	1日			
$\Box$ 1	occupational	2 disease	☐ 3 transplant	☐ 4 symptom
□ 5	cure(名)	☐ 6 anxiety	□ 7 communication	□ 8 cue
□ 9	situation	□10 purchase(名)	□11 invitátion	□12 statement
□13	individual(名)	□14 affect	□15 satisfáctory	□16 adjustment
□17	distinguish	□18 national(名)	□19 gracious	□20 last(動)
□21	circumstance			
1	職業上の 2 病気	3 移植する,移住させる	4 徴候, (病気の)症状	5 治療(法)
6	心配,不安 7 伝達	i, コミュニケーション 8	3 手掛かり,合い図 9 や	犬況,場面 10 購入
11	招待 12 声明, 言っ	かたこと 13 個人 14 景	>響する、作用する 15 満	足な,申し分ない
16	順応,適応 17 区別	リする 18 国民 19 恵み	y深い,あいそうのよい 2	0 続く,持ちこたえる
21	状況			
●第	9 □			
		☐ 2 remáin	□ 3 characterize	☐ 4 hostile
		☐ 6 évidently		■ 8 transportátion
		□ 10 therefore	☐ 11 unsympathetic	-
		□14 criticize	☐15 stage	☐16 sense
		□18 nervous	□19 breakdown	_10 dense
			まる 3 特徴づける	4 敵章のある
	to desire the second se		O, まじりけのない 8 輔	
			悩み 13 団結する	
			神経質な,心配でたまらない	
				, , , — , ,
●第 □•				
	succeed		□ 3 bear(動)	☐ 4 superior
	humor	6 recovery	7 custom	□ 8 operate
	surróundings miss	□10 strain(名)	□11 disappéar	□12 compléte(形)
		悪倍 う かきっ かたし	ムナフ 4 ナシュナ / 百巻	the F = + =
		環境 <b>3</b> たえる, なんと 活動する, 動く <b>9</b> 環境	かする 4 まさった,優勢	
	(人が)いないのをさび		10条版,(心の)里圧	11 消える 12 完全な
13	()			
●第	4 日			
	catastrophic	☐ 2 overwhelm	☐ 3 destróy	☐ 4 overlay
	preserve	☐ 6 disaster	7 occur	☐ 8 establish
□ 9	pecúliar	□10 fragile	□11 óbject(名)	□12 survive
	course	☐14 existence	☐15 eruption	☐16 reflection
	offer(動)	□18 parallel(動)	□19 vacuum	□20 emptiness
	underline(動)	□22 innumerable(形)	☐23 intimate	□24 universal
		□26 horrifying	□27 philosophical	□28 site
1	悲劇的な,不幸な :	2 圧倒する, 埋没させる	3 破壊する 4 かぶせる	5 保存する

		われやすい 11 物体 12 (生き)/大る
	, —	16 反映, 熟考   17 提供する
	空,空白 20 空虚さ 21 強調す	
23 密接な関係の 24 全体の,	普遍的な 25 残忍な, 恐ろしい	26 恐るべき 27 哲学的な
28 位置,遺跡		
〈語句・表現の復習〉		
●第1日		
☐ 1 culture shock	☐ 2 occupational disease	$\square$ 3 be caused by $\sim$
$\square$ 4 result from $\sim$	$\square$ 5 a thousand and one $\sim$	$\square$ 6 adapt oneself to $\sim$
☐ 7 make a purchase	$\square$ 8 take $\sim$ seriously	$\square$ 9 differ in $\sim$
□10 go through	$\Box$ 11 go on to $\sim$	$\Box$ 12 in the process
$\Box$ 13 be delighted by $\sim$	$\Box$ 14 associate with $\sim$	☐15 honeymoon stage
$\square$ 16 depend on $\sim$		
	<b>3 ~</b> の原因によって引き起	こされる 4 ~(の結果)から生ずる
5 無数の~ 6 ~に順応する	7 購入する 8 ~を真剣に	考える 9 ~の点で異なる
	11 ~まで進む   12 その過程におけ	
	15 幸福な時期 16 ~次第である	
●第2日		
$\Box$ 1 cope with $\sim$	☐ 2 host country	$\square$ 3 grow out of $\sim$
$\square$ 4 be indifferent to $\sim$	$\square$ 5 concern over $\sim$	$\square$ 6 be (un)sympathetic to $\sim$
	☐ 8 fellow countryman	☐ 9 in a sense
$\Box$ 10 come out of $\sim$	□11 if not	□12 nervous breakdown
1 ~にうまく対処する 2 滞		に無関心である 5 ~についての関心
6 ~に同情する(しない) 7	~と団結する 8 同国人 9 3	ある意味で 10 ~からぬけ出る
11 そうでないならば   12 神経	<b>E</b> 衰弱	
● 第 3 日		
□ 1 succeed in ~	☐ 2 get around	□ 3 by oneself
$\Box$ 4 open the way into $\sim$	$\Box$ 5 take $\sim$ attitude	☐ 6 exert oneself
$\Box$ 7 joke about $\sim$	$\square$ 8 on the way to $\sim$	☐ 9 a way of living
☐ 10 a feeling of anxiety	$\Box$ 11 a grasp of $\sim$	□12 for a long time
☐13 not always		$\Box$ 15 not only $\sim$ but (also) $\cdots$
☐16 on leave	$\Box$ 17 take $\sim$ back with	
☐ 19 become (get) accustomed to ¬		10
	- 3 ひとりで 4 ~への道を	聞く 5 ~といった態度をとる
		-の途中で, 近づいて <b>9</b> 生活様式
	2 長い間 13 つねに~とは限らな	
	休暇で   17 ~を持って帰る   1	
15 ~ /2 /0 C /2 \cdot \c	外吸し 17 を持りて帰る 1	
●第4日		
	☐ 2 massive covering	
☐ 4 come to a stop		$\Box$ 6 throughout the course of $\sim$
$\square$ 7 no $\sim$ more $\cdots$ than $-$	$\square$ 8 be on $\sim$ terms	$\square$ 9 even the least
□10 good and evil		
	3 ~の細部にわたり 4 停止	する 5 何万もの~
		である 9 もっとも~でない…さえも
10 善悪		

第6日

# 長文読解・速読トレーニング ⑤

学習日 月

日

読解のポイント

不定詞の副詞用法(原因)/使役動詞 make 動名詞を含む慣用表現

きょうと明日は、北海道大学の入試問題をテキストにしてトレーニングをします。このテキストは 母から娘への手紙ですが now that, all the time などの平易でありながらわかりにくい表現が出てき ます。しっかりトレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

	単語・	・語句・	表現のチェ	ック	111111111111111111111111111111111111111
--	-----	------	-------	----	---

(1) dearest	(2) darling(名)
	(4) promise(動)
(5) script [skript]	
	してよく用いられます。 原級 dear の方が一般的です。(5)は書いたものを表す語
としてもよく用いられます。 🖁	列 manuscript [mænjəskript] (手書きした本,原稿)は〈manu (手で)+
script>, postscript [póustskrip	t] (追伸,あと書き)は〈post (あとで) + script〉
2. 次の日本語を英語にしなさい。(	答えは 1.)
(1) 親愛なる	(2) おまえ,あなた
	(4) 約束する
(5) 手書き(文字), 原稿	
3. 次の語句と表現の意味を書きなる	
	(2) now that $\sim$
	(4) after all
	です。 $(3)$ の not $\sim$ any more は、no more も同義語として覚えておきなさい。
4. 次の日本語を英語にしなさい。	答えは 3.)
(1) ~を心配する	(2) ~だから, であるので
	(4) 結局
では、いまチェックした語句と表現を	,実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。
確認トレーニング	
■■■■■ 確認トレーニング ■■■■■ 下線部に注意して,次の文が訳せるか	かどうか確認しなさい。

- (1) He is worried about his unemployment.
- (2) Now that our father is dead, we miss him bitterly.
- (3) I cannot endure her impudence any more.
- (4) This is the reason why I am not going after all.
  - 図 (1) 彼は失業のことで心配している。 (2) 父が死んだので、私たちはひどくさびしい。 (3) 私は彼女の厚かましさにはもうがまんができない。 (4) これが結局私がなぜ行かないかの理由です。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

# トレーニング 💳

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

— テキスト 3 — — — Part 1 —

Dearest Jenny:

I was so very, very happy to get your nice long letter this morning! Thank you, darling, for not making me wait too long. I was so worried about that cold of yours; but now that I know you are completely better, I won't any more! Just don't go back to the office too soon … promise, darling? After all, you can write your scripts just as easily and well at home.

\* but now that  $\sim$  の文では, now  $\geq$  that の間でくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

- ▶ 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) Dearest Jenny: /
  - (2) I was so very, very happy /
  - (3)  $\sim$  to get your nice long letter this morning! /
    - \* to get は「原因」を表す to 不定詞の副詞用法です。ふつう, be happy, be sorry (残念に思う), be surprised (驚く)など, 感情を表す述語の後ろの不定詞は, その感情をもつに至った原因を表します。
  - $\mathbf{A}$  (1) $\sim$ (3)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。

)	Thank you, darling, /
)	$\sim$ for not making me wait too long. /
	* for は「〜に対して」の意味です。"Thank you for 〜"でひとまとまりにして覚えておきなさい。 (4), (5)にかけての文の構造は〈主語+動詞+目的語+補語(原形不定詞)〉の第 5 文型です。make は「…に〜さまる」という意味の使役動詞です。let,have も make と同じように使役動詞として使われます。
]	(4), (5)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
)	I was so worried about that cold of yours ; /
)	*「あの, あなたのかぜ」は, 英語では, that your cold とは言わないので注意しなさい。 ~ but now that I know you are completely better, /
)	~ I won't any more! /
	* won't は won't (be worried about you) です。 not ~ any more は no more (これ以上~しない)です。
	(6)~(8)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
	Just don't go back to the office too soon promise, darling? /
)	After all, /
	~ you can write your scripts /
	~ just as easily and well at home. /
	* just as easily and well at home (as at the office)と考えて訳しなさい。

(2) 私はとても、とても幸せでした

- (3) あなたのすてきな長い手紙をけさ受け取ったので。
- (4) ありがとう
  - \* darling は親しい間柄の人を呼ぶときによく使われることばで、日本語ではとくに訳す必要はありません。
- (5) 私をあまり長く待たせなかったことに対し,
  - \* not making me wait too long は、「すぐ返事をくれる」と訳すとより自然です。
- (6) 私は、あなたのあのかぜについてたいへん心配しました。
  - \* be worried about は「心配させられる」ですが、「心配する」の方が自然な日本語です。英語では、「心配する、驚く、喜ぶ」など感情を表す場合、〈be +過去分詞の受動態〉で表すことが多いです。
- (7) しかし、あなたが完全によくなったということを私は知ったので
- (8) もう心配などしませんよ。
- (9) ただあまりに早く,仕事場へ戻ることはやめてくださいね。約束してくれますね。
- (10) 結局
- (11) あなたは、原稿を書くことができます
- (位2) (仕事場にいるのと同じように)家でも、容易に、かつ立派に。

#### A 親愛なるジェニーへ

私は、あなたのすてきな長い手紙をけさ受け取って、とても、とても幸せでした。

- **B** すぐに返事をありがとう。
- © 私は、あなたのあのかぜにはたいへん心配しましたが、完全によくなったということを知ったので、もう心配しませんよ。
- D あまりに早く仕事場へ戻ることはやめてね。約束してくれますね。結局、家でもあなたはすらすらと、じょうず に原稿を書けるのですから。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) folks [fouks]	(2) comet
(3) crime [kraim]	(4) expréssion
	(6) realize [rí(:)əlaiz]
	(8) successful
動詞形は succeed (成功する)です。  2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 1.)	rk] (フォーク)と区別しなさい。(8)の名詞形は success (成功),
(1) 人々	(2) すい星
	(4) 表現,(顔などの)表情
	(6) 実現する, 実感する
	(8) うまくいった,出世した
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答えは	4.)
(1) keep (on) ∼ing	(2) all the time

(3) on the air (4) can't help ~ing	
(5) used to $\sim$	(6) serious-minded
強調されます。(2)の all the time は always のこ	:い同じ意味ですが,keep on ~ing の方は「固執,がんばり」がことです。(3)の反対語は,off the air (放送されない)です。(4)はるので覚えておきなさい。(5)の発音は[ju:s/ təː]で,[ju:zd tu]で
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) ~し続ける	(2) その間ずっと, いつも
(3) 放送中で	(4) ~せざるをえない
(5) ~するのが常だった	(6) まじめな, 真剣な
では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中 確認トレーニング <b>確認トレーニング</b> 下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認	
┌───●例文中の単語チェック ────	
crowded 満員の program 番組 behave ふる	まう

- (1) They kept (on) standing in the crowded train.
- (2) She was talking all the time.
- (3) The program was put on the air last night.
- (4) He behaved so strangely that I couldn't help laughing.
  - 図 (1) 彼らは満員電車の中でずっと立ちつづけた。(2) 彼女はいつもおしゃべりをしていた。(3) そのニュース番組は昨夜放送された。(4) 彼がとても奇妙な動作をしたので、私は笑わずにはいられなかった。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

## 

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

ーテキスト3-	 ————Part 2 —

You'd be surprised to know how interested everybody is in your job. Folks keep stopping me all the time to ask about you. They want to know what shows you write, and whether they can hear them on the air. I can't help feeling proud when I tell them about "Comets of Crime" and "Little Emmy." Their expressions are so funny when they say, "Really? Does Jenny write those famous shows?" I guess it's hard for them to realize that the little tomboy they used to know is now

\*最初の文の in your job は,how  $\sim$  以下に続いているので is と切り離してはいけません。 "Really? Does Jenny  $\sim$ ?"は,ひとつのまとまりなので,二つの文ではあるが,途中でくぎらずひとまとまりと考えなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。

You'd be surprised to know /
* be surprised to ~は,受け身の意味を失った受動態で「~して驚く」と訳します。 you'd は you would の省略形です。
$\sim$ how interested everybody is in your job. $\nearrow$
* how interested everybody is in your job をふつうの文になおすと, (that) everybody is very (much) interested in your job となります。
Folks keep stopping me all the time /
* stop は「立ち止まらせる」です。
$\sim$ to ask about you. /
* to ~ は「~するために」(目的を表す)です。
(1)~(4)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。
They want to know /
~ what shows you write, /
$\sim$ and whether they can hear them on the air. /
* they と them では,指すものがちがっているので注意しなさい。whether 以下も(5)の know に続いています。 whether $\sim$ は「 $\sim$ かどうか」です。
I can't help feeling proud /

1	Their expressions are so funny /
_	~ when they say, "Really? Does Jenny write those famous shows?" /
(1	
I	guess it's hard for them to realize /
	* I guess (that) it's hard 〜 と考えて訳しなさい。it は,to realize that 〜 を指す形式主語で,「〜を実感することは,彼らにとってむずかしいのです」となります。it は訳しません。 〜 that the little tomboy /
	~ they used to know /
_	*(whom) they used to ~と考えなさい。 ~ is now a very serious-minded and successful radio writer! /

# -----〈解答〉-----

- 2 (1) あなたは、(次のことを)知って驚くでしょう
  - \* you'dの would は「~でしょう」(表現をやわらげる言いまわし)です。
  - (2) みんなが、どんなにあなたの仕事に興味を持っているかを

■ (5)~(9)をまとめて自然な日本語の文にしなさい。

- (3) 人々は、いつも私を立ち止まらせ続けます
  - \* keep stopping は、「いつも呼び止める」と訳したほうが、自然な日本語になります。
- (4) あなたについてたずねるために。
- (5) 彼ら(人々)は、知りたいのです
- (6) どんな番組をあなたが書いているのか
- (7) そして、彼らがその番組を(ラジオで)放送されるのをきけるかどうかを。
  - \* they は folks,them は shows を指します。on the air は,「ラジオの放送で」と訳してもかまいません。 (5),(6),(7)は,(6)—(7)—(5)の順で訳していくと,自然な日本語になります。(B参照)
- (8) 私は誇りに思わざるをえません
  - \*この文は「自然と誇らしく感じます」と訳したほうが日本語らしくなります。

- (9) 私が「犯罪のすい星」や「かわいいエミー」について、彼らに話すときに \*自然な日本語としては(9)—(8)の順になります。(B 参照)
- (10) 彼らの顔の表情は、とてもおかしい
- (11) 彼らが「ほんとう。ジェニーがあれらの有名なショーを書いているの」と言うとき。 \*(10), (11)に関しても, (11)—(10)という順の方が, 自然な日本文になります。(C参照)
- (12) 私は思います。彼らにとって(次のことを)実感することが難しいのだと,
- (13) あの小さなおてんば娘が,
- (14) (その娘を)彼らがかつて知っていた
- (15) いまや、すごくまじめで、うまくいった(出世した)ラジオ(番組)の作家である(ことを)。 \* successful を、「売れている」と訳してもかまいません。
- ▲ あなたは、みんながどんなにあなたの仕事に興味を持っているかを、知って驚くでしょう。人々はあなたについてたずねるために、いつも私を呼び止めます。
- ⑥ 彼らはどんな番組をあなたが書いているのか、そして彼らがその番組をラジオで放送されるのをきけるかどうかを、知りたいのです。私は、彼らに「犯罪のすい星」や「かわいいエミー」について話をしていると、自然に誇らしく感じないわけにはいきません。
- ② 彼らが「ほんとう。ジェニーがあれらの有名な番組を書いているの」と言うときの彼らの顔の表情はとてもおか しい。
- □ 私は、彼らがかつて知っていた、あの小さなおてんば娘が、今やすごくまじめで、売れっ子のラジオ番組の作家であると実感するのは、彼らにとって難しいのだと思います。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (201~250・第1回)

に <b>適切な語を記入し,日本語に合う熟語を完成させなさい</b> 。(⇔は類義語,図は反意語を示す)					
□1 Aが~するのをさまたげる	prevent A~ing	⇒ A from ~ing (A が~す るのを止めさせる)			
□ 2 ~の準備をする	prepare $\_$	$\Rightarrow$ preparation for $\sim$			
□3 ひとりでに、自然に	oneself	 ⇒(自然に)			
□ 4 ~から回復する, ~が治る	$\sim$ recover $\sim$	⇒ get ~			
□ 5 役割を果たす	play role	⇒ play part			
□6 ~よりむしろ…	so ~ as				
□7 一方では~, 他方では…	on the hand $\sim$ , on the other (hand) $\cdots$				
□8 …に~の借りがある	owe ∼ ···	$\Rightarrow$ be indebted to ~			
□9 次々に	one after	⇒ succession			
□10 それどころか,これに反して	on the	~ contrary ~ (~に反して)			
□11 時代遅れで、旧式で	out of	図 up to(最新式の)			
□12 ~を延期する	put~				
□13 …よりも~を好む	prefer ~ ···	$\Rightarrow$ $\sim$ than $\cdots$			
□14 ~に頼る, ~を当てにする	rely $\_\_$	$\Rightarrow$ depend $\sim$ , count on $\sim$			
□15 (あかり,火)を消す	put ~	$\Rightarrow$ switch $\sim$ , extinguish			
□16 必ずしも~でない	necessarily $\sim$	$\Rightarrow$ not always $\sim$			
□17 立て続けに	on	⇒			
□18 どしゃぶりに降る	down	⇒ it rains and			
□19 ~を書きとめる, ~を書く	put ~	$\Rightarrow$ down $\sim$ , note down $\sim$			
□20 ~を…とみなす,考える	regard $\sim$ ···	$\Rightarrow$ think $\sim$ $\cdots$			
□21 ~すらしない	not much $\sim$	$\Rightarrow$ not $\sim$			
□22 一体全体, この世に(で)	earth	⇒ the world (一体全体)			
□23 ~に終わる、結局~となる	result $\_\_$	$\Rightarrow$ end $_{}\sim$			
□24 ~から…を奪う	$\operatorname{rob} \sim$ ···	$\Rightarrow$ deprive $\sim$			
□25 ~を我慢する, たえしのぶ	put up $\sim$	⇒, bear			
□26 ~を始める, ~にとりかかる	set ~ing	⇒			
□27 時々	now and	⇒, occasionally			
□28 (季節, 天候などが)始まる	set	<b>⇒</b>			
□29 ~を参照, ~を引用する, ~に関連がある	refer ~	⇒ relate ~ (~に関連がある)			
□30 ~をさがす	search $\_$	$\Rightarrow$ for $\sim$ , seek for $\sim$			
□31 ~に関連がある	relate~	$\Rightarrow$ refer $\sim$			
□32 ~を出発する, ~し始める	set~	⇒ set, start (~を出発する)			
□33 ~を経験する、~を通過する	pass $\_$	⇒ pass ~, experience (~を 経験する)			
□34 ~を指摘する, ~を指し示す	point ~	⇒ attention ~, indicate ~ (~を指し示す)			
□35 ~を組み立てる	set ~	$\Rightarrow$ put $\sim$			

□36 ~として認められている,~で通る	pass $_{}\sim$	$\Rightarrow$ be accepted $\sim$
□37 概して	on the	⇒
□38 ~に返答する,応じる	respond $\_\_\_$	$\Rightarrow$ reply $\sim$
<b>□39</b> ~のために	to ~	$\Rightarrow$ account $\sim$
□40 ~をかたづける	put $_{}\sim$	⇒(もとの場所にもど
		す)
□41 何とかして, どうにかして	one way or	⇒ in some
□42 ~を…に変える	reduce $\sim$ ···	$\Rightarrow$ turn $\sim$ ···
□43 ~の結果として生じる	result $\_$	$\Rightarrow$ arise $\sim$
□44 ~と…を引き離す	separate $\sim$	⇒ divide A B (A を B に分
		ける)
□45 ~に注意をはらう	attention $\sim$	$\Rightarrow$ be careful $\sim$
□46 故障して	out of	$\Rightarrow$ be with $\sim$
□47 わざと,故意に	on	図 by, by accident (偶然
		WZ)
□48 ~に…をあたえる	provide $\sim$ ···	$\Rightarrow$ $\sim$ with $\cdots$
□49 ~の方には, ~による	on the of $\sim$	⇒ on part (~の方には)
□50 ~に固執する、~を強く主張する	persist $_{}\sim$	$\Rightarrow$ insist $\sim$

<sup>-----</sup> 解答 -----

<sup>1</sup> from stop 2 for make 3 of spontaneously 4 from over 5 a a 6 not, much rather 7 one one 8 to for 9 another in 10 contrary to 11 date date 12 off postpone 13 to like, better 14 on on 15 out off 16 not 17 end continuously 18 pour cats, dogs 19 down write 20 as of, as 21 so, as even 22 on in 23 in in 24 of of 25 with endure 26 about start 27 then sometimes 28 in begin 29 to to 30 for look 31 to to 32 off out 33 through by 34 out call, to 35 up together 36 for as 37 whole generally 38 to to 39 owing on, of 40 away replace 41 another way 42 to into 43 from from 44 from into 45 pay, to of 46 order wrong 47 purpose chance 48 with supply 49 part one's 50 in on (upon)

第7日

# 長文読解・速読トレーニング ⑥

学習日 月 日

読解のポイント

may have +過去分詞/強調の do 仮定法過去(I wish +主語+過去の助動詞)

きょうは、北海道大学出題の手紙文の後半を学習します。きょうも you know, have  $\sim$  to do with, work out などの口語表現が多く出てきます。このような表現をふくむ入試問題が増えています。何度も音読して語感をつかんでおきなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

# 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.	)
(1) Latin	(2) prove
(3) concentrate [kánsəntreit]	(4) actually
(5) bother [báðə <i>r</i> ]	(6) vain [vein]
(7) fly(動)	
	いう熟語でよく用いられるので,覚えておきなさい。
<b>2. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 1.	)
(1) ラテン語の	(2) 証明する
(3) 集中する,専心する	(4) 実際に
(5) 悩ます	(6) 実質のない,虚栄心の強い
(7) 飛ぶ, 飛行機で行く	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答	答えは 4.)
(1) get good marks	(2) have (something) to do with $\sim$
	(4) by the way
	(6) for oneself
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	対語は, have nothing to do with 〜 (〜とは関係ない)です。または vith 〜 です。(3)の fill out には, fill out 〜 で「〜に必要事項を記入す らい。
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.	)
(1) いい点をとる	(2) ~に(少し)関係がある
	(4) ところで
(5) 商用で、仕事で	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

# ■ 確認トレーニング ■

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック -

skinny やせた sightseeing 観光

- (1) He has something to do with the crime.
- (2) The skinny girl filled out as she grew older.
- (3) I came here on business, so I didn't have any time to enjoy sightseeing.
- (4) If you try this for yourself, you will find it difficult to accomplish it.
  - 図 (1) 彼はその犯罪に多少関係がある。 (2) そのやせた女の子は,成長するにつれて次第に太った。 (3) 私は当地に仕事で来ました。だから,観光を楽しむための時間は全然なかったのです。
    - (4) もしあなたが自分でこれをやってみれば、それを達成することがむずかしいことがわかるでしょう。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

# トレーニング 💳

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### - テキスト 3 ----

- Part 3 ---

Bobby is doing very much better in school now. He got 90 in his last Latin test — which only goes to prove he can get good marks when he tries. But I do think his eyes may have had something to do with it. He seems to be able to concentrate much better since he started wearing glasses. You know, that boy must have grown two inches since you saw him last. Why, he can actually wear dad's clothes now! He'll be taller than dad, I think. But I wish he would fill out — he's still as thin as a rail!

Dad is fine. The only thing that seems to be bothering him these days is that he's losing his hair. (And they say men aren't vain!) By the way, dad may soon have to fly to New York on business; if he does, I'll go with him and see for myself how you are.

\* He'll be taller than dad, I think.の I think は,この文につけたしたような形になっているので,特にくぎる必要はありません。

But I wish he would  $\sim$  も,これでひとつの意味のまとまりなので,くぎりません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

* do well は「よくやる」ですが,ここでは「学校の成績がよくなる」という意味で考えなさい。 He got 90 in his last Latin test /
~ — which only goes to prove /
* which は、前文全体の内容を指しています。「そのことは」と訳します。また、ここの —— は、何かをつけ場合によく用いられます。この場合は、(2)で事実を述べ、そのうしろに自分の意見をつけたしています。
*(4)は, (3)の prove の目的語です。(that) he can get ~ と考えなさい。 But I do think /
* 〈do +動詞の原形〉の形で動詞の意味を強調して,「ぜひ, ほんとうに」の意味を表します。ここでは do z think の意味を強めています。強調の do はあとの動詞よりも強く発音します。
$\sim$ his eyes may have had something to do with it. $/$
*(that) his eyes ~ と考えなさい。may が〈may have +過去分詞〉の形で使われると,「~したのかもしれ という意味になり,might と同じように過去に関する可能性を表します。 <b>He seems to be able to concentrate much better</b> /
~ since he started wearing glasses. /
(1)~(8)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
You know, that boy must have grown two inches /
* you know は「〜ですね,〜ですからね」(たんに,相手にあいづちを求める表現)です。 must have grown 〜 は「成長したにちがいない」(現在から過去のできごとを断定する)です。 〜 since you saw him last. /
Why, he can actually wear dad's clothes now! /

2 前間でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

(13)	But I wish he would fill out /
	* I wish he would ~ は仮定法過去です。(助)動詞は過去形を使い,現在の事柄について反対の仮定,想像,願望などを表します。
(14)	~ —— he's still as thin as a rail! /
	* この ―― は,ダッシュとよばれ「つけたし」を表す印です。この場合は,(L3)で望みを言い,(L4)で現在の状態をつけ加えています。
В	(9)~(14)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(15)	Dad is fine. /
(16)	The only thing /
(17)	~ that seems to be bothering him these days /
	* that は the only thing です。この場合,that が指す表現の中に only がふくまれているので,which が that のかわりに使えないことに注意しなさい。
(18)	$\sim$ is that he's losing his hair. /
(19)	(And they say men aren't vain!) /
C	(15)~(19)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(20)	By the way, /
(21)	~ dad may soon have to fly to New York on business ; /
(22)	* may have to $\sim$ は $\lceil \sim$ しなければならないかもしれない」です。 $\sim$ if he does, $\nearrow$
(00)	* does は flies to New York を指します。
(23)	~ I'll go with him and see for myself how you are. /
D	* how you are は「あなたがどのようにしているか」です。会話表現の"How are you?"と比較しなさい。 (20)~(23)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉-

- 2 (1) ボビーは、いま学校ではるかに成績がよくなっています。
  - (2) 彼は、いちばん最近のラテン語のテストで90点をとりました \* last は「いちばん最後の」、つまり「いちばん最近の」と訳します。
  - (3) そのことは、(次のことを)証明するのに役立ちます \*ここのgoは、「~するのに役立つ」と考えなさい。
  - (4) 彼は、努力するときにはよい点がとれるということを
  - (5) しかし, 私はほんとうに(次のことを)思います
  - (6) 彼の目がこのこと(テストでよい点をとったこと)と関係があったのかもしれない,ということを
  - (7) 彼は,より集中することができるように思われます \* seem to ~ は「~するように思われる」です。
  - (8) 眼鏡をかけるようになって以来
    - \* wear glasses (必ず複数形)は「眼鏡をかける」です。 自然な日本語としては、(7)と(8)は、(8)—(7)の順で訳します。
  - (9) あの少年(ボビーのこと)は、2インチ背が高くなったにちがいありませんね
  - (10) あなたが、このまえ彼に会って以来
    - \*(9)、(10)に関しても自然な日本語では、(10)--(9)の順となります。
  - (11) 何とまあ、彼は実際、いま父さんの服を着ることができるのです。
  - (12) 私は、彼が父さんより背が高くなると思います。
  - (13) しかし、彼が太っていたらなあと思います。
  - (14) 彼は、まだレールのようにやせているのです。
    - \* as thin as a rail は「レールのようにやせている」ですが,「ひじょうにやせている」となります。このような比喩 の表現は,ほかに,as proud as a peacock (クジャクのように誇らしげに)つまり「大得意で」,as black as night (夜のように黒く)つまり「真っ黒な」,as blind as a bat (コウモリのように盲目で)つまり「目が見えないも同然の」 などがあるので覚えておきなさい。
  - (15) 父さんは元気です。
  - (16) (次のような)唯一のことは
  - (17) (そのことが)最近彼を悩ましているように思われる
  - (18) 髪の毛を失っているということです。
    - \* lose one's hair は「髪の毛が薄くなっている」と訳してもかまいません。
  - (19) (一般には, 男の人は虚栄心が強くはないと言われているのですが)
    - \* they say は「彼ら(人々)は言っている」で「一般的に言われている」となります。この場合の and は、「 $\sim$  ですが」 と訳した方が自然です。
  - (20) ところで,
  - (21) 父さんは、近いうちに仕事でニューヨークへ飛行機で行かなければならないかもしれません。
  - (22) 父さんが行く場合には.
  - ② 私も父さんといっしょに行き、自分であなたがどのようにしているのかを見るつもりです。
- ボビーは、いま学校ではるかに成績がよくなっています。彼は、いちばん最近のラテン語のテストで90点をとりました。そのことは、彼はやろうとすればよい点がとれるということを証明するのに役立ちます。しかし、私は彼の目がこのことと関係があったのかもしれないと実は思うのです。彼は、眼鏡をかけるようになって以来、ずっとよく集中できるようです。
- ボビーは、あなたがこのまえ彼に会って以来、2インチ背が高くなったにちがいありませんね。ほんとうにまあ彼は、いま父さんの服を着ることができるのです。私は彼が父さんより背が高くなると思います。でも、彼がもう少

し太っていたらなあと思います。彼は、ひじょうにやせています。

- © 父さんは元気です。最近彼を悩ませていると思われる唯一のことは、髪の毛が薄くなっているということです。 (一般には、男の人は、虚栄心が強くはないと言われているのですが)
- © ところで、父さんは、近いうちに仕事でニューヨークへ飛行機で行かなければいけないかもしれません。父さんが行く場合には、私もいっしょに行って、あなたがどのようにしているのか、自分で見るつもりです。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

# 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは (1) overdó	(2) success
	(4) lecture
(5) drive	(6) devotedly
*(1)の overdo は, <over (~を越えて)+<="" th=""><th>do (やる, 行う)&gt;です。同様に, overcóme (〜を圧倒する, 克服する)はoverláp (重なる)は⟨over + lap (部分的に重なる)⟩です。(3)の deliver の</th></over>	do (やる, 行う)>です。同様に, overcóme (〜を圧倒する, 克服する)はoverláp (重なる)は⟨over + lap (部分的に重なる)⟩です。(3)の deliver の
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは	( 1.)
(1) ~をやりすぎる	(2) 成功,成功者
(3) 述べる, (講演などを)する	(4) 講演,お説教
(5) (人を)かり立てる	(6) 没頭して,心をこめて
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)
(1) take (good) care of yourself	(2) in a hurry
	(4) long-distance
(5) send $\sim$ one's love	(6) get used to ~ing
(7) see little of $\sim$	
*(1)は通例,命令形で用います。take ca	are of 〜 で「〜の世話をする」です。(6)の get used to 〜ing の to は,不い。(7)の see little of 〜 も little に a がついていないので,否定的な意味
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えば	
(1) おからだをたいせつに	(2) 急いで
(3) 成しとげる,考え出す	(4) 遠く離れた,長い
(5) ~によろしくと言う	(6) ~するのに慣れる
(7) ~とめったに会わない	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

# ■ 確認トレーニング ■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

●例文中の単語チェック ―

greetings あいさつ faculty 教授陣 skilled 熟練した handle 扱う tax 税金 rate 率

- (1) Well, please <u>take care of yourself</u> and give my greetings to all the faculty members at the college.
- (2) You should not use a public telephone unless you are <u>in a hurry</u> because you will find other people waiting before you.
- (3) A skilled computer programmer works out a system for handling tax rates.
- (4) We got used to living in this city.
- (5) We've seen little of her recently.
  - 図 (1) では、おからだを大切に、また大学の教授陣にもよろしくお伝えください。 (2) あなたが 急いでいないのなら、公衆電話を使うのはよしなさい。というのは、あなたの前に他の人々が並んでいるのにあなたは気づくでしょうから。 (3) 熟練したコンピュータプログラマーは、税金 率を取り扱うシステムを作り出す。 (4) 私たちはこの町に住み慣れた。 (5) 最近、私たちは 彼女にほとんど会っていません。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

# ━ トレーニング ━━━

**1** 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は**2**参照)

#### -テキスト3――

-Part 4 -

Now take real good care of yourself, darling — and don't overdo it. You know how I worry when you aren't well! Your idea for a Television Theater is wonderful, and I'm sure it will be a great success; but must you do everything in such a hurry? Can't you take another week or two to work out your plans? There I go delivering a long-distance lecture! But I know how you drive yourself, dear — and I wish you would take things a little easier and try to get more rest.

Dad and Bobby send you their love. We all miss you, darling. I guess we'll never get used to seeing so little of our Jenny! Your letters help, so write soon again.

Devotedly,

Mother

(北海道大 改題)

\* Your idea for a Television Theater  $\sim$  の部分は、これでひとまとまりですから、途中でくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。

2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

~ — and don't overdo it. /
* overdo it で「(仕事,スポーツなどを)やりすぎる」です。it は特定のものを指しているのではありません You know how I worry /
* how I worry は「どれだけ私が心配するか」で,know の目的語になっていることに注意しなさい。 ~ when you aren't well! /
* well は 「体調がよい」です。 (1)~(4)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
Your idea for a Television Theater is wonderful, /
$\sim$ and I'm sure it will be a great success ; /
* I'm sure (that) it will ~ と考えなさい。 ~ but must you do everything in such a hurry? /
* such は「そのように」です。 Can't you take another week or two /
* take は「時間をかける」です。another week or two (weeks)と考えなさい。 ~ to work out your plans? /
* to ~は「~するために」(目的を表す)です。 (5)~(9)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
There I go delivering a long-distance lecture! /

	$\sim$ — and I wish you would take things a little easier /
-	*この文の take は,「考える,受けとめる」という意味の take なので注意しなさい。
	~ and try to get more rest. /
	* try は(12)の would に続いていることに注意しなさい。
	(10)~(13)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
	Ded and Della and an all all all all all all all all all
	Dad and Bobby send you their love. /
	We all miss you, darling. /
	* miss ~ は「~がいなくてさびしく思う」です。
	I guess /
	~ we'll never get used to seeing so little of our Jenny! /
-	*(that) we'll ~ と考えて訳しなさい。so は「あまりに」(意味を強める)です。
	Your letters help, /
	~ so write soon again. /
	* so は「ですから,だから」です。
	Devotedly, Mother /
	* devotedly は手紙の結びのことばです。sincerely が一般的ですが,親しい間柄では,このような結びの しばしば用いられます。
,_	4~~(20)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

in the state of th

# <del>-----</del>〈解答〉<del>-----</del>

- 2 (1) では、からだにじゅうぶん気をつけなさい(気をつけてください)
  - (2) そして、それ(仕事)をやり過ぎてはいけません。
  - (3) あなたは、私がどれだけ心配するか知っています
  - (4) あなたが,体調のよくないときに,

- (5) テレビ劇場のためのあなたの考え(アイデア)はすばらしいです
- (6) そして、それは、大成功するということを、私は確信しています。
- (7) しかし,あなたはすべてのことを,そんなに急いでやらなければならないのですか。
- (8) あなたは、もう一週間か二週間かけることはできませんか
  - \* another は「別の、もう一つの」です。
- (9) あなたの計画を考え出すために。
- (10) あらあら、こんなに遠くからのお説教になっていますね。
  - \* long-distance lecture は,long-distance call (長距離電話)にかけています。
- (11) しかし、私は、あなたがあなた自身をどんなにかり立てているかを知っています
- ⑴ そして,あなたがもう少し,物事をらくに考えてくれたらなあと思います。
- (13) そして、あなたがもっと休みをとろうと努めてくれたらなあと思います。
- (14) 父さんとボビーは、あなたによろしくと言っています。
- (15) 私たちはみんな, あなたがいなくて, さびしく思っています。
- (16) 私は(次のように)思います
- (17) 私たちは、私たちのジェニーにあまりに会わないでいることには、けっして慣れないだろうと
- (18) あなたの手紙が助けます。
  - \* helpを「心を安める、(会わないでいても)助けになる」と訳した方が,より自然な日本語になります。
- (19) ですから、すぐにまた手紙を書きなさい。(書いてください)
- (20) 心をこめて, 母より
- 函では、からだにじゅうぶん気をつけてください。そして、仕事をやり過ぎないようにしなさい。あなたの体調がよくないときは、私がどれほど心配するかあなたは知っているはずです。
- ⑤ テレビ劇場のためのあなたのアイデアは、すばらしいです。そして、それは大成功をおさめると私は確信しています。しかし、あなたは何でも万事、そんなに急いでやらなければならないのですか。あなたの計画を考え出すために、あなたはもう一週間か二週間かけることはできませんか。
- © あらあら、こんなに遠くからのお説教になっていますね。しかし、私はあなたがあなた自身をどんなにかり立て ているかを知っています。そして、あなたがもう少し物事をらくに考え、もう少し休みをとろうと努めてくれたら なあと思います。
- □ 父さんとボビーは、あなたによろしくと言っています。私たちはみんな、あなたがいなくてさびしく思っています。私たちのジェニーにあまりに会わないでいることに、私たちはけっして慣れないだろうと思います。あなたの手紙が心を安めてくれます。ですから、すぐにまた手紙を書いてください。

心をこめて 母より

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (251~300・第1回)

•	に適切な品を記入し、日本品に合	7 熱品を元成させなさい。(今は9	現 <b>表</b> 器,図は区息器を示す)
□ 1	~を自慢する	take pride $\sim$	$\Rightarrow$ be proud $\sim$
□ 2	起こる,催される	take	⇒about (起こる), happer
			(起こる)
□ 3	~に関する限りは	(as) far as $\sim$ be	⇒ as ~ (~に関しては)
□ 4	…と同じ種類の	the same $\sim$	⇒ the ~ that ··· (…と同じ)
□ 5	(責任を)引き受ける,~を雇い入れ	take ~	⇒ be responsible~(~の責
る			 任を負う)
□ 6	~するように	so to do (be) $\sim$	⇒ in to ~(~するため
		<del></del>	(Z)
□ 7	遅かれ早かれ	sooner later	⇒ (the) course time
			 (そのうちに)
□ 8	~を利用する	take of $\sim$	$\Rightarrow$ make of $\sim$
□ 9	~を引き継ぐ、~をゆずり受ける	succeed~	→ take ~ (~を引き継ぐ)
□10	~のことを話す	speak~	⇒ talk~
□11	要約する	sum	<b>→</b>
<b>□12</b>	話し合う、相談する	talk	 ⇒(話し合う)
□13	~に参加する,~に出る	take in $\sim$	$\Rightarrow$ participate $\sim$
<b>□14</b>	(明かりなどを)つける	turn~	 図 turn~(〈明かりなどを〉
			<u></u> 消す)
□15	~のおかげで,~のために	thanks ~	⇒ account ~ (~のた
			めに)
□16	定住する,落ち着く,身を固める	settle	⇒ one's residence (定住す
		-	る)
<u></u> 17	いわば、つまり	so speak	⇒ as it
□18	~を引きつぐ	take~	⇒ succeed ~
□19	~を取り上げる,~を取り入れる	take ~	
□20	ある程度まで、いくぶん、多少	toextent	⇒ more less (多少)
□21	~を…とともにする	share $\sim$	
□22	~であるあいだは,~である限り	so as ~	⇒ as as ~ (~である限り)
□23	~の給仕をする, ~を接待する	wait ~	→
□24	~にもかかわらず	all ~	⇒ in spite ~
□25	すなわち, つまり	that is to	⇒(すなわち)
□26	~に取り組む	work~	$\Rightarrow$ engage $\sim$ , work at $\sim$
□27	今までに	so	⇒ far
□28	~を心配する	worry ~	⇒ be anxious~
□29	~を…とみなす	think of $\sim$ ···	$\Rightarrow$ look $\sim$ as
□30	容易に,楽々と	with	 図 with(苦労して)
□31	~を断わる, ~を拒絶する	turn ~	⇒(~を拒絶する)
□32	~を解く	work ~	$\Rightarrow$ , figure out $\sim$

□33 ~を当たりまえのことと思う	take $\sim$ for	$\Rightarrow$ take $\sim$ as matter of
□34 ~を取り出す、~を連れて出る	take ~	 図 put~(~を入れる,~を差 し込む)
□35 ~に負ける, ~に屈して譲る	yield $_{}\sim$	$\Rightarrow$ give to $\sim$
□36 (食卓を)片づける, ~を取り去る	take $\sim$	⇒
□37 ~を見つめる	stare ~	$\Rightarrow$ gaze $\sim$ , look at $\sim$
□38 ~となる, ~と判明する	turn $\sim$	⇒ <u> </u>
□39 ~に似ている, ~ゆずりである		⇒(~に似ている)
□40 ゆっくり時間をかけてする	take to do $\sim$	圆 no time in ∼ing (時を移
		さずすぐにする)
□41 ~のような人(物), たとえば	such	⇒ example (たとえば)
□42 ~を重んじる, ~を大事にする	_	⇒ make of ~ (~を重んじ
		る)
□43 ~次第で、~まで	up ~	⇒ depend ~ (~次第で)
□44 かならず, きっと	without	⇒(きっと), certainly(き
		っと)
□45 ~をだます、~を理解する	take $\_\_$	⇒(~をだます)
□46 ~になやむ,~で苦しむ	suffer $\_\_\_$	$\Rightarrow$ be trouble $\sim$
□47 ~を見わける, ~をよりわける	sort ~	⇒(~を見わける)
□48 ~にとって代わる	take of	$\Rightarrow$ be substituted $\sim$
	~	
□49 ~を支持する, ~を表す	stand $_{}\sim$	⇒ support (~を支持する),
		represent (~を表す)
□50 離陸する, ぬぐ	take	図 put(身につける)

<sup>1</sup> in of 2 place come 3 so, concerned for 4 as same 5 on for 6 as order 7 or in, of 8 advantage use 9 to over 10 of about 11 up summarize 12 over discuss 13 part in 14 on off 15 to on, of 16 down fix 17 to were 18 over to 19 up 20 some or 21 with 22 long long 23 on serve 24 with of 25 say namely 26 on in 27 far thus 28 about about 29 as on (upon) 30 ease difficulty 31 down refuse 32 out solve 33 granted a, course 34 out in 35 to way 36 away remove 37 at at 38 out prove 39 after resemble 40 time lose 41 as for 42 much much 43 to on 44 fail surely 45 in deceive 46 from in, with 47 out distinguish 48 the, place for 49 for 50 off on

第8日

# 長文読解・速読トレーニング ⑦

学習日 月 日

読解のポイント

様態を表す as/過去完了 関係副詞 when

きょうは、一橋大学の入試に出題された憲法についての論説文をテキストにして学習します。上に示したポイントのほかにも、be free to ~、come about、vary from といった重要表現、および前文の内容全体を指す this といった文法項目が出てきます。論説文は、入試での出題頻度の高い文章なので、内容の把握にも注意しなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

# 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは)	2.)
(1) investigate [invéstəgeit]	(2) origin [5(:)rid3in]
	(4) practically
(5) adopt [ədápt]	
	(8) neighbouring [néibəriŋ]
(9) community	(10) unite [ju:náit]
	。(3)はきょうのテキストの意味では,大文字で始めます。小文字の場合 ⊃動詞形は,govern (統治する,治める)です。(8)は,米語で .rbo(u)r などがあります。
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは)	1.)
(1) 調べる	(2) 起源
	(4) 実際に,ほとんど
(5) 採用する, (法案などを)可決する	(6) 政府,政治
	(8) 隣接の
(9) 地域社会	(10) 一つになる,連合する
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(	答えは 4.)
(1) without exception	(2) draw up
(3) make a fresh start	(4) so far as $\sim$ be concerned
(5) either $\sim$ , or $\cdots$	(6) release $\sim$ from $\cdots$
(7) as a result of $\sim$	(8) be free to $\sim$
$*(4)$ には同じ意味で,as far as $\sim$ be cond	cerned もあります。
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい。</b> (答えは 3	3.)
(1) 例外なく	(2) (文書を)作成する
(3) 新しく出発する	(4) ~に関する限り
(5) ~か, それとも	(6) ~を…から開放する
(7) ~の結果として	(8) 自由に~できる

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### 確認トレーニング ■■■

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

●例文中の単語チェック ――

quarrel 口論 regarding~に関する flat アパート meaningful 有意義な require 必要とする

- (1) There is no rule without exception.
- (2) Quarrel regarding flats vs. individual houses will continue for a long time so far as Britain is concerned.
- (3) Meaningful communication requires effort, but many people today are <u>either</u> unwilling <u>or</u> unable to make this effort.
  - 図 (1) 例外のない規則はない。 (2) アパート対一戸建て住宅に関する口論は、イギリスに関する限り長く続くでしょう。 (3) 有意義なコミュニケーションは、努力を必要とします。しかし、今日の多くの人々は、この努力をしようとしたがらないか、もしくは努力できないのです。

知らなかったもの, まちがえたものには, 赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では, いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

# トレーニング

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### ーテキスト4―

- Part 1 **–** 

If we investigate the origins of modern Constitutions, we find that, practically without exception, they were drawn up and adopted because people wished to make a fresh start, so far as the statement of their system of government was concerned. The desire or need for a fresh start arose either because, as in the United States, some neighbouring communities wished to unite together under a new government, or because, as in Austria or Hungary or Czechoslovakia after 1918, communities had been released from an Empire as the result of a war and were now free to govern themselves.

\* so far as  $\sim$  の文は,これでひとまとまりになるので,途中でくぎってはいけません。 unite together under a new government も,under  $\sim$  をくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

2)	~ we find /
3)	$\sim$ that, practically without exception, they were drawn up and adopted $/$
4\	* draw up は「(憲法を)作りあげる」です。up は、「完全に」という意味をつけ加えています。ほかには、make up (作りあげる), fill up (いっぱいに満たす)などがあります。adopted は were adopted です。
!)	$\sim$ because people wished to make a fresh start, $/$
)	$\sim$ so far as the statement of their system of government was concerned. $/$
N	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
)	The desire or need for a fresh start arose /
)	~ either because, as in the United States, /
	* either は,(9)の or との相関語句なので注意しなさい。as は「~のように」という意味で様態・仕方を表す as て す。
)	$\sim$ some neighbouring communities wished to unite together under a new government, $\nearrow$
	*この文は,(7)の because に続いている文なので,注意して訳しなさい。(必ず最後を「~だから」もしくは,「~という理由で」で終りなさい。) under は「~のもとで」です。
)	$\sim$ or because, as in Austria or Hungary or Czechoslovakia after 1918, $\nearrow$
)	* after 1918 & Austria after 1918 or Hungary after 1918 or Czechoslovakia after 1918 です。 ~ communities had been released from an Empire /
	*(10)の文は, (9)の because に続いている文です。had been released ~ は,あとにでてくる(12)の文の時よりも前に起きたできごとを述べているので, had been という過去完了が用いられています。訳では,「もうすでに…していた」とすると,時間の関係がはっきりします。
)	~ as the result of a war /
	* war の発音は,[wɔ:r]です。
)	$\sim$ and were now free to govern themselves. /
	* now は「いまや」で「今現在」という意味ではなく,「そのとき,ちょうど」という意味で用いられています。こ

2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

の文も、(9)の because に続くので注意しなさい。

B (6) $\sim$ (12)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

 <del></del> <	解	答	<b>&gt;</b> —	 

- 2 (1) もし、私たちが近代の憲法の起源を調べるなら、
  - (2) 私たちは、(次のことが)わかる
  - (3) ほとんど例外なく、それら(近代の憲法)が作りあげられ、採用されたということを
  - (4) 人々が新しい出発をすることを望んだので,
  - (5) 彼らの政治の体系についての声明に関する限り
    - \*(5)は、「憲法に書かれている政治の体系(政治制度)についての声明に関する限り」と訳します。また、(2)~(5)は、(3) -(4)~(5)-(2)の順で訳していきます。
  - (6) 新しい出発に対する望み、もしくは必要性が生じた
  - (7) なぜならアメリカ合衆国のように(次のような)理由が,
  - (8) いくつかの隣接している地域社会が、新しい政府のもとに一つにまとまりたいと思ったから
  - (9) もしくは、1918年以降のオーストリア、ハンガリーまたはチェコスロバキアのように、
  - (10) (いくつかの)地域社会が、もうすでに帝国から解放されていたから
  - (11) 戦争の結果,
  - (位) そして、いまや自分たち自身を自由に統治することができるようになったから。
- □ もし私たちが近代の憲法の起源を調べるならば、私たちは、人々が新しい出発を望んだので、近代の憲法が作り あげられ、採用されたということが、彼らの政治制度についての声明に関する限り、ほとんど例外なくわかる。
- 画 新しい出発に対する望み、または必要性は、アメリカ合衆国のようにいくつかの隣接している地域社会が新しい政府のもとに一つにまとまりたいと思ったからか、もしくは、1918年以降のオーストリア、ハンガリー、チェコスロバキアのようにいくつかの地域社会が戦争の結果、もうすでに帝国から解放されていて、自由に自治を行えるようになったという理由から生じた。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは2.)

(1) circumstance	(2) break(名)
(3) vary [vέ(:)∂ri]	(4) elementary [eləmént∂ri]
(5) outline(名) [áutlain]	(6) propose [prəpóuz]
(7) practice(名)	(8) draft(動) [dræft]
(9) imitátion	(10) force(名)

\*(2)はここでは名詞です。動詞では、「破壊する、破る」です。(6)は  $\langle pro(inc) + pose(置く) \rangle$  です。同じような 語尾をもつ単語には、compose (組み立てる、作る)の  $\langle com(共に) + pose \rangle$ 、impose (課する)の  $\langle im(上に) + pose \rangle$ 

pose〉などがあります。

3) 異なる 5) 大要,概略	(2) (関係を)たつこと (4) 初歩の、基本的な
5) 大要, 概略	
	(6) 提案する
	(8) 草案を書く
9) 模倣	(10) 力,影響
次の語句と表現の意味を書きなさい。(答	等えは 4.)
1) come about	(2) vary from $\sim$
3) for some reason	(4) in modern times
5) put down	(6) in writing
7) no doubt	(8) as the years pass
	(2) ~とちがう, 異なる
次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.	)
	(4) 現代において
5) 書きとめる	(6) 文章で
7) 疑いなく,確かに	(8) 何年もたつにつれて
では, いまチェックした語句と表現を, 実際の	文中で訳せるかどうか確認しなさい。
■■■ 確認トレーニング ■■■■	
HEROI V — V V — — — — — — — — — — — — — — —	
	`確認しなさい。
線部に注意して,次の文が訳せるかどうか	
線部に注意して,次の文が訳せるかどうか ───●例文中の単語チェック ────	
·	

認(1) その災害は、大雪の結果おこった。(2) 彼女の話はあなたのとは少しちがっていた。(3) あなたの名前と住所を書きとめさせてください。(4) 確かに彼は彼女を手助けするつもりであったが、しかし、彼は事態をいっそう悪化させてしまった。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけて何度も練習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

(4) No doubt he intended to help her but he has made things worse.

# ■ トレーニング ■

# ■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

<del></del>		——— Part 2 ——
-------------	--	---------------

The circumstances in which a break with the past and the need for a fresh start come about vary from country to country, but in almost every case in modern times, countries have a Constitution for the very simple and elementary reason that they wanted, for some reason, to begin again and so they put down in writing their main outline, at least, of their proposed system of government. This has been the practice certainly since 1781 when the American Constitution was drafted, and as the years passed no doubt imitation and the force of example have led all countries to think it necessary to have a Constitution. (一橋大 改題)

\*… wanted, for some reason, to  $\sim$  , … main outline, at least, of their  $\sim$  は,途中でくぎらず,wanted to  $\sim$  , outline of their  $\sim$  の形がひとまとまりになるようにしなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。

## **2** 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

述べています。

(1)	The circumstances /
(2)	$\sim$ in which a break with the past and the need for a fresh start come about $/$
	* in which は in the circumstances です。 a break with the past and the need for a fresh start が come about の 主語です。
(3)	~ vary from country to country, /
	* from country to country は「国から国へ」で「それぞれの国によって」となります。このような表現では, country に a はつけません。from town to town (町によって),from day to day (日ごとに)なども同じです。
(4)	~ but in almost every case in modern times, /
(5)	~ countries have a Constitution /
(6)	~ for the very simple and elementary reason /
	* for ~ reason は「~の理由で」です。
(7)	~ that they wanted, for some reason, to begin again /
	* that N下の節は(6)と同核の名詞節で (6)の the very simple and elementary reason とは何かについて具体的に

^	- their main outline, at least, of their proposed system of government. /
	*この文は, at least their main outline of their ~ と考えて訳しなさい。 proposed は「提案された」で「こうしようと考えた」となります。
(1	L)~(9)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
T	This has been the practice /
	* this は,前文の内容すべてを指しています。現在完了形(has been)に注意して訳しなさい。 〜 certainly since 1781 /
	~ when the American Constitution was drafted, /
	* この when は副詞と接続詞の働きをあわせもつ関係副詞の限定用法で,(II)の 1781 が先行詞です。 ~ and as the years passed /
	* as は「~するにつれて」です。 ~ no doubt imitation and the force of example /
	* the force of example は「先例の力」で「先例からうける影響」となります。
	~ have led all countries to think it necessary to have a Constitution. /
	* lead ~ は「~を導く」です。it は to have ~ を指します。
[]	(0)~(15)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

### ----·〈解答〉------

- 2 (1) (次のような)事情は,
  - (2) (その事情において)過去との関係をたち、そして新しい出発への必要性が生じる(のだが)
  - (3) それぞれの国によって異なる
  - (4) しかし、現代におけるほとんどすべての場合では、
  - (5) (いろいろな)国々は、憲法をもっている
  - (6) ひじょうに単純な、そして、基本的な(次のような)理由で、
    - \* for the very simple and elementary reason $\sim$  を「 $\sim$ というまさにその理由で」と訳してもかまいません。
  - (7) (その理由は)彼らが何かの理由で、再び始めたいと思った(というものである)
    - \* begin again は、「再出発する」と訳した方が自然です。

- (8) そこで、彼らは(次のようなことを)文章にして書きつけた。
- (9) 少なくとも、彼らがこうしようと考えた政治体制のおもな概略を
- (10) このことは、慣例になってきている
- (11) たしかに 1781 年以来,
- (12) (その年に)アメリカの憲法は、草案が書かれた \*「アメリカの憲法の草案が書かれた」と訳すと自然な日本語になります。
- (13) そして, 年がたつにつれて,
- (14) 明らかに、模倣と、先例からうける影響が、
- (15) すべての国々を、憲法をもつ必要があると思うように導いてきた。
  - \*「すべての国々が、憲法をもつ必要があると考えるようになってきた」と訳します。
- 函去との関係をたち、そして新しい出発への必要性が生じる事情は、それぞれの国によって異なるが、現代におけるほとんどすべての場合、次のようなまことに単純かつ基本的な理由で国々は憲法をもっている。つまりなんらかの理由で再出発したいと願い、そこで少なくともその実現しようとする政治体制の概略だけは書きつけておいたのである。
- ② このことは、アメリカの憲法の草案が書かれた1781年以来、習慣になってきている。そして、年がたつにつれて、明らかに、模倣や、先例からうける影響によって、すべての国々が憲法をもつ必要があると考えるようになってきた。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (1~50・第2回)

#### に適切な語を記入し,日本語に合う熟語を完成させなさい。(⇨は類義語,図は反意語を示す) □1 詳しく,十分に at (full) ⇒ detail (詳しく) \_\_\_\_ oneself to $\sim$ $\Rightarrow$ concentrate $\sim$ □ 2 ~に専念する account $\sim$ □3 ~を説明する 図 prevent ~ \_\_\_\_\_ …ing (~が… $\sim$ to do $\cdots$ □4 ~に…するのを許す するのを妨げる) admit $\_\_\_$ □5 ~の余地がある $\Rightarrow$ allow \_\_\_\_ $\sim$ \_\_\_\_ to do (be) $\sim$ □6 ~のように見える, ~と思われる $\Rightarrow$ \_\_\_\_ to do (be) $\sim$ □ 7 概して, 一般に as a \_\_\_\_\_ □ 8 ~を見舞う ⇒ inquire ~ ⇒ as \_\_\_\_ ~ □9 まるで~のように □10 ~など, ~の類 $\Rightarrow$ $\sim$ and so (forth) $\sim$ and the □11 とにかく at any □12 (場所)~まで, ~の限りは as \_\_\_\_\_ as ~ $\Rightarrow$ \_\_\_\_ far as $\sim$ ( $\sim$ の限りは) ⇒ have ~ hand □13 ~に着手している be engaged $\sim$ □14 ほとんど □15 ~に関して, について to $\sim$ □16 ~に当てはまる apply $_{---}\sim$ $\Rightarrow$ be applicable $\sim$ ⇒ be \_\_\_\_\_with ~ (~に精通 be \_\_\_\_\_ with $\sim$ □17 ~と知り合いだ,~に精通している している) 図 at \_\_\_\_\_(少なくとも) □18 せいぜい, 多くても $\Rightarrow$ a \_\_\_\_\_ of $\sim$ □19 一種の~ a sort \_\_\_\_ oneself to $\sim$ □20 ~に順応する $\Rightarrow$ oneself to $\sim$ be absorbed $\_$ 図 be tired ~ (~に飽きてい □21 ~に没頭する, ~に夢中になる □22 そういうものとして □23 ~の結果として \_\_\_\_ a result \_\_ $\Rightarrow$ \_\_\_\_ consequence \_\_\_ $\sim$ □24 それでも、それにもかかわらず □25 まるで~かのように according □26 ~によると、~に従って ⇒ in agreement って) the time □27 (その間)ずっと, いつも ⇒ \_\_\_\_\_(いつも) $\Rightarrow$ at the \_\_\_\_\_ of $\sim$ □28 ~の危険をおかして \_\_\_\_ the risk \_ ⇒ \_\_\_\_\_(特に) □29 とりわけ,特に \_\_\_\_all as it \_\_\_\_\_ □30 いわば ⇒ so to \_\_\_\_\_ ⇒ \_\_\_\_\_(そのほかに) $\square$ 31 ~は別として、~のほかに $\Rightarrow$ \_\_\_\_ long as $\sim$ □32 ~である限り as $\_$ as $\sim$ as $\_$ as $\sim$ $\Rightarrow$ no \_\_\_\_\_ than $\sim$ ( $\sim$ $\mbox{\colored}$ ) □33 ~と同じだけ, ~も □34 少なくとも \_\_\_\_ least 园 at \_\_\_\_\_(多くても) □35 一度に, 同時に \_\_\_\_ a time ⇒ at the \_\_\_\_\_ time (同時に)

⇒ in the (概して)

a whole

□36 全般的に、全体として、概して

<b>□37</b> かえって	the more	⇒ more and, increasingly
□38 ~に直面する	be with $\sim$	$\Rightarrow$ be with $\sim$
□ <b>39</b> ~とつきあう	associate $\_$	$\Rightarrow$ keep with $\sim$
	for ~	⇒ to ~
─ <b>□41</b> 仕事をして	work	図 at(休息をして)
□ <b>42</b> 時々	at	⇒
□43 ~に従事している	be in ~ing	$\Rightarrow$ be in $\sim$ ing
□ <b>44</b> そのままに,あるがままに	it is	
□45 同時に	the same time	⇒ at time
□46 ~を犠牲にして	the cost $\sim$	$\Rightarrow$ at the of $\sim$
	yet	圆 not(まだ~でない)
□48 じつは <b>,</b> 実際のところ	a matter fact	⇒ fact
	as	⇒ addition (その上に)
□50 大量の~, たくさんの~	great deal $\sim$	$\Rightarrow$ large quantity $\sim$
		(大量の~)

<sup>7</sup> rule generally 8 after after 9 though if 10 like on 11 rate anyhow 12 far so 13 on in

<sup>14</sup> but almost 15 as regarding 16 to to 17 acquainted familiar 18 most least 19 of kind

<sup>20</sup> adjust adapt 21 in of 22 such 23 as, of in, of 24 yet nevertheless 25 if though 26 to with

<sup>27</sup> all always 28 at, of peril 29 above particularly 30 were speak 31 from besides 32 long so

<sup>33</sup> much less 34 at most 35 at same 36 as main 37 all more 38 faced confronted

<sup>39</sup> with company 40 as as 41 at rest 42 times occasionally 43 engaged occupied 44 as

<sup>45</sup> at a 46 at, of expense 47 as yet 48 as, of in 49 well in 50 a, of a, of

第9日

# 英作文② 語句・短文問題①

学習日 月 日

重要表現 たいしたことはない 最後にものをいう

does not amount to much ultimately make(s) difference

日本語の「最後にものをいう」という表現が英語になると、日本語にはふくまれない「ちがい」、つまり"difference"ということばが使われています。このような英語的な発想のひとつひとつをマスターするつもりで学習を進めなさい。

### -例 題1----

若い人々をいましめる言葉として、「少年老い易く学成りがたし」という忠告を私たちは昔からくりかえし聞かされてきた。人間がもって生まれた才能などというものは結局大したことはないのであって、当人の終始変わらない努力が最後にものをいうのである。 (一橋大)

まず、次の表現を覚えなさい。原文の文脈を正しく把握すること。

# ■■■ 確認トレーニング ■■■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

# ▶いましめの言葉として

- (a) as advice (for) (「忠告」,「助言」と考えた場合)\* advice は数えられない名詞です。文脈上,「いましめ」を「警告」としてはいけません。
- (1) 学生をいましめる言葉として
- (2) 運転者をいましめる言葉として
- (3) 新入生をいましめる言葉として
  - 〈訳 例〉 (1) as advice for students
    - (2) as advice for drivers
    - (3) as advice for freshmen

## ▶「少年老い易く学成りがたし」

- (a) "Art is long and life is short."
  - \*ことわざなので、そのまま暗記しなさい。引用符を忘れてはいけません。この場合の art は、学問一般を指します。
- (4) 「時は金なり」
- (5) 「必要は発明の母」

- 〈訳 例〉 (4) "Time is money."
  - (5) "Necessity is the mother of invention."

# ▶昔からくり返し聞かされてきた

- (a) we have heard over and over again (「聞く」主体を主語にした場合)
- (b) ~ has been repeated since ancient times (「聞く」対象を主語にした場合)
- (c) we have often heard it said that ~ (〈感覚動詞+目的語+過去分詞〉の形にした場合) \*時制は現在完了継続用法です。(a), (c)では, とくに「昔から」を訳出する必要はありません。
- (6) 昔からくり返し見せられてきた
  - \*この場合,(b),(c)は使用できません。また,「聞かされた」「見せられた」6外にこの表現は当てはまりません。
  - 〈訳 例〉 (6) we have seen over and over again

# ▶人間がもって生まれた才能などというもの

- (a) our natural talent
- (b) a person's innate gift\*「人間」には文全体の主語に応じて適切な所有格を用います。「などというもの」は訳出不要です。
- (7) 人間がもって生まれた美しさというもの
- (8) 人間がもって生まれた知恵というもの
- (9) 君がもって生まれた運動神経
  - 〈訳 例〉 (7) our natural beauty または a person's innate beauty
    - (8) our natural wisdom または a person's innate wisdom
    - (9) your natural coordination または your innate coordination

# ▶終始変わらない努力

- (a) [our] steadfast effort (「着実な努力」とした場合)
- (b) perseverance (一語で表現した場合)
- (10) 終始変わらぬ愛
- (11) 終始変わらぬ信仰
- (12) 終始変わらぬ決心
  - \*いずれにも perseverance は使用できません。
  - 〈訳 例〉 (10) steadfast love
    - (11) steadfast faith
    - (12) steadfast resolution

(	吉局
	a) in the long run
(	b) after all
	*熟語として暗記しなさい。
(13)	私は結局損をすることにはならないと信じている。
(14)	彼は入らないと言ったが,結局入ってきた。
⟨}	(13) I trust that, in the long run, I shall not be a loser.  (14) He said he would not come in, but he came in after all.
Ţ	以上の基本的な表現は,何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。
ど	では,例題1の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてトレーニングします。
	= 重要表現1●大したことはない ====================================
1	does not amount to much (「大した量に相当しない」と考えた場合)
2	we cannot too much depend upon ~ (「~をあまり当てにできない」とする場合)
	たれでは、トレーニングに進みます。
	トレーニング
<b>う</b> 意 (1)	■ トレーニング ■■■■■
<b>う</b> 意 (1) (2)	トレーニング 「 )の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「大したことはない」とい 意味の英語表現を完成させなさい。 does not amount [ on, to, too ] [ many, more, much ]
う 意 (1) (2)	トレーニング ③ の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「大したことはない」とい意味の英語表現を完成させなさい。  does not amount [on, to, too] [many, more, much] we cannot too depend  での日本語の意味を表す英文を完成させなさい。  私の英語は大したことはありません。
う (1) (2) ジ (1)	トレーニング  ③ の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「大したことはない」とい意味の英語表現を完成させなさい。  does not amount [on, to, too] [many, more, much] we cannot too depend  ②の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。  私の英語は大したことはありません。  My 彼女の教えることは大したことはない。
) <b>う</b> 意 (1) (2)	トレーニング  ③ の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「大したことはない」とい意味の英語表現を完成させなさい。  does not amount [on, to, too] [many, more, much] we cannot too depend  ズの日本語の意味を表す英文を完成させなさい。  私の英語は大したことはありません。  My

teaches. (3) His income does not amount to much. (4) We cannot too much depend upon

the <u>new</u> policy.

===== 重要表現 2 ● 最後にものをいう ====================================
<ul> <li>① ultimately make(s) difference (「ものをいう」を「差違を生じる」と考えた場合)</li> <li>② what counts in the end is … (「ものをいう」を「ものの数にはいる」と考えた場合)</li> </ul>
それでは,トレーニングに進みます。
トレーニング
③ 〔 〕の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「最後にものをいう」という意味の英語表現を完成させなさい。
<ul> <li>(1) ultimately ( is, say(s), make(s) ) ( different, things, difference )</li> <li>(2) counts ( for, in, to ) the is ~</li> </ul>
4 次の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
<ul><li>(1) スピードが最後にものをいう。</li><li>Speed</li></ul>
(2) 君の誠実が最後にものをいうよ。 sincerity.
(3) 最後にものをいうのは金ではない。 money.
(4) 何が最後にものをいうのですか。 What?
(解答) 3 (1) make(s), difference (2) what, in, end (1) Speed <u>ultimately makes difference</u> . (2) <u>What counts in the end is your sincerity</u> . (3) What counts in the end is not money. (4) What <u>ultimately makes difference</u> ?
■■■■ 実戦トレーニング ■■■■■  5 例題1全文を英語に訳しなさい。
若い人々をいましめる言葉として、「少年老い易く学成りがたし」という忠告を私たちは昔からくりかえし聞かされてきた。人間がもって生まれた才能などというものは結局大したことはないのであって、当人の終始変わらない努力が最後にものをいうのである。

- (訳 例) **5** We have heard over and over again the proverb, "Art is long and life is short," as advice for young people. In the long run we cannot too much depend upon our natural talent. What counts in the end is our steadfast effort. または"Art is long and life is short" has been repeated since ancient times as advice for youths. After all a person's innate gift does not amount to much, but perseverance ultimately makes difference.
  - \*「いましめる言葉」を advice で表すので、「忠告」をそのまま advice にしないで「ことわざ」は the proverb として表します。 英語に訳すときには、こうした変更も必要な場合があります。

# 語句・短文問題 ——重要熟語の文中トレーニング——

きょうの後半は,反復トレーニングしている重要熟語 300 の中から 100 を選び,実際の文中で用いるトレーニングをします。このトレーニングは,今回を含めて 3 回行います。熟語の知識は,例文による学習を通じてこそ本当の実力になります。しっかりトレーニングしなさい。

# トレーニング

次の_	に適切な語を入れて,日本文の意味に合う英文を完成させなさい。
(1)	He spent money on buying books.
	(彼は本を買うのに, ずいぶん多くのお金を費した。)
(2)	This is not a dictionary, but reference book.
	(これは辞書ではなくて一種の参考図書だ。)
(3)	, you should not tell anybody about the case.
	(とりわけ, あなたがたはその事件についてだれにも話してはいけません。)
(4)	the newspaper, the president is a candidate to succeed himself in
	the forthcoming election.
	(その新聞によると大統領は次期再選を目指して立候補している。)
(5)	Please your absence from school yesterday.
	(きのう学校を欠席した理由を説明してください。)
(6)	I tried to my new environment.
	(私は新しい環境に順応しようとした。)
(7)	The situation improvement.
	(この事態は改善の余地がある。)
(8)	She was hit by a car and now she is dead.
	(彼女は自動車にはねられ、ほとんど死にかけている。)
(9)	His remark made her angry.
	(彼のひとことが彼女をかえっておこらせてしまった。)
(10)	My wife was chattering with her friend
	(私の妻はその間ずっと友だちとおしゃべりしていた。)
	〈解答〉 (1) a, great, deal, of (2) a, sort, of (3) Above, all (4) According, to (5) account, for (6) adjust, myself, to (7) admits, of (8) all, but (9) all, the, more (10) all, the, time
(11)	My parents me enter the world of show business.
	(両親は私が芸能界にはいるのを許してくれた。)
(12)	He is good at swimming, skiing
	(彼は水泳, スキーなどが得意だ。)
(13)	I am very tired, I have to go out.
	(私はとてもつかれているが、それでも外出しなければならない。)
(14)	the cost, I think your plan is very nice.
	(費用は別として,私はあなたの計画はとてもすばらしいと思います。)

(15)	The man be a merchant.
	(その男は商人のようにみえた。)
(16)	He the study of ancient history.
	(彼は、古代史の研究に専念した。)
(17)	This training method doesn't beginners.
	(この訓練方法は初心者には当てはまらない。)
(18)	, my daughter did it.
	(じつは私の娘がそれをしたのだ。)
(19)	A great number of people were killed the accident
	(非常に多くの人々がその事故の結果死んだ。)
(20)	, old people get up early.
	(概してお年寄りは早起きだ。)
	〈解答〉 (11) allowed, to (12) and, the, like (13) and, yet (14) Apart, from (15) appeared, to (16) applied, himself, to (17) apply, to (18) As, a, matter, of, fact (19) as, a, result, of (20) As, a, rule
(21)	The American way of life can hardly spoken of
	(アメリカの生活習慣を全般的に語ることは <b>,</b> ほとんどできない。)
(22)	We went New York by train.
	(我々は、ニューヨークまで汽車で行った。)
(23)	me, I like Chinese dishes best.
	(私に関していうと,中華料理が一番好きだ。)
(24)	He looks he had nothing to worry about.
	(彼はまるで何も心配事がないかのように見える。)
(25)	Leave the chair, please.
	(いすはそのままにしておいてください。)
(26)	We acted,, as her bodyguard.
	(我々は, いわば彼女の護衛役をやったのだ。)
(27)	We don't care whatever you do, you don't bother us.
	(我々は、きみが我々をじゃましない限り、きみが何をしようとかまわない。)
(28)	Take you need.
	(あなたが必要とするだけ取りなさい。)
(29)	I am a student and I want to be treated
	(私は学生なので, そういうものとして扱ってもらいたい。)
(30)	John lookd he were angry.
	(ジョンは, まるでおこっているように見えた。)
	〈解答〉 (21) as, a, whole (22) as, far, as (23) As, for (24) as, if (25) as, it, is (26) as, it, were (27) as, long, as (28) as, much, as (29) as, such (30) as, though
(31)	our plan, we must first decide the date.
(01/	our plan, we must first decide the date.  (我々の計画に関して,まず日程を決めなければならない。)
	、レシヒ ト ーン ฅ「戸1/2  // U と f

(32)	He gave her a silk dress and a ring	•	
	(彼は彼女に絹のドレスのほかに指輪もあげた。)		
(33)	They have not known the fact	·	
	(今までのところ,彼らはその事実を知らない。)		
(34)	We our sick friend	d.	
	(我々は,病気の友を見舞った。)		
(35)	You'd better not	such a man.	
	(あなたはそんな男とつきあわないほうがいい。)		
(36)	Please pass them to me	<u>.</u>	
	(それらを一度に渡してください。)		
(37)	, I'll meet him.		
	(ともかく彼に会ってみよう。)		
(38)	You should study three	e hours a day.	
	(あなたがたは、一日に少くとも三時間は、勉強す		
(39)	He explained the result		
	 (彼は, その結果を詳しく説明した。)		
(40)	The book will cost 1000 yen		
	(その本はせいぜい 1000 円だろう。)	<del></del>	
	〈解答〉 (31) As, to (32) as, well (33) as, yet (34)	asked, after (35) associate, with (36) at, a, t	ime
	(37) At, any, rate (38) at, least (39) at, le	ength (40) at, most	
(41)	The dam was built	a number of people.	
	(そのダムは、多数の人を犠牲にして建てられた。)	)	
(42)	She rescued the drowning daughter	her life.	
	(彼女は自分の命の危険をおかして溺れかかってい	る娘を救った。)	
(43)	He is not honest, but we must admit	that he	is very
	smart.		
	(彼は正直ではないが、我々は同時に彼がすごく頭	「がよいことも認めなければならない。)	
(44)	I listen to classical music	·	
	(私はときどきクラシック音楽をきく。)		
(45)	He is in his room now.		
	(彼は今部屋で仕事をしている。)		
(46)	She his music	с.	
	(彼女は,彼の音楽に夢中である。)		
(47)	I the pres	sident of the firm.	
	(私はその会社の社長と知り合いである。)		
(48)	Most of the villagers	farming.	
	(村人のほとんどは農業に従事している。)		
(49)	She a new	literary work in London.	
	 (彼女はロンドンで新しい文芸作品に着手していた		
(50)	We have continuously	difficulties in accomplishing	g the
	work.		

(我々は、その仕事を達成する際に、いつも困難に直面している。)

(50) been, faced, with (51) The knights \_\_\_\_\_ the Queen. (その騎士たちは、女王に忠実であった。) (52) He \_\_\_\_\_ debt now. (彼にはもう借金はない。) go back to work in order to help his brother. (53) He (彼は弟を援助するために、働きに戻らざるを得なかった。) (54) You had better \_\_\_\_\_ this primer. (あなたは、この入門書から始めるといいですよ。) (55) Under the present condition, a war may \_\_\_\_\_\_. (現在の情況では、戦争が起こるかもしれない。) (56) Her carelessness \_\_\_\_\_ the accident. (彼女の不注意がその事故を引き起こした。) (57) John's aunt him \_\_\_\_\_. (ジョンのおばが,彼を育てた。) \_\_\_\_ water, nothing could live. (もし水がなければ、何も生きられないだろう。) (59) I tried to express my idea \_\_\_\_\_ pictures. (私は自分の考えを絵によって表現しようとした。) (60) The solution is \_\_\_\_\_ easy. (解決はけっして容易ではない。) 《解答》 (51) were, faithful, to (52) is, free, from (53) was, obliged, to (54) begin, with (55) break, out (56) brought, about (57) brought, up (58) But, for (59) by, means, of (60) by, no, means (61) Did you finish the work \_\_\_\_\_ or did anyone help you? (その仕事をひとりで仕上げたのですか、それとも誰か手伝いましたか。) (62) The members introduced themselves \_\_\_\_\_\_. (会員はかわるがわる自己紹介をした。) (63) They \_\_\_\_\_ help. (彼らは助けを求めた。) (64) Jimmy often me after supper. (ジミーは夕食後によく私に電話をかけくる。) (65) We laugh at his joke. (私たちは彼の冗談を聞いて笑わずにはいられなかった。) there after five o'clock. (私は5時をすぎてもそこにとどまらざるをえなかった。) (67) The boy \_\_\_\_\_ his pet night and day. (その少年は、自分のペットを日夜世話をした。)

〈解答〉(41) at, the, cost, of (42) at, the, risk, of (43) at, the, same, time (44) at, times (45) at, work (46) is, absorbed, in (47) am, acquainted, with (48) are, engaged, in (49) was, engaged, on

(68)	The police	_ the street	the illegal demonstrators.
	(警察は,通りから非合法のデモ隊を追い	3出した。)	
(69)	The villagers still	the old cus	tom.
	(村人たちはいまだに古い習慣を固守して	ている。)	
(70)	How did this state of affairs		?
	(どうしてこのような事態が生じたのか)		
	〈解答〉 (61) by, yourself (62) by, turns (66) couldn't, help, staying (67)		64) calls, up (65) couldn't, but eaned, out, of (69) cling, to (70) come, about
(71)	Suddenly a good idea	his m	aind.
	(突然いい考えが彼の頭にうかんだ。)		
(72)	Please with	us.	
	(どうぞ, 我々と一緒にいらっしゃい。)		
(73)	She will a larg	ge fortune by th	ne time she is eighteen.
	(彼女は,18歳になるまでに,大きな財		5。)
(74)	His illness eat	ing too much.	
	(彼の病気は食べ過ぎのせいだ。)		
(75)	A book by the famous writer will	ll soon	·
	(その有名な作家による本が,すぐに出る		
(76)	At last, we've kr	now the fact.	
	(とうとう,我々はその事実を知るように		
(77)	***************************************		oporo the other day.
	(我々は,先日,昔の級友に,札幌で偶然		
(78)			eless.
	(私たちは彼らと無線で通信することがで		
(79)	Try to this photo _	that on	e.
	(この写真をあの写真と比較してみなさい		
(80)	While reading, you must		
	(読書をしている間は, その本に集中した		
			to (74) comes, of (75) come, out (76) come, to apare, with (80) concentrate, on
(81)	The work sr	nall pieces of w	vood.
	(その作品は,小さな木の破片から成りご	<b>江っている。)</b>	
(82)	Please don't m	e. I'm not goo	d at that.
	(どうか,私をあてにしないでください。	私は、それは得意	ではないのです。)
(83)	The merchant	shoes.	
	(その商人は靴の商売をしている。)		
(84)	He is the man who	the eme	ergency.
	(彼が,その緊急事態を処理した男だ。)		
(85)	Japan fore	ign countries fo	or petroleum.
	(日本は石油を外国に依存している。)		

(86)	Poverty	him	educat	ion.
	(貧困が彼から教育を	をうばった。)		
(87)	Не		st	udying medicine.
	(彼は,医学の研究)			
(88)	It is hard to		good	evil.
	(善と悪を見分ける。			
(89)	We will	the class _	s	ix groups.
	(クラスを六つのグ)	レープに分けます。	,)	
(90)	The death penal	ty has been		in France.
	(フランスでは死刑)			
		d, of (87) devoted		ls, in (84) dealt, with (85) depends, upon to (88) distinguish, from (89) divide, into
(91)	A little exercise	will yo	u	
	(わずかでも運動す			
(92)	I couldn't	the	matter.	
	(私はその事を処理)	できなかった。)		
(93)	John	to se	ee us yest	erday.
	(ジョンは, きのう,	我々に会いに立	ち寄った。)	
(94)	Не	the past	•	
	(彼は,過去のこと	をつくづく考えた	,)	
(95)	He is not old		_ drink b	eer.
	(彼は、ビールを飲	むほどの年齢にな	っていない	。)
(96)	We	neg	otiations	with our business rivals.
	(私たちは商敵と交	歩を始めた。)		
(97)	One of the priso	ners		prison.
	(囚人の一人が牢獄			
(98)	He will challeng	ge it		_ it's too late.
	(たとえもう遅すぎ	るとしても,彼は	,それに挑	戦するだろう。)
(99)	I thank you		f	or your help.
	(お手伝いに, 私は	たいへん感謝して	おります。)	
(100)		her lazine	ss, she w	ould be a good woman.
	(怠惰なところがな			
				d, in (94) dwelt, on (95) enough, to (96) entered, into (99) ever, so, much (100) Except, for

忘れているものがあったら、その学習日にもどって用例を再確認しておきなさい。

〈単語	語の復習〉			
●第	6 ⊟			
□ 1	dearest	□ 2 darling(名)	☐ 3 completely	☐ 4 promise(動)
□ 5	script	☐ 6 folks	☐ 7 comet	☐ 8 crime
□ 9	expréssion	□10 guess	□11 realize	□12 tomboy
□13	successful			
1	親愛なる 2 おまえ	_, あなた 3 すっかり	4 約束する 5 手	書き(文字), 原稿 6 人々
7	すい星 8 犯罪	9 表現, (顔などの)表情	10 推測する, 思う	11 実現する, 実感する
12	おてんば娘 13 うま	くいった,出世した		
●第	<b>7</b> ⊟			
		☐ 2 prove	□ 3 concentrate	☐ 4 actually
			□ 7 fly(動)	8 overdó
	success		□11 lecture	□12 drive
	devotedly			
1	ラテン語の 2 証明	]する 3 集中する, 専心	する 4 実際に 5	悩ます
6	実質のない, 虚栄心の	強い 7 飛ぶ,飛行機で行	テく 8 ~をやりすぎ	る 9 成功,成功者
10	述べる、(講演などを)	する 11 講演, お説教	12 (人を)かり立てる	13 没頭して,心をこめて
●第	8 FI			
	investigate	□ 2 origin	☐ 3 Constitution	□ 4 practically
		<del>-</del>	☐ 7 arise	☐ 8 neighbouring
		_ •	□11 circumstance	
			□15 outline(名)	□16 propose
	practice(名)		□19 imitátion	□20 force(名)
	_	3 憲法 4 実際に, ほと	:んど 5 採用する,	(法案などを)可決する
6	政府,政治 7 生じ	ごる, 起こる 8 隣接の	9 地域社会 10 一	つになる, 連合する   11 環境
12	(関係を)たつこと	13 異なる 14 初歩の,基	本的な 15 大要,概略	16 提案する 17 慣例
18	草案を書く 19 模倣	20 力,影響		
	]・表現の復習〉			
●第				
	be worried about $\sim$	$\square$ 2 now that $\sim$		$\sim$ any more
	after all	$\square$ 5 keep (on) $\sim$ in		all the time
	on the air	$\square$ 8 can't help $\sim$ i	ing	used to $\sim$
	serious-minded	18) 3	3 ) 3 ds - 4- )	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		-だから、であるので <b>3</b>		
		7 放送中で 8 ~せ	さるをえない <b>9</b> ~9	るのか吊たつた
10	まじめな,真剣な			
●第	7 ⊟			
	get good marks	☐ 2 have (somethi	<del>-</del> -	
<b>4</b>	by the way	☐ 5 on business	□ 6 1	for oneself

$\sqcup$ /	take (good) care of yourself	□ 8 in a nurry	_ 9 work out
<b>□10</b>	long-distance	$\square$ 11 send $\sim$ one's love	$\square$ 12 get used to $\sim$ ing
□13	see little of $\sim$		
1	いい点をとる 2 ~に(少し)	)関係がある $3$ 太る $4$ ところ	ろで 5 商用で <b>,</b> 仕事で
6	自分のために,自分で 7 ま	らからだをたいせつに 8 急いで	9 成しとげる,考え出す
10	遠く離れた,長い 11 ~によ	:ろしくと言う 12 ~するのに慣れ	る 13 ~とめったに会わない
●第	8 ⊟		
□ <b>1</b>	without exception	☐ 2 draw up	☐ 3 make a fresh start
□ 4	so far as $\sim$ be concerned	$\square$ 5 either $\sim$ , or $\cdots$	$\square$ 6 release $\sim$ from $\cdots$
□ 7	as a result of $\sim$	$\square$ 8 be free to $\sim$	☐ 9 come about
□10	vary from $\sim$	□11 for some reason	□12 in modern times
□13	put down	□14 in writing	□15 no doubt
□16	as the years pass		
1	例外なく 2 (文書を)作成す	- る 3 新しく出発する 4 ~に	こ関する限り 5 ~か、それとも…
6	$\sim$ を…から開放する 7 $\sim$ $\sigma$	)結果として 8 自由に~できる	9 生じる 10 ~とちがう, 異なる
11	何らかの理由で、どういうわけ	か 12 現代において 13 書きと	める 14 文章で
15	疑いたく 確かに 16 何年も	たつにつれて	

演習問題

学習日 月 日

第 10日

# 長文読解の演習・英作文の演習

きょうは、第4日と第8日に学習した長文テキスト、そして第5日に学習した英作文の問題を使って演習をします。すべて既習の教材です。できるだけ短時間で学習を終えるようにしなさい。 なお、長文読解の全訳は、第4日と第8日の解答で確認しなさい。

# トレーニング 🕶

「】 次のテキストを全訳しなさい。 (青山学院大 改題) 解答は p.38 参照

① 火のアイストを全訳しなさい。 (月山子阮人 改越) 暦台は P.38 参照
1904 years ago, within the space of a very few catastrophic hours, Pompeii and
Herculaneum were overwhelmed by Mount Vesuvius and buried deep down in the
earth. But they were not destroyed. Beneath the massive covering which overlaid
them, they were preserved, as they would never have been had the disaster not
occurred. The peculiar conditions established by ash and mud were such that even the
smallest and most fragile objects of daily use have survived. And so that August day,
when that whole busy world came to a stop, can be reconstructed in tens of thousands
of details, far more completely than any other day that ever happened throughout the
whole course of the ancient world. And the many years of existence and development
that had gone before the eruption can be reconstructed too.
② ( )の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。
(1) By which were Pompeii and Herculaneum overwhelmed, and what was the result? (英語
で)
(2) If the disaster had not occurred, these cities would never been preserved. Describe
about the reason why they were preserved. (日本語で)

(3) What can be reconstructed? (日本語で)
〈設問文訳〉(1) ポンペイとヘルクラネウムは、何によってのみ込まれたのか。そして、その結果どうなったか。 (2) もし、その災害が起こっていなかったなら、それらの都市は保存されなかっただろう。その理由について述べなさい。 (3) 何が復元され得るのか。(何を復元することができるのか。) 〈解 答〉(1) They were overwhelmed by Mount Vesuvius, and they were buried deep down in the earth. (2) 灰や泥で作られた状況が非常に特殊だったから。 (3) 災害の起きたその八月の日と、爆発以前の長年にわたって続いた人々の生活や、発展の様子が復元され得る。
③ 次のテキストを全訳しなさい。 (青山学院大 改題) 解答は p.42 参照  No mirror of the past could possibly be more vivid than the reflection offered us by Pompeii and Herculaneum; a visit to the two places is an experience that can be paralleled nowhere in the world. In that strange vacuum, its emptiness underlined by innumerable signs of long-arrested activity, life and death seem to be on particularly intimate terms. The smiling countryside all round makes the universal marks of ferocious destruction peculiarly horrifying.  Even the least philosophical of tourists visiting these sites cannot quite escape unfashionable reflections about good and evil, and how they often come together.
4 ( )の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。 (1) How does the author express a visit to Pompeii and Herculaneum? (英語で)
(2) Describe what impression the author has about Pompeii and Herculaneum. (日本語で)
(3) What does the author think even the least philosophical of tourists visiting these sites cannot escape? (英語で)

〈設問文訳〉(1) ポンペイとヘルクラネウムへの訪問を筆者は何と表現しているか。

- (2) 筆者が、ポンペイとヘルクラネウムについてどんな印象を持っているか述べなさい。
- (3) 筆者は、これらの土地を訪れる哲学的な思索に最も縁遠い観光客でさえ、何をさけられなくなると考えているか。
- 〈解 答>(1) It is an experience that can be paralleled nowhere in the world.
  - (2) 生と死が特に親しい間柄にあるように思え、平穏なあたりの田園風景は、恐ろしい破滅の普遍的な印を、いっそう恐ろしくしているという印象。
  - (3) He thinks they cannot quite escape unfashionable reflections about good and evil, and how they often come together.

[5] 次のテキストを全訳しなさい。	(一橋大 改題)	解答は p.83 参照
--------------------	----------	-------------

	If we investigate the origins of modern Constitutions, we find that, practically without exception, they were drawn up and adopted because people wished to make a fresh start, so far as the statement of their system of government was concerned. The desire or need for a fresh start arose either because, as in the United States, some
	neighbouring communities wished to unite together under a new government, or because, as in Austria or Hungary or Czechoslovakia after 1918, communities had been released from an Empire as the result of a war and were now free to govern themselves.
<b>6</b> (1)	
	Why did the desire or need for a fresh start arise in the countries such as in the United tates? (英語で)
	In the countries such as in Austria or Hungary or Czechoslovakia, what had happened efore communities were free to govern themselves? (英語で)

〈設問文訳〉(1) 近代の憲法が起草され、採用された理由は何だったのか。

- (2) アメリカ合衆国のような国家では、なぜ新しい出発に対する願望や必要性が生じたのか。
- (3) オーストリア, ハンガリー, チェコスロヴァキアのような国家では, 共同社会が自由に自治ができた以前に, 何がすでに起こっていたのか。
- 答》(1) The reason was that people wished to make a fresh start (so far as the statement of their system of government was concerned).
  - (2) Because some neighbouring communities wished to unite together under a new government.
  - (3) Communities had been released from an Empire as the result of a war.

7 次のテキス	トを全訳しなさい。	(一橋大 改題)	解答は p.87 参照

The circumstances in which a break with the past and the need for a fresh start come about vary from country to country, but in almost every case in modern times, countries have a Constitution for the very simple and elementary reason that they wanted, for some reason, to begin again and so they put down in writing their main outline, at least, of their proposed system of government. This has been the practice certainly since 1781 when the American Constitution was drafted, and as the years passed no doubt imitation and the force of example have led all countries to think it necessary to have a Constitution. ..... -----------------)の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。 (1) When countries have a Constitution, what did they want to do and what did they do? 語で) (2) In what country was its Constitution drafted in 1781? (英語で) \_\_\_\_\_\_ (3) What has led all countries to think it necessary to have a Constitution? (日本語で)

- 〈設問文訳〉(1) 国家が憲法を持つとき、国家は、何を望み、そして何をしたのか。
  - (2) 1781 年に憲法が起草された国家はどの国か。
  - (3) 国家が、憲法を持つ必要があると考えるように導いたのは何だったのか。
- 〈解 答〉(1) They wanted to begin again and they put down in writing their main outline, at least, of

their proposed system of government. (2) It was in the United States. (3) 他の国の模倣をしなくてはいけないという圧力と、先例に従うべきだという圧力があったこと。 トレーニング ⑨ 次の日本文を英訳していきます。後の各問題の(a)と(b)の\_\_\_\_には適切な語を考えて入れ,また 〔〕の中からは正しい語を選びなさい。 本というものはわれわれがふつうは会えないような偉大な天才にめぐり会えるという、大変 な恩恵を与えてくれるものである。時間にも制限を受けず,すなわち,どんな昔の人にも対面 (大阪大) できるのである。 (1) 本というものは…という大変な恩恵を与えてくれるものである。 (a) A tremendous \_\_\_\_\_ we \_\_\_\_ from (the book, books) is ... (b) grant the marvellous \_\_\_\_ of  $\cdots$ (2) われわれがふつうは会えないような偉大な天才にめぐり会えるという、大変な恩恵… (a) A \_\_\_\_\_ benefit ... is encounter \_\_\_\_ great \_\_\_\_ whom we could never [ meet, met, seen ] in actual \_\_\_\_\_. (b) \_\_\_\_\_ benefit \_\_\_\_ coming ( to, with, across ) \_\_\_\_ geniuses whom would \_\_\_\_\_ impossible \_\_\_\_\_ meet in ( real, reality ) (3) 時間にも制限を受けず (a) \_\_\_\_\_ being [ restrict, restricting, restricted ] \_\_\_\_ time (b) time not interfere \_\_\_\_\_ (4) すなわち (a) [at, in, on ] other [word, words] (b) [this, that, those] is to (5) どんな昔の人にも対面できるのである。 (a) we can meet \_\_\_\_\_ in the \_\_\_\_ (b) meeting people \_\_\_\_\_ ancient \_\_\_\_

(記 例) (1) (a) benefit, receive, books (b) Books, us, benefit (2) (a) tremendous, with, geniuses, meet, life (b) The, marvellous, of, across, great, it, be, to, reality (3) (a) without, restricted, by (b) does, with (4) (a) in, words (b) that, say (5) (a) people, past (b) in, days

#### 10 次の日本文を英訳しなさい。

(1)	映画というものは未知の世界を経験するという,大変な恩恵を与えてくれるものである。
(2)	

(3)	時間に制限されずにお会いできればいいのに。
(4)	すなわち,彼はどんな昔の話でも記憶しているわけだ。
〈訳	例》(1) A tremendous benefit we receive from movies is experience of an unknown world. または Movies grant us the marvellous benefit of experiencing a new world.  (2) In the universe there are many places where we could never live in actual life. または The universe has many places where it would be impossible for us to live in reality.  (3) I wish I could see you without being restricted by time. または I wish time would not interfere with seeing you.  (4) In other words, he remembers stories in the past. または That is to say, he remembers stories in ancient times.
7	では,実際の入試問題にチャレンジしてみよう。
11 3	欠の日本文を英語に訳しなさい。
恵を	ぶというものはわれわれがふつうは会えないような偉大な天才にめぐり会えるという,大変な恩子えてくれるものである。時間にも制限を受けず,すなわち,どんな昔の人にも対面できるのある。
<b>外語</b> 〉	例〉A tremendous benefit we receive from books is the encounter with great geniuses whom we could never meet in actual life. In other words, we can meet people in the past without being restricted by time. または Books grant us the marvellous benefit of coming across great geniuses whom it would be impossible to meet in reality. That is to say, time does not interfere with meeting people in ancient times.

第 1 1 日

## 長文読解・速読トレーニング ⑧

学習日 月 日

読解のポイント

help +原形不定詞+目的語/関係代名詞 what 群動詞の受動態 (be looked up to)

きょうと明日は、大阪府立大学の入試問題をテキストにトレーニングします。このテキストには、 clear  $\sim$  of  $\cdots$  とか、look up to  $\sim$  といった、よく英語で用いられる表現が出てきます。こういった 表現に、適切な訳がつけられるように心がけてトレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)				
(1) characteristic(名) [kæriktərístik]	(2) culture			
(3) tradition	(4) glorification [glɔ:rəfəkéiʃən]			
(5) self-made	(6) industry [índəstri]			
(7) occupy	(8) commánd(動)			
(9) respect(名)				
す。また,characteristic は形容詞で,「特存 から成り立っています。(10)はイギリス英語				
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 1.)	(2) 文化			
(2) 亿統	(4) 賛美			
(5) 白力で出出した	(6) 産業(界)			
(7) (地位などを)占める	(-) ()(.)() () () () () () () () () () () () ()			
	(10) 労働者			
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答				
(1) rise to the top	(2) begin by ~ing			
(3) even $\sim$	(4) take pains			
(5) point out	(6) farm hand			
(7) of some sort				
*(6)の hand は,「働き手」という意味です。				
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.				
(1) トップの地位まで出世する	(2) まず~を始める			
(3) ~でさえ	(4) 骨を折る, 気を配る			
(5) 指摘する	( - )			
(7) ある種の				

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### ■ 確認トレーニング ■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

●例文中の単語チェック ---

peddle 行商する immigrant 移民

- (1) He began by peddling in the village.
- (2) They took great pains in educating their children.
- (3) Most immigrants to America in the nineteenth century were, as historians point out, poor.
  - 図 (1) 彼はその村でまず行商を始めた。 (2) 彼らは子供の教育に大変苦労した。 (3) 歴史家たちが指摘するように,19世紀におけるアメリカへの移民の大部分は貧しかった。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

## ── トレーニング ━━━

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### 

A characteristic of American culture that has become almost a tradition is the glorification of the self-made man — the man who has risen to the top through his own efforts, usually beginning by working with his hands. While the leader in business or industry or the college professor occupies a higher social position and commands greater respect in the community than the common laborer or even the skilled factory worker, he may take pains to point out that his father started life in America as a farm hand or laborer of some sort. (大阪府立大 改題)

\* While  $\sim$ 以下の the leader in  $\sim$  は,business or industry or the college professor が一まとまりで,この部分の主部になっているので,途中でくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

- 2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) A characteristic of American culture /
  - (2)  $\sim$  that has become almost a tradition /

(3)	* that は a characteristic of American culture を指します。 ~ is the glorification of the self-made man /
(4)	$\sim$ — the man who has risen to the top through his own efforts, /
	*一一 (ダッシュ)は,(3)の the self-made man の内容をくわしく説明している文を導いています。日本語に訳す場合は,「つまり」,「すなわち」とします。 through は「~を通して,~により」です。
(5)	~ usually beginning by working with his hands. /
	* working with his hands は「自分の手を使って働くこと」で「肉体労働」となります。beginning 〜 は, though he began 〜 と考えて訳しなさい。
A	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(6)	While the leader in business or industry or the college professor /
(0)	
	* while $\sim$ は「 $\sim$ の一方で」です。the leader 以下は,in business $arepsilon$ in industry $arphi$ the leader に続きます。the college professor は別にして考えなさい。
(7)	~ occupies a higher social position /
	* higher social position は「より高い社会的地位」です。higher は(9)の文中の than と関連していることにも注意しなさい。
(8)	$\sim$ and commands greater respect in the community $/$
	* greater respect in ~は「~におけるより大きな尊敬」です。この文の greater も,次の文中の than と関連しています。
(9)	$\sim$ than the common laborer $/$
(10)	~ or even the skilled factory worker, /
	*(10)は, (9)の than に続く部分です。than even the skilled factory worker と考えなさい。
(11)	$\sim$ he may take pains to point out $/$
(12)	~ that his father started life in America /
(13)	~ as a farm hand or laborer of some sort. /
	* as ~ は 「~として」です。
В	(6)~(13)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

#### <del>-----</del>〈解答〉<del>-----</del>

- 2 (1) アメリカの文化の(ひとつの)特徴は,
  - (2) (その特徴は)もうすでに、ほとんど伝統になっている(のだが)、
  - (3) 自力で出世した人の賛美である
    - \*「自力で出世した人を賛美することである」と訳した方が、自然な日本語になります。
  - (4) つまり、自分自身の努力により、トップの地位まで昇りつめた人のことである
  - (5) (その人は)通例,肉体労働をまず始めたのではあるが、
  - (6) 事業,産業での指導者,または、大学教授が(~している)一方で
  - (7) より高い社会的地位を占めている(一方で),
  - (8) そして、地域社会でより大きな尊敬を得ている、
    - \*(7), (8)は, (6)の while  $\sim$  の述部なので、自然な日本語の文にする場合には、(6)の( $\sim$ している)の部分に(7), (8)が入ります。
  - (9) 一般の労働者より
  - (10) または、熟練した工場労働者でさえ(より)、
  - (11) 彼(実業界,産業界での指導者,または、大学教授)は、わざわざ労をとって(次のことを)指摘するかもしれない。
    - \* the leader in business or industry or the college professor は, or でつながれているので,代名詞は単数形のhe を用いていることに注意しなさい。
  - (12) 彼の父親が、アメリカでの生活を始めたということを、
  - (13) 農業労働者、もしくは、ある種の労働者として
- △ もうすでに、ほとんどひとつの伝統になっているアメリカの文化のひとつの特徴は、自力で出世した人を賛美することである。つまり、通例、肉体労働をまず始め、自分自身の努力により、トップの地位まで昇りつめた人のことである。
- B 実業界,産業界の指導者,または大学教授が,一般の労働者や熟練した工場労働者よりもより高い社会的地位を 占め,地域社会でより大きな尊敬を得ている一方で,自分の父親がアメリカでの生活を,農業労働者もしくは,あ る種の労働者として始めたということを,わざわざ労をとって指摘するかもしれない。

では,テキストの続きへ進みます。まず,単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### ⅧⅧⅢ 単語・語句・表現のチェック ⅧⅧⅢⅢ

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)

(1) settle	(2) wilderness [wíldərnis]
(3) develop	(4) value(動)
(5) achieve [ətʃiːv]	(6) curious [kjú(:)∂riəs]
(7) combination	(8) genuine [dʒénjuin]
(9) delight(名)	(10) accomplish

\*(1)の名詞形は、settlement (定住、移住)です。(2)は発音に注意しなさい。wild [waild] (野生の)と混同してはいけません。(3)の名詞形は development (発達)です。(4)の名詞形は「価値」の意味です。(7)の動詞形は combine [kəmbáin] (結合する)です。(9)はこのテキストでは名詞として使っています。動詞では、「喜ばせる」という意味です。

(1) (7) (7) (H) 7	(a) #5 > 14
	(2) 荒れ地
	(4) 評価する
	(6) 好奇心をそそる,奇抜な
	(8) 本物の
(9) 歓喜	(10) 成しとげる
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい	。(答えは 4.)
(1) clear $\sim$ of $\cdots$	(2) manual labor
(3) it is $\sim$ who $\cdots$	(4) achieve success
(5) look up to $\sim$	(6) pride in ∼ing
(7) no longer	(8) depend upon $\sim$
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答え (1) ~から…を取り除く	は 3.) (2) 肉体労働
(1) ~から…を取り除く	
<ul><li>(1) ~から…を取り除く</li><li>(3) …なのはまさに~である</li></ul>	(2) 肉体労働
<ul><li>(1) ~から…を取り除く</li><li>(3) …なのはまさに~である</li><li>(5) ~を尊敬する</li></ul>	(2) 肉体労働(4) 成功をかちとる
<ul> <li>(1) ~から…を取り除く</li> <li>(3) …なのはまさに~である</li> <li>(5) ~を尊敬する</li> <li>(7) もはや~でない</li> <li>では、いまチェックした語句と表現を、実</li> </ul>	(2) 肉体労働         (4) 成功をかちとる         (6) ~をする誇り
<ul> <li>(1) ~から…を取り除く</li> <li>(3) …なのはまさに~である</li> <li>(5) ~を尊敬する</li> <li>(7) もはや~でない</li> <li>では、いまチェックした語句と表現を、実</li> </ul> 確認トレーニング	(2) 肉体労働 (4) 成功をかちとる (6) ~をする誇り (8) ~に頼る (際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。
<ul> <li>(1) ~から…を取り除く</li> <li>(3) …なのはまさに~である</li> <li>(5) ~を尊敬する</li> <li>(7) もはや~でない</li> <li>では、いまチェックした語句と表現を、実</li> </ul>	(2) 肉体労働

- (2) It seemed that it was Bernard who was really secretly planning to take my place.
- (3) Boys and girls usually look up to great athletes.
- (4) Perhaps one day, men will no longer be interested in the unknown.
  - 図 (1) 私たちは、彼がその事件と何か関係があるという疑念を、心から取り除くことができなかった。 (2) 実際、ひそかに私の地位を奪おうとしているのは、まさにバーナードであるように思えた。 (3) 少年少女は、たいてい、偉大な運動選手を尊敬する。 (4) たぶん、いつか、人々はもはや未知のものに興味をもたなくなるでしょう。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

## トレーニング 💳

- テキスト5―

## ■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

Most	of the	people	who s	settled	the [	Jnited	States	were	poor.	The	count	ry
ey came t	o was	a wilde	rness.	Land	had 1	to be o	cleared	of tree	es in	order	to ma	ke
me · mir	hed sa	to be d	977910·	ned · h	01100	e chor	e and	public	huild	inge h	ad to	ha

- Part 2 **-**

they came to was a wilderness. Land had to be cleared of trees in order to make farms; mines had to be developed; houses, shops, and public buildings had to be built. Everyone had to help build them. Manual labor was highly valued. Later it was the man who worked with his head to achieve success in business and industry who was looked up to. Now there is in America a curious combination of pride in having risen to a position where it is no longer necessary to depend upon manual labor for a living and genuine delight in what one is able to accomplish with his hands. (大阪府立大 改題)

\* where it is no longer  $\sim$  to depend upon  $\cdots$  は、これでひとまとまりの構文なので、途中でくぎってはいけません。また、Later it was 以下は、最初の who と二番めの who のはたらきがちがうので、よく注意してくぎりなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。

## 2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

(6) Land had to be cleared of trees /

(1)	Most of the people /
(2)	~ who settled the United States /
(3)	* who の先行詞は most of the people です。 ~ were poor. /
(4)	The country they came to /
(5)	* the country (which) they came to と考えなさい。 ~ was a wilderness. /
Α	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

<sup>\*</sup>この文は、もともとの形になおすと、They had to clear land of trees.ですが、land を主語にした受動態の形になっているので、cleared の後ろに of trees が残っています。

(7)	~ in order to make farms ; /
	∗ in order to は「~するために」です。
(8)	$\sim$ mines had to be developed ; /
(9)	~ houses, shops, and public buildings had to be built. /
(10)	Everyone had to help build them. /
	* help の次に動詞がくると〈help +原形不定詞+目的語〉の文型になります。
(11)	Manual labor was highly valued. /
В	(6)~(11)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(12)	Later it was the man /
(13)	$\sim$ who worked with his head to achieve success in business and industry $/$
	* who の先行詞は the man です。to achieve ~ の to は目的を表し,「~するために」となります。(7)の in order to や,so as to ~ も,同じ意味です。work with his head は「頭を使って働く」から「頭脳労働をする」となります。
(14)	$\sim$ who was looked up to. $\nearrow$
	* look は自動詞ですが,副詞の up と前置詞の to がついて look up to ~ という群動詞になると他動詞に相当するので受動態にすることができます。
(15)	Now there is in America a curious combination of pride in having risen to a position /
	* combination of pride $\sim$ は, $(17)$ の and genuine delight とひとまとまりになるので注意しなさい。また,この文は,in America there is $\sim$ という語順にして考えなさい。
(16)	$\sim$ where it is no longer necessary to depend upon manual labor for a living $\nearrow$
	* where は a position を指します。it は to depend ~ のことなので訳しません。for a living は「生活のため」です。
(17)	$\sim$ and genuine delight in what one is able to accomplish with his hands. $\diagup$
	* what は that which, the thing which の意味で,先行詞をふくむ関係代名詞です。one は一般に人を指し,「人は」という意味になります。

☑ (12)~(17)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉-----

- 2 (1) ほとんどの人々は,
  - \* most of  $\sim$  は、of 以下から訳すのではなく、先頭から「ほとんどの $\sim$ 」と訳した方が、自然です。
  - (2) (その人々は)アメリカに定住した(のだが)
  - (3) 貧しかった。
  - (4) 彼らがやって来た国は,
  - (5) 荒れ地だった。
  - (6) 土地は木を取り除かれねばならなかった
  - (7) 農場を作るために
    - \*英文では,(7)の終わりに〔;〕(セミコロン)がついていますが,これは,いくつかのものをならべてゆく場合に用います。だいたい and と同じような使い方です。
  - (8) 鉱山は、開発されねばならなかった。
  - (9) 家,店,そして公共の建物は,建てられなければならなかった。 \*(6),(8),(9)は,「~しなければならなかった」と訳した方が自然な日本語の文になります。
  - (血) だれもが、それら(家、店、公共の建物)を建てる手伝いをしなければならなかった。
  - (11) 肉体労働は、高く評価された。
  - (12) のちに、(~だったのは)まさに(~の)人だった、
  - (13) (その人は)実業界や産業界で成功をかちとるために、頭脳労働をした(のだが)、
  - (14) 尊敬されたのは,
    - \*自然な日本語の文では、(14)—(12)の順で訳します。
  - (15) 現在、アメリカでは、(次のような)地位へ昇ったことへの誇り(と~)の奇妙な組み合わせがある。
  - (16) (その位置では)もはや、生活のために、肉体労働に頼る必要がない
  - (17) そして、自分の手を使って成しとげることのできるものに対する、純粋な喜び(との組み合わせ)。
- 囚 アメリカに定住したほとんどの人々は、貧しかった。彼らのやって来た国は、荒れ地だった。
- 图 土地は、農場を作るために木を取り除かねばならなかったし、鉱山は開発しなければならなかった。また、家、店、公共の建物は建てなければならなかった。だれもが、それらを建てるのに手をかさなければならなかった。肉体労働は、高く評価された。
- ② のちに、尊敬されたのは、まさに、実業界や産業界で成功をかちとるために頭脳労働をした人だった。現在、アメリカにおいては、もはや生活のために肉体労働に頼る必要のない地位へ昇ったことを誇りに思うことと、自分の手を使って成しとげることのできることに純粋な喜びを感じることが奇妙に結びついている。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (51~100・第2回)

	_ に適切な語を記入し,日本語に合	う熟語を完成させなさい。(⇒はタ	類義語,図は反意語を示す)
□ 1	~を…に分ける	~ into …	$\Rightarrow$ $\sim$ into
	~せずにはいられない	cannot ~ing	⇒ cannot do ~
	(戦争・火事などが急に)起こる	out	⇒
	自分だけで、ひとりで	oneself	⇒
	~を育てる	up ~	—————————————————————————————————————
	~せずにはいられない	cannot do ~	⇒ cannot ~ing
	起こる、生じる	come	⇒ place (起こる)
	~を処理する、~を扱う	deal ~	→ do ~ (~を扱う)
	~に集中する、~に熱中する	concentrate ~	⇒ oneself to ~ (~に熱中
_ 9	~に乗中する, ~に熱中する	concentrate	+3)
<b>□10</b>	かわるがわる	by	⇒ one the other
10	~ 4,7 <b>5</b> % 4,7 <b>5</b>		(another)
<b>11</b>	~に専念する	devote to $\sim$	$\Rightarrow$ oneself to $\sim$
	いっしょに行く,現われる	come	 ⇒ up (現われる)
	とても、大変	so much	⇒
	もし~がなければ	${\text{but}}$ $\sim$	$\Rightarrow$ it were not $\sim$
	~から成り立つ, ~から成る	consist ~	$\Rightarrow$ be made of $\sim$
	~を世話する	care~	⇒ take care ~
	~からにげる	from ~	$\Rightarrow$ run from $\sim$
	~を廃止する	${\text{do}}$ with $\sim$	⇒ <u> </u>
	~がない, ~から解放されている	be free ~	⇒ be ~ (~がない)
	~を引き起こす	bring $\sim$	<b>→</b>
	~を始める	enter ~	⇒ set ~
	~を…と比較する	compare ~ ···	⇒ make a between
		<u> </u>	$\sim$ and $\cdots$
□23	~を固守する	cling $\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ to $\sim$
□24	~を求める	call ~	⇒
□25	~から生ずる, ~の出である	come~	⇒ be born ~ (~の出である)
□26	~から始める	begin ~	圆 end ~(~に終わる)
□27	けっして~でない	by means	$\Rightarrow$ not $\sim$ by any
□28	~を処理する	$\overline{}$ with $\sim$	$\Rightarrow$ deal $\sim$
	~せざるを得ない	be to do ~	$\Rightarrow$ be to do $\sim$
□30	~するようになる	to do ~	$\Rightarrow$ to do $\sim$
□31	電話をかける	up	⇒ up
□32	~に偶然出くわす	come ~	$\Rightarrow$ come ~
□33	~と通信する	with $\sim$	$\Rightarrow$ with $\sim$
	~と…を見分ける	distinguish ~ ···	⇒ discriminate ~ ···
	~から…をうばう	deprive ~ ···	⇒ strip ~ ···
	ふっと思いうかぶ,偶然~に会う	<del></del>	⇒ meet ~ by(偶然~に 会う)

□37 ~によって, ~を通じて	means $\sim$	⇒(~を通じて)
□38 ~がなければ	except $\_$	$\Rightarrow$ but $\sim$
□39 ~に依存する	on $\sim$	$\Rightarrow$ rely $\sim$
□40 ~を相続する, ~に入る	come $\_$	⇒(~を相続する),
		enter (~に入る)
□41 ~するのに十分, ~ほど…である	to do $\sim$	⇒ ~ as to do … (…ほど~で
		ある)
□42 ~をつくづく考える	dwell $_{}$ $\sim$	
□43 たとえ~としても	though $\sim$	$\Rightarrow$ even ~
□44 (本が)出版される,出る	come	図 come ~ (~に入る)
□45 立ち寄る	drop	⇒ in
□46 ためになることをする	do	圆 harm (危害を加える)
□47 ~の商売をする, ~をあきなう	deal $_{}\sim$	$\Rightarrow$ trade $\sim$
□48 ~から…を追い出す	clean $\sim$ of $\cdots$	$\Rightarrow$ $\sim$ out of $\cdots$
□49 ~をあてにする, ~に頼る	on ~	⇒ depend ~ (~に頼る)

#### — 解答 ——

<sup>1</sup> divide separate 2 help but 3 break happen 4 by alone 5 bring raise 6 but help 7 about take 8 with with 9 on devote 10 turns after 11 oneself apply 12 along turn

<sup>13</sup> ever awfully 14 for if, for 15 of up 16 for of 17 escape away 18 away abolish

<sup>19</sup> from without 20 about cause 21 into about 22 with comparison 23 to stick 24 for demand

<sup>25</sup> of of 26 with in 27 no reason 28 do with 29 obliged compelled 30 come get 31 call ring

<sup>32</sup> upon across 33 communicate correspond 34 from from 35 of of 36 across chance

<sup>37</sup> by, of through 38 for for 39 depend on 40 into inherit 41 enough so 42 on 43 even if

<sup>44</sup> out into 45 in stop 46 good do 47 in in 48 out drive 49 count on 50 to to

第12日

# 長文読解・速読トレーニング ⑨

学習日 月

読解のポイント 過去分詞の形容詞用法/〈前置詞+名詞〉の慣用表現

きょうは、大阪府立大学出題の評論文の後半を学習します。上に示したポイントのほかに、every evidence of  $\sim$ , take pride in  $\sim$  といった日本語にしにくい表現や, 話を進める上でよく用いられ る furthermore, on the contrary, in addition といった表現が出てきます。論旨の流れによく注意し て読解を進めなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは2.)	
(1) attitude	(2) aspect [æspekt]
(3) comfortably	(4) luxuriously [lʌgʒú(:)əriəsli]
(5) furnish [fá:rniʃ]	(6) evidence
	(8) probably
(9) serve(動)	(10) afterward [æftərwərd]
子)-princess (王女),heir $[\epsilon \partial r]$ (相続人)-heire時間的方向を表す接尾辞です。「 $\sim$ の方に」ですどもあります。	表す接尾辞です。ほかに, actor (男優)-actress (女優), prince (王 ess [Éəris] (女子相続人)などがあります。(伽の-ward は,空間的, 。upward (上方へ),backward (後方に),northward (北へ)な
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは1.)	
	(2) 様子,側面
(3) ここちよく	(4) ぜいたくに
(5) (家具などを)備えつける	(6) 証拠
(7) 女の接待役	(8) おそらく, たぶん
	(10) あとで
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答えは (1) every evidence of ~	4.) (2) be able to (can) afford $\sim$
(3) college education	-
*(1)の every は,ふつう抽象的なものを表す名詞 などの意味になります。(2)の afford は,ふつう	( chance,reason,kindness など)の前で,「可能な限り,あらゆる」 can や be able to とともに用います。
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) ~の十分な証拠	_ (2) ~に必要な(経済的, 時間的)余裕がある
(3) 大学教育	
では,いまチェックした語句と表現を,実際の文中	で訳せるかどうか確認しなさい。

## ■■■ 確認トレーニング ■■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック ―

carelessness 不注意 expenses 費用 present 現在の

- (1) We have <u>every evidence of</u> the conclusion that the accident was caused by the driver's carelessness.
- (2) I <u>can't</u> possibly <u>afford</u> the daily expenses on my present salary.
  - 図 (1) 私たちは、その事故が、運転手の不注意によって引き起こされたと結論するに十分な証拠を もっている。 (2) 私は、現在の給料では、おそらく生活費を払う余裕がない。

わからなかったもの、まちがえたものには赤で印をつけ、何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

## ── トレーニング ━──

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### - テキスト 5 ----

-Part 3 —

This attitude toward manual labor is seen in many aspects of American life. One is invited to dinner at a home that is not only comfortably but even luxuriously furnished, and in which there is every evidence of the fact that the family has been able to afford foreign travel, expensive hobbies, and college educations for the children; yet the hostess probably will cook the dinner herself, will serve it herself, and will wash the dishes afterward. (大阪府立大 改題)

\* One is invited to dinner  $\sim$  以下の文で、not only comfortably but even luxuriously の部分は、not only  $\sim$  but even  $\cdots$  で一つの相関構文なので、途中でくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

- 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) This attitude toward manual labor /
    - \* attitude toward ~ は「~に対する態度,姿勢」です。
  - (2)  $\sim$  is seen in many aspects of American life.  $\angle$

* one は、一般的な人を指します。「ある人」と訳します。 ~ that is not only comfortably but even luxuriously furnished, /
* that は a home を指します。not only $\sim$ but even $\cdots$ は「 $\sim$ であるばかりでなく, $\cdots$ でさえある」です。be
furnished は「家具がそろえられている」です。 ~ and in which there is every evidence of the fact /
* in whichは in a homeです。
$\sim$ that the family has been able to afford $/$
* that 以下は,the fact の内容を詳しく説明していますが,関係代名詞ではありません。
$\sim$ foreign travel, expensive hobbies, and college educations for the children ; /
* この部分は, (6)の afford に続いています。
(3)~(7)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
~ yet the hostess probably will cook the dinner herself, /
* yet は but, あるいは however です。(7)の文の〔;〕(セミコロン)は,前後の文が(7),(8)のように相反する内容を立べる場合に,しばしば用いられます。
$\sim$ will serve it herself, and will wash the dishes afterward. $/$
*この文は, (8)の the hostess probably を主部としているので注意しなさい。
(8), (9)をまとめて, 自然な日本語の文にしなさい。

- 2 (1) この肉体労働に対する態度は
  - (2) アメリカ人の生活の多くの側面で見られる。

A (1), (2)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

- \* in many aspects of  $\sim$  は「 $\sim$ のいろいろな点で」と訳してもかまいません。
- (3) ある人が、ある家庭で、夕食に招待される
- (4) その家庭は、いごこちがよいばかりでなく、ぜいたくに家具がそろえられている

- (5) そして、その家庭には、(次のような)事実の十分な証拠がある
- (6) その家族が(次のようなことをする)(金銭的)余裕がある
- (7) 海外旅行や、金のかかる趣味、そして子供たちに対する大学教育を
- (8) しかし、女の接待役は、たぶん、自分で夕食を料理するだろう \* hostess は、この文章では、客を招いた家庭の主婦を指しているので、このように訳してもかまいません。
- (9) 自分で、(夕食を)給仕し、あとで皿を洗うだろう。 \* serve は料理をテーブルまで運んだり、大皿に盛ってある食べ物を客にとってあげたりすることを表します。
- 📵 この肉体労働に対する態度は、アメリカ人の生活のいろいろな点で見られる。
- **⑤** ある人がある家庭で夕食に招待される。その家庭はいごこちがいいばかりでなくぜいたくに家具がそろえられている,そして,その家庭には,その家族が,海外旅行や,金のかかる趣味をもち,また子供たちに大学教育を受けさせる金銭的な余裕があるという事実の十分な証拠がある。
- ☑ それでもなお、その家庭の主婦はたぶん、自分で夕食を作り、自分で給仕し、食後には、皿を洗うだろう。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

(1) furthermore	(2) merely [míərli]
	(4) contents(名)
	(6) bakery [béikəri]
	(8) professional
	(10) basement
音にも注意)  2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え	$\mathrm{it}]$ (気晴らしをさせる)という動詞の名詞形であることに注意しなさい。 $(rac{3}{2})$ には $1$ .)
2. 人の日本品で大品にしょうい。(音)	L (A. 1.)
(1) その上に、さらに	(2) 単に
	(2) 単に (4) 内容物,中身
(3) 集める	(4) 内容物,中身
(3) 集める(5) すぐ近くの	(4) 内容物,中身(6) パン屋
(3) 集める         (5) すぐ近くの         (7) 用意,準備	(4) 内容物,中身
(3) 集める         (5) すぐ近くの         (7) 用意,準備	(4) 内容物,中身       (6) パン屋       (8) 専門職,知的職業の       (10) 地下室
<ul> <li>(3) 集める</li> <li>(5) すぐ近くの</li> <li>(7) 用意,準備</li> <li>(9) 娯楽</li> <li>3. 次の語句と表現の意味を書きなさい</li> </ul>	(4) 内容物,中身 (6) パン屋 (8) 専門職,知的職業の (10) 地下室
(3) 集める (5) すぐ近くの (7) 用意,準備 (9) 娯楽  3. 次の語句と表現の意味を書きなさい (1) consist of ~	(4) 内容物,中身       (6) パン屋       (8) 専門職,知的職業の       (10) 地下室

4. 次の日本語を英語にしなさい	。(答えは 3.)	ŀ
------------------	-----------	---

(1) ~から成り立つ	(2) それに反して,それどころか
(3) ~を誇りにする	(4) 加えるに, その上に
(5) 家事	(6) 花壇

では,いまチェックした語句と表現を,実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

## ■■ 確認トレーニング ■■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

## -●例文中の単語チェック --

isolated 独立した information 情報 stingy けちな liberal 気前がよい vitality 活力

- (1) The facts consist of isolated pieces of information.
- (2) He is not sitngy; on the contrary, he is a very liberal man.
- (3) We have always taken pride in the vitality of our country.
- (4) She received 5,000 yen in addition.
  - 図 (1) その事実は、個々に独立した情報の断片から成り立っている。 (2) 彼はけちではない。それどころか、とても気前がよい。 (3) 私たちは、自分の国の活力をいつも誇りにしてきました。
    - (4) 彼女はさらに 5,000 円を受け取った。

わからなかったもの, まちがえたものには, 赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

## トレーニング

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は2参照)

#### 

Furthermore, the dinner will not consist merely of something quickly and easily assembled from the contents of various cans and a cake or pie bought at the nearby bakery. On the contrary, the hostess usually takes pride in careful preparation of special dishes. In addition, she does most of her other household work; and even though her husband may be a professional man, he talks about washing the car, digging in his flower beds, painting the house, or laying tile on the floor of the recreation room in the basement. His wife may even help him with these things, just as he often helps her with the dishwashing. (大阪府立大 改題)

適切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。

<sup>\*</sup>最初の文の the dinner  $\sim$ 以下は,意味のまとまりごとに二カ所でくぎり,大きく三つに分けなさい。

(1)	Furthermore, /
(2)	~ the dinner will not consist merely of something /
(3)	* not ~ merely は「たんに~するだけでない」です。 ~ quickly and easily assembled from the contents of various cans /
(4)	* assembled はここでは受動的な意味を表す過去分詞の形容詞用法で、(2)の something を修飾しています。 ~ and a cake or pie bought at the nearby bakery. /
A	* and (consist merely of) a cake or pie ~ と考えなさい。また,a cake or a pie (which is) bought at ~ と考えて訳しなさい。 (1)~(4)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(5)	On the contrary, /
(6)	~ the hostess usually takes pride in careful preparation of special dishes. /
(7)	In addition, /
(8)	~ she does most of her other household work ; /
B	* work は「仕事」です。この意味では、単数形で用い、複数形を使うのは、「作品」という意味のときです。(5)~(8)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
(9)	$\sim$ and even though her husband may be a professional man, $/$
(10)	* even though ~ は「たとえ~ではあろうと」です。 ~ he talks about washing the car, /
(11)	* about というような前置詞のあとには,動詞は必ず ~ing (動名詞)を使います。 ~ digging in his flower beds,/
(12)	*(about) digging ~ と考えなさい。次の(12)、(13)も同じように、about を先頭に補って考えます。 ~ painting the house, /

2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

# (13) ~ or laying tile on the floor of the recreation room in the basement. / \* recreation room は「遊戯室」です。 © (9)~(13)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

## (14) His wife may even help him with these things, /

- \* help  $\sim$  with  $\cdots$  は「 $\sim$ が $\cdots$ するのを手伝う」です。 these things は washing the car, digging in the flower beds, painting the house, or laying tile on the floor  $\sim$  です。
- (15)  $\sim$  just as he often helps her with the dishwashing. /
  - \* just as  $\sim$  は「ちょうど $\sim$ のように」です。dishwashing は〈dish (皿) + washing (洗うこと)〉で「皿洗い」のことです。
- D (14)、(15)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

## -----〈解答〉----

#### 2 (1) さらに

- (2) 夕食は、ただたんに(次のような)ものから成り立って(できあがって)いるのではないだろう
  - \*この場合の will は、現在のことがらについての想像、推定を表します。may よりも、確信の度合いが高いです。 something は、「何か」と訳すより「もの」と訳すほうが自然です。
- (3) (その食べ物は)急いで、簡単に、さまざまなかん詰の中身から集められている
- (4) そして,近くのパン屋で買われたケーキ,パイ(から成り立っているのではない)。
- (5) それに反し、(そうではなく)
- (6) その家の主婦は、特別料理の注意深い準備をふつう誇りにしている。
  - \* careful preparation of special dishes は、「注意深く(念入りに)特別料理を準備(料理)すること」と訳したほうが、 自然です。
- (7) それに加えて
- (8) 彼女は、ほとんどの、ほかの家事をする
- (9) そして、たとえ彼女の夫が知的職業についている人であっても
- (10) 彼は車を洗うことについて話し,
- (11) 花だんを掘ること(について話し),
- (12) 家にペンキをぬること(について話し),
- (13) または、地下の遊戯室の床にタイルを敷くこと(について話す)。
- (14) 彼の妻は、彼がこれらの(仕)事をするのを手伝うことさえするかもしれない
- (15) ちょうど、彼女が皿洗いをするのを彼がしばしば手伝うように。
- 囚 さらに、夕食は、急いで、簡単に、いろいろなかん詰の中身から集められたものだけだったり、近くのパン屋で買ったケーキやパイだったりするのではない。
- ▣ そうではなく,その家の主婦は,念入りに特別料理を作ることに,ふつう誇りをもっている。それに加えて,彼

女はそのほかのほとんどの家事もする。

- © そして、たとえ彼女の夫は知的職業についている人であっても、夫は車を洗ったり、花だんを掘ったり、家にペンキをぬったり、地下の遊戯室の床にタイルを敷くことについて話す。
- ◎ 彼の妻は、ちょうど夫が妻の皿洗いをしばしば手伝うように、彼がこれらの仕事をするのを手伝うことさえするかもしれない。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (101~150・第2回)

	に適切な語を記入し,日本語に合 <sup>っ</sup>	熟語を完	記成させなさい。(⇒は	類義語, 図は	反意語を示す)
□ 1	終わりにのぞんで,最後に	in		⇒	(最後に)
	暮らしていく、~に乗る	get			~(~から降りる)
	~を発見する、~を考えつく		~		 ~(~を考え出す),
			<del></del>		 r(発見する)
□ 4	~のために	for one	's	⇒	_ the sake $\sim$
	永久に	w/#476		⇒	
	(ある状態)になる、~に入る		~		of ~ (~から出る)
□ 7	~に到着する	get		⇒	, arrive at (in)
□ 8	ある意味では	in	sense	厦 in	senses (あらゆる意味
	-		_	で)	
□ 9	~を差し出す,耐える	hold	~	⇒	(差し出す), bear (耐え
				る)	
□10	~のために		the sake $\_\_$ $\sim$	⇒ for one	e's
	前金で、前もって	in			(前もって)
	(値段・質が)下がる	go			(上がる)
	~にもかかわらず	in	of $\sim$	⇒	_ all $\sim$ , with all $\sim$ ,
				despite	
□14	たとえば	for		⇒ for	
□15	~を襲う, ~を持ちあげる, 遅らせ			⇒ raise (	持ちあげる),delay (遅らせ
る				る)	
□16	(習慣などを)やめる,~から出る	get	of $\sim$	厦 get	~(~に入る)
□17	手短に言えば	in		⇒ to	a long story short
□18	実際は		fact	⇒	a matter fact
□19	ずっと遠くに離れて	far			the distance
□20	~にもかかわらず		$\_$ all $\sim$	⇒	spite $_{}\sim$
□21	~に関して		to ~	⇒	. 19
□22	~を自由にとって食べる		_ oneself to $\sim$	⇒	$\sim$ to oneself
□23	終わらせる		~	⇒	
□24	~とうまくやっていく		with $\sim$		with $\sim$
□25	爆発する,発射される	go		⇒	(爆発する)
□26	~したい気がする		$\sim$ ing	⇒	a mind to do $\sim$
□27	独力で、自分で		oneself	⇒	oneself (自分ひとりで)
□28	一般に			⇒ genera	ally
	決して~でない、少しも~でない		from ~ing	⇒ anythi	ng~(決して~で
		<del></del>	_	ない)	
□30	~をやり抜く,成し遂げる		through with $\sim$	⇒	
	もどる,帰る		_ back	⇒	
	~に苦労する		difficulty in ∼ing		to do ~ (容易に~す
				る)	
<b>□33</b>	~から便りがある	hear	$\sim$	⇒ write	~ (~に手紙を書く)

□35 ~に加えて、~のほかに in addition ~ □ □ (そのほか □ 36 あちこち歩きまわる go □ about □ 37 一つには~、また一つには… for thing ~、for □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
□37 一つには〜、また一つには… for thing 〜, for ⇒ 〜, the □38 〜の点から、〜によって in of 〜 ⇒ by of 〜 (〜	~によって)
□37 一つには〜、また一つには… for thing 〜, for ⇒ 〜, the □38 〜の点から、〜によって in of 〜 ⇒ by of 〜 (〜	~によって)
□39 ~と一致して、~に従って accordance ~ ⇒ according ~ (~	~に従って)
□ <b>40</b> ~に反対する go ~ ⇒	
□41 ~に関しては in to ~ $\Rightarrow$ in relation ~	
□42 とくに in ⇒	
$\square$ 43 ~する限りでは、~だけでは in so as ~ $\Rightarrow$ to the of ~ (	(~の限りで
は)	
□44 ~し続ける, 進む, 続く go ~ing ⇒	
□45 それだけで、本来は itself ⇒ (本来	来)
□46 ~を支持して, ~に賛成して in of ~ ⇒ the side of ~ (	(~を支持し
7)	
$\Box$ 47 $\sim$ 1coけこむ, $\sim$ 5ctst impose $\_\_$ $\sim$ $\Rightarrow$ $\_\_$ ( $\sim$ 5cts	ます)
□48 ~を取り除く rid ~ ⇒ rid ~ ··· (~か	から…を取り
除く)	
<b></b> it were not for ~ ⇒ but ~	
□50 ~しない, ~できない fail do ~   ⇒, can't	

— 解答 ———

<sup>1</sup> conclusion finally 2 on off 3 out out 4 sake for, of 5 for forever 6 into out

<sup>7</sup> to reach 8 a all 9 out offer 10 for, of sake 11 advance beforehand 12 down up

<sup>13</sup> spite for 14 instance example 15 hold 16 out into 17 short make 18 in as, of 19 away in

<sup>20</sup> for in, of 21 relation concerning 22 help serve 23 through finish 24 along on 25 off explode

<sup>26</sup> like have 27 for by 28 general 29 far but 30 go accomplish 31 get return 32 have easy

<sup>33</sup> from to 34 in anyhow 35 to besides 36 about walk 37 one, another one, other

<sup>38</sup> terms means 39 in, with to 40 against oppose 41 regard to 42 particular particularly

<sup>43</sup> far best 44 on continue 45 in essentially 46 favor on 47 on deceive 48 get, of of 49 if for

<sup>50</sup> to don't

第 1 3 日

## 長文読解・速読トレーニング ⑩

学習日 月 日

読解のポイント

状況を表す it/理由を表す分詞構文

きょうと明日は、横浜国立大学で出題された長文をテキストに長文読解をします。きょうのテキストには、have an inclination to  $\sim$  や mean to  $\sim$  のようにいろいろな類義語をもつ表現が出てきます。それぞれ確実に意味がとれるように、よく注意してトレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは2.)	
(1) sadness	(2) mildly
(3) spectacularly [spektækjələrli]	(4) choose
(5) partly	(6) temperament [témpərəmənt]
	(8) cheat
*(3)の名詞形は spectacle [spéktəkl] (壮観, り	見もの)です。
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 1.)	
(1) 悲しみ	(2) 穏やかに
(3) 壮観に,人目をひくほどに	(4) 選ぶ,望む
(5) 部分的に, いくぶんかは	(6) 気質,気性
(7) 確かに	(8) だます
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答え	とは 4.)
(1) make a list	(2) close to $\sim$
(3) get on with $\sim$	(4) a matter of
(5) be born hard (soft)	(6) be disposed to $\sim$
	(8) make a fool of $\sim$
(9) get ahead of $\sim$	
*(5)の hard, soft は人の気質について, それ <sup>2</sup>	ぞれ「厳格な」,「柔和な」という意味です。また,be born はこのよ
うに直後に形容詞,名詞をつけて「~に生ま	れる」となります。 例 be born rich (金持ち〈の家〉に生まれる),
be born a poet (詩人に生まれる→生まれつ	き詩人の才能がある)などがあります。
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.)	
(1) 一覧表を作る	(2) ~に近い
(3) (人と)親しくする, ~の気にいる	(4) ~の問題
(5) 厳格(柔和)な性格に生まれつく	(6) ~する傾向がある
(7) ~を…とみなす	(8) ~をばかにする
(9) ~を追いぬく, しのぐ	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### ■ 確認トレーニング ■■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

─●例文中の単語チェック ──

evade 回避する situation 事態 serious 重大な

- (1) He was a difficult man to get on with.
- (2) Everyone is disposed to evade his own problems.
- (3) We <u>regarded</u> this situation <u>as</u> serious.
  - 図 (1) 彼はつき合いにくい人であった。 (2) だれも、自分自身の問題を回避する傾向がある。 (3) 私たちはこの事態を重要なものとみなした。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

## ━━ トレーニング ━━━

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### ーテキスト 6 -----

If I had to make a list of the causes of sadness in my life, close to the top would be the fact that I did not get on with my father. Actually, that puts it rather mildly. A lot of the time, we got on spectacularly badly. I was almost everything he would not have chosen in a son. He was almost everything I would not have chosen in a father.

- Part 1 **–** 

It was partly a matter of temperament. He was born hard, I think. I was certainly born soft. He did not like people. Or, rather, he was disposed to regard any person whatever as someone who was trying to cheat him, to make a fool of him, to get ahead of him in some way. (横浜国大 改題)

\* Or, rather, は,これでひとつのまとまりなので,くぎってはいけません。また,最後の in some way  $\mathbf{b}$ ,to get ahead of him とでひとまとまりなので,くぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

- 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) If I had to make a list of the causes of sadness in my life, /

(2)	~ close to the top would be the fact /
	*この文は倒置文です。the fact that $\sim$ が主部で close to the top $\sim$ が述部です。(1)とのつながりで人生の悲しみの原因の一覧表で最上位の近くにくるものを強調するために語順が入れかわっています。
(3)	~ that I did not get on with my father. /
A	* that $\sim$ 以下は, $(2)$ の the fact の内容をいっています。この that は関係代名詞ではないことに注意しなさい。 $(1)\sim(3)$ をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(4)	Actually, that puts it rather mildly. /
	*この it は状況を表す用法で,"I"と"my father"との関係を指しています。
(5)	A lot of the time, /
	* time に the がついているので,ここでは,「その当時」の意味です。
(6)	~ we got on spectacularly badly. /
(7)	* got on は got on (with my father) と考えなさい。 I was almost everything /
(8)	~ he would not have chosen in a son. /
	*この文は,(that) he would ~ と考えなさい。that は everything です。 この〈would have +過去分詞〉の形は,第 4 日でも学びましたが,過去の事実と反対の想像を表す仮定法過去完 了の主節に相当する部分です。
(9)	He was almost everything /
(10)	~ I would not have chosen in a father. /
В	(4)~(10)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(11)	It was partly a matter of temperament. /
(10)	* it は、今までの内容すべてを指します。
(12)	He was born hard, I think. /
	*この文は I think he was horn hard レ老さて細したさい

	I was certainly born soft. /
14)	He did not like people. /
C	(11)~(14)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(15)	Or, rather, /
(16)	~ he was disposed to regard any person whatever as someone /
	* any person whatever は「どんな人であっても」です。この whatever は, at all (なんらの)とだいたい同じ意味で用いられ,否定的な意味が加わります。
(17)	~ who was trying to cheat him, /
	* who は someone を指します。
(18)	~ to make a fool of him, /
	*(who was trying) to make ~ と考えなさい。(似りも同じ)
(19)	$\sim$ to get ahead of him in some way. $/$
	* in some way は「何らかの方法で」です。
	(15)~(19)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

## -----〈解答〉-----

- 2 (1) もし私が、私の人生における悲しみの原因の一覧表を作らなければいけないとしたら、
  - (2) 最上位の近くにくるものは、(次のような)事実であろう
    - \*(1), (2)の文は、「実際には、そのようなことはしないのだが」という意味がふくまれています。それを表すために、 英語では現在のことを述べているのに、過去形を使っています。
  - (3) (その事実は、)私が父とうまくやってゆかなかった(ということである)。
  - (4) 実際には、あれ(今の言い方)は、それ(その事実)を、とてもおだやかに述べている。
  - (5) その当時の多く(大半)は,
  - (6) 私たちは、人目をひくほどに、ひどくつきあっていた。
    - \*(6)は、「とても折り合いが悪かった」と訳した方が自然な日本語になります。
  - (7) 私は, ほとんどすべてのものだった
    - \*この文の was は、had と考えて、「~をもっていた」と訳しなさい。
  - (8) (そのすべてのものを)父は、息子の中に望まなかったであろう。
  - (9) 彼は, ほとんどすべてのものだった

- (10) (そのすべてのものを)私は、父親の中に望まなかったであろう。
- (11) 部分的には、それ(父と私の折り合いが悪かったこと)は、気性の問題だった。
- (12) 私は、彼は厳格な性格に生まれついたのだと思う。
- (13) 私は、確かに、柔和な性格に生まれついた。
- (14) 彼は,人間が好きではなかった。
- (15) というよりはむしろ,
- (16) 彼は、どんな人であっても、(次のような)人とみなす傾向があった \* someone は、「誰が」と訳すよりも、「人」と訳す方が自然です。
- (17) (その人が)彼をだまそうとしている
- (18) 彼をばかにしようとする
- (19) 何らかの方法で、彼を追いぬこうとする。
- 囚 もし、私が、私の人生における悲しみの原因の一覧表を作らなければいけないとしたら、最上位の近くにくるものは、私が父とうまくいかなかったという事実であろう。
- 圏 実際には、この言い方は、事実をかなりおだやかに述べている。その当時の大半は、私たちは目に立つほど折り合いが悪かった。私は、父親が息子の中に望まなかったであろうほとんどすべてをもっていた。父は、私が父親の中に望まなかったであろうほとんどすべてのものをもっていた。
- © 部分的には、それは気性の問題だった。私は、彼は厳格な性格に生まれついたのだと思う。私は、確かに柔和な性格に生まれついた。彼は人間が好きではなかった。
- ② というよりはむしろ、彼はどんな人であっても、彼をだまそうとし、彼をばかにしようとし、何らかの方法で彼を追いぬこうとしている人だとみなす傾向があった。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

(1) firmly	(2) snort [sno:rt]
(3) damned(副)	(4) tolerant [tálərənt]
(5) adolescent [æd∂lés∂nt]	(6) wishful
(7) idealism	(8) disagreement
(9) cling [kliŋ]	
す。ほかに liberalism [libaralizam]	(自由主義)の〈liberal (自由主義の) + ism〉,capitalism (資本主義)の
〈capital (資本)+ ism〉などがあり 成り立っています。	ます。(8)の disagreement は、〈dis (否定) + agreement (意見の一致)〉から
〈capital (資本) + ism〉などがあり成り立っています。 2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え)	ます。(8)の disagreement は、〈dis (否定) + agreement (意見の一致)〉からは $1$ .)
〈capital (資本) + ism〉などがあり成り立っています。 2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え)	ます。(8)の disagreement は、〈dis (否定) + agreement (意見の一致)〉から
〈capital (資本) + ism〉などがあり成り立っています。 2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え(1) しっかりと、断固として	ます。(8)の disagreement は、〈dis (否定) + agreement (意見の一致)〉からは $1$ .)
《capital (資本) + ism》などがあり 成り立っています。  2. 次の日本語を英語にしなさい。(答え (1) しっかりと,断固として	ます。(8)の disagreement は、〈dis (否定) + agreement (意見の一致)〉から は 1.) (2) 鼻を鳴らすこと

(9) しがみつく, 執着する	(10) 必死になって
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)
(1) on the other hand	(2) have an inclination to $\sim$
(3) take against	(4) be caught up in
	(6) mean to $\sim$
(7) cling on to	
of ~ing, be going to ~ などがありま  4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは	3.)
	(2) ~する傾向がある (4) ~に熱中する
(5) 頂点に達する	(6) ~するつもりである
(7) ~にしがみつくでは、いまチェックした語句と表現を、実際	
■■■■■ 確認トレーニング ■■■■■	

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック ---

baron 男爵 scold しかる victim 被害者 resentment 怒り

- (1) He has an inclination to get angry if you ask a lot of questions.
- (2) The barons took against the King and supported the people.
- (3) She was scolded because she was caught up in talking with her friend during the ceremony.
- (4) The victims' resentment came to a head when they heard the news.
- (5) I mean to talk to him about his bad behavior.
- (6) She clung on to his arms and kept on appealing to him.
  - 駅(1) 彼は、もし人が多くの質問をするなら、怒り出す傾向がある。(2) 男爵たちは、王に反感 をもち、人民の味方をした。 (3) 彼女は式典の最中に友だちと話に熱中していたのでしかられ た。(4) 被害者たちの怒りは、その知らせを聞いたとき頂点に達した。(5) 私は、彼の不作 法について彼と話をするつもりだ。(6)彼女は、彼の両腕にしがみつき、彼に懇願し続けた。

知らなかったもの, まちがえたものには, 赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

## トレーニング

2

# ■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

_	—— テキスト 6 — Part 2 —	
	I, on the other hand, have an inclination to like people. Someone has to behave really rather like Dracula for me to take firmly against him. As my father once said, towards the end of his life, with a snort of anger: 'You're always so damned tolerant!'	
	When I was an adolescent, caught up in all sorts of wishful idealisms, then the quarrel of our temperaments came to a head. 'Put that book down,' my father once said.	
	It was another cause of disagreement between us —— that I was always reading. 'Put that book down and tell me what you mean to do with yourself.' Well, I was, at the time, clinging on desperately to school, but I knew I was not going to be able to cling on much longer. (横浜国大 改題)	
	* Someone has to $\sim$ の文は,一カ所でくぎり,大きく二つに分けなさい。また,Put that book down and me $\sim$ の文は,すでに一度 Put that book down が出てきているので,くぎらずに意味を考えるようにしなる	
	近切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。	
適		
育	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。 I, on the other hand, /	
▮ 育	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。	
(1)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。 I, on the other hand, / ~ have an inclination to like people. /	
(1) (2)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。 I, on the other hand, / ~ have an inclination to like people. /	
(1) (2) (3)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。 I, on the other hand, / ~ have an inclination to like people. / Someone has to behave really rather like Dracula /	
(1) (2) (3)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。 I, on the other hand, /  ~ have an inclination to like people. /  Someone has to behave really rather like Dracula /  ~ for me to take firmly against him. /	
(1) (2) (3) (4)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。  I, on the other hand, /  ~ have an inclination to like people. /  Someone has to behave really rather like Dracula /  ~ for me to take firmly against him. /  * for me to ~ は「私が~するために」です。	
(1) (2) (3) (4)	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。  I, on the other hand, /  ~ have an inclination to like people. /  Someone has to behave really rather like Dracula /  ~ for me to take firmly against him. /  * for me to ~ は「私が~するために」です。 (1)~(4)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。	

(7)	$\sim$ with a snort of anger : $\nearrow$
(8)	* a snort of anger は「怒りから生ずる鼻息」です。 ~ 'You're always so damned tolerant!' /
В	(5)~(8)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(9)	When I was an adolescent, /
(10)	$\sim$ caught up in all sorts of wishful idealisms, $\diagup$
/a a\	* caught up ~ は理由を表す分詞構文で接続詞 because と主語 I が省略されています。この部分は(because I was) caught up ~ と考えます。
(11)	~ then the quarrel of our temperaments came to a head. /
C	(9)~(11)をまとめて, 自然な日本語の文にしなさい。
12)	'Put that book down,'
13)	* put ~ down は「下に~を置く」です。 ~ my father once said. /
14)	It was another cause of disagreement between us /
(15)	* another は「もう一つの、別の」です。it は、次の低を指します。 ~ —— that I was always reading. /
16)	*ここの — (ダッシュ)は、「つまり」とすればよいのです。 'Put that book down and tell me what you mean to do with yourself.' /
D	* do with は 「~を処置する」です。 (12)~(16)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(17)	Well, I was, at the time, clinging on desperately to school, /
	*この文は、Well, at the time, I was desperately clinging on to school.となる。

- (18) ~ but I knew /

  (19) ~ I was not going to be able to cling on much longer. /

  \* cling on (to school) と考えます。not ~ much longer は「それほど長くは~ではない」です。
- E (17)~(19)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

## -----〈解答〉<del>-----</del>

- 2 (1) それとは反対に, 私は,
  - (2) 人間を好む傾向がある。
  - (3) ある人は、ほんとうにドラキュラのようにふるまわなければならない。
  - (4) 私が、その人に断固として反感をもつためには
  - (5) 父が、かつて言ったように、
  - (6) 彼の一生の終わりごろ,
  - (7) 怒りから生ずる鼻息をともなって,
    - \*「怒りで鼻息をあらげて」とすると,自然な日本語になります。
  - (8) 「おまえは、いつも、まったく寛容なのだから」
  - (9) 私が, 青年だったとき,
  - (10) すべての種類の,望みに満ちた理想主義に熱中していたので,
    - \* all sorts of  $\sim$  は,of  $\sim$  から訳すのではなく,先頭から「すべての種類の $\sim$ 」とした方が,自然です。
  - (11) そのとき、私たちの気質が原因の口論が、頂点に達した。
  - (12) 「本を下に置け」
  - (13) 私の父は、かつて(こう)言った。
  - (14) それは、私たちの間のもう一つの意見の相違の原因だった
  - (15) つまり、私が、いつも本を読んでいたことである。
  - (16) 「本を下に置いて、おまえ自身にどう対処するつもりなのかを話してくれ」
  - (17) 確かに、その当時、私は必死に学校にしがみついていた
    - \* well は、何かを言い始めるときの表現です。「ええ、えーと」など、いろいろな訳がありますが、ここでは自分自身について父親の言ったことに同意した感じがあるので、「確かに」とすると前後のつながりがよくなります。
  - (18) しかし、私は(次のことを)知っていた
  - (19) 私が、それ程長く(学校に)しがみついていられないだろう(ということを)。
- 图 それとは反対に、私は人間を好む傾向がある。私がある人に断固として反感をもつためには、その人はほんとうにドラキュラのようにふるまわなければならない。
- 回 私の父が晩年、怒りで鼻息を荒くして、「おまえは、いつも、まったくあまいのだから」とかつて言ったように。
- © 私が10代だったとき,私はすべての種類の望みに満ちた理想主義に熱中していたので,私たちの気性が原因の口論は頂点に達した。
- 私の父はかつて「本を下に置け。」と言った。それは、私たちの間のもう一つの意見の相違の原因だった。つまり、私がいつも本を読んでいたことである。「本を下に置いて、おまえ自身のことをどうするつもりなのかを話しなさい。」
- 匠 確かに、その当時、私は、必死に学校にしがみついていた。しかし、私はそれほど長くしがみついていられないだろうということを知っていた。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (151~200・第2回)

	に適切な語を記入し,日本語に合	う熟語を完成させなさい。(⇒は	類義語, 図は反意語を示す)
□ 1	多少、いくぶん	moreless	⇒ to some(ある程度ま で)
□ 2	~の世話をする, ~に気をつける	look~	⇒ take of ~ (~の世話をす る)
□ 3	同様に	in the way	⇒
□ 4 る	~についていく,遅れないようにす		$\Rightarrow$ keep with (of) $\sim$
□ 5	むなしく, むだに	in	⇒(むだに)
□ 6	~を…にまかせる	leave ~ ···	→ ~ to … (~を信頼して …させる)
□ 7	~を…と見なす,~を…だと思う	look on $\sim$	$\Rightarrow$ think $\sim$ as $\cdots$
□ 8	やっとのことで~する	to do $\sim$	$\Rightarrow$ contrive do $\sim$
□ 9	~をできるだけ利用する	make the of $\sim$	⇒ make the best of ~ (~をもっとよく利用する)
□1 <b>0</b>	~な生活を送る	lead a $\sim$	$\Rightarrow$ a $\sim$ life
	~するつもりである	to do $\sim$	$\Rightarrow$ to do $\sim$
□12	~を尊敬する, ~を賞讃する	up to $\sim$	⇒(~を尊敬する)
□13	少なくとも~	not than $\sim$	$\Rightarrow$ least $\sim$
□14	~を主張する	insist $\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ persist $\sim$
□15	~を取りもどす,~をうめ合わせる	make up $\sim$	⇒ for ~ (~をうめ合 わせる)
□16	~を軽べつする, ~を見下ろす	look down	図 look to ∼ (∼を尊敬する)
□17	少しも~でない	not ~ all	$\Rightarrow$ not $\sim$ the least
□18	ますます	more more	⇒, all the more
□19	~の間に	in the $\overline{}$ of $\sim$	⇒
□20	~から考えて、~に照らして	in of $\sim$	⇒ the light ~ (~に照 らして)
□21	~するとすぐに -	no $\sim$ than	$\Rightarrow$ $\sim$ when, $\sim$ before
<b>□22</b>	はかどる,前進する	make	⇒ (前進する)
□23	~を傍観する,~を見物する	look (upon) $\sim$	→ (見物する)
□24	~となる,~に至らせる	lead~	⇒ end ~ (~となる)
□25	~に寄与する,~に向かって進む	make ~	 ⇒ (~に寄与する)
□26	結局は	the long	⇒all
□27	~を維持する	keep $\sim$	<u></u>
□28	きっと, 疑いなく	no	⇒ doubt
□29	まず第一に	the first	⇒ first all
□30	~を軽んじる,~を軽く見る	make of ~	図 make of ~ (~を重んじる)
□31	放っておく,一人にしておく	leave	⇒alone

□32	自分の言うことを人にわからせる	make oneself	⇒ make one~ ~ (人に
			~をわからせる)
□33	~を理解する、わかる	make $\sim$	<b>⇒</b>
□34	~に出くわす, ~を経験する	meet $\_$	⇒ come ~ (~に出くわ
			<b>के</b> )
□35	~するのはもっともだ	may do (be) $\sim$	⇒ good reason do
			(be) $\sim$
□36	(辞書などで)調べる,~を見上げる	look~	⇒(〈辞書などで〉調べ
			る)
□37	…を妨げて~させない	keep $\cdots$ $\sim$ ing	⇒ prevent ···~~ing
□38	~だけでなく…も	merely $\sim$	$\Rightarrow$ only $\sim$ (also)
		(also) ···	
□39	~したほうがよい	may (might) well do	$\Rightarrow$ better do $\sim$
		~	
<b>40</b>	努力する	an effort	⇒ oneself
<b>□41</b>	ただ~にすぎない	no than $\sim$	<b>→</b>
<b>42</b>	たとえ何が~でも	no matter $\sim$	⇒
□43	少しも~でない	not $\sim$ in the	$\Rightarrow$ not $\sim$ at all, by no means (決して
			~でない)
<u>44</u>	~することにしている	it a to do $\sim$	$\Rightarrow$ be the habit $\sim$ ing
<u></u> 45	もはや~ではない	no ~	$\Rightarrow$ not $\sim$ any
□46	~も…も一でない	~	$\Rightarrow$ not $\sim$
□47	~を利用する	make $\_\_$ of $\sim$	<b>⇒</b>
□48	~を楽しみにして待つ,~を期待す		
る			
□49	(~することを)決心する	make one's	⇒, determine
		to do ~	
□50	~について, ~の場合には	in case of $\sim$	⇒ case ~ (~の場合には)

<sup>----</sup> 解答 -----

<sup>1</sup> or extent 2 after care 3 same likewise 4 with abreast 5 vain uselessly 6 to trust

<sup>7</sup> as of 8 manage to 9 most use 10 life live 11 mean intend 12 look respect 13 less at

<sup>14</sup> on in 15 for compensate 16 on (upon) up 17 at in 18 and increasingly 19 course during

<sup>20</sup> view in, of 21 sooner hardly, scarcely 22 progress advance 23 on watch 24 to in

<sup>25</sup> for contribute 26 in, run after 27 up maintain 28 doubt beyond 29 in, place of 30 light much

<sup>31</sup> alone let 32 understood understand 33 out understand 34 with across 35 well have, to

<sup>36</sup> up consult 37 from from 38 not, but not, but 39 as had 40 make exert 41 more only

<sup>42</sup> what whatever 43 least 44 make, rule in, of 45 longer more 46 neither, nor either, or

<sup>47</sup> use utilize 48 forward anticipate 49 up, mind decide 50 the in

第14日

## 長文読解・速読トレーニング ⑪

学習日 月 日

読解のポイント

動名詞の意味上の主語/付帯状況を示す with 不定詞の意味上の主語

きょうは、横浜国立大学で出題された随筆文の後半を学習します。この文章は、普通の文と、会話文とが両方入っており、口語表現の知識と、普通の文を読みこなす知識の両方が要求されています。このような入試問題も最近はしばしば出題される傾向があるので、十分トレーニングしておきなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) helpless	(2) attack
	(4) stupid
	(6) awful [5:fəl]
	ない,~しがたい)〉から成り立つ形容詞です。ほかには, less〉,restless (落ちつかない)の〈rest (休む) + less〉などがあ
<b>2. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 1.)	
(1) 無力な, 頼りない	(2) 攻撃する, 非難する
	(4) 愚かな, ばかな
	(6) 恐ろしい,ひどい
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答えは	4.)
(1) (be) responsible for $\sim$	(2) care about $\sim$
	(4) bring oneself to $\sim$
(5) put up with $\sim$	
*(1)の responsible の反意語は, irresponsible (責任	Eのない,無責任な)です。この ir を使った反意語をもつ単語に relevant (関係のある)⇄ irrelevant (無関係な)などがありま
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) ~の責任がある, ~のせいである	(2) ~を気にかける
	(4) ~する気になる
(5) ~をがまんする	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック -

safety 安全 offer 申し出 inventor 発明家 discouragement 落胆・がっかりさせること

- (1) I am responsible for the safety of her family.
- (2) She won't care about the price, as long as the automobile is in a good condition.
- (3) I couldn't bring myself to accept their offer.
- (4) I suppose that inventors have to put up with a lot of discouragement if they want to succeed.
  - 訳(1) 私は彼女の家族の安全を守る責任がある。(2)彼女は、その自動車がよい状態であるかぎり、値段は気にしないでしょう。(3)私は、彼らの申し出を受け入れる気にならなかった。(4)私が思うに、発明家たちは、もし成功したいと思うのであれば、たくさんのがっかりするようなことでも、がまんしなければならないのだと思う。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

## トレーニング

11 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は22参照)

## - テキスト 6 ―

- Part 3 **–** 

'I ····· just want to do something that will make the world a better place,' I said, in a helpless, 17-year-old way. 'Oh, damn the world,' said my father. And he then attacked all the people he thought responsible for this absurd idealism of mine. 'Just remember,' he said, as he said so often, 'just remember, all anyone cares about is Number One. If you can get that into your head, you'll be all right. But these stupid ideas about ······'; and he could not bring himself actually to utter those awful words of mine, 'making the world a better place'. 'Stupid ideas ······ Well, I'm not putting up with your sitting around much longer with your nose in a book ·····.'

(横浜国大 改題)

\* he said, as he said so often, の部分は、途中でくぎらないようにしなさい。また、最後の文は、意味のまとまりで、大きく二つに分けなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

が問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

(12)	If you can get that into your head, /
/ <b>1</b> D)	* that は, ((0), (11)の内容を指しています。
(13)	~ you'll be all right. /
C	(8)~(13)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(14)	But these stupid ideas about'; /
(15)	* about 以下は、(16)で述べられていますが、 は、口ごもっている感じを表しています。 ~ and he could not bring himself actually to utter those awful words of mine, /
(16)	* those awful words of mine の those は、次の仰を指しています。 ~ 'making the world a better place'. /
(17)	*この部分は、(4)の about という前置詞につながっているので、making という動名詞になっています。  'Stupid ideas /
(18)	Well, I'm not putting up with your sitting around much longer /
(19)	*この文全体の主語はIですが、ここでは所有格の your が動名詞 sitting の意味上の主語になっています。 ~ with your nose in a book' /
	*この with は付帯状況を表し,「〜しながら」と訳します。一つの動作・状況がほかのものに付随しているときに使います。
D	(14)~(19)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

## ----〈解答〉-----

- 2 (1) 「私は……(次のような)ことをしたいだけです。
  - (2) (そのことは)世の中をよりよい場所にする(ような)」
  - (3) と私は, 頼りない, 17歳の(人の)様子で言った。
  - (4) 「ああ,世の中だと,くそっ」
  - (5) と父は言った。
  - (6) そして、それから彼は、(次のような)すべての人々を攻撃した
  - (7) (その人々を)彼は、この私のばかげた理想主義に責任があると考えた。
  - (8) 「ちゃんと覚えておけ」
  - (9) 彼は、たいへんちょくちょく言うように言った

- (10) 「ちゃんと覚えておけよ。どんな人でも、気にかけることのすべては
- (11) 自分自身だけのことなのだ。
- (位) もし、おまえがその(いま言った)ことを、ちゃんと頭の中に入れておけば
- (13) おまえは、だいじょうぶだろう。
- (14) しかし、これらの(次のことについての)ばかげた考えは……。
- (15) そして、彼は、(次のような)あの私のおろかしいことばを実際に自分で口に出す気になることができなかった
- (16) 「世の中をよりよい場所にすること(という)。」
- (17) 「ばかげた考えだ ……
- (18) それで、もういまや私はおまえが、そこいらにすわっていることにがまんしていないぞ
- (19) おまえの鼻が本の中に入っている状態で」
  - \* your nose in a book は、「本に首をつっこむ」とする方が自然な日本語の文になります。ただし、英語の表現での nose に注意しなさい。
- □ 「私は …… 世の中をよりよい場所にするようなことをしたいだけです。」と頼りない 17歳の若者の言い方でいった。
- ⑤ 「ああ、世の中だと、くそっ」と父は言った。そして、それから父は、この私のばかげた理想主義の原因であると彼が思っている人々すべてを攻撃した。
- © 「いいか,よく覚えておけ。」と,彼はいつも言っている調子で言った。「いいか,よく覚えておけ。どんな人でも気にかけることは,すべて自分自身だけのことなんだ。もし,おまえがこのことを頭のなかにしっかりおさめておけば,おまえはだいじょうぶだろう。
- □ しかし、こういったばかげた考えは……」そして彼は、「世の中をよりよい場所にする」という、あの私のおろかなことばを実際に自分で口にする気になれなかった。「ばかげた考えだ。それで、もういまや、私はおまえが本に首をつっこんでこれ以上そこいらに座っていることには、がまんしてはいないからな。」

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは2.)	
(1) constant	(2) war [wɔːr]
(3) exaggerate [igzædʒəreit]	
(5) bitterly	(6) especially
(7) literature	(8) ordinary
(9) difference	(10) extraordinary [ikstrɔ́:rdəneri]
	ə:rk]—walk [wɔ:k],worm [wə:rm]—warm [wɔ:rm]にも注意 外の,~の範囲外の)+ ordinary(普通の)> から成り立ってい
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは1.)	
(1) 不変の,たえまない	(2) 戦い
(3) 誇張する	(4)(神が)創造する
(5) ひどく, 悲痛に	(6) とくに

(7) 文学	(8) 普通の
(9) 相違	(10) 異常な
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答	· えは 4.)
(1) lay waste $\sim$	(2) early youth
(3) at the time	(4) out of humor
	(6) for one (a) moment
(7) ought to $\sim$	(8) feel love for $\sim$
(9) be at peace with $\sim$	
*(6) $l$ t, for a moment, for a minute, for a	second, for a while などの類語もあります。
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.)	)
(1) ~を荒廃させる	(2) 青年時代の初期
(3) 当時	(4) ふきげんで
(5) それは~というわけではない	(6) 一瞬,ちょっとの間
(0) 64618 61 94919 618 81	
	(8) ~を愛する

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

# ■■■ 確認トレーニング ■■■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

-●例文中の単語チェック -----

entity 物体 pause 止まる obey 従う

- (1) At the time, I was not quite prepared to make a trip to the States.
- (2) They are afraid of you because you are so out of humor today.
- (3) It is not that we have not seen the small entity. It is simply that we have not noticed it.
- (4) He paused there for a moment and went away without saying anything.
- (5) You ought to obey the laws of your country.
- (6) At that time, Jack was at peace with Jane.
  - **國 (1) その当時,私は,アメリカへ旅行する準備が十分にはできていなかった。 (2) 彼らは,あ** なたを恐れている。というのは、きょう、あなたは、とてもふきげんだから。 (3) われわれが その小さな物体を見たことがないというわけではない。たんに、われわれがそれに気づかなかっ ただけだ。(4)彼はそこでちょっと立ち止まり、何も言わずに行ってしまった。(5)あなた は国の法律に従うべきである。 (6) あの当時、ジャックとジェインは、仲がよかった。

知らなかったもの, まちがえたものには, 赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では, テキストの読解トレーニングを始めなさい。

# 11 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

Г	──
	It was a constant war that —— I do not exaggerate —— laid waste the years of my adolescence and early youth. It seemed to me, at the time, that my father had been created simply to be bitterly out of humour with everything I did, everything I loved —— especially literature, especially music. It was not that I believed for one moment that he ought to think as I did or feel love for the same things as myself. I wanted him only to be at ordinary peace with the differences between us, instead of oh, most extraordinary war. (横浜国大 改題)
_	*最初の文は,意味のまとまりごとに,大きく二つに分けなさい。 $I$ wanted him $\sim$ 以下の文は,instead of $\sim$ まで途中でくぎってはいけません。
遃	切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。
<b>2</b> f	前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
(1)	It was a constant war /
(2)	* it was ~ that … の構文で ~ の部分を強調する表現で、意味は「…なのは、まさに~であった」です。 ~ that —— I do not exaggerate —— laid waste the years of my adolescence and early youth. /
Α	* I do not exaggerate は、つけ加えの部分です。「〜だが」と訳します。また、years of my 〜 の of は、「〜からなる」という意味です。 (1)、(2)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
(3)	It seemed to me, /
(4)	* it は、(5)の that 〜以下です。seem to 〜は「〜には…のように思われる」です。 〜 at the time, /
(5)	~ that my father had been created /
	* had been ~ という時制は,(4)の seemed より以前のできごとを述べています。訳は,「それまでに~だった」と します。
(6)	$\sim$ simply to be bitterly out of humour $\nearrow$

* everything (that) I $\sim$ と考えて訳しなさい。 $with$ は「 $\sim$ に関して」です。
~ —— especially literature, especially music. /
(3)~(8)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
It was not that I believed for one moment /
* for one moment は「ほんの少しの間」です。
$\sim$ that he ought to think as I did $\nearrow$
~ or feel love for the same things as myself. /
* or feel love for ~は or he ought to feel love for です。
the same $\sim$ as $\cdots$ は「 $\cdots$ と同じように $\sim$ 」です。 (9) $\sim$ (11)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
I wanted him only to be at ordinary peace with the differences between us, /
* I wanted him only to be 〜 は「私は彼が〜することのみを望んだ」の意味で,him は不定詞 to be の意味上の語です。
~ instead of oh, most extraordinary war. /

## ----·〈解答〉------

- 2 (1) まさに、たえまのない戦い(争い)だった
  - (2) 誇張しているのではないのだが、私の思春期と、青年時代の初期からなる数年を荒廃させたのは。
  - (3) 私には、(次のように)思えた
  - (4) その当時
  - (5) 私の父は, もうすでに創られていた
  - (6) たんに、ひどくふきげんでいるように
  - (7) 私がしたすべてのこと、私の愛したすべてのものに
  - (8) とくに文学とか、音楽に

- (9) (それは)私が、ほんのしばらくの間(次のように)信じたからではなかった
- (10) 彼が, 私のように考えるべきだと
- (11) あるいは私自身(が愛を感じる)と同じものに愛を感じる(べきだと)
- (12) 私は、彼が、私たちのちがいに関して平然としていることのみを望んだ \* be at ordinary peace with  $\sim$  は、「 $\sim$ に関して平然としている」と訳すほうが自然な文になります。
- (13) …… ああ、じつに異常な争いのかわりに
- 函 誇張しているのではないが、私の思春期と青年初期の数年を荒廃させたのは、たえまのない(父との)争いだった。
- **B** 私には、当時父は、私のしたことすべてに、私の愛したものすべてに、とくに、文学とか音楽に、ただたんにひどくふきげんでいるように創られ(生まれ)てきたように思えた。
- ② 私が考えるように父は考えるべきだと、あるいは私(が愛を感じるもの)と同じものに父も愛を感じるべきだと、 私がほんのしばらくの間でも信じたわけではなかった。
- 私は、ああ、じつに異常な争いのかわりに、父が、私たちのちがいに対してただ平然としていてほしいとだけ思ったのだった。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (201~250・第2回)

に適切な語を記入し,日本語に合う	う熟語を完成させなさい。(⇒は漿	(義語, 図は反意語を示す)
□1 ~に関連がある	relate $\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ refer $\sim$
□ 2 時代遅れで、旧式で	out of	(最新式の)
□ 3 ひとりでに、自然に	oneself	⇒(自然に)
□ <b>4</b> ~の方には <b>,</b> ~による	on the of ~	⇒ on part (~の方には)
□ 5 立て続けに	on or	⇒
□ 6 故障して	out of	$\Rightarrow$ be with $\sim$
<ul><li>□ 7 ~を経験する, ~を通過する</li></ul>		⇒ pass ~, experience (~&
□ / ~を在映りる, ~を地廻りる	pass ~	経験する)
□8 ~を我慢する, たえしのぶ	put up $\sim$	⇒, bear
□9 ~をかたづける	put~	⇒(もとの場所にもど
		す)
□10 概して	on the	⇒
□11 ~を参照, ~を引用する, ~に関連		⇒ relate ~ (~に関連がある)
がある		
□12 ~に固執する、~を強く主張する	persist $_{}$ $\sim$	$\Rightarrow$ insist $\sim$
□13 (季節, 天候などが)始まる	set	⇒
□14 一方では~, 他方では…	on the hand $\sim$ , on	$\Rightarrow$ $\sim$ , the other $\cdots$
	the other (hand) ···	
□15 ~を書きとめる, ~を書く	put ~	$\Rightarrow$ down $\sim$ , note down $\sim$
□16 …に~の借りがある	owe ~ ···	$\Rightarrow$ be indebted to $\cdots$ $\sim$
□17 ~を始める, ~にとりかかる	set~ing	⇒
□18 ~に頼る, ~を当てにする	rely ~	$\Rightarrow$ depend $\sim$ , count on $\sim$
□19 ~すらしない	not much ~	$\Rightarrow$ not $\sim$
□20 一体全体, この世に(で)	earth	⇒ the world (一体全体)
□21 ~と…を引き離す	separate ~ ···	⇒ divide A B (A を B に分
		ける)
□22 ~に…をあたえる	provide $\sim$	$\Rightarrow$ $\sim$ with $\cdots$
□23 ~として認められている,~で通る	pass ~	$\Rightarrow$ be accepted $\sim$
□24 次々に	one after	⇒ succession
□25 ~を指摘する, ~を指し示す	point ~	$\Rightarrow$ attention $\sim$ ,
	-	indicate ~ (~を指し示す)
□26 時々	now and	⇒, occasionally
□27 それどころか,これに反して	on the	⇒ contrary ~ (~に反して)
□28 ~の結果として生じる	result~	⇒ arise~
□29 ~よりむしろ…	so ~ as ···	_
□30 …よりも~を好む	prefer $\sim$	⇒ than
□31 何とかして, どうにかして	one way or	⇒ in some
□32 ~の準備をする	prepare ~	

□33 A が~するのをさまたげる	prevent A~ing	⇒ A from ∼ing (A が~す
		るのを止めさせる)
□34 ~を…とみなす,考える	regard $\sim$ ···	$\Rightarrow$ think $\sim$
□35 ~を…に変える	reduce $\sim$ ···	$\Rightarrow$ turn $\sim$ ···
□36 ~に注意をはらう	attention $\sim$	$\Rightarrow$ be careful $\sim$
□37 わざと,故意に	on	図 by, by accident (偶然
		WZ)
□38 ~を組み立てる	set ~	$\Rightarrow$ put $\sim$
□39 ~から回復する, ~が治る	recover $\_$	⇒ get ~
□40 役割を果たす	play role	⇒ play part
□41 ~をさがす	search $\_\_\_$	$\Rightarrow$ for $\sim$ , seek for $\sim$
□42 ~から…を奪う	$rob \sim \_\_\_$	$\Rightarrow$ deprive $\sim$ ···
□43 ~を出発する, ~し始める	set $\_\_\_$	⇒ set, start (~を出発する)
□44 どしゃぶりに降る	down	⇒ it rains and
□45 ~に終わる,結局~となる	result $\_$	$\Rightarrow$ end $\sim$
□46 ~に返答する,応じる	respond $\_\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ reply $\sim$
□47 (あかり,火)を消す	put ~	⇒ switch ~, extinguish
□48 ~のために	to $\sim$	$\Rightarrow$ account $\sim$
□49 ~を延期する	put $\sim$	⇒
□50 必ずしも~でない	necessarily $\sim$	$\Rightarrow$ not always $\sim$

<sup>——</sup> 解答 ——

<sup>1</sup> to to 2 date date 3 of spontaneously 4 part one's 5 end continuously 6 order wrong 7 through by 8 with endure 9 away replace 10 whole generally 11 to to 12 in on (upon) 13 in begin 14 one one 15 down write 16 to for 17 about start 18 on on 19 so, as even 20 on in 21 from into 22 with supply 23 for as 24 another in 25 out call, to 26 then sometimes 27 contrary to 28 from from 29 not, much rather 30 to like, better 31 another way 32 for make 33 from stop 34 as of, as 35 to into 36 pay, to of 37 purpose chance 38 up together 39 from over 40 a a 41 for look 42 of of 43 off out 44 pour cats, dogs 45 in in 46 to to 47 out off 48 owing on, of 49 off postpone 50 not

第 15 日

英作文③

学習日 月 日

重要表現 ~ しないようにしている try not to ~ take care of ~

まるで初めて $\sim$ のように as if  $\sim$  for the first time

「すませてしまう」と take care of とが同じ意味になることは、なかなか思いつかないでしょう。しかし文脈によっては、このように訳すのがふさわしいこともあります。「すませる」を finish と機械的におきかえることを避け、文全体のシチュエーションを考えることに慣れなさい。

— 例 題1 —

電話というものは、ベルが鳴り出したら、何をしていようが、応対を余儀なくさせられる。だから、こちらから電話をかける時も、相手に迷惑をかけないようにしている。それが電話のエチケットではないか。 (横浜国大)

例題にふくまれている表現をひとつひとつトレーニングしていきます。まず、次の表現を覚えなさい。

#### ■■■ 確認トレーニング ■■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

#### ▶電話というものは

- (a) the telephone
  - \*ただし、「~というものは」が、いつも the ~ というわけではありません。文脈によって、animals (動物というものは) と複数形にしなければいけないときもあります。
- (1) ラジオというものは
- (2) ステレオというものは
- (3) テレビというものは
  - 〈訳 例〉 (1) the radio
    - (2) the stereo
    - (3) the television

#### ▶~を余儀なくさせられる

- (a) ~ force(s) [you] to … (「~が〔あなたに〕…することをしいる」とした場合)
- (b) be obliged to  $\sim$  (受動態で、「させられる」対象を主語にした場合)
- (4) 勉強を余儀なくさせられる
- (5) 家の売却を余儀なくさせられる

-	《訳 例》(4) force(s) [you] to study または be obliged to study		
`	(5) force(s) (you) to study または be obliged to study	o call the house	
	(6) force(s) (you) to be absent または be obliged to be		
	(o) forecast (four to be absent & /c/a be obliged to be	absent	
j	以上の基本的な表現は、何度も音読したり書いたりして確実に覚え	なさい。	
}	次は,例題1の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてト	レーニングします。	
	— 重要表現 1 ● 何をしていようが —————————		
1	whatever we may be in the middle of doing ( $\lceil \sim \mathcal{O}  brace$	最中」を強調した場	場合)
2	no matter what you may be doing(行為の内容を強詞	調した場合)	
3	regardless of the business you are involved in at th	e moment ( $\lceil \sim \wr z \rceil$	もかかわらず」の
1	regardless of,「~に関係する,没頭する」の be involved		
	*日本文には表れていないが,③のように at the moment を	書き加えることによっ	て,原文全体にふく
	れた意味が生きることになります。		
	それでは、トレーニングに進みます。 トレーニング <b>エー</b>		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	書き入れて,「何を	していようが亅と
う う え	■■ トレーニング ■■■■ 〔 〕の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書 意味の英語表現を完成させなさい。		-
う <b>う</b> (1)	トレーニング 「		-
うま (1) (2)	トレーニング 「	the middle	doing
) (1) (2) (3)	トレーニング 「	the middle	doing
うず (1) (2) (3)	トレーニング	the middle ( on, in, at	doing
うが (1) (2) (3)	トレーニング  「	the middle ( on, in, at	doing
うが (1) (2) (3)	トレーニング	the middle ( on, in, at	doing
うが (1) (2) (3) (1)	トレーニング  「	the middle ( on, in, at	doing
うが (1) (2) (3) (1)	トレーニング  「	the middle ( on, in, at	doing  ] the moment
(1) (2) (3) ミ (1) (2)	トレーニング  「	the middle ( on, in, at	doing  ] the moment

〈解答〉 🚺 (1) whatever, be, in, of (2) no, may (3) of, are, in, at

2 (1) Come right now whatever you may be in the middle of doing. (2) I won't forget you

no matter what I may be doing. (3) She speaks to me regardless of the business I am involved in at the moment. (4) She eats supper on time whatever she may be in the middle of reading.

━━=重要表現2●~しないようにしている ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━
<ul><li>① try not to ~ (「~しないように努力する」とした場合)</li><li>② be always careful not to ~ (「~しないようにいつも気をつける」とした場合)</li></ul>
それでは、トレーニングに進みます。
トレーニング
[3] [ ]の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「~しないようにしているという意味の英語表現を完成させなさい。
(1) try ( to not, to do not, not to ) (2) always careful (3) to
4 次の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
(1) 私は遅刻しないようにしている。 I
(2) 彼らはおたがいに会わないようにしている。 alwayseach other.
(3) 宿題を忘れないようにしなさい。 your
(4) 私はいつもあまりお金を使わないようにした。 was too much
<ul> <li>(解答) 3 (1) not to (2) be, not, to (3) try, not</li> <li>(1) I try not to be late. (2) They are always careful not to see each other. (3) Try not forget your homework. (4) I was always careful not to spend too much money.</li> </ul>
実戦トレーニング <b>5</b> 例題 1 全文を英語に訳しなさい。
電話というものは、ベルが鳴り出したら、何をしていようが、応対を余儀なくさせられる。だら、こちらから電話をかける時も、相手に迷惑をかけないようにしている。それが電話のエチケトではないか。

The telephone, once it starts ringing, forces you to answer it, whatever you may be in the middle of doing. That is why I am always careful not to make a nuisance of myself when I call someone myself. Isn't this proper phone manners? または When the telephone starts ringing, we are obliged to answer it, regardless of the business you are involved in at the moment. Therefore, I try not to cause trouble when I give a ring myself. I believe that is good manners for using the telephone. または When the telephone starts ringing, we are obliged to answer it, no matter what we are doing. This is the reason I try not to impose on people when I use the telephone myself. Isn't that good manners when calling others?

## -例 題2—

この20年間位の間にわれわれは通信手段として電話というものをやたらに使うようになった。 とりわけ若い人たちは、手紙を書くという習慣をいつのまにかほとんど完全に忘れ去り、たいていの用事は電話ですませてしまうようだ。 (東京大)

まず、次の表現を覚えなさい。

#### ■■ 確認トレーニング ■■■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

#### ▶この~位の間に

- (a) these (twenty years) or so
- (b) since (twenty) or so (years) ago
- (c) during the past (twenty years) or so

#### ▶~するようになった

- (a) have been  $\sim$ ing
- (b) have come to  $\sim$
- (1) この 10 年位の間に働くようになった
- (2) この2ケ月位の間に泳ぐようになった
- (3) この 1 週間位の間に雪が降るようになった
  - \*(3)には during を用います。「1 週間」を表すのに one は不要です。(since → since last week)
  - 〈訳 例〉 (1) have been working these ten years or so または have come to work since ten or so years ago または have been working during the past ten years or so

- (2) have been swimming these two months or so または have come to swim since two or so months ago または have been swimming during the past two months or so
- (3) has been snowing during the past week or so  $\sharp t \wr t$  has come to snow during the past week or so

#### ▶電話ですませる

- (a) use the telephone
- (b) depend upon the telephone
- (4) 簡易食堂ですませる
- (5) キャッシュカードですませる
- (6) 小切手ですませる
  - 〈訳 例〉 (4) use the cafeteria または depend upon the cafeteria
    - (5) use the cash card  $\sharp t \sharp t \sharp depend$  upon the cash card
    - (6) use the check または depend upon the check

#### ▶いつの間にか

- (a) without being aware of it
- (b) without realizing it\*この英語表現は、「本人自身が気づかないうちに」と考えた場合です。
- (7) いつの間にか道に迷う
- (8) いつの間にか食べ過ぎる
- (9) いつの間にか太ってしまった
  - 〈訳 例〉 (7) lose one's way without being aware of it または lose one's way without realizing it
    - (8) eat too much without being aware of it または eat too much without realizing it
    - (9) have gained without realizing it または have gained without being aware of it
    - \*(9)は、現在完了形で答えなさい。

以上の基本的な表現は、何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。 次は、例題2の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてトレーニングします。

# ――― 重要表現1●すませてしまう,すませる ――

- take care of ~ (「~を管理する」と考えた場合)
- ② **deal with ~** (「~を処理する」と考えた場合)
- ③ handle ~ (「~を扱う」と考えた場合)

それでは、トレーニングに進みます。

11	トレーニン ① ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	グ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を選び,3	空所には	は正しい	語を書き	入れて	「すませ	せてしま	う亅	という
意	味の英語表現を見	記成させなさ	۱۱°								
	( have, talk, t	•									
(3)	deal										
2	次の日本語の意味	を表す英文	を完成させ	せなさし	<b>`</b> o						
(1)	早く仕事をすま	:せてしまい;	たい。								
	I want	W. W	the		quickly	у.					
(2)	だれが料理を受	とけ持ったのな	か。								
	hand	led the		?							
(3)	彼女は化粧をす	<sup>-</sup> ませた。									
	took		_ her ma	ke-up.							
(4)	録音のすませ具	具合はいかが、	でしたか。								
	How did		the re	cordin	g ?						
	*どの文にも	すべての表現か	が使えるわり	ナではな	く, (2)にん	は②が使え	えず, (3)	には②。(	③が使え	ません	<b>/</b> 0
		want <u>to take</u> of her make-u									
	■■ 実戦トレー	ニング 💳									
	初眄3人士/英穀	≘□   +\.\.									
3 (	列題 2 全文を英語	に訳しなさい	• • •								
	この20年間位の間	]にわれわれに	は通信手段	として	電話とい	いうもの	をやた	らに使う	ように	なった	た。と
りま	りけ若い人たちは	:, 手紙を書ぐ	くという習	関質をい	つのまん	こかほと	んど完	全に忘れ	去り,	たいて	ていの
用專	事は電話ですませ	てしまうよう	うだ。								
_											
_	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
_		<del></del>									
_											
_	VALUE OF THE PARTY			· ·			-				
_											
⟨≣	沢 例〉 3 Thes	e twenty year	s or so, we	e have b	een using	g the tele	ephone e	xcessivel	lv as a r	neans	of
		nunication. It							•		
	the c	ustom of writ	ing letters	without	being av	ware of i	it and ta	ke care	of most	busine	ess by
	telep	hone. または W	Ve have co	me to d	epend to	o much t	ipon the	telephon	e as a n	neans	of
	comr	nunication dur	ring the pa	st twent	ty years (	or so. Y	outh, in	particula	ar, seem	to ha	ve

almost completely lost the habit of letter-writing without realizing it and deal with most of their business through the telephone.  $\sharp \, \not \sim \, l \, \sharp \, We$  have been using the telephone excessively as a means of communication since twenty or so years ago. It seems that particularly the younger generation have completely lost the habit of writing letters without realizing it and handle most business through the telephone.

#### - 例 題 3 --

日頃見慣れている景色が、ある時、ふと、まるで初めて見る時のように新しく、珍しく感じられるという経験をしたことはないでしょうか。そのような時、私たちは日常、ものを見ているつもりで、それでいて、実は何も見ていなかったのだということを感じます。 (東京大)

では,次の表現を覚えなさい。

#### ■■ 確認トレーニング ■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

## ▶日頃見慣れている景色

- (a) familiar scenery (scenery は数えられない名詞)
- (b) a familiar scene (「景色」を「場面」,「情景」と考えた場合)
- (1) 日頃見慣れた顔
- (2) 日頃耳慣れた言い回し
- (3) 日頃よくきく音楽
  - 〈訳 例〉 (1) a familiar face
    - (2) a familiar phrase
    - (3) familiar music (数えられない名詞)

#### ▶経験をしたことはないでしょうか(現在完了)

- (a) Haven't you ever experienced  $\sim$ ?
- (b) Haven't you ever had the experience of ~ing …? (「経験」を名詞とした場合)
- (4) 団体旅行を経験したことはないでしょうか。
- (5) 恋した経験はないでしょうか?
- (6) ひどい病気を経験したことはないでしょうか。
  - \*動詞 experience の次には名詞が来ます。名詞 experience の次には〈of +動名詞〉が続きます。
  - 〈訳 例〉 (4) Haven't you ever experienced a group tour?
    - (5) Haven't you ever had the experience of falling in love?
    - (6) Haven't you ever experienced a serious illness?

-	a) realize (that) ~ (「認識する」と考えた場合)
(1	b) be made to feel (that) ~ (「~を感じさせられる」と考えた場合)
(7)	人間はもろいものだと感じます
(8)	自分がまちがっていると感じます
(9)	世界は狭いと感じます
<∄	例》(7) realize that human beings are frail または be made to feel that human beings are frail (8) realize that I am in the wrong または be made to feel that I am in the wrong (9) realize the world is small または be made to feel the world is small
Ţ	以上の基本的な表現は,何度も音読したり書いたりして確実に覚えなさい。
	では,例題3の中からとくに英訳の難しい重要表現をとりあげてトレーニングします。
	=重要表現1●まるで初めて~する時のように <del></del>
	as if you had never 過去分詞 [it] before (「前に一度も~しなかったかのように」と考; 場合)
	<b>景</b> 合)
· 場	<b>景</b> 合)
場	易合) *動詞の時制は仮定法に従います。 
場 そ	<ul><li>場合)</li><li>*動詞の時制は仮定法に従います。</li><li>せれでは、トレーニングに進みます。</li><li>トレーニング</li></ul>
場 そ [	<ul><li>*動詞の時制は仮定法に従います。</li><li>たれでは、トレーニングに進みます。</li><li>トレーニング</li></ul>
場 そ ( とい	<ul> <li>*動詞の時制は仮定法に従います。</li> <li>れでは、トレーニングに進みます。</li> <li>トレーニング</li> <li>〕の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよう</li> </ul>
場 そ (いとい (1)	<ul> <li>*動詞の時制は仮定法に従います。</li> <li>たれでは、トレーニングに進みます。</li> <li>トレーニング</li> <li>〕の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよういう意味の英語表現を完成させなさい。</li> <li>as you were [ saw, seen, seeing ] it the first time</li> </ul>
場 そ (1) (2)	<ul> <li>*動詞の時制は仮定法に従います。</li> <li>たれでは、トレーニングに進みます。</li> <li>トレーニング</li> <li>〕の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよういう意味の英語表現を完成させなさい。</li> <li>as you were [ saw, seen, seeing ] it the first time</li> </ul>
場 そ (1) (2) (3)	*動詞の時制は仮定法に従います。  **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
場 そ (1) (2) (3) <b>次</b>	*動詞の時制は仮定法に従います。  * *動詞の時制は仮定法に従います。  ・ トレーニング  ・ うの中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよういう意味の英語表現を完成させなさい。  as you were [saw, seen, seeing] it the first time I [am, was, were] [play, played, playing] the tim we never [ate, eaten, eating] it the tim tim we never [ate, eaten, eating] it the tim
場 そ (1) (2) (3) <b>次</b>	*動詞の時制は仮定法に従います。  * 動詞の時制は仮定法に従います。  トレーニング  「の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよういう意味の英語表現を完成させなさい。  as you were [ saw, seen, seeing ] it the first time I [ am, was, were ] [ play, played, playing ] the tim we never [ ate, eaten, eating ] it
場 そ (とい (1) (2) (3) 次 (1)	*動詞の時制は仮定法に従います。  * *動詞の時制は仮定法に従います。  トレーニング  「の中から正しい語を選び、空所には正しい語を書き入れて、「まるで初めて~のよういう意味の英語表現を完成させなさい。  as you were [ saw, seen, seeing ] it the first time I [ am, was, were ] [ play, played, playing ] the tim we never [ ate, eaten, eating ] it the tim we never [ ate, eaten, eating ] it the tim we never [ ate, eaten, eating ] it the tim tim we never [ ate, eaten, eating ] it the tim tim we never [ ate, eaten, eating ] it the tim

		持のように緊張している。 to see	for	
(1) 7. 2 2	nervous	)ように, はしゃいでいた。	101	·
(4) みんな				
*	exc	citednev	er ridden	•
〈解答〉	2 (1) She is listening to You are eating sashing	as, if, were (was), playing, for, f the song as if she were (was) ii as if you had never eaten it m for the first time. (4) Ever before.	before. (3) <u>I am</u> r	the first time. (2) nervous as if I were
実	戦トレーニング =====	•		
例題3分	≧文を英語に訳しなさい。			
るという紹		ș,ふと,まるで初めて見る √ょうか。そのような時,私 なかったのだということを感	たちは日常,もの	
るという紹	経験をしたことはないでし	)ょうか。そのような時,私	たちは日常,もの	
るという紹	経験をしたことはないでし	)ょうか。そのような時,私	たちは日常,もの	
るという紹	経験をしたことはないでし	)ょうか。そのような時,私	たちは日常,もの	
るという紹	経験をしたことはないでし でいて、実は何も見ていな ま Haven't you ever exp as if you had never so we see things but actor experience of unexper particular moment as	)ょうか。そのような時,私	たちは日常,ものじます。 じます。 denly looking new a casion we realize the casion we realize the casion we and differ first time? At suc	and strange one day nat we usually think ever had the rent way at a h a time, we are

# 単語・語句・表現の復習チェック

(第11日~第14日の復習)

忘れているものがあったら、その学習日にもどって用例を再確認しておきなさい。

	らの復習〉			
	11	□ 0 ault	□ 2 to ditto	— 4 1 :C: ::
	characteristic(名)		☐ 3 tradition	4 glorification
	self-made	☐ 6 industry	7 occupy	□ 8 commánd(動)
	respect(名)	10 laborer	□11 settle	□12 wilderness
	develop	□14 value(動)	□15 achieve	□16 curious
	combination	18 genuine	<del>-</del>	□20 accomplish
	特質,特徴 2 文化			
	(地位などを)占める			l 定住する 12 荒れ地
		14 評価する 15 達成		かをててる, 句扱な
	組み合わせ、結合	10 平初の 19 飯舎 20	成しとげる	
	12 日			
_	attitude			☐ 4 luxuriously
	furnish	☐ 6 evidence		□ 8 probably
	serve(動)			□12 merely
				□16 bakery
<b>□17</b>		_	☐19 recreation	□20 basement
		i 3 ここちよく 4 ぜ		
		らく, たぶん 9 (飲食物		
		14 内容物,中身 15 すぐ	近くの 16 パン屋 17	用意,準備
18	専門職、知的職業の	19 娯楽 20 地下室		
●第	13 日			
□ 1	sadness	☐ 2 mildly	☐ 3 spectacularly	☐ 4 choose
□ 5	partly	☐ 6 temperament	☐ 7 certainly	☐ 8 cheat
□ 9	firmly	□10 snort	□11 damned(副)	□12 tolerant
□13	adolescent	□14 wishful	□15 idealism	□16 disagreement
<b>□17</b>	cling	☐18 desperately		
1	悲しみ 2 穏やかに	3 壮観に,人目をひくん	まどに 4 選ぶ,望む	5 部分的に, いくぶんかは
6	気質,気性 7 確か	いに 8 だます 9 しっ	かりと,断固として 10 』	鼻を鳴らすこと
11	ひどく, まったく 1	12 寛容な 13 青春期の人,	10 代の人 14 望みに満ち	5た 15 理想主義
16	意見の相違,不調和	17 しがみつく, 執着する	18 必死になって	
●第	14 日			
$\Box$ 1	helpless	2 attack	☐ 3 absurd	☐ 4 stupid
□ 5	utter	☐ 6 awful	☐ 7 constant	□8 war
□ 9	exaggerate	□10 create	□11 bitterly	□12 especially
□13	literature	□14 ordinary	□15 difference	☐16 extraordinary
1	無力な,頼りない	2 攻撃する,非難する 3	不合理な,愚かな 4 愚	かな、ばかな
5	口に出して言う 6	恐ろしい,ひどい 7 不多	変の,たえまない 8 戦い	9 誇張する
10	(神が)創造する 11	ひどく, 悲痛に 12 とくん	こ 13 文学 14 普通の	15 相違
16	異常な			

〈語句・表現の復習〉		
●第11日		
☐ 1 rise to the top	$\square$ 2 begin by $\sim$ ing	$\square$ 3 even $\sim$
☐ 4 take pains	☐ 5 point out	☐ 6 farm hand
☐ 7 of some sort	$\square$ 8 clear $\sim$ of $\cdots$	☐ 9 manual labor
$\square$ 10 it is $\sim$ who $\cdots$	□11 achieve success	$\Box$ 12 look up to $\sim$
		$\Box$ 15 depend upon $\sim$
	2 まず~を始める 3 ~でさえ	
	7 ある種の 8 ~から…を取り	
10 …なのはまさに~である 1	【成功をかちとる 12 ~を尊敬する	13 ~をする誇り
14 もはや~でない 15 ~に頼	<b>ప</b>	
●第12日		
	$\square$ 2 be able to (can) afford $\sim$	☐ 3 college education
$\square$ 4 consist of $\sim$	□ 5 on the contrary	$\square$ 6 take pride in $\sim$
☐ 7 in addition	□ 8 household work	☐ 9 flower bed
1 ~の十分な証拠 2 ~に必	要な(経済的,時間的)余裕がある	3 大学教育 4 ~から成り立つ
5 それに反して,それどころか	6 ~を誇りにする 7 加えるに	2, その上に 8 家事 9 花壇
●第 13 日		
1 make a list	$\square$ 2 close to $\sim$	$\square$ 3 get on with $\sim$
4 a matter of	☐ 5 be born hard (soft)	$\Box$ 6 be disposed to $\sim$
$\Box$ 7 regard $\sim$ as	$\square$ 8 make a fool of $\sim$	$\square$ 9 get ahead of $\sim$
$\Box$ 10 on the other hand	$\Box$ 11 have an inclination to $\sim$	□12 take against
☐13 be caught up in	□14 come to a head	$\Box$ 15 mean to $\sim$
□16 cling on to		
	3 (人と)親しくする, ~の気にい	aる <b>4</b> ~の問題
5 厳格(柔和)な性格に生まれつぐ	6 ~する傾向がある 7 ~を	・…とみなす 8 ~をばかにする
9 ~を追いぬく, しのぐ 10	他方 11 ~する傾向がある 12~	~に反対する,~に反感をもつ
13 ~に熱中する 14 頂点に達	する 15 ~するつもりである 16	6 ~にしがみつく
●第 14 日		
	$\square$ 2 care about $\sim$	$\square$ 3 get $\sim$ into one's head
$\Box$ 4 bring oneself to $\sim$		$\Box$ 6 lay waste $\sim$
☐ 7 early youth	☐ 8 at the time	☐ 9 out of humor
• •	□11 for one (a) moment	$\Box$ 12 ought to $\sim$
<del>_</del>	$\Box$ 14 be at peace with $\sim$	
		e頭にたたきこむ 4 ~する気になる
	廃させる 7 青年時代の初期 8	
	11 一瞬, ちょっとの間   12 ~す	
14 ~と仲がいい,平穏でいる		

第16日

# 長文読解・速読トレーニング ⑫

学習日 月 日

◯ 日 ┃┃ 読解のポイント

関係代名詞の省略 不定詞の形容詞用法

きょうから 3 日間は,同志社大学で出題された随筆文をテキストにトレーニングをしていきます。 平易な文体で書かれていて,良く知っている単語が用いられていますが,up to  $\sim$  や,not  $\sim$  any better than … といった重要表現が数多く出ています。構文が複雑な部分もあるので,よく注意して トレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

(1) wóndrous	(2) alarm(名) [əlɑ́:rm]	
	(4) beep-beep	
	(6) lose	
	(8) assúme	
(9) case		
ラビア数字)の形容詞形です。反意語は 以外にも,いろいろな意味があるので?		
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは		
	(2) 警報, 時計のベル	
	(4) ビービーという音	
(5) (金額が)かかる	(6) (時計が)~だけおくれる	
(7) デジタル型の	(8) 仮定する,当然と思う	
(9) 実情,真相		
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。	(答えは 4.)	
(1) something like	(2) but then	
	(4) pay attention to $\sim$	
	(6) in life	
	(8) this is the case	
	call (draw) one's attention to ~ で,「~に対して人の注意を引く」とい	
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは	3.)	
(1) およそ	(2) しかし一方では	
(3) ~に至るまで	(4) ~に注意を払う	

(7) ~であればあるほど…だ(8) それに	はほんとうだ
------------------------	--------

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

## ■ 確認トレーニング ■■■■

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

─●例文中の単語チェック ──

economic 経済の growth 成長 complain 文句を言う accuracy 正確さ

- (1) Up to then, most Japanese didn't realize the high rate of Japan's economic growth.
- (2) James paid no attention to his sister when she complained of his strange behavior.
- (3) I have nothing to do with its accuracy or otherwise.
- (4) He said he didn't have anything to do with the affair, but that was not the case.
  - 図 (1) そのときまで、大部分の日本人は、日本の高い率の経済成長に気づかなかった。 (2) ジェームズは、姉が、自分の奇行に文句を言ったとき、姉に対しまったく注意を払わなかった。 (3) それが正確であるかないかは私の関知するところではない。 (4) 彼は、その事件とはなんら関係はないと言ったが、それは事実ではなかった。

知らなかったもの, まちがえたものには, 赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では, いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

## ■ トレーニング ■

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### 

My watch is a wondrous thing. It tells the time and the date and the day of the week. It has a stop-watch, also an alarm to wake me in the morning and it sounds the hour with a beep-beep. It cost something like \$19.95, but then it does lose 5 seconds a year.

I bought my watch about three months ago. Up to then I had not paid much attention to watches —— digital or otherwise —— and I assumed, because this is the way it is with most things in life, that the more you paid for a watch, the better the watch you got. This is no longer the case. (同志社大 改題)

\* it sounds the hour with a beep-beep の部分は、これでひとつの意味のまとまりなので、途中でくぎってはいけません。

because this is ~ の部分は、よく考えて四つにくぎりなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

T. (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				
It tells the time and the date and the day of the week.				
* the day of the week は「曜日」です。このように週という単位を表す場合は,a week ではなく,the week とします。				
It has a stop-watch, /				
~ also an alarm to wake me in the morning /				
* an alarm to make ~ は「~を起こしてくれるアラーム」という意味です。この to wake は形容詞用法の to-不 定詞で形容詞と同じように alarm という名詞を修飾しています。				
$\sim$ and it sounds the hour with a beep-beep. $\nearrow$				
* the hour は「時刻」です。with ~ は「~を用いて,~で」です。				
It cost something like \$19.95, /				
~ but then it does lose 5 seconds a year. /				
*この does は,lose を強調しています。「実際に」と訳します。また 5 seconds の前に,just か only を補うと文の意味がよくわかります。a year は per year は「一年に」です。				
(1)~(7)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。				
I bought my watch about three months ago. /				
Up to then /				
~ I had not paid much attention to watches /				
* この文は, (8)の bought 以前のことについて述べているので, had ~ という時制が用いられています。 ~ —— digital or otherwise —— /				
(8)~(11)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。				
~ and I assumed, /				

2 前間でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

# (13) ~ because this is the way / \* this は、(15)、(16)の内容を指しています。 \* it is with most things in life, / \* この文は、(how) it is ~ と考えなさい。how は the way in which ですが、通例 the way how ~ とはならず、 the way か、how かのどちらかが省略されます。it は(15)、(16)の that 以下を指します。with ~ は「~ と一致して」です。 (15) ~ that the more you paid for a watch, / \* that は、(12)の assumed に続いています。この部分をもとの語順にもどすと、that you paid more for a watch と なります。 (16) ~ the better the watch you got. / \* watch と you の間に which または that を補って考えなさい。制限用法として使われる関係代名詞の目的格は省 略することができます。 (17) This is no longer the case. /

\* this は, (15), (16)の内容を指しています。この文の先頭に but を補うと, 前後のつながりがわかりやすくなります。

#### --〈解答〉---

- 2 (1) 私の時計は、驚くべきものである。
  - (2) それ(私の時計)は、時間、日付、そして曜日を知らせる。

☑ (12)~(17)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

- \* 「それは、時間、日付、そして曜日を表示する」とします。
- (3) それは、ストップウォッチをもっている
  - \* 「それには、ストップウォッチがついている」としてもかまいません。
- (4) また、朝に、私を起こしてくれるアラームもついている
- (5) そして、それは、ビービーという音で、時刻を知らせる。
- (6) それは、だいたい 19ドル 95 セントした
- (7) しかし、一年に、5秒(だけ)実際に、遅れる。
  - \*「一年に5秒しか遅れない」と否定的に訳してもかまいません。
- (8) 私は、約3か月前に、私の時計を買った。
- (9) そのときまで,
- (10) 私は、時計にあまり注意を払わなかった\* not ~ much は「あまり~しない」です。
- (11) デジタル式の(時計)であろうと、そうでなかろうと
- (12) そして、(次のように)仮定していた
- (13) というのは、これ(次のようなこと)が(世の中の)ならわしである
- (14) (そのようなならわしで)(次のことが),この世での,ほとんどのものに一致している(ついていえる)
- (15) よりたくさん(の金を)時計に支払えば、支払うほど、

- (16) よりよい時計を、あなたがた(人々)が手に入れる、と(いうことを)。
- (17) (しかし,)これ(いま述べたこと)は、もはやほんとうではない。
- 函 私の時計は、驚くべきものである。それは、時間、日付、そして曜日を表示する。ストップウォッチもついているし、朝、私の目を覚ましてくれるアラームもついている。そして、ビービーという音で、時刻を知らせてくれる。それは、だいたい19ドル95セントしたが、一年に5秒しか遅れない。
- 私は、約3か月前に、私の時計を買った。それまで私は、デジタル式のものであろうがなかろうが、ほとんど時計に注意を払わなかった。
- ② そして世の中のほとんどのものがそうであるから、私は、より多くの金を時計に出せば出すほど、よりよい時計が手に入るものと思っていた。ところがもはやこれは本当ではない。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

#### 

(1) plain	(2) advertise [ædvərtaiz]
	(4) chéapie
(5) article	(6) conspicuous [kənspíkjuəs]
(7) consumption	
	吾もあるので,つづり,意味に気をつけなさい。(2)の名詞形 アクセントの位置に注意しなさい。(7)の動詞形は consume (消費する
<b>2.</b> 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 1.)	
	(2) 宣伝する
	(4) 安物
(5) 記事, 品物 (6) めだつ, はでな	
(7) 消費	<u> </u>
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答え	えは 4.)
(1) keep time	(2) $\sim$ as well as $\cdots$
	(4) make sense
(5) not $\sim$ any better (more) than $\cdots$	(6) in fact
(7) conspicuous consumption	(8) except for $\sim$
(9) show off	(10) more than $\sim$
*(2)の A as well as B は, だいたい not only ります。	B but also A と同じ意味です。(7)は直訳すると,「はでな消費」とな
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) 時間が正確だ	(2) …と同様~
	(4) 意味がある, 意味をなす
(5) ~でないのは…がそうでないのと同じ	(6) 実は、もう少し言うと

(7) 金をどんどんつぎ込んで買うこと	(8) ~を除いて, ~を別にすると
(9) 見せびらかす	(10) ~より多く, ~以上に

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

# 確認トレーニング

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

●例文中の単語チェック ―

nonverbally ことばを使わずに arrangement 配列 devoid 欠けている physical からだの associate 連想する excuse 口実・弁解

- (1) All of us communicate with one another nonverbally, as well as with words.
- (2) This arrangement of the alphabets does not make any sense to us.
- (3) Working is not the object of our life any more than playing is.
- (4) Except for size, they are devoid of any of the physical characteristics that we associate with childhood.
- (5) Having a party was just an excuse to show off her new dresses.
  - 図 (1) 私たちすべては、互いに、ことばを用いるのと同じように、ことばを使わずに意志の伝達をしている。 (2) このアルファベットの配列は、私たちには、何の意味もなさない。 (3) 働くことは、遊ぶことがそうでないのと同じように、人生の目的ではない。 (4) (からだの)大きさは別とすると、彼らは、幼年時代を連想させるからだの特徴にまったく欠けている。 (5) パーティーを開くのは、彼女の新しいドレスを見せびらかす口実にすぎなかった。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

# トレーニング

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

<del></del>	-Part 2 -	
-------------	-----------	--

The plain fact is that a watch that costs \$20 will keep time as well as —— or better than —— a watch that costs \$1,500. For this reason, it makes no sense to buy the Piaget Polo at \$11,900 or the Longine Conquest at \$595 or the Girard Perregaux Sea Hawk III at \$2,750 for him or \$2,450 for her —— all watches advertised recently.

Obviously, these are very expensive watches and the people who wear them are trying to tell you that. But even more moderately priced watches also have become statements about affluence since they, too, will not keep time any better than (or even as well as) my \$19.95 cheapie. In fact, wrist-watches have now become articles of conspicuous consumption. More than almost any other item you can think of, except for plain old jewelry, the watch has become a way to show off

\*最初の文の、that a watch  $\sim$  keep time の部分は、主部と述部の二つに分けなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。

2	前間でく	ぎっ	たそれ	ぞれの英	語を日	本語に訳し	なさい。
	1331.3 - 1		, - , ,, -		· uu · · · ·	1 T HI T W ( C	

(1)	The plain fact is /
(2)	~ that a watch that costs \$20 /
(3)	~ will keep time as well as /
(4)	~ — or better than — /
(5)	*この部分は,つけ加えを表しているため,——(ダッシュ)が使われています。「ひょっとしたら」というような訳をつけてもかまいません。
(5)	~ a watch that costs \$1,500. /
A	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(6)	For this reason, /
(7)	~ it makes no sense to buy the Piaget Polo at \$11,900 /
(8)	* it は to buy 〜を指します。Piaget Polo は「ピアジェ・ポロ」(時計の商品名)です。 〜 or the Longine Conquest at \$595 /
(9)	* Longine Conquest は「ロンジン・コンクェスト」(商品名)です。(8)と次の(9)は、(7)の buy の目的語です。 ~ or the Girard Perregaux Sea Hawk III at \$2,750 for him or \$2,450 for her /
(10)	* Girard Perregaux Sea Hawk は「ジラールペルゴー・シーホーク」(商品名)です。IIIは the third と読みます。  ~ —— all watches advertised recently. /
	*(these are) all watches (that were) advertised ~ と考えなさい。ここの —— (ダッシュ)は,「~だが」と訳します。
В	(6)~(10)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

(11)	Obviously, /
(12)	* obviously は it is obvious that ~と考えて訳しなさい。(it は that ~, that ~以下は, (12)~(14)) ~ these are very expensive watches /
(13)	~ and the people who wear them /
(14)	* wear は「身につける」です。 ~ are trying to tell you that. /
(15)	* that は these are very expensive watches を指します。 But even more moderately priced watches /
(16)	~ also have become statements about affluence /
(17)	~ since they, too, will not keep time /
(18)	* since ~ は「~なので」で理由を表します。 they は moderately priced watches です。 ~ any better than (or even as well as) my \$19.95 cheapie. /
C	* not … any better than ~ は〈否定+比較級+ than ~〉の構文です。この形式では、~ の部分は意味の上で否定的な要素として働き「~程度にしかすぎない」、「~でないのと同様…でない」などに訳せます。 (11)~(18)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
(19)	In fact, /
(20)	$\sim$ wrist-watches have now become articles of conspicuous consumption. /
(21)	More than almost any other item /
(22)	* more than any other ~ は「ほかのどんな~より」です。other の次には、名詞の単数形がきます。 ~ you can think of、/
(22)	*この部分は、(that) you can ~ と考えなさい。
(23)	~ except for plain old jewelry, /
(24)	~ the watch has become a way to show off wealth. /
	* a way to ~は「~する(ための)方法」です。

□ (19)~(24)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉----

- 2 (1) 明白な事実は、(次のようなことで)ある
  - (2) 20ドルする時計が
  - (3) (次のものと)同様に、時間を守る
    - \* keep time は「(時計が)正確である」としてもかまいません。
  - (4) (ひょっとすると)(次のものと比べて)よりよく
  - (5) 1,500ドルする時計と(ということである)。
  - (6) この理由で
  - (7) ピアジェ・ポロを、11,900ドルで買うことは、全然意味がない
  - (8) もしくは、ロンジン・コンクェストを、595ドルで(買うことは全然意味がない)
  - (9) または、ジラールペルゴー・シーホークIIIを、男の人に 2,750 ドルで、女の人は 2,450 ドルで(買うことは、全然意味がない)
    - \* for him は「男もの」, for her は「女もの」とした方が, 自然です。
  - (10) (これらは)みな、最近、宣伝された(ものである)のだが。
  - (11) (次のことは)明らかである, (明らかに)
  - (12) これらは、とても高価な時計である
  - (13) そして,これらを身につける人々は,
  - (14) あなたがたに、そう(これらが、とても高価な時計であると)言おうとする。
  - (15) しかし、もう少し安く値のつけられた時計でさえ、
  - (16) また、豊かさについての表明になってきている
    - \* statements about affluence は「豊かさを表すもの」と訳すと自然な文になります。
  - (17) それらもう少し安く値をつけられた時計でも、正確ではないからである
  - (18) 私の19ドル95セントの安物よりも(または、私の安物と同じぐらいにでさえ〈正確ではない〉)。
  - (19) 実際に,
  - (20) 腕時計は、今や金額をどんどんつぎ込む品物になってきている。
  - (21) ほとんどのほかのどんな品物より,
  - (22) (その品物を)あなたがたが思いつく,
  - (23) 明らかに古い宝石類は別とすると、
  - (24) 時計は、富を見せびらかす一つの方法になってきている。
- extstyle e
- ⑤ この理由で、ピアジェ・ポロを11,900ドルで、ロンジン・コンクェストを595ドルで、ジラールペルゴー・シーホークⅢを男もの2,750ドルで、女もの2,450ドルで買うことは、全然意味がない。これらすべての時計は、最近宣伝されていたのだが。
- © これらが、高価な時計だということは明らかで、それらを身につけている人々は、そう言おうとする。しかし、もう少し値段の低い時計でさえ、豊かさを表すものになってきている。というのは、高価な時計もまた、私の19ドル95セントの安物より、より以上に(あるいは同じくらいに)正確ではないからである。
- 実際に、腕時計は、今やお金をはでにつぎこむ品物になってきている。あなたがたが思いつく、ほとんどのほかのどんな品物より、明らかに古い宝石類は別とすると、時計は、富を見せびらかす一つの方法になってきている。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (251~300・第2回)

	に適切な語を記入し,日本語に合 <sup>.</sup>	う熟語を完成さっ	せなさい。(⇒は類	表語, 図はの	<b>又恵</b> 語を示す)
	となって、たちぬナフ	turn	0.		(~を拒絶する)
	~を断わる、~を拒絶する	turn			
	要約する	sum (as) fa		→ <u> </u>	 ~ (~に関しては)
∐ 3	~に関する限りは	(as) 1a	ii as ∼ be	→ as	
<b>4</b>	~を支持する, ~を表す	stand	_~	_	(~を支持する),
			,		nt (〜を表す)
	いわば、つまり	so spe		⇒ as it _	
	~になやむ、~で苦しむ	suffer			trouble~
□ 7	~を当たりまえのことと思う	take $\sim$ for _	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	⇒ take ~	as matter of
□ 8	すなわち, つまり	that is to		⇒	(すなわち)
□ 9	ゆっくり時間をかけてする	take	$_{-}$ to do $\sim$		_ no time in ~ing (時を移 にする)
□10	~を見つめる	stare	~	⇒ gaze	$\sim$ , look at $\sim$
	~を…とみなす	think of ~			~ as ···
	離陸する、ぬぐ	take			(身につける)
	~を心配する	worry		⇒ be anxi	ious ~
	遅かれ早かれ	sooner			(the) course time
□15	~を取り上げる、~を取り入れる	take	~		
	~を利用する		of $\sim$	⇒ make _	of $\sim$
	~に取り組む	work		⇒ engage	$\sim$ , work at $\sim$
	(明かりなどを)つける	turn			~(〈明かりなどを〉
				消す)	
□19	~を…とともにする	share $\sim$			
□20	~であるあいだは, ~である限り	so a	as ~		as ~ (~である限り)
□21	かならず、きっと	without		⇒	(きっと), certainly(き
				っと)	
□22	!~にとって代わる	take	of	⇒ be subs	stituted~
		$\sim$			
□23	(食卓を)片づける,~を取り去る	take	_ ~	⇒	
□24	↓~を引き継ぐ,~をゆずり受ける	succeed	_ ~	⇒ take _	 ~ (~を引き継ぐ)
□25	ら~を取り出す,~を連れて出る	take	_~	厦 put し込む)	~(~を入れる,~を差
□26	う今までに	so		⇒	far
	・・ / ~のことを話す	speak		⇒ talk _	~
	3 ~次第で,~まで	up~		⇒ depend	~(~次第で)
	) ~するように	so to			to ~(~するため
<b>3</b> (	) ~に参加する ~に出る	take	in ~	⇒ partici	pate $\sim$

□31 ~のような人(物), たとえば	such	⇒ example (たとえば)
□32 起こる, 催される	take	⇒ about (起こる), happen
		(起こる)
□33 ~を自慢する	take pride $\sim$	$\Rightarrow$ be proud $\sim$
□34 ある程度まで,いくぶん,多少	to extent	⇒ moreless (多少)
□35 ~を重んじる, ~を大事にする	think of $\sim$	⇒ make of ~ (~を重んじ
		る)
□36 ~をだます, ~を理解する	take $\sim$	⇒(~をだます)
□37 ~を見わける, ~をよりわける	sort $\_$ $\sim$	⇒(~を見わける)
□38 ~に負ける, ~に屈して譲る	yield $_{}\sim$	$\Rightarrow$ give to $\sim$
□39 …と同じ種類の	the same $\sim$ $\cdots$	⇒ the~ that … (…と同じ)
□40 (責任を)引き受ける,~を雇い入れ	take $\_$ $\sim$	⇒ be responsible ~ (~の責
る		 任を負う)
□41 容易に,楽々と	with	図 with(苦労して)
□42 ~にもかかわらず	all $\sim$	$\Rightarrow$ in spite $\sim$
□43 ~を解く	work ~	$\Rightarrow$ , figure out $\sim$
□44 ~を引きつぐ	take ~	⇒ succeed ~
□45 ~の給仕をする, ~を接待する	wait~	<u> </u>
□46 ~となる, ~と判明する	turn ~	<b>→</b>
□47 ~のおかげで、~のために	thanks ~	⇒ account ~ (~のた
		めに)
□48 ~に似ている, ~ゆずりである	take $\sim$	⇒(~に似ている)
□49 話し合う, 相談する	talk	→(話し合う)
□50 定住する, 落ち着く, 身を固める		⇒one's residence (定住す
		<u>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</u>

<sup>-----</sup> 解答 -----

<sup>1</sup> down refuse 2 up summarize 3 so, concerned for 4 for 5 to were 6 from in, with 7 granted a, course 8 say namely 9 time lose 10 at at 11 as on (upon) 12 off on 13 about about 14 or in, of 15 up 16 advantage use 17 on in 18 on off 19 with 20 long long 21 fail surely 22 the, place for 23 away remove 24 to over 25 out in 26 far thus 27 of about 28 to on 29 as order 30 part in 31 as for 32 place come 33 in of 34 some or 35 much much 36 in deceive 37 out distinguish 38 to way 39 as same 40 on for 41 ease difficulty 42 with of 43 out solve 44 over to 45 on serve 46 out prove 47 to on, of 48 after resemble 49 over discuss 50 down fix

第17日

# 長文読解・速読トレーニング ⑬

月 日 学習日

読解のポイント it 構文(形式主語,形式目的語)/接続詞 once

きょうは,きのうのテキストの続きを学習していきます。きょうの部分には,take to  $\sim$ , alert  $\sim$ to… といった意味のとりにくい慣用表現が出てきます。意味を前後の文脈からよく判断して読解する ようにしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

# 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) bill	(2) manufácturer
(3) model	(4) built-in
(5) calculator [kælkjəleitər]	(6) terrific [tərifik]
(7) technológical	(8) innovation [inəvéiʃən]
*(2)は、〈manufacture (製造する) + er (人を表	をす)〉から, (4)は,〈built (作られた) + in (中に)〉から成り立って 同もあります。(6)は térrify (ぞっとさせる)という動詞の形容詞形で
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは1.)	
(1) 請求書	(2) 製造業者
(3) 見本,型	(4) 組みこみの
(5) 計算器	(6) すごい, すばらしい
(7) 科学技術の	(8) 革新
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答え	は 4.)
(1) happen to $\sim$	(2) nothing more than $\sim$
(3) out of business	(4) take to $\sim$
(5) for variety	(6) not to mention $\sim$
(7) rise above $\sim$	
*(5)の for は,「~を求めて」の意味です。	
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) ~に(ことが)起こる	(2) ~にすぎない
(3) 廃業して, 失業して	(4) ~の癖がつく, ~にふける
(5) 変化を求めて	(6) ~は言うまでもなく
(7) ~を乗り越える	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

#### ■■ 確認トレーニング ■■■

下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

#### ・●例文中の単語チェック ─────

accident 思いがけない出来事 significance 意義

- (1) I knew the accident that had happened to him in the last few months.
- (2) The case was nothing more than an accident.
- (3) She took to wearing caps.
- (4) The report should cover all the aspects, <u>not to mention</u> the significance of his works in the history of music.
  - 図 (1) 私はこの数ヶ月の間に、彼の身の上に起った思いがけない出来事を知っていた。 (2) その事件は、偶然にすぎなかった。 (3) 彼女は帽子をかぶる癖がついた。 (4) そのレポートは、音楽史における彼の作品の意義は言うまでもなく、すべての点に言及すべきである。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

# トレーニング 🕶

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は②参照)

#### - テキスト7―

-Part 3 —

It will be interesting to see what will happen to the watch industry once it is generally understood that paying more for a watch gets you nothing more than a bigger bill. Will it mean that the manufacturers of expensive watches go out of business? Will it mean that everyone takes to wearing cheapies on the wrists—or, just for variety, the somewhat more expensive models with built-in calculators? The answer, probably, is no. Americans, not to mention Europeans, have already shown a terrific talent to rise above technological innovations that have made things both cheaper and better.

\* the somewhat more  $\sim$  の部分で、with built-in  $\sim$  は、models とひとつの意味のまとまりを成しているので、途中でくぎってはいけません。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後との つながりがよくなるようにくふうしなさい。

- が問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) It will be interesting /

(2)	*この It は(2)に続く不定詞の to see を指している形式主語です。 <b>~ to see what will happen to the watch industry</b> /
	* what will happen to ~は「何が~に起こるのか」です。
	疑問文が see の目的語として用いられています。
(3)	~ once it is generally understood /
	*この once は「いったん…すると」という意味の接続詞で,once 以下の節を導く働きをしています。
(4)	$\sim$ that paying more for a watch gets you nothing more than a bigger bill. $/$
A	(1)~(4)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(5)	Will it mean /
	* it は(3), (4)の内容を指しています。(7)の it も同じです。
(6)	$\sim$ that the manufacturers of expensive watches go out of business? /
(7)	Will it mean /
(8)	~ that everyone takes to wearing cheapies on the wrists /
	* takes to の to は前置詞なので,wearing という動名詞が用いられています。
(9)	~ — or, just for variety, /
(10)	$\sim$ the somewhat more expensive models with built-in calculators? $/$
	* somewhat は「いくらか,少々」です。この部分は,(8)の takes to wearing に続きます。
В	(5)~(10)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(11)	The answer, probably, is no. /
	*この文は,Probably,the answer is no.と考えて訳しなさい。the answer は,(5)から伽の疑問文に対する答えで
(12)	f. Americans, not to mention Europeans, /
(13)	~ have already shown a terrific talent /
	* terrific は wonderful で「すばらしい」となります。

# (14) $\sim$ to rise above technological innovations /

\* to rise above ~ は a terrific talent to ~ で「~するすばらしい才能」となります。

#### (15) $\sim$ that have made things both cheaper and better. /

- \* that は innovations を受けます。both ~ and … は「~と…の両方とも」です。made の用法に注意しなさい。
- © (11)~(15)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉--

- 2 (1) (次のことは)興味深いだろう
  - (2) 時計産業に何が起きるかを見ることは
  - (3) いったん, (次のことが)一般に理解されるとすると
  - (4) 時計により多くの金を支払うことが、より大きい(金額の)請求書以外の何ものも、あなたがた(人々)にもたらさないということ(が)。
    - \* nothing more than  $\sim$  を「 $\sim$ しか」と訳してもかまいません。
  - (5) それ(いま述べたこと)は、(次のことを)意味するのだろうか
  - (6) 高価な時計の製造業者たちが失業するということ(を)。
  - (7) それは、(次のことを)意味するのだろうか
  - (8) だれもが、腕に安物をはめるようになるということ(を)
  - (9) もしくは、ただたんに、変化を求めて
  - (位) いくらか, より値段の高い, 計算器の組みこまれた(時計の)型を(はめるようになるということを)。
  - (11) たぶん、その答えは、「ノー」であろう。
  - (12) ヨーロッパ人はいうまでもなく, アメリカ人は
  - (13) もうすでに、(次のような)すばらしい才能を示している
  - (14) 科学技術の革新を乗り越える(ような才能を)
  - (15) (その革新は)品物をより安く、より良くしてきている。
- 回いったん、より多くの金を時計に払うことが、より金額の大きい請求書しかもたらさないということが、一般に 理解されるとすると、時計産業に何が起きるかを見るのは興味深い。
- 图 それは、高級時計の製造業者が失業することを意味するのか。だれもが、腕に安物をはめるようになるということを意味するのだろうか。もしくは、たんに変化をつけるために、計算器の組みこまれたいくらか高価な型をはめるようになるのか。
- © たぶん, その答えは「ノー」であろう。ヨーロッパ人は言うまでもなく, アメリカ人は, もうすでに品物をより 安くより良くしてきた科学技術の革新を乗り越えるすばらしい才能を示してきた。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

# 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) face(動)	(2) crisis
(3) synthetic [sinθétik]	
	(6) predicament [pridíkəmənt]
(7) label [léibəl]	
(9) alert	
(II) similarly	F 44
(13) polo pony	
(15) probable	
synonym [sínənim] (同義語)などがあります。polo は,馬に乗って競うゲームの名前です。	意味です。ほかに <u>syn</u> chronize [síŋkrənaiz] (同時に起こる), 。(7)は発音に注意しなさい。「ラベル」ではありません。(ほ)の
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは1.)	
	(2) 危機
	(4) 成分,素材
	(6) 状態,苦境
(7) ラベル,商標	(8) 衣類
(9) 注意を喚起する	
(11) 同様に	
(13) ポロ用の小馬	(14) ハリネズミ
(15) 現実にありそうな,もっともらしい	_
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答えば	\$ 4.)
	(2) make it possible to $\sim$
	(4) put on $\sim$
(5) alert $\sim$ to $\cdots$	
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.)	
	(2) ~することを可能にする
(3) ~から移動する	(4) ~につける, ~にはる
(5) ~に…への注意を換起する	_
では,いまチェックした語句と表現を,実際の文中	コで訳せるかどうか確認しなさい。
■■■■ 確認トレーニング ■■■■	
下線部に注意して,次の文が訳せるかどうか確認	認しなさい。
●例文中の単語チェック ──	
demerit 欠点 merit 長所	

(1) A true friend will  $\underline{point\ out}$  your demerits as well as your merits to you.

- (2) His effort made it possible to finish the work.
- (3) My mother put a patch on a hole of my jeans.
- (4) The police alerted everyone in the town to the danger of the flood.
  - 図 (1) 真の友は長所はもちろん欠点も指摘してくれるものです。 (2) 彼の努力はその仕事を完成することを可能にした。 (3) 母は、私のジーンズの穴に、つぎあてをつけた。 (4) 警察は、その町の人すべてに、洪水の危険に対しての注意を換起した。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、テキストの読解トレーニングを始めなさい。

# トレーニング ====

■ 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は②参照)

#### ーテキスト7――

- Part 4 ——

As Alison Lurie points out in her book, *The Language of Clothes*, conspicuous consumers faced a real crisis a while back when synthetic materials and new technology made it possible to manufacture cheap replicas of expensive clothes. It became hard to tell who was wearing what — what was wool and what was not and what was expensive and what was cheap.

This predicament, Lurie writes, was solved when the label was moved from the inside of the garment where it could not be seen, to the outside, where it could. It was not enough to have an expensive Gucci handbag if no one knew it was a Gucci and, *ergo*, expensive. So the Gucci monogram was put on the bag. Similarly, manufacturers put their monograms or little animals (alligators, polo ponies, hedgehogs) on their goods, alerting everyone to the probable cost. (同志社大 改題)

\* — what was wool and what was not で一つの対句, what was expensive and what was cheap で一つの対句 になっているので、ひとつの対句ごとにくぎりなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら,次のトレーニングをしなさい。

- 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。
  - (1) As Alison Lurie points out in her book,
    - \* Alison Lurie は「アリソン・ルリー(人名)」です。as  $\sim$  は「 $\sim$ のように」です。
  - (2)  $\sim$  The Language of Clothes, /
    - \*(1)の最後の[,](カンマ)は、同じものをくわしく述べるときに用いられます。つまり、her book は The Language of Clothes なのです。日本語では、「つまり」を加えなさい。

(3)	$\sim$ conspicuous consumers faced a real crisis a while back $/$
(4)	* conspicuous consumer は「金をどんどん使う消費者」です。a while back は「しばらく前」です。 ~ when synthetic materials and new technology /
(5)	* when は a while back です。when は、時を表すことばの代わりをする関係副詞です。 ~ made it possible to manufacture cheap replicas of expensive clothes. /
A	* make it possible to $\sim$ は「 $\sim$ することを可能にする」という意味ですが、この it は形式目的語で to manufacture という不定詞をさしています。 $(1) \sim (5) $ をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
(6)	It became hard to tell who was wearing what /
(7)	* It は to ~ を指します。who ~ what で「だれが何を~するのか」です。tell は「見わける」です。 ~ —— what was wool and what was not /
(8)	*ここの — (ダッシュ)は、and とだいたい同じ意味です。what was not (wool)と考えなさい。(7)、および(8)の 部分は、(6)の tell に続いています。  ~ and what was expensive and what was cheap. /
В	(6)~(8)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(9)	This predicament, Lurie writes, was solved /
(10)	*,Lurie writes,は, Lurie writes that this predicament ~ と考えなさい。 ~ when the label was moved /
(11)	~ from the inside of the garment /
(12)	* from は, (13)の to との相関表現で,「~から…まで」となるので注意しなさい。 ~ where it could not be seen, /
(13)	* where は the inside of the garment です。it は the label です。 ~ to the outside, where it could. /
	* the outside (of the garment), (and there) it could (be seen)と考えて訳しなさい。

It was not enough to have an expensive Gucci handbag /
* It は to have ~ を指します。Gucci は「グッチ(高級ブランド名)」です。
~ if no one knew /
~ it was a Gucci /
*(that) it was ~ と考えて訳しなさい。it は an expensive Gucci handbag を指します。
~ and, ergo, expensive. /
* and, ergo, (it was) expensive.と考えなさい。ergo は,therefore の意味を表すラテン語です。
So the Gucci monogram was put on the bag. /
(9)~(18)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
Similarly, /
~ manufacturers put their monograms or little animals (alligators, polo ponies, hedgehogs) on their goods, /
neugenogs) on their goods, /
$\sim$ alerting everyone to the probable cost. $/$
* alerting $\sim$ は and they (manufacturers) alerted $\sim$ と考えなさい。

## ----〈解答〉-----

- 2 (1) アリソン・ルリーが、彼女の(書いた)本で指摘しているように
  - \*本に書かれている内容について述べる場合は、書いたという動作は過去のことですが、通例、(1)の文のように現在形を使います。
  - (2) つまり「衣服の言語」という本であるが
  - (3) 金をどんどん使う消費者は、しばらく前に、ほんとうの危機に直面した
  - (4) 合成の素材(合成繊維)と、新しい技術が(~した)ときに
  - (5) 高い服の安い模造品を製造することを可能にした(ときに)。
    - \*(4), (5)は,「合成繊維と新しい技術のおかげで,高級服を安く模造することが可能になったとき」とすると,自然な文になります。
  - (6) だれが何を身につけているかを見わけることは、むずかしくなってきた
  - (7) また,何がウールで,何がそう(ウール)でないかを(見わけることはむずかしくなった)

- (8) そして,何が高価で,何が安いかを(見わけることはむずかしくなった)。
- (9) ルリーは(次のようなときに)この状況は解決されたと書いている
- (10) 商標が移されたとき
- (11) 衣類の内側から
- (12) (衣類の内側では)それ(商標)が見えなかった
- (13) (衣類の)外側へ, そしてそこ(衣類の外側)では, それ(商標)ができ(見え)た。
- (14) 高価なグッチのハンドバッグを持つことは十分ではなかった
- (15) もし、(次のことを)だれも知らなかったなら
  - \*直訳すると、「存在しない人が、もし知っていたなら」ですが、日本語ではこのような名詞を否定して文全体を否定 する表現はないので、必ず、動詞を否定した言いまわしにして訳をつけるようにしなさい。
- (16) それ(そのハンドバッグ)が、グッチ(の製品)だということを
- (17) そして、それだから、(そのハンドバッグが)高価なものだと(いうことを)。
- (18) そこで、グッチの頭文字がバッグにつけられているのだ。
- (19) 同じように
- (20) 製造業者たちは、自分たちの製品に頭文字(組み合わせ文字)や、小動物(ワニ、小馬、ハリネズミ)をつけたのである
- (21) そして、(業者たちは)もっともらしい価格へ、みなの注意を換起した。
- □ アリソン・ルリーが、「衣服の言語」という彼女の著書で指摘しているように、金をどんどん使う消費者はしばらく前、つまり、合成繊維と新しい技術のおかげで高級服を安く模造することが可能になったとき、ほんとうの危機に直面した。
- B だれが何を身につけているのか、そして、何がウールで、何がそうでなく、何が高級で、何が安物かを見わけることがむずかしくなった。
- © ルリーは書いている。この状況は、商標が、見えなかった衣類の内側から、それが見える衣類の外側へ移されたとき解決されたと。もし、だれもそれがグッチの製品で、それゆえ高価なのだということを知らなかったなら、高級なグッチのハンドバッグを持つだけでは十分ではなかった。だから、グッチの頭文字がバッグにつけられたのだ。
- © 同じように、製造業者たちは自分たちの製品に、頭(組み合わせ)文字や、小動物(ワニ、小馬、ハリネズミ)をつけたのである。そして、みなの注意をもっともらしい価格に向けさせたのだった。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (1~50・第3回)

# \_\_\_\_に**適切な語を記入し,日本語に合う熟語を完成させなさい。**(⇒は類義語,図は反意語を示す)

□1 ~に順応する	
□ 3 全般的に、全体として、概して a whole       ⇒ in the (概して)         □ 4 ~に従事している	
□ 4 ~に従事している       be	
□ 5 ~に関しては、~に関していうと       for ~       ⇒       to ~         □ 6 仕事をして       work       図 at (休息をして)         □ 7 せいぜい、多くても       at       図 at (少なくとも)         □ 8 ほとんど       all       ⇒          □ 9 詳しく、十分に       at (full)       ⇒ detail (詳しく)         □ 10 とにかく       at any       ⇒          □ 11 まるで~のように       as ~       ⇒ as ~         □ 12 ~に当てはまる       apply ~       ⇒ be applicable ~	
□ 7 せいぜい,多くても       at	
□ 7 せいぜい,多くても       at	
□ 8 ほとんど       all       ⇒       detail (詳しく)         □ 9 詳しく、十分に       at (full)       ⇒       detail (詳しく)         □ 10 とにかく       at any       ⇒       =         □ 11 まるで~のように       as       ~       ⇒ as       ~         □ 12 ~に当てはまる       apply       ~       ⇒ be applicable       ~	)
□10 とにかく at any ⇒ □11 まるで~のように as ~ ⇒ as ~ □12 ~に当てはまる apply ~ ⇒ be applicable ~	
□11 まるで~のように as ~ ⇒ as ~ □12 ~に当てはまる apply ~ ⇒ be applicable ~	
□11 まるで~のように as ~ ⇒ as ~ □12 ~に当てはまる apply ~ ⇒ be applicable ~	
$\square$ 13 ~と同じだけ、~も as $\_$ as $\sim$ $\Rightarrow$ no $\_$ than $\sim$ (~も	
	)
□14 ~のように見える, ~と思われる to do (be) ~   ⇒ to do (be) ~	
□15 ~の結果として a result ~ ⇒ consequence	_ ~
$\square$ 16 (場所)~まで、~の限りは as $\_\_\_$ as $\sim$ $\Rightarrow$ $\_\_\_$ far as $\sim$ (~の限り	は)
$\Box$ 17 ∼とつきあう associate ∼ ⇒ keep with ∼	,
□18 ~である限り as $\_$ as $\sim$ long as $\sim$	
□19 ~を説明する account ~ ⇒	
□20 ~に関して, について to ~ ⇒	
□21 一度に, 同時に a time ⇒ at the time (同時	に)
□22 今までのところ, まだ yet	7)
$\square$ 23 $\sim$ を犠牲にして the cost $\sim$ $\Rightarrow$ at the of $\sim$	
□24 そういうものとして as	
□25 少なくとも	
$\square$ 26 $\sim$ に…するのを許す $\qquad \qquad \_$ $\sim$ to do … $\qquad $ $\square$ prevent $\sim$ $\_$ …ing	(~ガ・・・
するのを妨げる)	
□27 時々 at	
□28 (その間)ずっと, いつも the time ⇒ (いつも)	
$\square$ 29 ~と知り合いだ、~に精通している be with ~ $\implies$ be with ~ (~	〜に精通
している)	
□30 じつは, 実際のところ a matter fact ⇒ fact	
□31 ~に着手している be engaged $\sim$ ⇒ have $\sim$ hand	
□32 ~の余地がある admit ~ ⇒ allow ~	
□33 それでも、それにもかかわらず and ⇒	
□ 34 ~のほかに、その上に as addition (その上に)	
□36 概して, 一般に as a ⇒	singly
□37 ~によると、~に従って according ~ ⇒ in agreement ~ って)	

□38 そのままに、あるがままに	it is	
□39 同時に	the same time	⇒ at time
□40 ~は別として, ~のほかに	apart ~	⇒(そのほかに)
□41 ~に専念する	oneself to $\sim$	$\Rightarrow$ concentrate $\sim$
<b>□42</b> いわば	as it	⇒ so to
□43 ~に没頭する,~に夢中になる	be absorbed $\_\_$	図 be tired ~(~に飽きてい
		る)
□44 ~に直面する	be with $\sim$	$\Rightarrow$ be with $\sim$
□45 大量の〜, たくさんの〜	great deal $\sim$	$\Rightarrow$ large quantity $\sim$
		(大量の~)
□46 ~を見舞う	ask $\sim$	$\Rightarrow$ inquire $\_$
□47 まるで~かのように	as ~	$\Rightarrow$ as $\sim$
□48 ~など, ~の類	$\sim$ and the	$\Rightarrow$ $\sim$ and so (forth)
□49 一種の~	a sort $\_$	$\Rightarrow$ a of $\sim$
□50 ~の危険をおかして	the risk $\sim$	$\Rightarrow$ at the of $\sim$

<sup>1</sup> adjust adapt 2 above particularly 3 as main 4 engaged occupied 5 as as 6 at rest 7 most least 8 but almost 9 length in 10 rate anyhow 11 though if 12 to to 13 much less

<sup>14</sup> appear seem 15 as, of in, of 16 far so 17 with company 18 long so 19 for explain

<sup>20</sup> as regarding 21 at same 22 as yet 23 at, of expense 24 such 25 at most 26 allow from 27 times occasionally 28 all always 29 acquainted familiar 30 as, of in 31 on in 32 of of

<sup>33</sup> yet nevertheless 34 well in 35 all more 36 rule generally 37 to with 38 as 39 at a

<sup>40</sup> from besides 41 apply on 42 were speak 43 in of 44 faced confronted 45 a, of a, of

<sup>46</sup> after after 47 if though 48 like on 49 of kind 50 at, of peril

第 18 日

# 長文読解・速読トレーニング ⑭

学習日 月 日

読解のポイント 動名詞の名詞用法(補語)/should have +過去分詞

きょうは、同志社大学の随筆文の最後の部分をトレーニングします。第1巻の長文読解・速読トレー ニングの最後なので、もう一度、長文を短い部分にくぎって内容をつかんでいく読解方法がしっかり 身についたかどうか確認しながらトレーニングしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	
(1) insanity [insænəti]	(2) concept
	(4) designer
(5) apparent [əpærənt]	
*(1)の形容詞形は,insane [inséin] (狂気の,	正気でない)です。これは、〈in (反対を表す)+ sane (正気である)〉 動詞 appear と語源のうえで関連していますが、つづりに注意しなさ
ر ۲ <sub>°</sub>	
2. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 1.)	
(1) 狂気, 愚かさ	(2) 概念
(3) 特売	(4) デザイナー
(5) 明らかな	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答	
(1) where once $\sim$ , now $\cdots$	(2) less than $\sim$
(3) in the first place	(4) for instance
	(6) do without $\sim$
	(8) not $\sim$ any better than $\cdots$
*(6)の do without は,do with (~でやってゆ	りく)の反対語と考えてよいのですが,do with には,「処理する,必要
である」の意味もあるので注意しなさい。(8	的は,no better than (~にすぎない)とは意味が異なるので注意しなさ
٧٠٠	
4. 次の日本語を英語にしなさい。(答えは 3.)	
(1) かつて~だったが,いまは	(2) ~以下の
	(4) たとえば
	(6) ~をなしで済ます
(7) ~して何になるのか	

では、いまチェックした語句と表現を、実際の文中で訳せるかどうか確認しなさい。

## ■■ 確認トレーニング ■■

下線部に注意して、次の文が訳せるかどうか確認しなさい。

#### -●例文中の単語チェック ---

spend(時間などを)費やす German ドイツ語 prices 物価

- (1) What kind of book shall I read in the first place?
- (2) She is willing to spend so much time studying German.
- (3) As prices are so high, I will have to do without a new jacket this year.
- (4) What's the good of your helping for him?
  - 図 (1) まず第一に私はどんな本を読んだらいいですか。 (2) 彼女はドイツ語の勉強に喜んで多く の時間を費やしている。 (3) 物価がとても高いので、ことしは、新しいジャケットなしですま さなければいけないだろう。 (4) 彼に対するきみの助けが、何になるのか。

知らなかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。 では、いよいよテキストの読解トレーニングを始めます。

# トレーニング 🕶

11 次のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は20参照)

#### - テキスト7―

Part 5 -

This insanity has even changed the concept of a bargain. Where once a bargain was getting something for less than it was worth, now it is getting something for less that should have been cheap in the first place. For instance, people in New York go down to the Lower East Side to buy clothes with designer labels for less — sometimes much less — than they would pay uptown. They could, of course, have the same item or even a better item for less if they were willing to do without the label.

The same thing probably is going to happen to watches. What's the good of having a Rolex that is not going to keep time any better than a \$19 cheapie? The apparent answer is that the name means it cost a lot.

\* Where once  $\sim$  以下の文で、for less than  $\sim$  の部分は、for の前で、for less that も、that は something のことですが、for の前でくぎりなさい。

適切にくぎれたかどうか確かめながら、次のトレーニングをしなさい。訳は直訳調でよいが、なるべく前後とのつながりがよくなるようにくふうしなさい。

Where once a bargain was getting something /
* where once $\sim$ , now … もしくは,where formerly $\sim$ , now … という構文の中での where は,「 $\sim$ の一方で, $\sim$ に対して」という意味です。once は「かつて」です。
~ for less than it was worth, /
* for ~ は「~と引きかえに」です。less (money) than … と考えなさい。it は something です。
~ now it is getting something for less /
* it は a bargain を指します。この文の getting は「~すること」という意味を表す動名詞で補語の働きをしています。ここでは it の主格補語となっています。(2)の getting も同じ用法です。
~ that should have been cheap in the first place. /
* should have been cheap は「安かったはず」です。〈should + have +過去分詞〉の形で,実現されなかった過去の動作を表します。「~すべきであった(のにしなかった)」という意味です。
(1)~(5)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。
For instance, /
~ people in New York go down to the Lower East Side /
* go down to ~ は,下町 (Lower East Side) へ下って行くという感じを表しています。訳のうえでは,「行く」です。反対に,山の手へ行く場合は,go up to ~ です。
$\sim$ to buy clothes with designer labels /
~ for less —— sometimes much less —— than they would pay uptown. /
* would は実際にはそうしないことについて想像していることを表し,「~するであろう」となります。
They could, of course, have the same item /
* could も,実際には行わないことを想像していることを表しています。「~できるだろうに」となります。
* could も,実際には行わないことを想像していることを表しています。「~できるだろうに」となります。

2 前問でくぎったそれぞれの英語を日本語に訳しなさい。

,	The same thing probably is going to happen to watches. /
,	What's the good of having a Rolex /
	* what's the good of 〜は「〜に関して何の益があるのか」です。Rolex は「ローレックス(時計のブランド名)」 です。
	$\sim$ that is not going to keep time $/$
	* that は a Rolex を指します。
	~ any better than a \$19 cheapie? /
	$st$ any better than は not $\sim$ any better than です。
	The apparent answer /
	~ is that the name means it cost a lot. /
	*~ name means (that) it cost a lot と考えなさい。the name は Rolex です。it は a Rolex (ローレックス製の邸計)です。
	(13)~(18)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。

## -----〈解答〉----

2 (1) この気ちがいざたは、バーゲン(安売り)の概念を変えさえした。

**B** (6)~(12)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

- (2) かつては、バーゲンは、何かを手に入れることだった一方、
- (3) その(ものの)価値よりも低い金額で
- (4) 現在では、それ(バーゲン)は、より低い金額で何かを手に入れることである
- (5) そもそも安かったはずのものを,
- (6) たとえば,
- (7) ニューヨークの人々は、下町のイーストサイドへ行く、
- (8) デザイナーの商標のついた(ブランドものの)服を買うために
- (9) 山の手で支払うであろうよりも、安く、ときにはずっと安く
- (10) もちろん、彼らは、同じ品物を買うことができるだろう
- (11) または,より安く,よりよい品物をさえ(買うことができるだろう)
- (12) もし、商標なしでもかまわないのであれば。
- (13) 同じことが、時計についてもおそらく起こるだろう。
- (14) ローレックス製の時計を持つことが何の益になるのだろうか
- (15) (その時計は)時刻が正確ではない

- (16) 19ドルの安物(時計)ほどに。
- (17) 明らかな解答というのは,
- (18) (ローレックスという)名前が、それ(その名前をもった製品)は高いのだということを意味しているということである。
- この気ちがいざたは、バーゲンという概念を変えてさえしまった。かつてはバーゲンは、あるものをその価値よりも安く手に入れることだった。しかし、今日では、そもそも安かったであろうものを、より安く手に入れることである。
- たとえば、ニューヨークの人々は、ブランドものの服を山の手で買うよりも安く、ときにはずっと安く買うために、下町のイーストサイドまで行く。もちろん、もしブランドなしですます気ならば、同じ品物を、もしくは、もっとよい品物でさえも、さらに安く買えるだろう。
- © 同じことが、時計についてもおそらく起こるだろう。19ドルの安物時計ほどに時刻が正確でないローレックスの時計を持つことに、何の得があるのか。明らかに、答えは名前が値がとても高いのだということを意味しているということである。

では、テキストの続きへ進みます。まず、単語・表現のチェックをしなさい。

次の単語と語句・表現を確実に覚えてからテキストを読みなさい。

## 

1. 次の単語の意味を書きなさい。(答えは 2.)	(2) mayba
	(2) maybe
(5) subtle [s\u00e1tl]	(4) spend
*(1)の upshot は、〈up (完全に) + shot (発射)〉です	けが,もともとは,弓の競技の最後の一矢を表していることから )+ piece(作品)〉から成り立っています。つまり,時に関する
<b>2. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 1.)	
(1) 結果,結論	(2) おそらく
	(4) (金などを)つかう
(5) 微妙な,不可思議な	
3. 次の語句と表現の意味を書きなさい。(答えは	1.)
(1) make a statement	(2) used to $\sim$
(3) there is nothing like $\sim$	
used to の場合は、もうその習慣、状態がすでに	vould にも「昔は〜したものだった」の意味はありますが, 存在していないものについて述べるときに用いられます。また, 〜 は「〜に慣れる」の意味です。〜 には動名詞または名詞がき
<b>4. 次の日本語を英語にしなさい</b> 。(答えは 3.)	
(1) ものを言う	(2) もとは~したものだった

に注意して,次の文が訳せるかどうか確認しなさい。 ──●例文中の単語チェック ───── arrest 逮捕する false 偽りの court 法廷 exercise 運動	
──●例文中の単語チェック ────	
arrest 逮捕する false 偽りの court 法廷 exercise 運動	
He was arrested because he had <u>made a</u> false <u>statement</u> at the co	urt.
Ve <u>used to</u> go for a walk with our Grandfather Jim.	
There is nothing like a morning exercise for your health.	
駅 (1) 彼は、法廷で虚偽の陳述をしたために逮捕された。 (2) 私たく散歩に行ったものだった。 (3) 健康のために朝の運動ほどよい	
なかったもの、まちがえたものには、赤で印をつけ何度も復習しなさい。	
、テキストの読解トレーニングを始めなさい。	
■ トレーニング ■■■■	
•	<b>2</b> 参昭)
■ ト レーニング ■━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	<b>2</b> 参照)
•	<b>2</b> 参照) ————Part 6 ——
のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6 — ke a statement. Ar
のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6— ke a statement. Ar
のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6  ke a statement. Are a statement of money What it means now
のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6— ke a statement. Are type a lot of money What it means now eople think you have
アキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6  ke a statement. Are sybe a lot of money What it means now eople think you have sch. People know you
のテキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は 	Part 6  ke a statement. Are sybe a lot of money What it means now eople think you have sch. People know you
アキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は ー・テキスト 7  The upshot is that the watch has become a way to matexpensive watch used to mean that you had money — matexpensive not, but at least enough to buy a good timepiece. Though, is only that you are willing to spend a lot to make part lot. For this, though, there is nothing like a really cheap watch an afford better, but not how much more. These watches a	Part 6  ke a statement. Are type a lot of money What it means now eople think you have the ch. People know you are more subtle.
アキストを意味のまとまりごとに/でくぎりなさい。 (解答は ー・テキスト 7  The upshot is that the watch has become a way to matexpensive watch used to mean that you had money — matexpensive not, but at least enough to buy a good timepiece. Though, is only that you are willing to spend a lot to make part lot. For this, though, there is nothing like a really cheap watch an afford better, but not how much more. These watches a	Part 6 ke a statement. Are tybe a lot of money What it means now eople think you have the ch. People know you re more subtle.  (同志社大 改題)

(1) The upshot  $\nearrow$ 

(2)	$\sim$ is that the watch has become a way to make a statement. $\diagup$
	* make a statement は「ものを言う」です。ここでは,a way to make a statement で,「何かを表現する(のに 役立つ)方法」と考えなさい。
(3)	An expensive watch used to mean /
(4)	~ that you had money /
(5)	$\sim$ — maybe a lot of money, maybe not, but at least enough to buy a good timepiece. $\nearrow$
	* maybe not (a lot of money) と考えなさい。but 〜 以下は,not … but 〜 (…ではないが〜である) という相関表現であるので注意しなさい。enough to 〜 は「〜するのに十分な」です。
A	(1)~(5)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(6)	What it means now, though, /
(7)	* what $\sim$ は the thing which $\sim$ です。though は but, however です。it は an expensive watch を指します。 $\sim$ is only that you are willing to spend a lot $\diagup$
	* a lot はここでは a lot of money のことです。
(8)	$\sim$ to make people think you have a lot. $/$
	* make people think (that) ~ は「~と思わせる」です。make は使役(~させる)の意味で用いられているので, think は,原形のままです。
В	(6)~(8)をまとめて,自然な日本語の文にしなさい。
(9)	For this, though, /
(10)	~ there is nothing like a really cheap watch. /
(11)	People know you can afford better, /
(12)	* can afford better は「もっとよいものを買う余裕がある」です。 ~ but not how much more. /
	* この部分は、(people do) not (know) how much more (you can afford) と考えて訳しなさい。

- (13) These watches are more subtle. /

  (14) Also they go beep-beep in the night. /

  \* go は「(鐘などが)鳴る」です。 例 There goes the bell. (鐘が鳴っている)
- ◎ (9)~(14)をまとめて、自然な日本語の文にしなさい。

#### -----〈解答〉---

#### 2 (1) 結論は,

- (2) 時計が、何かを表現する(のに役立つ)方法になってきたということである。
- (3) 高価な時計は、むかし(次のことを)意味したものだった
- (4) あなたがた(人々)が、金を持っているということを
- (5) たぶん, 多くのお金を持っているかもしれないし、そうではない(持ってはいない)かもしれないが、少なくともよい時計を買うのに十分(な金を持っている)かもしれないと
- (6) しかし、現在それ(高価な時計)が意味していることは
- (7) ただたんに, あなたがた(時計を持っている人)が, 喜んで(すすんで)金をたくさん使うということだけである
- (8) あなたがたが、(金を)たくさん持っているということを人々に思わせるために。
- (9) しかし、こういったことのためには、
  - \* thisは、いままで述べてきたことがら、つまり、金持ちだと人に思わせることを指しています。
- (10) ほんとうに安い時計にまさるものはない。
- (11) 人々は、あなたがたが、もっとよいものを買う余裕があるとわかる
- (位) しかし、どのぐらいさらに余裕がある(ものを買う余裕があるの)かはわからない。
- (13) これらの時計(安い時計)のほうが、微妙な趣きがある。
  - \* subtle は「微妙な,わけのわからない」という意味で,ここでは「はっきりと金持ちの程度を示さないこと」と考えなさい。
- (14) また、それら(安い時計)は、夜中にビービー鳴るのである。
- 函 結論は、時計が何かを表現する方法になってきたということである。高価な時計は、むかしは、金持ちだということをつまり大金持ちかもしれないし、そうではないかもしれないが、少なくともよい時計が買えるほどの金持ちであるということを意味した。
- ⑥ しかしいまでは、高価な時計は、金持ちだということを人々に思わせるために、すすんで金を使う人だという意味しかない。
- © しかし、そのためには、ほんとうに安い時計にまさるものはない。人々は、もっとよいものを買う余裕がある人だということはわかるが、どのくらいさらに余裕があるのかはわからない。(だから)、安い時計のほうが微妙な趣きがある。また、安い時計は、夜中にビービー鳴るのである。

では熟語のトレーニングできょうの学習をしめくくりなさい。

# 重要熟語 300・反復 10 回トレーニング (51~100・第3回)

	に適切な語を記入し,日本語に合	う熟語を完成させなさい。(⇒は類	質義語,図は反意語を示す)
_ 1	· 소리용퇴기구	bring	_^
	~を引き起こす	bring ~	⇒ to do ~
	~せざるを得ない (開始) よろき	be to do ~	
_ 3	ふっと思いうかぶ,偶然~に会う	come ~	⇒ meet ~ by(偶然~に 会う)
<b>4</b>	たとえ~としても	though $\sim$	$\Rightarrow$ even $\sim$
□ 5	~を相続する,~に入る	come ~	⇒(~を相続する), enter (~に入る)
□ 6	~するのに十分,~ほど…である	to do $\sim$	⇒ ~ as to do … (…ほど~である)
□ <b>7</b>	~を廃止する	do with $\sim$	⇒
	もし~がなければ	but ~	⇒ it were not ~
	~を…に分ける	~ into ···	⇒ ~ into …
	~に専念する	to ∼	$\Rightarrow$ oneself to $\sim$
	~に集中する, ~に熱中する	concentrate ~	⇒ oneself to ~ (~に熱中
			する)
□12	~を世話する	care $\_$	$\Rightarrow$ take care $\sim$
□13	~と通信する	with $\sim$	$\Rightarrow$ with $\sim$
□14	~せずにはいられない	cannot do ~	⇒ cannot~~ing
□15	~を固守する	cling~	⇒ to ~
□16	いっしょに行く,現われる	come	→up (現われる)
□17	~に依存する	on ~	⇒ rely ~
□18	~に偶然出くわす	come ~	$\Rightarrow$ come $\sim$
□19	(戦争・火事などが急に)起こる	out	⇒
□20	~から成り立つ,~から成る	consist $\_$	$\Rightarrow$ be made of $\sim$
□21	~から…をうばう	deprive $\sim$ ···	$\Rightarrow$ strip $\sim$ ···
□22	~の商売をする,~をあきなう	deal $_{}$ $\sim$	$\Rightarrow$ trade $\_\_\_$
□23	ためになることをする	do	返 harm (危害を加える)
□24	~を…と比較する	compare $\sim$ ···	⇒ make a between
			$\sim$ and $\cdots$
□25	~と…を見分ける	distinguish $\sim$	$\Rightarrow$ discriminate $\sim$
□26	自分だけで、ひとりで	oneself	<b>⇒</b>
□27	~をつくづく考える	dwell $\_\_$	
□28	けっして~でない	by means	$\Rightarrow$ not $\sim$ by any
□29	<b>~</b> からにげる	from $\sim$	$\Rightarrow$ run from $\sim$
□30	~から…を追い出す	clean $\sim$ of $\cdots$	$\Rightarrow$ $\sim$ out of $\cdots$
□31	とても,大変	so much	⇒
□32	~を育てる	up $\sim$	⇒
□33	~を求める	call ~	⇒
□34	~をあてにする,~に頼る	on ~	⇒ depend ~ (~に頼る)
□35	~によって、~を通じて	$\sim$	 ⇒ (~を通じて)

□36	起こる, 生じる	come	⇒ place (起こる)
□37	~から始める	begin ~	厦 end ~ (~に終わる)
□38	(本が)出版される,出る	come	図 come~(~に入る)
□39	立ち寄る	drop	⇒ in
<b>40</b>	電話をかける	up	⇒ up
<u>41</u>	~せずにはいられない	cannot ~ing	$\Rightarrow$ cannot do $\sim$
□42	~するようになる	to do ~	$\Rightarrow$ to do $\sim$
□43	~を始める	enter $\sim$	$\Rightarrow$ set $\sim$
<b>44</b>	~がなければ	except $\_$	$\Rightarrow$ but $\sim$
<b>45</b>	~に忠実である	be faithful $\_\_\_$ $\sim$	$\Rightarrow$ be true $\sim$
□46	~を処理する,~を扱う	deal $_{}$ $\sim$	⇒ do ~ (~を扱う)
□47	~から生ずる,~の出である	come $\sim$	⇒ be born ~ (~の出である)
□48	かわるがわる	by	⇒ one the other
			(another)
□49	~がない, ~から解放されている	be free $\_\_\_$ $\sim$	⇒ be ~ (~がない)
□50	~を処理する	with $\sim$	$\Rightarrow$ deal $\sim$

<sup>1</sup> about cause 2 obliged compelled 3 across chance 4 even if 5 into inherit 6 enough so
7 away abolish 8 for if, for 9 divide separate 10 oneself apply 11 on devote 12 for of
13 communicate correspond 14 but help 15 to stick 16 along turn 17 depend on 18 upon across
19 break happen 20 of up 21 of of 22 in in 23 good do 24 with comparison 25 from from
26 by alone 27 on 28 no reason 29 escape away 30 out drive 31 ever awfully 32 bring raise
33 for demand 34 count on 35 by, of through 36 about take 37 with in 38 out into
39 in stop 40 call ring 41 help but 42 come get 43 into about 44 for for 45 to to

第19日

# 英作文④ 語句・短文問題②

学習日 月 日

重要表現 決めてかかる それであればこそ 大切なことは

take it for granted that ...
the very reason why ...
an important point here is ...

「決めてかかる」に最も近い英語の表現が、take [it] for granted となるときがあります。日本語の「かかる」を文字通りに考えてはなかなか思いつかなくても、「決めてかかる」を「当然だと思っている」と考え直すと、この表現が頭に浮かぶはずです。きょうは、そうしたことを中心に学習を進めなさい。

#### -例 題1----

人間の気持ちとして、何事でもすぐに評価しがちである。ある一定の行動を、良いとか悪いとかすぐに決めてかかる。もちろん、それであればこそ、人類は進歩もしてきたのかもしれない。ただここで大切なことは、そういう評価をするとき、たえず、どの立場から見るとそれは良いのか悪いのか、ということをはっきりさせることなのだ。 (東京大)

例題にふくまれている表現をひとつひとつトレーニングしていきます。まず、次の表現を覚えなさい。

#### ■■ 確認トレーニング ■■■■■

次の表現例を参考にして、それぞれの日本語を英語に訳しなさい。

#### ▶人間の気持ちとして

- (a) by nature (「生来」とした場合)
- (b) human nature (「人間の性質」とした場合)
- (c) a human inclination (「人間の性癖(傾向)」とした場合)
  - \*文脈上,「気持ち」をfeelingとすることはできません。natureは数えられない名詞です。

#### ▶~しがちである

- (a) be inclined to  $\sim$
- (b) be likely to  $\sim$
- (c) be prone to ~ (to の次は, 原形不定詞, 名詞ともに可。)
  - \*(c)はよくない事柄に関して「…しがち」な場合に用います。したがって、「早起きの傾向がある」などという場面には使えません。inclinationの中に「…しがち」がふくまれます。
- (1) 人間の気持ちとして怠けがちである。
- (2) 人間の気持ちとして人に頼りがち。
- (3) 人間の気持ちとして怒りがち。
  - 〈訳 例〉 (1) By nature we are inclined to be lazy

- (2) It is human nature to be prone to depend on others.
- (3) Anger is a human inclination.

#### ▶良いとか悪いとか

- (a) right or wrong (「正か邪か」とした場合)
- (b) good or bad (「善か悪か」とした場合)\*文脈上、形容詞の形にします。
- (4) 真か偽か
- (5) 美か醜か
- (6) 賢いとか愚かしいとか
  - 〈訳 例〉 (4) true or false
    - (5) beautiful or ugly
    - (6) wise or foolish
    - \*この機会にこうした反対語をしっかり覚えておきなさい。

#### ▶どの立場から

- (a) in what aspect (「外観」を「解釈」と考えた場合)
- (b) from what perspective (「遠景」を「ものの見え方」と考えた場合)
- (c) from what point of view (「視点」を「見地」と考えた場合)
- (d) from what viewpoint (「ものが見える地点」を「観点」と考えた場合)
- (e) from what standpoint (「ものを見るために立つ場所」を「立場」と考えた場合)
  \*課題文ではどれも可ですが、おのおのの本来の語の意味を確認しなさい。前置詞にも注意しなさい。
- (7) 私の立場から
- (8) より幅広い見地から
- (9) 事件の真相
  - 〈訳 例〉 (7) from my viewpoint または from my standpoint または from my point of view
    - (8) from a broader perspective
    - (9) the affair in its true aspect
    - \*(8)には(b)のみ、(9)には(a)のみしか使えません。

## ▶はっきりさせておくことである

- (a) should make sure (of) (「確認すべきである」と考えた場合)
- (b) be supposed to clarify (「当然明確にすることになっている」と考えた場合)
- (c) must not fail to clarify (「はっきりしそこなってはならない」と考えた場合)
  - \*文脈上、「はっきりさせる」だけではなく、「はっきりさせなければならない」と考えます。(a)の of は次に名詞または動名詞がくるときのみ必要です。

(10)	時間をはっき	きりさせておく		
(11)	自分の好みを	 をはっきりさせてお	<	
(12)	歳入と歳出る		<	
〈貳〉	(11) be	ould make sure of the supposed to clarify r ast not fail to clarify		
			たり書いたりして確実に覚えな しい重要表現をとりあげてトレ	
	=重要表現1	●決めてかかる ===		
① ② ③	be quick to quickly dec * 「かかる	<b>assume 〜</b> (「憶測 <b>ide 〜</b> (「さっそく? 」にこだわって文字ど	~(「~を当然と思う」と するのが速い」とした場合 夬めてしまう」とした場合) おり英語に直そうとしてはいけ ば,it の位置にはいります。	)
7	れでは, トレ-	-ニングに進みます。		
	•	ング		
1 ( 味σ		iから正しい語を選び 記成させなさい。	び,空所には正しい語を書き	き入れて,「決めてかかる」という意
(1) (2) (3)	quic	( grand, grank ( on, to, at, in ) a icker, quickly ) de	assume	
<b>2</b> 3	ての日本語の意	意味を表す英文を完	成させなさい。	
(1)		央めてかかる。 for	<u>.</u> .	
(2)	彼女はその答	答えが正しいと決め assume	てかかる。 the answer	
(3)	Don't quick		break	
(4)		分の子供は運がいい it	と決めてかかった。 that	fortunate.

	s success for granted. (2) She is quick to assume the answer right. (3) Don't ide a war will break out. (4) Everybody took it for granted that his child was
fortunate.	
====重要表現 2 ● それで	あればこそ
	hy) ~(「まさに~の理由」とした場合。why は省略できます。) - (「まさに~の原因そのもの」とした場合)
~	o ~ for … (「…のために~にたいへん恩義を受けている」とした場合) または that にするか,あるいは前の文の語句をくり返してもかまいません。
それでは, トレーニングに	進みます。
トレーニング	
③ 〔 〕の中から正し	い語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「それであればこそ」とい させなさい。
(1) the [much, very, mo	•
(2) the very cause (to, (3) (very, much,	in, of, as ) $\sim$ , many ) indebted $\sim$ ( on, as, for )
(4) the very	<del></del>
4 次の日本語の意味を表っ	す英文を完成させなさい。
(1) それであればこそ私に	はあなたが好きなのです。
	why
(2) それであればこそ離如	
was (3) あなたあればこそ私に	of divorce. は生活できるのです。
	for my living.
(4) 国連あればこその世界	界平和だ。
We	the United Nations for
4 (1) That is	the very reason why I like you. (2) That was the very cause of divorce. (3) Indebted to you for my living. (4) We are much indebted to the United Nations beace.

〈解答〉 🚺 (1) for, granted (2) be, to (3) quickly

===== 重要表現3●大切なことは ====================================
① an important thing is (that) $\sim$
2 a point is (that) ~
$3$ the point is (that) $\sim$
* point は「重点」です。定冠詞の場合は意味が強調され,不定冠詞の場合は,「大切な点の一つ」という
ふくみになります。is の次は名詞,不定詞,あるいは節が続きます。
それでは,トレーニングに進みます。
トレーニング ======
<b>⑤</b> 〔 〕の中から正しい語を選び,空所には正しい語を書き入れて,「大切なことは」という意
味の英語表現を完成させなさい。
(1) an thing is $\sim$ (2) a is $\sim$
(3) [an, the] point $\sim$
6 次の日本語の意味を表す英文を完成させなさい。
(1) 大切なことは,良い人間関係をもつことです。
An to have a
(2) 一つ大切な点は,毎日学習することだ。
A that we should
(3) 大切なことはあなたのやる気です。
The perseverance.
(4) 大切な点はいつ始めるかということだ。 The
The to
〈解答〉 <b>5</b> (1) important (2) point (3) the, is
(1) An important (2) point (3) the, is  (1) An important thing is to have a good human relationship. (2) A point is that we

# 実戦トレーニング ■■■

begin.

## ■ 例題1全文を英語に訳しなさい。

人間の気持ちとして、何事でもすぐに評価しがちである。ある一定の行動を、良いとか悪いとかすぐに決めてかかる。もちろん、それであればこそ、人類は進歩もしてきたのかもしれない。ただここで大切なことは、そういう評価をするとき、たえず、どの立場から見るとそれは良いのか悪いのか、ということをはっきりさせることなのだ。

should study every day. (3) The point is your perseverance. (4) The point is when to


图》 Positive we are inclined to judge everything hastily. We easily take it for granted that certain things are right or wrong. Of course this is probably the very reason (why) mankind could keep progressing. Nevertheless, an important thing here is that, when judging things, we should always make sure in what aspect we think them right or wrong. または It is human nature to be prone to evaluate everything carelessly. One is quick to assume certain things good or bad. Without doubt this must be the very cause of human progress. Yet, a point here is that, at the time of evaluating things, one is supposed to clarify all the time from what perspective they are good or bad. または Estimating things in haste is a human inclination. We quickly decide certain things are good or bad. Of course we are much indebted to this inclination for human progress. However, the point is that, when we estimate things, we must not fail to clarify from what point of view we think them good or bad.

# 語句・短文問題 ――重要熟語の文中トレーニング――

後半は,語句・短文問題の学習です。

第9日に、重要熟語を例文を用いて練習しましたが、きょうはその2回めです。実際の文で熟語がどのように使われているかに注意しながらトレーニングをしていきなさい。

# トレーニング

₹の_	に適切な語を入れて,日本文	ての意味に合う英文を完成	させなさい。
(1)	He keep his	promise.	
	(彼は約束を守らなかった。)		
(2)	Yokohama is too	for me to commute	e from my house.
	(横浜は,私の家から通勤するには,系		
(3)	His reputation is	being good.	
	(彼の評判は,決して良くない。)		
(4)	I crying to s	ee her.	
	(私は彼女の姿を見て泣きたい気がした	こ。)	
(5)	The chemist	how the atom change	es.
	(その化学者は、どの様に、その原子な		
(6)	He is not satisfied	his high marks.	
	(彼は,良い点をとったのにもかかわら		
(7)	He left Japan	•	
	(彼は永久に日本を去った。)		
(8)	How about making a foreign to	our, to New York or Lo	ndon,
	(外国旅行をしてみませんか,たとえば		
(9)	sl	he was busy,	she was tired.
	(一つには彼女は忙しかったし,また-		
(10)	You must do it		
	(あなたは,これを独力でやらなければ		
	〈解答〉 (1) failed, to (2) far, away (7) for, good (8) for, instance		
(11)	She will do anything		·
	(彼女は,娘のために何でもするだろう	; <sub>o</sub> )	
(12)	She will do anything		her daughter.
	(彼女は娘のためならどんなことでもす		
(13)	I can't	my father.	
	(私は, 父とうまくやっていけない。)		
(14)	They finally	to their native land	

(彼らは, ついに, 自分の郷里に帰った。)

(15)	He will trouble as he is now.
	(彼は,このままの状態では,めんどうなことになるだろう。)
(16)	How are you these days?
	(あなたはこの頃, いかがお暮らしですか。)
(17)	He has the habit of drinking.
	(彼はずっと, 酒を飲む習慣をやめている。)
(18)	Once you have formed a bad habit, it is very difficult to it.
	(一度悪い癖がつくと,それを取り除くのはとても困難である。)
(19)	Almost all the students the work.
	(ほとんど全員の学生が,その作業を終えた。)
(20)	The plane will London at 21:00.
	(その飛行機は,夜の9時にロンドンへ到着するだろう。)
	〈解答〉 (11) for, her, daughter's, sake (12) for, the, sake, of (13) get, along, with (14) got, back (15) get, into (16) getting, on (17) got, out, of (18) get, rid, of (19) got, through (20) get, to
(21)	The travellers New York whole day.
	(旅行者たちは,一日中ニューヨークを歩きまわった。)
(22)	Prices began to
	(物価が下がりはじめた。)
(23)	Such an action my conscience.
	(このような行為は私の良心に反する。)
(24)	Suddenly the dynamite and many people were killed in the accident.
	(突然ダイナマイトが爆発して多くの人がその事故で死んだ。)
(25)	She reading at home all day yesterday.
	(昨日彼女は1日中家でずっと読書していた。)
(26)	He could not the attempt.
	(彼は、その試みをやりとげることができなかった。)
(27)	The teacher their names.
	(その先生は彼らの名前を覚えるのに苦労した。)
(28)	I haven't her since then.
	(私は,それ以来,彼女から便りをもらっていない。)
(29)	Please the dishes.
	(どうぞ, 自由に料理を取ってお食べください。)
(30)	He his hands to help her.
	(彼は,彼女を助けるために,両手をさしだした。)
	〈解答〉 (21) went, about (22) go, down (23) goes, against (24) went, off (25) went, on (26) go, through, with (27) had, difficulty, in, remembering (28) heard, from (29) help, yourself, to (30) held, out
(31)	They their hands in token of surrender.
	(彼らは降参のしるしとして両手をあげた。)

(32)	water, we could not live.				
	(もし水がなかったら,私たちは生きていけないだろう。)				
(33)	He her kindness.				
	(彼は彼女の親切につけこんだ。)				
(34)	, I sympathize with the criminal.				
	(ある意味で私はその犯人に同情している。)				
(35)	The result was not our expectation.				
	(結果は,我々の予想とは一致していなかった。)				
(36)	I have to do her job my own.				
	(私は, 自分の仕事に加えて, 彼女の仕事もやらなければならない。)				
(37)	You should pay for the lesson.				
	(前もって授業料を払わなければいけない。)				
(38)	I have,, to finish this work by tomorrow morning.				
	(いずれにせよ私はあすの朝までに,この仕事を終えねばならない。)				
(39)	, I'd like to thank all of you.				
	(終わりにのぞんで私はきみたちみんなにお礼を言いたい。)				
(40)	She was a good student;, she was top of the school.				
	(彼女は良い学生だった。実際彼女は,学校中で一番だった。)				
	〈解答〉 (31) held, up (32) If, it, were, not, for (33) imposed, on (34) In, a, sense (35) in, accordance, with (36) in, addition, to (37) in, advance (38) in, any, case (39) In, conclusion (40) in, fact				
(41)	The judgment was the government.				
	(その判決は,政府を支持していた。)				
(42)	, students today are very calm and sometimes conservative.				
	(一般に,今日の学生は,大変おだやかで,時には,保守的である。)				
(43)	For his father money is an end				
	(彼の父親にとって, 金はそれ自体が目的である。)				
(44)	He likes listening to music,, to classical music.				
	(彼は音楽, とくにクラシック音楽をきくのが好きだ。)				
(45)	Do you have anything to say this matter?				
	(この件に関して,何か言うことがありますか。)				
(46)	We want to know your opinion the project.				
	(私たちはその計画に関してあなたの意見を知りたい。)				
(47)	, the matter was not so serious as we had expected.				
	(手短に言えばその問題は私たちが予想したほど深刻ではなかった。)				
(48)	I know, things are getting better.				
	(私が知る限りでは,事態はだんだん良くなっている。)				
(49)	his wealth, he is not happy.				
	(財産を持っているにもかかわらず彼は幸せではない。)				
(50)	He always saw everything money.				
	(彼はすべてのことをいつもお金の点から考えた。)				

(46) in, relation, to (47) In, short (48) In, so, far, as (49) In, spite, of (50) in, terms, of \_\_\_\_\_ that. (51) I cannot agree with you \_\_\_\_\_ (それについては,私はあなたに同意できない。) \_\_\_ summer vacation. (52) The boy will be able to swim \_\_\_\_\_ (その少年は夏休みの間に泳げるようになるだろう。) \_\_, he will not agree to the plan. (53)(まず第一に彼はその計画に賛成しないだろう。) (54) She will know the fact the long \_\_\_\_\_. (結局は彼女はその事実を知ってしまうだろう。) his sister doesn't. (55) He doesn't like study. \_\_\_\_\_\_ (彼は勉強が好きではない。同様に彼の妹も好きではない。) (56) this situation, there's nothing we can do. (この状況から考えて私たちにできることは何もない。) (57) Jane waited \_\_\_\_\_ for her boy friend. (ジェーンはボーイフレンドを待ったが会えなかった。) (58) They \_\_\_\_\_ the reliability of the evidence. (彼らはその証拠の信ぴょう性を主張した。) (59) Urgent business \_\_\_\_ us \_\_\_\_ the party. (急用のため、私たちはそのパーティに出席できなかった。) (60) We must \_\_\_\_\_ the quality if we want to \_\_\_\_\_ the present sales. (現在の売り上げを維持したいのなら、我々は、品質を維持しなければいけない。) 〈解答〉 (51) in, the, case, of (52) in, the, course, of (53) In, the, first, place (54) in, run  $\langle 55 \rangle$  In, the, same, way  $\langle 56 \rangle$  In, view, of  $\langle 57 \rangle$  in, vain  $\langle 58 \rangle$  insisted, on (59) kept, from, attending (60) keep, up, keep, up (61) I can't \_\_\_\_\_ so much work I have to do. (私はしなければならない膨大な仕事についていけない。) (62) He is sure to \_\_\_\_\_ happy \_\_\_\_ with her. (彼は彼女と幸福な生活を送るにちがいない。) (63) Idleness \_\_\_\_ poverty. (怠惰は貧乏のもとになる。) (64) Please \_\_\_\_\_ me \_\_\_\_ for a while. I want to think a little. (どうぞしばらく私をひとりにしておいてください。少し考えごとをしたいのです。) We will the whole matter \_\_\_\_\_ you, so do your best. (我々は、この件を全面的にきみにまかせたのだから、最善をつくしなさい。) (66) I have to my old parents. (私は、年とった両親の世話をしなければならない。) (67) His uncle was \_\_\_\_\_ as a betrayer.

《解答》(41) in, favor, of (42) In, general (43) in, itself (44) in, particular (45) in, regard, to

(彼のおじは裏切者として軽べつされた。)

(68)	We are seeing you in person.
	(我々は, じかにあなたにお会いできることを楽しみにしています。)
(69)	The other boys were merely
	(ほかの少年たちはただ傍観していただけだった。)
(70)	Everybody him a coward.
	(だれもが彼をおくびょう者と見なした。)
	<解答> (61) keep, up, with (62) lead, a, life (63) leads, to (64) leave, alone (65) leave, to (66) look, after (67) looked, down, on [upon] (68) looking, forward, to (69) looking, on (70) looked, on, as
(71)	When you find an unknown word, you had better it in the dictionary.
	(知らない単語を見つけたら,辞書で調べた方がいい。)
(72)	We could not help a man like that.
	(我々は,あのような男を尊敬せずにはいられなかった。)
(73)	I to finish the work.
	(私はその仕事を終わらせるために努力した。)
(74)	The negotiation will the good relation of both countries.
	(この交渉は,両国の関係をよくすることに寄与するだろう。)
(75)	I go for a walk every morning.
	(私は毎朝散歩に行くことにしている。)
(76)	He these difficulties.
	(彼は、これらの困難を軽んじた。)
(77)	Can you in English?
	(あなたは英語で用がたせますか。)
(78)	
(= ·)	(彼でさえ,これらの文字が何を意味しているか理解することができなかった。)
(79)	She little in her task.
(2.2)	(彼女の仕事はあまりはかどっていない。)
(80)	You must your opportunities.
	(あなたは機会をできるだけ利用しなければならない。)
	〈解答〉 (71) look, up (72) looking, up, to (73) made, an, effort (74) make, for (75) make, it, a, rule, t (76) made, light, of (77) make, yourself, understood (78) make, out (79) makes, progress (80) make, the, most, of
(81)	He had to the lost time
	(彼はおくれた時間を取りもどさなければならなかった。)
(82)	He do it by himself.
	(彼は、独力でそれをやろうと決心した。)
(83)	good your time.
	(時間をじょうずに利用しなさい。)
(84)	We get there.
	(私たちはやっとのことでそこにたどり着いた。)

(85)	You start at once.	
	(きみは,すぐに出発した方がいい。)	
(86)	He say so.	
	(彼がそう言うのももっともだ。)	
(87)	I stay here.	
	(私はここにいるつもりだ。)	
(88)	He an accident while driving a car.	
	(彼は、自動車を運転している間に、事件に出くわした。)	
(89)	The man was drunk.	
	(その男は多少酔っていた。)	
(90)	The audience got excited.	
	(観衆はますます興奮してきた。)	
	《解答》(81) make, up, for (82) made, up, his, mind, to (83) Make, use, of (84) managed, to (85) may, as, well (86) may, well (87) mean, to (88) met, with (89) more, or, less (99) more, and, more	
(91)	John Bill is involved in the affair.	
	(ジョンとビルのどちらも,その事件に関与していない。)	
(92)	he will succeed.	
	(彼はきっと成功するでしょう。)	
(93)	We can believe him.	
	(我々は,もはや彼のいうことを信じられない。)	
(94)	may happen, he will start.	
	(たとえどんなことが起こっても、彼は出発するだろう。)	
(95)	He is a dreamer.	
	(彼はただの夢想家にすぎない。)	
(96)	We had arrived home it began to rain.	
	(私たちが家に帰るとすぐに雨が降りだした。)	
(97)	She has lived in America for five years, but she can speak English	-
	・ (彼女は5年間アメリカに住んでいるが少しも英語が話せない。)	
(98)	I do care	
	(私は少しも気にしていない。)	
(99)	He has three cars.	
	(彼は少くとも三台の車をもっている。)	
(100)	you he was wrong.	
	(あなただけでなく彼もまちがっていた。)	
	〈解答〉 (91) Neither, nor (92) No, doubt (93) no, longer (94) No, matter, what (95) no, more, the (96) no, sooner, than (97) not, at, all (98) not, in, the, least (99) not, less, than (100) Not, merely, but	nan

忘れているものがあったら、その学習日にもどって用例を再確認しておきなさい。

〈単語	音の復習〉						
●第	16 日						
$\Box$ 1	wóndrous	☐ 2 ala	rm(名)	□ 3 sound(動)		☐ 4 beep-beep	
□ 5	cost(動)	□ 6 lose	e	□7 dígital		□ 8 assúme	
□ 9	case	□10 pla	in	□11 advertise		$\square$ 12 affluence	
□13	chéapie	□14 arti	icle	□15 conspicuous	S	□16 consumption	on
1	驚くべき 2 警報,	時計のベ	ル 3 (ベルなど	`が)~を知らせる	4 ビー	-ビーという音	
5	(金額が)かかる 6	(時計が)	~だけおくれる	7 デジタル型の	8 仮定	でする, 当然と思う	5
9	実情, 真相 10 明ら	かな	11 宣伝する 12	豊かさ 13 安装	物 14 記	巴事,品物	
15	めだつ、はでな 16	消費					
- **	17 🗆						
●第		_ 0	f < -+			□ 4 besite in	
				□ 3 model	.1	☐ 4 built-in	
		☐ 6 term		7 technológic	aı	8 innovation	
		□10 cris		□11 synthetic		□12 matérial	
	-	_		□15 label		☐16 garment	
				☐19 similarly		□20 alligator	
				□23 próbable	<b>.</b>	1 -8. 1.95 1	
	請求書 2 製造業者		見本,型 4 組み				_ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	科学技術の 8 革新			11 統合的な,			
	模造品 14 状態,苦			.6 衣類 17 注意			
19	同様に 20 ワニ	21 ボロ井	月の小馬 22 ハリ	ネズミ 23 規	実にありそ	うな,もっともら	C12
●第	18 日						
□ 1	insanity	☐ 2 cón	cept	□ 3 bargain(名)		☐ 4 designer	
□ 5	apparent	☐ 6 úps	shot	☐ 7 maybe		□ 8 timepiece	
□ 9	spend	□10 sub	tle				
1	狂気,愚かさ 2 概	念 3	特売 4 デザイ	ナー 5 明られ	かな 6	結果,結論 7	7 おそらく
8	時計 9 (金などを)	つかう	10 微妙な,不可原	思議な			
〈語句	・表現の復習〉						
●第	16 日						
□ 1	something like	!	☐ 2 but then		□3 up to	) ~	
□ 4	pay attention to $\sim$	!	$\square$ 5 $\sim$ or otherwi	se	□6 in lif	e	
□ 7	the more $\sim$ , the bette	r	☐ 8 this is the case	se	□9 keep	time	
□10	$\sim$ as well as $\cdots$	!	$\Box$ 11 for $\sim$ reason		□12 make	e sense	
□13	$not \sim any better (more)$	than · · ·	□14 in fact		□15 consp	picuous consump	tion
□16	except for $\sim$	1	□17 show off		□18 more	than $\sim$	
1	およそ 2 しかし一	·方では	3 ~に至るまで	4 ~に注意を	·払う 5	あるいはその逆	
	この世で 7 ~であ						
	~の理由で 12 意味						
	実は,もう少し言うと						٢
	見せびらかす 18~						

●第	17日。		
$\square$ 1	happen to $\sim$	$\square$ 2 nothing more than $\sim$	☐ 3 out of business
□ 4	take to $\sim$	☐ 5 for variety	$\square$ 6 not to mention $\sim$
□ 7	rise above $\sim$	☐ 8 point out	$\square$ 9 make it possible to $\sim$
□10	move from $\sim$	$\Box$ 11 put on $\sim$	$\Box$ 12 alert $\sim$ to $\cdots$
1	~に(ことが)起こる 2 ~に	こすぎない 3 廃業して,失業して	4 ~の癖がつく,~にふける
5	変化を求めて 6 ~は言うま	でもなく 7 ~を乗り越える	8 指摘する
9	~することを可能にする 10	~から移動する 11 ~につける,	~にはる
12	~に…への注意を換起する		
●第	18 日		
□ 1	where once $\sim$ , now $\cdots$	$\square$ 2 less than $\sim$	☐ 3 in the first place
<b>4</b>	for instance	$\square$ 5 be willing to $\sim$	$\square$ 6 do without $\sim$
□ 7	what's the good of $\sim$ ing?	$\square$ 8 not $\sim$ any better than $\cdots$	☐ 9 make a statement
□10	used to $\sim$	$\Box$ 11 there is nothing like $\sim$	
1	かつて~だったが,いまは…	2 ~以下の 3 まず第一に,元	来 4 たとえば
5	喜んで~する, ~するのをいと	わない 6 ~をなしで済ます 7	/ ~して何になるのか
Q	N F 17 7 2 1 to 10 9 \$	のを言う 10 もとけ~したものだ	った 11 ~にまさるものはない

演習問題

学習日 月 日

第20日

# 長文読解の演習・英作文の演習

きょうは,第11日と第12日に学習した長文テキスト,そして第19日に学習した英作文の問題を使って演習をします。すべて既習の教材です。できるだけ短時間で学習を終えるようにしなさい。

# ➡ トレーニング ■ 1 次のテキストを全訳しなさい。 (大阪府立大 改題) 解答は p.112 参照 A characteristic of American culture that has become almost a tradition is the glorification of the self-made man — the man who has risen to the top through his own efforts, usually beginning by working with his hands. While the leader in business or industry or the college professor occupies a higher social position and commands greater respect in the community than the common laborer or even the skilled factory worker, he may take pains to point out that his father started life in America as a farm hand or laborer of some sort. 2 ( )の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。 (1) By what does the self-made man usually begin his career? (英語で) (2) How is the leader in business or industry or the college professor characterized by the author? (日本語で) (3) What may the leader in business or industry or the college professor take pains to do? (英語で)

〈設問文訳〉(1) 自力で出世した人は、通常、自分の職歴を何で始めるか。

- (2) 実業界,産業界の指導者,大学教授は,筆者によって,どう特徴づけられているか。
- (3) 実業界,産業界の指導者,大学教授は、わざわざ苦労して、何をしようとするかもしれないのか。
- 〈解 答〉(1) He usually begins his career by working with his hands.
  - (2) 彼らは、ふつうの労働者、あるいは、熟練した工場労働者よりも、地域社会で、より高い地位を占め、より大きな尊敬を集めていると特徴づけられている。
  - (3) They may take pains to point out that his father started life in America as a farm hand or laborer of some sort.

3	次のテキスト	、を全訳し	なさい。	(大阪府立大 改題)	解答は p.116 参照
---	--------	-------	------	------------	--------------

Most of the people who settled the United States were poor. The country they came to was a wilderness. Land had to be cleared of trees in order to make farms; mines had to be developed; houses, shops, and public buildings had to be built. Everyone had to help build them. Manual labor was highly valued. Later it was the man who worked with his head to achieve success in business and industry who was looked up to. Now there is in America a curious combination of pride in having risen to a position where it is no longer necessary to depend upon manual labor for a living and genuine delight in what one is able to accomplish with his hands. )の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。 (1) What did most of the people who settled the United States do first? (日本語で) (2) What was highly valued then and who was looked up to later? (英語で) (3) Describe the author's idea about an American curious combination of pride and genuine delight? (英語で)

- 〈設問文訳〉(1) アメリカ合衆国に定住したほとんどの人々は、まず最初に何をしたのか。
  - (2) その当時,何が高く評価され、後になって、誰(どんな人)が尊敬をうけたのか。
  - (3) アメリカでは、どの点に、誇りと純粋な喜びの奇妙な結合があるのか。
- 〈解 答〉(1) 彼らは、農場を作るために、土地については木を切り倒さなければならなかったし、鉱山について

は、開発しなければならなかったし、家や、店や、公共の建物については、建てなければならなかった。

- (2) Manual labor was highly valued then and later the man who worked with his head to achieve success in business and industry was looked up to.
- (3) In America there is a curious combination of pride in having risen to a position where it is no longer necessary to depend upon manual labor for a living and genuine delight in what one is able to accomplish with his hands.

5	次のテキスト	ゝを全訳しなさい。	(大阪府立大 改題)	解答は p.122 参照
---	--------	-----------	------------	--------------

	This attitude toward manual labor is seen in many aspects of American life. One is invited to dinner at a home that is not only comfortably but even luxuriously furnished, and in which there is every evidence of the fact that the family has been able to afford foreign travel, expensive hobbies, and college educations for the children; yet the hostess probably will cook the dinner herself, will serve it herself, and will wash the dishes afterward.
<b>6</b> (1)	)の指示に従って、(1)~(3)の英文の問いに答えなさい。 When one is invited to dinner at a home, how does he find the home is? (英語で)
(2)	What evidence is there at the home? (日本語で)
(3)	In such a home what manual labor will be done by the hostess? (英語で)

〈設問文訳〉(1) ある人が夕食に招待されて、その家がどんな様子だと気づくか。

- (2) その家には、どんな証拠があるか。
- (3) そのような家では、どんな肉体労働が、その家の主婦によってなされるか。
- 〈解 答〉(1) He finds that the home is not only comfortably but even luxuriously furnished.
  - (2) その家には、その家族が海外旅行をし、金のかかる趣味をもち、子どもに大学教育を受けさせることができるという事実の証拠がある。
  - (3) She probably will cook the dinner herself, will serve it herself and will wash the dishes afterward.

7	次のテキストを全訳しなさい。 (大阪府立大 改題) 解答は p.125 参照  Furthermore, the dinner will not consist merely of something quickly and easily assembled from the contents of various cans and a cake or pie bought at the nearby bakery. On the contrary, the hostess usually takes pride in careful preparation of special dishes. In addition, she does most of her other household work; and even though her husband may be a professional man, he talks about washing the car, digging in his flower beds, painting the house, or laying tile on the floor of the recreation room in the basement. His wife may even help him with these things, just as he often helps her with the dishwashing.
<b>8</b> (1	( )の指示に従って,(1)~(4)の英文の問いに答えなさい。 ) What will be unlikely to be served for the dinner?(英語で)
(2	What does the hostess take pride in? (英語で)
(3	What does the husband's work at his home seem to be? (日本語で)
(4	What does the husband help his wife with? (英語で)
<b>〈</b> 記	は問文訳〉(1) その家で出されそうもない夕食は何か。 (2) その家の主婦は,何に誇りをもっているか。 (3) その家での,主人の仕事は何だと思われるか。 (4) 主人は,彼の妻の何を手伝うか。  答〉(1) The dinner consisting merely of something quickly and easily assembled from the contents
\n	of various cans and a cake or pie bought at the nearby bakery.  (2) She takes pride in careful preparation of special dishes.  (3) 自動車を洗ったり、花壇を掘ったり、家にペンキを塗ったり、地下の娯楽室の床にタイルをはった

— 211 —

りすること。

(4) He helps his wife with the dishwashing.

## トレーニング

[9] 次の日本文を英訳していきます。後の各問題の(a)と(b)のには適切な語を考えて入れ,また [ ] の中からは正しい語を選びなさい。
人間の気持ちとして、何事でもすぐに評価しがちである。ある一定の行動を、良いとか悪いとかすぐに決めてかかる。もちろん、それであればこそ、人類は進歩もしてきたのかも知れない。ただここで大切なことは、そういう評価をする時、たえず、どの立場から見るとそれは良
いのか悪いのか、ということをはっきりさせることなのだ。 (東京大)
(1) 人間の気持ちとして,何事でもすぐに評価しがちである。 (a) By we are inclined to everything hastily. (b) It is nature to be prone to everything  (2) ある一定の行動を,良いとか悪いとかすぐに決めてかかる。 (a) We easily it for that certain things are or wrong. (b) is [quick, quickly] to assume certain things or bad.  (3) もちろん,それであればこそ,人類は進歩もしてきたのかも知れない。 (a) Of this is the [much, only, very] reason why could keep [progressed, progressing].  (b) doubt this be the very of human  (4) ただここで大切なことは,そういう評価をする時, (a) Nevertheless,an thing is that, when [judge, judging] things,
(b) Yet, a here is that, [on, is, at] the of evaluating things, (5) たえず, どの立場から見るとそれは良いか悪いのか, ということをはっきりさせることなのだ (a) We should [make, made] in what we think them right wrong.
(b) One is to clarify (at, with, all) the time what perspective (they, their, them) are good or
(記 例) (1) (a) nature, judge (b) human, evaluate, carelessly (2) (a) take, granted, right (b) One, quick, good (3) (a) course, probably, very, mankind, progressing (b) Without, must, cause, progress (4) (a) important, here, judging (b) point, at, time (5) (a) always, make, sure, aspect, or (b) supposed, all, from, they, bad
10 次の日本文を英訳しなさい。
(1) 人間の気持ちとして、誘惑に負けがちである。
(2) ある一定の人々を賢いとか愚かとか決めてかかるな。
(3) ただ, ここで大切なことは, 外出の際, 鍵をかけ忘れないことだ。
(4) どの立場から見るとその問題はむずかしいのか <b>,</b> 誰もはっきりさせることができなかった。

- 〈訳 例〉 (1) By nature we are inclined to yield to temptation easily. または It is human nature to be prone to fall into temptation easily.
  - (2) Don't easily take it for granted that certain people are wise or foolish. または Don't be quick to assume certain people wise or foolish.
  - (3) Nevertheless, an important thing here is that, when going out, we should not forget to lock up the house. または Yet, a point here is that, at the time of going out, one is supposed not to forget to lock the door.
  - (4) Nobody could make sure in what aspect the problem was difficult. または No one could clarify from what perspective the question was hard.

では, 実際の入試問題にチャレンジしてみよう。

#### [1] 次の日本文を英語に訳しなさい。

	人間(	の気持	手ち。	として	Ξ,	何事	で	もす	· (* )	に評	呼価し	ンが	ちて	ゔあ	る。	ある	5 —	定の	)行	動を	Ξ,	良し	: ۲	か悪い	ハとカ
す	ぐにと	夬めて	こかえ	かる。	₺	ちろ	ん,	7	れ	でぁ	られに	ばこ	そ,	人	類は	進步	きも	して	こき	たの	か	も矢	[]れ	ない。	たた
Z	こで	大切な	353	とは,	そ	うい	う言	评価	je'	する	時,	た	えす	F,	どの	立場	易か	ら見	見る	とそ	:n	は長	負か(	のか語	悪いの
か	, とい	<b>ゅう</b> こ	とと	をはっ	っき	りさ	せん	3 C	. と 7	なの	)だ。														
						<b>-</b> -																			

(訳 例) By nature we are inclined to judge everything hastily. We easily take it for granted that certain things are right or wrong. Of course this is probably the very reason why mankind could keep progressing. Nevertheless, an important thing here is that, when judging things, we should always make sure in what aspect we think them right or wrong. または It is human nature to prone to evaluate everthing carelessly. One is quick to assume certain things good or bad. Without doubt this must be the very cause of human progress. Yet, a point here is that, at the time of evaluating things, one is supposed to clarify from what perspective they are good or bad.

.

# 重要熟語 300+類義語・反意語

入試に頻出する熟語の中から,とくに反復練習する必要のあるものを 300 選び,類義語,反意語とともにまとめてあります。これらの熟語,類義語,反意語は,このデイリープログラムの第 1 巻から第 5 巻までで,すべてを 1 0 回ずつ反復トレーニングします。このリストはきれいに切り取って,反復トレーニングの答え合わせに使いなさい。

□1 大量の〜, たくさんの〜 □2 一種の〜 □3 とりわけ, 特に □4 〜によると, 〜に従って	a great deal of $\sim$ a sort of $\sim$ above all according to $\sim$	⇒ a large quantity of ~ (大量の~) ⇒ a kind of ~ ⇒ particularly (特に) ⇒ in agreement with ~ (~に従って)
□ 5 ~を説明する	account for $\sim$	⇒ explain
□ 6 ~に順応する □ 7 ~の余地がある □ 8 ほとんど □ 9 かえって □ 10 (その間)ずっと, いつも	adjust oneself to $\sim$ admit of $\sim$ all but all the more all the time	⇒ adapt oneself to ~ ⇒ allow of ~ ⇒ almost ⇒ more and more, increasingly ⇒ always (いつも)
□ 11 ~に…するのを許す	allow $\sim$ to do $\cdots$	図 prevent ~ from …ing (~が…する のを妨げる)
<ul><li>□ 12 ~など, ~の類</li><li>□ 13 それでも, それにもかかわらず</li><li>□ 14 ~は別として, ~のほかに</li><li>□ 15 ~のように見える, ~と思われる</li></ul>	$\sim$ and the like and yet apart from $\sim$ appear to do (be) $\sim$	⇒ ~ and so on (forth) ⇒ nevertheless ⇒ besides (そのほかに) ⇒ seem to do (be) ~
<ul><li>□ 16 ~に専念する</li><li>□ 17 ~に当てはまる</li><li>□ 18 じつは,実際のところ</li><li>□ 19 ~の結果として</li><li>□ 20 概して, 一般に</li></ul>	apply oneself to $\sim$ apply to $\sim$ as a matter of fact as a result of $\sim$ as a rule	<ul> <li>⇒ concentrate on ~</li> <li>⇒ be applicable to ~</li> <li>⇒ in fact</li> <li>⇒ in consequence of ~</li> <li>⇒ generally</li> </ul>
<ul><li>□ 21 全般的に、全体として、概して</li><li>□ 22 (場所)~まで、~の限りは</li><li>□ 23 ~に関しては、~に関していうと</li><li>□ 24 まるで~かのように</li><li>□ 25 そのままに、あるがままに</li></ul>	as a whole as far as $\sim$ as for $\sim$ as if $\sim$ as it is	⇒ in the main (概して) ⇒ so far as ~ (~の限りは) ⇒ as to ~ ⇒ as though ~
□ 26 いわば □ 27 ~である限り □ 28 ~と同じだけ, ~も □ 29 そういうものとして □ 30 まるで~のように	as it were as long as $\sim$ as much as $\sim$ as such as though $\sim$	$\Rightarrow$ so to speak $\Rightarrow$ so long as $\sim$ $\Rightarrow$ no less than $\sim (\sim \&)$ $\Rightarrow$ as if $\sim$
□ 31 ~に関して,について □ 32 ~のほかに,その上に □ 33 今までのところ,まだ □ 34 ~を見舞う	as to $\sim$ as well as yet ask after $\sim$	⇒ regarding ⇒ in addition (その上に) 図 not yet (まだ〜でない) ⇒ inquire after 〜

□ 35 ~とつきあう	associate with $\sim$	$\Rightarrow$ keep company with $\sim$
□ 36 一度に, 同時に	at a time	⇒ at the same time (同時に)
□ 37 とにかく	at any rate	⇒ anyhow
□ 38 少なくとも	at least	図 at most (多くても)
□ 39 詳しく, 十分に	at (full) length	⇒ in detail (詳しく)
□ 40 せいぜい,多くても	at most	図 at least (少なくとも)
□ 41 ~を犠牲にして	at the cost of $\sim$	$\Rightarrow$ at the expense of $\sim$
□ 42 ~の危険をおかして	at the risk of $\sim$	$\Rightarrow$ at the peril of $\sim$
□ 43 同時に	at the same time	⇒ at a time
□ 44 時々	at times	⇒ occasionally
□ 45 仕事をして	at work	図 at rest (休息をして)
$\square$ $46$ $\sim$ に没頭する, $\sim$ に夢中になる	be absorbed in $\sim$	図 be tired of ~ (~に飽きている)
□ 47 ~と知り合いだ, ~に精通してい る	be acquainted with $\sim$	⇒ be familiar with ~ (~に精通して いる)
□ 48 ~に従事している	be engaged in ∼ing	⇒ be occupied in ~ing
□ 49 ~に着手している	be engaged on $\sim$	⇒ have ~ in hand
□ 50 ~に直面する	be faced with $\sim$	$\Rightarrow$ be confronted with $\sim$
□ 51 ~に忠実である	be faithful to $\sim$	$\Rightarrow$ be true to $\sim$
□ 52 ~がない, ~から解放されている	be free from $\sim$	⇒ be without ~ (~がない)
□ 53 ~せざるを得ない	be obliged to do $\sim$	$\Rightarrow$ be compelled to do $\sim$
□ 54 ~から始める	begin with $\sim$	☑ end in ~ (~に終わる)
□ 55 (戦争・火事などが急に)起こる	break out	⇒ happen
□ 56 ~を引き起こす		
	bring about ~	⇒ cause
□ 57 ~を育てる	bring up $\sim$	⇒ raise
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ	bring up $\sim$ but for $\sim$	$\Rightarrow$ raise $\Rightarrow$ if it were not for $\sim$
□ 57 〜を育てる □ 58 もし〜がなければ □ 59 〜によって, 〜を通じて	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて)
<ul><li>□ 57 ~を育てる</li><li>□ 58 もし~がなければ</li><li>□ 59 ~によって, ~を通じて</li><li>□ 60 けっして~でない</li></ul>	bring up $\sim$ but for $\sim$	$\Rightarrow$ raise $\Rightarrow$ if it were not for $\sim$
□ 57 〜を育てる □ 58 もし〜がなければ □ 59 〜によって, 〜を通じて	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて)
<ul><li>□ 57 ~を育てる</li><li>□ 58 もし~がなければ</li><li>□ 59 ~によって, ~を通じて</li><li>□ 60 けっして~でない</li></ul>	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason
<ul><li>□ 57 ~を育てる</li><li>□ 58 もし~がなければ</li><li>□ 59 ~によって, ~を通じて</li><li>□ 60 けっして~でない</li><li>□ 61 自分だけで, ひとりで</li></ul>	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns call for $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns call for $\sim$ call up	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means  by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$ clean out $\sim$ of $\cdots$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of …
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means  by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$ clean out $\sim$ of $\cdots$ cling to $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる, 生じる	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means  by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$ clean out $\sim$ of $\cdots$ cling to $\sim$ come about	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって,~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで,ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる,生じる □ 71 ふっと思いうかぶ,偶然~に会う	bring up ~ but for ~ by means of ~ by no means  by oneself by turns call for ~ call up cannot but do ~  cannot help ~ing care for ~ clean out ~ of … cling to ~ come about  come across ~	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other [another] ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる, 生じる □ 71 ふっと思いうかぶ, 偶然~に会う □ 72 いっしょに行く, 現われる	bring up ~ but for ~ by means of ~ by no means  by oneself by turns call for ~ call up cannot but do ~ cannot help ~ing care for ~ clean out ~ of … cling to ~ come about  come across ~ come along	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other [another] ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う) ⇒ turn up (現われる)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる, 生じる □ 71 ふっと思いうかぶ, 偶然~に会う □ 72 いっしょに行く, 現われる	bring up ~ but for ~ by means of ~ by no means  by oneself by turns call for ~ call up cannot but do ~ cannot help ~ing care for ~ clean out ~ of … cling to ~ come about  come across ~ come along	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other [another] ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う) ⇒ turn up (現われる) ⇒ inherit (~を 相続 する), enter
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる, 生じる □ 71 ふっと思いうかぶ, 偶然~に会う □ 72 いっしょに行く, 現われる □ 73 ~を相続する, ~に入る	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means  by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$ clean out $\sim$ of $\cdots$ cling to $\sim$ come about  come across $\sim$ come along come into $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other [another] ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う) ⇒ turn up (現われる) ⇒ inherit (~を 相続 する), enter (~に入る)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって, ~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで, ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる, 生じる □ 71 ふっと思いうかぶ, 偶然~に会う □ 72 いっしょに行く, 現われる □ 73 ~を相続する, ~に入る □ 74 ~から生ずる, ~の出である	bring up $\sim$ but for $\sim$ by means of $\sim$ by no means  by oneself by turns call for $\sim$ call up cannot but do $\sim$ cannot help $\sim$ ing care for $\sim$ clean out $\sim$ of $\cdots$ cling to $\sim$ come about come across $\sim$ come along come into $\sim$	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う) ⇒ turn up (現われる) ⇒ inherit (~を相続する), enter (~に入る) ⇒ be born of ~ (~の出である) 図 come into ~ (~に入る)
□ 57 ~を育てる □ 58 もし~がなければ □ 59 ~によって,~を通じて □ 60 けっして~でない □ 61 自分だけで,ひとりで □ 62 かわるがわる □ 63 ~を求める □ 64 電話をかける □ 65 ~せずにはいられない □ 66 ~せずにはいられない □ 67 ~を世話する □ 68 ~から…を追い出す □ 69 ~を固守する □ 70 起こる,生じる □ 71 ふっと思いうかぶ,偶然~に会う □ 72 いっしょに行く,現われる □ 73 ~を相続する,~に入る □ 74 ~から生ずる,~の出である □ 74 ~から生ずる,~の出である □ 75 (本が)出版される,出る	bring up ~ but for ~ by means of ~ by no means  by oneself by turns call for ~ call up cannot but do ~ cannot help ~ing care for ~ clean out ~ of … cling to ~ come about  come across ~ come along come into ~  come of ~ come out	⇒ raise ⇒ if it were not for ~ ⇒ through (~を通じて) ⇒ not ~ by any reason ⇒ alone ⇒ one after the other (another) ⇒ demand ⇒ ring up ⇒ cannot help ~ing ⇒ cannot but do ~ ⇒ take care of ~ ⇒ drive ~ out of … ⇒ stick to ~ ⇒ take place (起こる) ⇒ meet ~ by chance (偶然~に会う) ⇒ turn up (現われる) ⇒ inherit (~を相続する), enter (~に入る) ⇒ be born of ~ (~の出である)

<ul><li>□ 78 ~と通信する</li><li>□ 79 ~を…と比較する</li></ul>	communicate with $\sim$ compare $\sim$ with $\cdots$	$\Rightarrow$ correspond with $\sim$ $\Rightarrow$ make a comparison between $\sim$
□80 ~に集中する, ~に熱中する	concentrate on $\sim$	and … ⇒ devote oneself to ~(~に熱中す る)
□ 81 ~から成り立つ, ~から成る □ 82 ~をあてにする, ~に頼る □ 83 ~の商売をする, ~をあきなう □ 84 ~を処理する, ~を扱う □ 85 ~に依存する	consist of $\sim$ count on $\sim$ deal in $\sim$ deal with $\sim$ depend on $\sim$	⇒ be made up of ~ ⇒ depend on ~ (~に頼る) ⇒ trade in ~ ⇒ do with ~ (~を扱う) ⇒ rely on ~
<ul><li>□ 86 ~から…をうばう</li><li>□ 87 ~に専念する</li><li>□ 88 ~と…を見分ける</li><li>□ 89 ~を…に分ける</li><li>□ 90 ~を廃止する</li></ul>	deprive $\sim$ of $\cdots$ devote oneself to $\sim$ distinguish $\sim$ from $\cdots$ divide $\sim$ into $\cdots$ do away with $\sim$	⇒ strip ~ of …  ⇒ apply oneself to ~  ⇒ discriminate ~ from …  ⇒ separate ~ into …  ⇒ abolish
□ 91 ためになることをする □ 92 ~を処理する □ 93 立ち寄る □ 94 ~をつくづく考える □ 95 ~するのに十分, ~ほど…である	do good do with $\sim$ drop in dwell on $\sim$ enough to do $\sim$	図 do harm (危害を加える)  ⇒ deal with ~  ⇒ stop in  ⇒ so ~ as to do … (…ほど~である)
□ 96 〜を始める □ 97 〜からにげる □ 98 たとえ〜としても □ 99 とても,大変 □ 100 〜がなければ	enter into $\sim$ escape from $\sim$ even though $\sim$ ever so much except for $\sim$	$\Rightarrow$ set about $\sim$ $\Rightarrow$ run away from $\sim$ $\Rightarrow$ even if $\sim$ $\Rightarrow$ awfully $\Rightarrow$ but for $\sim$
□ 101 ~しない, ~できない □ 102 ずっと遠くに離れて □ 103 決して~でない, 少しも~でない □ 104 ~したい気がする □ 105 ~を発見する, ~を考えつく	fail to do $\sim$ far away far from $\sim$ ing feel like $\sim$ ing find out $\sim$	⇒ don't, can't ⇒ in the distance ⇒ anything but ~ (決して~でない) ⇒ have a mind to do ~ ⇒ think out ~ (~を考え出す), discover(発見する)
□ 106 ~にもかかわらず □ 107 永久に □ 108 たとえば □ 109 一つには~,また一つには…	for all $\sim$ for good for instance for one thing $\sim$ , for another	<ul> <li>⇒ in spite of ~</li> <li>⇒ forever</li> <li>⇒ for example</li> <li>⇒ one ~, the other ···</li> </ul>
□ 110 独力で,自分で □ 111 ~のために □ 112 ~のために □ 113 ~とうまくやっていく □ 114 もどる,帰る □ 115 (ある状態)になる,~に入る	for oneself  for one's sake  for the sake of $\sim$ get along with $\sim$ get back  get into $\sim$	⇒ by oneself (自分ひとりで)  ⇒ for the sake of ~  ⇒ for one's sake  ⇒ get on with ~  ⇒ return  図 get out of ~ (~から出る)
□ 116 暮らしていく, ~に乗る □ 117 (習慣などを)やめる, ~から出る □ 118 ~を取り除く	get on $\sim$ get out of $\sim$ get rid of $\sim$	図 get off ~ (~から降りる) 図 get into ~ (~に入る) ⇒ rid ~ of … (~から…を取り除く)

□ 119 終わらせる □ 120 ~に到着する	get through $\sim$ get to $\sim$	⇒ finish ⇒ reach, arrive at (in)
□ 121 あちこち歩きまわる □ 122 (値段・質が)下がる □ 123 ~に反対する □ 124 爆発する,発射される □ 125 ~し続ける,進む,続く	go about go down go against ~ go off go on ~ing	⇒ walk about 図 go up (上がる) ⇒ oppose ⇒ explode (爆発する) ⇒ continue
□ 126 ~をやり抜く,成し遂げる □ 127 ~に苦労する □ 128 ~から便りがある □ 129 ~を自由にとって食べる □ 130 ~を差し出す,耐える	go through with $\sim$ have difficulty in $\sim$ ing hear from $\sim$ help oneself to $\sim$ hold out $\sim$	⇒ accomplish  図 be easy to do ~ (容易に~する)  ⇒ write to ~ (~に手紙を書く)  ⇒ serve ~ to oneself  ⇒ offer (差し出す), bear (耐える)
□ 131 ~を襲う, ~を持ちあげる, 遅らせる  □ 132 もし~がなかったら □ 133 ~につけこむ, ~をだます □ 134 ある意味では □ 135 ~と一致して, ~に従って	hold up $\sim$ if it were not for $\sim$ impose on $\sim$ in a sense  in accordance with $\sim$	⇒ raise (持ちあげる), delay (遅らせる) ⇒ but for ~ ⇒ deceive (~をだます) 図 in all senses (あらゆる意味で) ⇒ according to ~ (~に従って)
□ 136 ~に加えて、~のほかに □ 137 前金で、前もって □ 138 いずれにせよ、とにかく □ 139 終わりにのぞんで、最後に □ 140 実際は	in addition to $\sim$ in advance in any case in conclusion in fact	⇒ besides (そのほかに) ⇒ beforehand (前もって) ⇒ anyhow ⇒ finally (最後に) ⇒ as a matter of fact
□ 141 〜を支持して, 〜に賛成して □ 142 一般に □ 143 それだけで, 本来は □ 144 とくに □ 145 〜に関しては	in favor of $\sim$ in general in itself in particular in regard to $\sim$	⇒ on the side of ~ (~を支持して) ⇒ generally ⇒ essentially (本来) ⇒ particularly ⇒ in relation to ~
□ 146 ~に関して □ 147 手短に言えば □ 148 ~する限りでは,~だけでは □ 149 ~にもかかわらず □ 150 ~の点から,~によって	in relation to $\sim$ in short in so far as $\sim$ in spite of $\sim$ in terms of $\sim$	$\Rightarrow$ concerning $\Rightarrow$ to make a long story short $\Rightarrow$ to the best of $\sim (\sim \mathcal{O}$ 限りでは) $\Rightarrow$ for all $\sim$ , with all $\sim$ , despite $\Rightarrow$ by means of $\sim (\sim \mathcal{C} \ \mathcal{L} \ L$
□ 151 ~について, ~の場合には □ 152 ~の間に □ 153 まず第一に □ 154 結局は □ 155 同様に	in the case of $\sim$ in the course of $\sim$ in the first place in the long run in the same way	<ul><li>⇒ in case ~ (~の場合には)</li><li>⇒ during</li><li>⇒ first of all</li><li>⇒ after all</li><li>⇒ likewise</li></ul>
□ 156 〜から考えて, 〜に照らして □ 157 むなしく, むだに □ 158 〜を主張する □ 159 …を妨げて〜させない □ 160 〜を維持する	in view of $\sim$ in vain insist on $\sim$ keep $\cdots$ from $\sim$ ing keep up $\sim$	⇒ in the light of ~ (~に照らして) ⇒ uselessly (むだに) ⇒ persist in ~ ⇒ prevent ··· from ~ing ⇒ maintain
□ 161 ~についていく,遅れないように する	keep up with $\sim$	$\Rightarrow$ keep abreast with (of) $\sim$

□ 162 ~な生活を送る	lead a $\sim$ life	⇒ live a ~ life
□ 163 ~となる, ~に至らせる	lead to $\sim$	$\Rightarrow$ end in $\sim$ ( $\sim$ $\geq$ $\sim$ $\approx$ $\approx$ $\approx$ $\approx$
□ 164 放っておく,一人にしておく	leave alone	⇒ let alone
□ 165 ~を…にまかせる	leave $\sim$ to $\cdots$	⇒ trust ~ to … (~を信頼して…させ る)
□ 166 ~の世話をする, ~に気をつける	look after $\sim$	⇒ take care of ~ (~の世話をする)
□ 167 ~を軽べつする, ~を見下ろす	look down on (upon)	図 look up to ~ (~を尊敬する)
□ 168 ~を楽しみにして待つ, ~を期待する	look forward to $\sim$	⇒ anticipate
り a □ 169 ~を傍観する, ~を見物する	look on (upon) $\sim$	⇒ watch (見物する)
□ 170 ~を…と見なす, ~を…だと思う	look on $\sim$ as $\cdots$	⇒ think of ~ as ···
□ 171 (辞書などで)調べる, ~を見上げ る	look up $\sim$	⇒ consult (〈辞書などで〉調べる)
□ 172 ~を尊敬する, ~を賞讃する	look up to $\sim$	⇒ respect (~を尊敬する)
□ 173 努力する	make an effort	⇒ exert oneself
□ 174 ~に寄与する, ~に向かって進む	make for $\sim$	⇒ contribute (~に寄与する)
□ 175 ~することにしている	make it a rule to do $\sim$	$\Rightarrow$ be in the habit of $\sim$ ing
□176~を軽んじる,~を軽く見る	make light of $\sim$	厦 make much of $\sim$ ( $\sim$ を重んじる)
□ 177 自分の言うことを人にわからせる	make oneself understood	$\Rightarrow$ make one understand $\sim$ (人 に $\sim$ をわからせる)
□ 178 ~を理解する,わかる	make out $\sim$	⇒ understand
□ 179 はかどる, 前進する	make progress	⇒ advance (前進する)
□ 180 ~をできるだけ利用する	make the most of $\sim$	⇒ make the best use of ~ (~をもっ とよく利用する)
□ 181 ~を取りもどす, ~をうめ合わせ	make up for $\sim$	⇒ compensate for ~ (~をうめ合わせる)
る □ 182 (~することを)決心する	make up one's mind to do $\sim$	⇒ decide, determine
□ 183 ~を利用する	make use of $\sim$	⇒ utilize
□ 184 やっとのことで~する	manage to do $\sim$	⇒ contrive to do ~
□ 185 ~したほうがよい	may (might) as well do $\sim$	$\Rightarrow$ had better do $\sim$
□ 186 ~するのはもっともだ	may well do (be) $\sim$	$\Rightarrow$ have good reason to do (be) $\sim$
□ 187 ~するつもりである	mean to do $\sim$	$\Rightarrow$ intend to do $\sim$
□ 188 ~に出くわす, ~を経験する	meet with $\sim$	⇒ come across ~ (~に出くわす)
□ 189 多少, いくぶん	more or less	⇒ to some extent (ある程度まで)
□ 190 ますます	more and more	⇒ increasingly, all the more
□ 191 ~も…も一でない	neither $\sim$ nor $\cdots$	$\Rightarrow$ not either $\sim$ or $\cdots$
□192 きっと,疑いなく	no doubt	⇒ beyond doubt
□ 193 もはや~ではない	no longer $\sim$	$\Rightarrow$ not $\sim$ any more
□194 たとえ何が~でも	no matter what $\sim$	⇒ whatever
□ 195 ただ~にすぎない	no more than $\sim$	⇒ only
□ 196 ~するとすぐに	no sooner $\sim$ than	$\Rightarrow$ hardly $\sim$ when, scarcely $\sim$ before
□ 197 少しも~でない	not $\sim$ at all	$\Rightarrow$ not $\sim$ in the least
□ 198 少しも~でない	not $\sim$ in the least	⇒ not ~ at all, by no means (決して ~でない)
□ 199 少なくとも~	not less than $\sim$	$\Rightarrow$ at least $\sim$

□ 200 ~だけでなく…も	not merely $\sim$ but (also) $\cdots$	$\Rightarrow$ not only $\sim$ but (also) $\cdots$
□ 201 必ずしも~でない	not necessarily $\sim$	$\Rightarrow$ not always $\sim$
□ 202 ~すらしない	not so much as $\sim$	$\Rightarrow$ not even $\sim$
□ 203 ~よりむしろ…	not so much $\sim$ as $\cdots$	$\Rightarrow$ $\cdots$ rather than $\sim$
□ 204 時々	now and then	⇒ sometimes, occasionally
□ 205 ひとりでに、自然に	of oneself	⇒ spontaneously (自然に)
□ 206 一体全体, この世に(で)	on earth	⇒ in the world (一体全体)
□ 200	on end	⇒ continuously
□ 208 一方では〜, 他方では…	on the one hand $\sim$ , on the other (hand) $\cdots$	$\Rightarrow$ one $\sim$ , the other $\cdots$
□ 209 わざと,故意に	on purpose	図 by chance, by accident (偶然に)
□ 210 それどころか,これに反して	on the contrary	$\Rightarrow$ contrary to $\sim$ ( $\sim$ に反して)
□ 211 ~の方には, ~による	on the part of $\sim$	⇒ on one's part (~の方には)
□ 212 概して	on the whole	⇒ generally
□ 213 次々に	one after another	⇒ in succession
□ 214 何とかして, どうにかして	one way or another	⇒ in some way
□ 215 故障して	out of order	$\Rightarrow$ be wrong with $\sim$
□ 216 時代遅れで,旧式で	out of date	図 up to date (最新式の)
□ 217 …に~の借りがある	owe $\sim$ to $\cdots$	⇒ be indebted to ··· for ~
□ 218 ~のために	owing to $\sim$	$\Rightarrow$ on account of $\sim$
□ 219 ~として認められている, ~で通	pass for $\sim$	$\Rightarrow$ be accepted as $\sim$
کر از		, se accepted as
□ 220 ~を経験する, ~を通過する	pass through $\sim$	⇒ pass by ∼, experience (∼を経験 する)
□ 221 ~に注意をはらう	pay attention to $\sim$	$\Rightarrow$ be careful of $\sim$
□ 222 ~に固執する, ~を強く主張する	persist in $\sim$	$\Rightarrow$ insist on (upon) $\sim$
□ 223 役割を果たす	play a role	⇒ play a part
□ 224 ~を指摘する, ~を指し示す	point out $\sim$	⇒ call attention to ~, indicate ~ (~を指し示す)
□ 225 どしゃぶりに降る	pour down	⇒ it rains cats and dogs
□ 226 …よりも~を好む	prefer $\sim$ to $\cdots$	$\Rightarrow$ like $\sim$ better than $\cdots$
□ 227 ~の準備をする	prepare for $\sim$	$\Rightarrow$ make preparation for $\sim$
□ 228 A が~するのをさまたげる	prevent A from ∼ing	⇒ stop A from ~ing (A が~するの
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	prevene it from any	を止めさせる)
□ 229 ~に…をあたえる	provide $\sim$ with $\cdots$	$\Rightarrow$ supply $\sim$ with $\cdots$
□ 230 ~をかたづける	put away $\sim$	⇒ replace (もとの場所にもどす)
□ 231 ~を書きとめる, ~を書く	put down $\sim$	$\Rightarrow$ write down $\sim$ , note down $\sim$
□ 232 ~を延期する	put off $\sim$	⇒ postpone
□ 233 (あかり,火)を消す	put out $\sim$	$\Rightarrow$ switch off $\sim$ , extinguish
□ 234 ~を我慢する, たえしのぶ	put up with $\sim$	⇒ endure, bear
□ 235 ~から回復する, ~が治る	recover from $\sim$	$\Rightarrow$ get over $\sim$
□ 236 ~を…に変える	reduce $\sim$ to $\cdots$	⇒ turn ~ into ···
□ 237 ~を参照, ~を引用する, ~に関連	refer to $\sim$	⇒ relate to ~ (~に関連がある)
がある		( TEMEN WW)
□ 238 ~を…とみなす,考える	regard $\sim$ as $\cdots$	$\Rightarrow$ think of $\sim$ as $\cdots$

□ 239 ~に関連がある	relate to $\sim$	$\Rightarrow$ refer to $\sim$
□ 240 ~に頼る, ~を当てにする	rely on $\sim$	$\Rightarrow$ depend on $\sim$ , count on $\sim$
<ul><li>□ 241 ~に返答する,応じる</li><li>□ 242 ~の結果として生じる</li><li>□ 243 ~に終わる,結局~となる</li><li>□ 244 ~から…を奪う</li><li>□ 245 ~をさがす</li></ul>	respond to $\sim$ result from $\sim$ result in $\sim$ rob $\sim$ of $\cdots$ search for $\sim$	<ul> <li>⇒ reply to ~</li> <li>⇒ arise from ~</li> <li>⇒ end in ~</li> <li>⇒ deprive ~ of …</li> <li>⇒ look for ~, seek for ~</li> </ul>
□ 246 ~と…を引き離す □ 247 ~を始める, ~にとりかかる □ 248 ~を出発する, ~し始める □ 249 (季節, 天候などが)始まる □ 250 ~を組み立てる	separate $\sim$ from $\cdots$ set about $\sim$ ing set off $\sim$ set in set up $\sim$	⇒ divide A into B (A を B に分ける) ⇒ start ⇒ set out, start (~を出発する) ⇒ begin ⇒ put ~ together
□ 251 定住する,落ち着く,身を固める □ 252 ~を…とともにする	settle down share ~ with	⇒ fix one's residence (定住する)
<ul><li>□ 253 ~するように</li><li>□ 254 今までに</li><li>□ 255 ~に関する限りは</li></ul>	so as to do (be) $\sim$ so far so (as) far as $\sim$ be concerned	⇒ in order to $\sim$ ( $\sim$ するために) ⇒ thus far ⇒ as for $\sim$ ( $\sim$ に関しては)
<ul><li>□ 256 ~であるあいだは、~である限り</li><li>□ 257 いわば、つまり</li><li>□ 258 遅かれ早かれ</li></ul>	so long as $\sim$ so to speak sooner or later	⇒ as long as ~ (~である限り) ⇒ as it were ⇒ in (the) course of time (そのうち に)
□ 259 ~を見わける, ~をよりわける □ 260 ~のことを話す	sort out $\sim$ speak of $\sim$	⇒ distinguish (~を見わける) ⇒ talk about ~
□ 261 ~を支持する, ~を表す	stand for $\sim$	⇒ support (~を支持する), represent (~を表す)
□ 262 ~を見つめる □ 263 ~を引き継ぐ, ~をゆずり受ける □ 264 ~のような人(物), たとえば □ 265 ~になやむ, ~で苦しむ	stare at $\sim$ succeed to $\sim$ such as suffer from $\sim$	⇒ gaze at ~, look at ~ ⇒ take over ~ (~を引き継ぐ) ⇒ for example (たとえば) ⇒ be in trouble with ~
□ 266 要約する □ 267 ~を利用する □ 268 ~に似ている, ~ゆずりである □ 269 (食卓を)片づける, ~を取り去る □ 270 ~を当たりまえのことと思う	sum up take advantage of $\sim$ take after $\sim$ take away $\sim$ take $\sim$ for granted	⇒ summarize ⇒ make use of ~ ⇒ resemble (~に似ている) ⇒ remove ⇒ take ~ as a matter of course
□271 〜をだます, 〜を理解する □272 離陸する, ぬぐ □273 (責任を)引き受ける, 〜を雇い入 れる	take in $\sim$ take off take on $\sim$	⇒ deceive (~をだます) 図 put on (身につける) ⇒ be responsible for ~ (~の責任を 負う)
□ 274 ~を取り出す、~を連れて出る	take out $\sim$	図 put in ~ (~を入れる, ~を差し込む)
□ 275 ~を引きつぐ	take over $\sim$	$\Rightarrow$ succeed to $\sim$
□ 276 ~に参加する, ~に出る □ 277 起こる, 催される	take part in $\sim$ take place	$\Rightarrow$ participate in $\sim$ $\Rightarrow$ come about (起こる), happen(起こる)

□ 278 〜を自慢する □ 279 〜にとって代わる □ 280 ゆっくり時間をかけてする	take pride in $\sim$ take the place of $\sim$ take time to do $\sim$	⇒ be proud of ~ ⇒ be substituted for ~ 図 lose no time in ~ing (時を移さずすぐにする)
□ 281 ~を取り上げる, ~を取り入れる □ 282 話し合う, 相談する □ 283 ~のおかげで, ~のために □ 284 すなわち, つまり □ 285 …と同じ種類の	take up $\sim$ talk over thanks to $\sim$ that is to say the same $\sim$ as $\cdots$	⇒ discuss (話し合う) ⇒ on account of ~ (~のために) ⇒ namely (すなわち) ⇒ the same ~ that … (…と同じ)
<ul><li>□ 286 ~を重んじる,~を大事にする</li><li>□ 287 ~を…とみなす</li><li>□ 288 ある程度まで,いくぶん,多少</li><li>□ 289 ~を断わる,~を拒絶する</li><li>□ 290 (明かりなどを)つける</li></ul>	think much of $\sim$ think of $\sim$ as $\cdots$ to some extent turn down $\sim$ turn on $\sim$	⇒ make much of ~ (~を重んじる) ⇒ look on (upon) ~ as … ⇒ more or less (多少) ⇒ refuse (~を拒絶する) 図 turn off ~ (〈明かりなどを〉消す)
□ 291 〜となる, 〜と判明する □ 292 〜次第で, 〜まで □ 293 〜の給仕をする, 〜を接待する □ 294 〜にもかかわらず □ 295 容易に,楽々と	turn out $\sim$ up to $\sim$ wait on $\sim$ with all $\sim$ with ease	⇒ prove ⇒ depend on ~ (~次第で) ⇒ serve ⇒ in spite of ~  図 with difficulty (苦労して)
□ 296 かならず,きっと □ 297 ~に取り組む □ 298 ~を解く □ 299 ~を心配する □ 300 ~に負ける,~に屈して譲る	without fail work on $\sim$ work out $\sim$ worry about $\sim$ yield to $\sim$	⇒ surely(きっと), certainly(きっと) ⇒ engage in ~, work at ~ ⇒ solve, figure out ~ ⇒ be anxious about ~ ⇒ give way to ~

## 重要熟語 300 の例文

(1) He spent a great deal of money on buying books.

(彼は本を買うのに、ずいぶん多くのお金を費した。)

(2) This is not a dictionary, but a sort of reference book.

(これは辞書ではなくて一種の参考図書だ。)

(3) **Above all**, you should not tell anybody about the case.

(とりわけ、あなたがたはその事件についてだれにも話してはいけません。)

(4) **According to** the newspaper, the president is a candidate to succeed himself in the forthcoming election.

(その新聞によると大統領は次期再選を目指して立候補している。)

(5) Please **account for** your absence from school yesterday.

(きのう学校を欠席した理由を説明してください。)

(6) I tried to adjust myself to my new environment.

(私は新しい環境に順応しようとした。)

(7) The situation **admits of** improvement.

(この事態は改善の余地がある。)

(8) She was hit by a car and now she is all but dead.

(彼女は自動車にはねられ、ほとんど死にかけている。)

(9) His remark made her all the more angry.

(彼のひとことが彼女をかえっておこらせてしまった。)

(10) My wife was chattering with her friend all the time.

(私の妻はその間ずっと友だちとおしゃべりしていた。)

(11) My parents allowed me to enter the world of show business.

(両親は私が芸能界にはいるのを許してくれた。)

(12) He is good at swimming, skiing and the like.

(彼は水泳、スキーなどが得意だ。)

(13) I am very tired, and yet I have to go out.

(私はとてもつかれているが、それでも外出しなければならない。)

(14) Apart from the cost, I think your plan is very nice.

(費用は別として、私はあなたの計画はとてもすばらしいと思います。)

(15) The man **appeared to** be a merchant.

(その男は商人のようにみえた。)

(16) He applied himself to the study of ancient history.

(彼は、古代史の研究に専念した。)

(17) This training method doesn't **apply to** beginners.

(この訓練方法は初心者には当てはまらない。)

(18) As a matter of fact, my daughter did it.

(じつは私の娘がそれをしたのだ。)

(19) A great number of people were killed as a result of the accident.

(非常に多くの人々がその事故の結果死んだ。)

(20) As a rule, old people get up early.

(概してお年寄りは早起きだ。)

(21) The American way of life can hardly be spoken of **as a whole**. (アメリカの生活習慣を全般的に語ることは、ほとんどできない。)

(22) We went **as far as** New York by train. (我々は、ニューヨークまで汽車で行った。)

(23) **As for** me, I like Chinese dishes best. (私に関していうと、中華料理が一番好きだ。)

(24) He looks **as if** he had nothing to worry about. (彼はまるで何も心配事がないかのように見える。)

(25) Leave the chair **as it is**, please. (いすはそのままにしておいてください。)

(26) We acted, as it were, as her bodyguard. (我々は、いわば彼女の護衛役をやったのだ。)

(27) We don't care whatever you do, **as long as** you don't bother us. (我々は,きみが我々をじゃましない限り,きみが何をしようとかまわない。)

(28) Take **as much as** you need. (あなたが必要とするだけ取りなさい。)

(29) I am a student and I want to be treated **as such**. (私は学生なので、そういうものとして扱ってもらいたい。)

(30) John looked as though he were angry.(ジョンは、まるでおこっているように見えた。)

(31) As to our plan, we must first decide the date.(我々の計画に関して、まず日程を決めなければならない。)

(32) He gave her a silk dress and a ring as well.(彼は彼女に絹のドレスのほかに指輪もあげた。)

(33) They have not known the fact as yet.(今までのところ、彼らはその事実を知らない。)

(34) We **asked after** our sick friend. (我々は、病気の友を見舞った。)

(35) You'd better not **associate with** such a man. (あなたはそんな男とつきあわないほうがいい。)

(36) Please pass them to me at a time. (それらを一度に渡してください。)

(37) At any rate, I'll meet him.

(ともかく彼に会ってみよう。)

(38) You should study at least three hours a day.(あなたがたは、一日に少くとも三時間は、勉強すべきです。)

(39) He explained the result at length. (彼は, その結果を詳しく説明した。)

(40) The book will cost 1000 yen **at most**. (その本はせいぜい 1000 円だろう。)

(41) The dam was built **at the cost of** a number of people. (そのダムは、多数の人を犠牲にして建てられた。)

(松) She rescued the drowning daughter **at the risk of** her life. (彼女は自分の命の危険をおかして溺れかかっている娘を救った。)

(43) He is not honest, but we must admit at the same time that he is very smart. (彼は正直ではないが,我々は同時に彼がすごく頭がよいことも認めなければならない。)

(4) I listen to classical music at times.(私はときどきクラシック音楽をきく。)

(45) He is **at work** in his room now. (彼は今部屋で仕事をしている。)

(46) She is absorbed in his music.

(彼女は、彼の音楽に夢中である。)

(47) I **am acquainted with** the president of the firm. (私はその会社の社長と知り合いである。)

(48) Most of the villagers **are engaged in** farming. (村人のほとんどは農業に従事している。)

(49) She **was engaged on** a new literary work in London. (彼女はロンドンで新しい文芸作品に着手していた。)

(50) We have **been** continuously **faced with** difficulties in accomplishing the work. (我々は, その仕事を達成する際に, いつも困難に直面している。)

(51) The knights were faithful to the Queen. (その騎士たちは、女王に忠実であった。)

(52) He **is free from** debt now. (彼にはもう借金はない。)

(53) He was obliged to go back to work in order to help his brother. (彼は弟を援助するために、働きに戻らざるを得なかった。)

(54) You had better **begin with** this primer. (あなたは、この入門書から始めるといいですよ。)

(55) Under the present condition, a war may **break out**. (現在の情況では、戦争が起こるかもしれない。)

(56) Her carelessness **brought about** the accident. (彼女の不注意がその事故を引き起こした。)

(切) John's aunt **brought** him **up**. (ジョンのおばが,彼を育てた。)

(58) **But for** water, nothing could live. (もし水がなければ、何も生きられないだろう。)

(59) I tried to express my idea **by means of** pictures. (私は自分の考えを絵によって表現しようとした。)

(例) The solution is **by no means** easy. (解決はけっして容易ではない。)

(61) Did you finish the work **by yourself** or did anyone help you? (その仕事をひとりで仕上げたのですか、それとも誰か手伝いましたか。)

(62) The members introduced themselves by turns.(会員はかわるがわる自己紹介をした。)

(63) They called for help.

(彼らは助けを求めた。)

(4) Jimmy often calls me up after supper.(ジミーは夕食後によく私に電話をかけくる。)

(6) We couldn't but laugh at his joke.
(私たちは彼の冗談を聞いて笑わずにはいられなかった。)

(66) I **couldn't help staying** there after five o'clock.

(私は5時をすぎてもそこにとどまらざるをえなかった。)

(67) The boy **cared for** his pet night and day. (その少年は、自分のペットを日夜世話をした。)

(88) The police **cleaned out** the street **of** the illegal demonstrators. (警察は,通りから非合法のデモ隊を追い出した。)

(例) The villagers still cling to the old custom. (村人たちはいまだに古い習慣を固守している。)

(70) How did this state of affairs **come about**? (どうしてこのような事態が生じたのか)

(71) Suddenly a good idea **came across** his mind. (突然いい考えが彼の頭にうかんだ。)

(72) Please come along with us.
(どうぞ、我々と一緒にいらっしゃい。)

(73) She will **come into** a large fortune by the time she is eighteen. (彼女は, 18歳になるまでに, 大きな財産を相続するだろう。)

(74) His illness **comes of** eating too much. (彼の病気は食べ過ぎのせいだ。)

(75) A book by the famous writer will soon **come out**. (その有名な作家による本が、すぐに出るでしょう。)

(76) At last, we've **come to** know the fact. (とうとう、我々はその事実を知るようになった。)

(77) We **came upon** our old classmates at Sapporo the other day. (我々は,先日,昔の級友に,札幌で偶然出くわした。)

(78) We can **communicate with** them by wireless. (私たちは彼らと無線で通信することができる。)

(79) Try to **compare** this photo **with** that one. (この写真をあの写真と比較してみなさい。)

(80) While reading, you must **concentrate on** the book. (読書をしている間は,その本に集中しなければいけません。)

(81) The work **consists of** small pieces of wood. (その作品は、小さな木の破片から成り立っている。)

(82) Please don't count on me. I'm not good at that.(どうか, 私をあてにしないでください。私は、それは得意ではないのです。)

(83) The merchant deals in shoes. (その商人は靴の商売をしている。)

(級) He is the man who **dealt with** the emergency. (彼が、その緊急事態を処理した男だ。)

(85) Japan depends upon foreign countries for petroleum. (日本は石油を外国に依存している。)

(%) Poverty deprived him of education. (貧困が彼から教育をうばった。)

(87) He **devoted himself to** studying medicine. (彼は, 医学の研究に専念した。)

(88) It is hard to **distinguish** good **from** evil. (善と悪を見分けることはむずかしい。)

(89) We will **divide** the class **into** six groups. (クラスを六つのグループに分けます。)

(例) The death penalty has been **done away with** in France. (フランスでは死刑が廃止されている。)

(引) A little exercise will **do** you **good**. (わずかでも運動すれば、君のためになるよ。)

(92) I couldn't **do with** the matter. (私はその事を処理できなかった。)

(93) John **dropped in** to see us yesterday. (ジョンは, きのう, 我々に会いに立ち寄った。)

(94) He dwelt on the past.(彼は、過去のことをつくづく考えた。)

(95) He is not old **enough to** drink beer. (彼は, ビールを飲むほどの年齢になっていない。)

(%) We **entered into** negotiations with our business rivals. (私たちは商敵と交渉を始めた。)

(例) One of the prisoners escaped from prison.
(囚人の一人が牢獄から逃げた。)

(98) He will challenge it **even though** it's too late. (たとえもう遅すぎるとしても,彼は,それに挑戦するだろう。)

(99) I thank you **ever so much** for your help. (お手伝いに、私はたいへん感謝しております。)

(III) **Except for** her laziness, she would be a good woman. (怠惰なところがなければ彼女はよい女性なのだが。)

(101) He **failed to** keep his promise.

(彼は約束を守らなかった。)

(10) Yokohama is too **far away** for me to commute from my house. (横浜は、私の家から通勤するには、余りに離れている。)

(週) His reputation is **far from** being good. (彼の評判は、決して良くない。)

(M) I felt like crying to see her.(私は彼女の姿を見て泣きたい気がした。)

(III) The chemist **found out** how the atom changes. (その化学者は、どの様に、その原子が変化するかを発見した。)

(順) He is not satisfied **for all** his high marks. (彼は、良い点をとったのにもかかわらず満足していない。)

(源) He left Japan for good. (彼は永久に日本を去った。)

(III) How about making a foreign tour, to New York or London, **for instance**? (外国旅行をしてみませんか, たとえばニューヨークかロンドンとか。)

(19) **For one thing** she was busy, **for another** she was tired. (一つには彼女は忙しかったし,また一つにはつかれてもいた。)

(III) You must do it **for yourself**. (あなたは、これを独力でやらなければいけない。)

(III) She will do anything **for her daughter's sake**. (彼女は、娘のために何でもするだろう。)

(III) She will do anything **for the sake of** her daughter. (彼女は娘のためならどんなことでもするだろう。)

(113) I can't get along with my father.

(私は、父とうまくやっていけない。)

(114) They finally got back to their native land.

(彼らは, ついに, 自分の郷里に帰った。)

(115) He will **get into** trouble as he is now.

(彼は、このままの状態では、めんどうなことになるだろう。)

(116) How are you getting on these days?

(あなたはこの頃、いかがお暮らしですか。)

(III) He has got out of the habit of drinking.

(彼はずっと, 酒を飲む習慣をやめている。)

(118) Once you have formed a bad habit, it is very difficult to get rid of it.

(一度悪い癖がつくと、それを取り除くのはとても困難である。)

(119) Almost all the students **got through** the work.

(ほとんど全員の学生が、その作業を終えた。)

(120) The plane will get to London at 21:00.

(その飛行機は、夜の9時にロンドンへ到着するだろう。)

(121) The travellers went about New York whole day.

(旅行者たちは、一日中ニューヨークを歩きまわった。)

(122) Prices began to go down.

(物価が下がりはじめた。)

(123) Such an action goes against my conscience.

(このような行為は私の良心に反する。)

(12) Suddenly the dynamite went off and many people were killed in the accident.

(突然ダイナマイトが爆発して多くの人がその事故で死んだ。)

(15) She went on reading at home all day yesterday.

(昨日彼女は1日中家でずっと読書していた。)

(126) He could not go through with the attempt.

(彼は、その試みをやりとげることができなかった。)

(127) The teacher had difficulty in remembering their names.

(その先生は彼らの名前を覚えるのに苦労した。)

(128) I haven't heard from her since then.

(私は、それ以来、彼女から便りをもらっていない。)

(129) Please help yourself to the dishes.

(どうぞ,自由に料理を取ってお食べください。)

(130) He **held out** his hands to help her.

(彼は、彼女を助けるために、両手をさしだした。)

(131) They held up their hands in token of surrender.

(彼らは降参のしるしとして両手をあげた。)

(132) If it were not for water, we could not live.

(もし水がなかったら、私たちは生きていけないだろう。)

(133) He **imposed on** her kindness.

(彼は彼女の親切につけこんだ。)

(134) In a sense, I sympathize with the criminal.

(ある意味で私はその犯人に同情している。)

(13) The result was not in accordance with our expectation.

(結果は、我々の予想とは一致していなかった。)

- (3) I have to do her job **in addition to** my own.

  (私は,自分の仕事に加えて,彼女の仕事もやらなければならない。)
- (図) You should pay **in advance** for the lesson. (前もって授業料を払わなければいけない。)
- (図) I have, **in any case**, to finish this work by tomorrow morning. (いずれにせよ私はあすの朝までに,この仕事を終えねばならない。)
- (図) In conclusion, I'd like to thank all of you. (終わりにのぞんで私はきみたちみんなにお礼を言いたい。)
- (趣) She was a good student; **in fact**, she was top of the school. (彼女は良い学生だった。実際彼女は、学校中で一番だった。)
- (A) The judgment was **in favor of** the government. (その判決は、政府を支持していた。)
- (国) **In general**, students today are very calm and sometimes conservative. (一般に,今日の学生は,大変おだやかで,時には,保守的である。)
- (域) For his father money is an end in itself. (彼の父親にとって、金はそれ自体が目的である。)
- (地) He likes listening to music, **in particular**, to classical music. (彼は音楽, とくにクラシック音楽をきくのが好きだ。)
- (III) Do you have anything to say **in regard to** this matter? (この件に関して、何か言うことがありますか。)
- (幽) We want to know your opinion in relation to the project. (私たちはその計画に関してあなたの意見を知りたい。)
- (II) **In short**, the matter was not so serious as we had expected. (手短に言えばその問題は私たちが予想したほど深刻ではなかった。)
- (III) In so far as I know, things are getting better. (私が知る限りでは、事態はだんだん良くなっている。)
- (III) **In spite of** his wealth, he is not happy.

  (財産を持っているにもかかわらず彼は幸せではない。)
- (頃) He always saw everything in terms of money. (彼はすべてのことをいつもお金の点から考えた。)
- (頃) I cannot agree with you **in the case of** that. (それについては、私はあなたに同意できない。)
- (図) The boy will be able to swim **in the course of** summer vacation. (その少年は夏休みの間に泳げるようになるだろう。)
- (III) **In the first place**, he will not agree to the plan. (まず第一に彼はその計画に賛成しないだろう。)
- (5) She will know the fact **in the long run**. (結局は彼女はその事実を知ってしまうだろう。)
- (13) He doesn't like study. **In the same way** his sister doesn't. (彼は勉強が好きではない。同様に彼の妹も好きではない。)
- (III) **In view of** this situation, there's nothing we can do. (この状況から考えて私たちにできることは何もない。)
- (頃) Jane waited in vain for her boy friend. (ジェーンはボーイフレンドを待ったが会えなかった。)
- (III) They **insisted on** the reliability of the evidence. (彼らはその証拠の信ぴょう性を主張した。)

(159) Urgent business kept us from attending the party.

(急用のため、私たちはそのパーティに出席できなかった。)

(頭) We must **keep up** the quality if we want to **keep up** the present sales. (現在の売り上げを維持したいのなら、我々は、品質を維持しなければいけない。)

(161) I can't keep up with so much work I have to do.

(私はしなければならない膨大な仕事についていけない。)

(182) He is sure to lead a happy life with her.

(彼は彼女と幸福な生活を送るにちがいない。)

(163) Idleness leads to poverty.

(怠惰は貧乏のもとになる。)

(瞬) Please **leave** me **alone** for a while. I want to think a little. (どうぞしばらく私をひとりにしておいてください。少し考えごとをしたいのです。)

(版) We will **leave** the whole matter **to** you, so do your best. (我々は、この件を全面的にきみにまかせたのだから、最善をつくしなさい。)

(166) I have to look after my old parents.

(私は、年とった両親の世話をしなければならない。)

(167) His uncle was **looked down on (upon)** as a betrayer.

(彼のおじは裏切者として軽べつされた。)

(166) We are **looking forward to** seeing you in person.

(我々は、じかにあなたにお会いできることを楽しみにしています。)

(189) The other boys were merely looking on.

(ほかの少年たちはただ傍観していただけだった。)

(171) Everybody looked on him as a coward.

(だれもが彼をおくびょう者と見なした。)

(17) When you find an unknown word, you had better **look** it **up** in the dictionary.

(知らない単語を見つけたら、辞書で調べた方がいい。)

(172) We could not help **looking up to** a man like that.

(我々は、あのような男を尊敬せずにはいられなかった。)

(173) I made an effort to finish the work.

(私はその仕事を終わらせるために努力した。)

The negotiation will **make for** the good relation of both countries.

(この交渉は、両国の関係をよくすることに寄与するだろう。)

(175) I make it a rule to go for a walk every morning.

(私は毎朝散歩に行くことにしている。)

(176) He made light of these difficulties.

(彼は、これらの困難を軽んじた。)

(177) Can you make yourself understood in English?

(あなたは英語で用がたせますか。)

(178) Even he could not make out what these letters meant.

(彼でさえ、これらの文字が何を意味しているか理解することができなかった。)

(179) She makes little progress in her task.

(彼女の仕事はあまりはかどっていない。)

(18) You must make the most of your opportunities.

(あなたは機会をできるだけ利用しなければならない。)

(181) He had to make up for the lost time

(彼はおくれた時間を取りもどさなければならなかった。)

(182) He made up his mind to do it by himself.

(彼は、独力でそれをやろうと決心した。)

(183) Make good use of your time.

(時間をじょうずに利用しなさい。)

(184) We managed to get there.

(私たちはやっとのことでそこにたどり着いた。)

(185) You may as well start at once.

(きみは、すぐに出発した方がいい。)

(186) He may well say so.

(彼がそう言うのももっともだ。)

(187) I mean to stay here.

(私はここにいるつもりだ。)

(188) He met with an accident while driving a car.

(彼は、自動車を運転している間に、事件に出くわした。)

(189) The man was **more or less** drunk.

(その男は多少酔っていた。)

(190) The audience got more and more excited.

(観衆はますます興奮してきた。)

(19) Neither John nor Bill is involved in the affair.

(ジョンとビルのどちらも、その事件に関与していない。)

(192) No doubt he will succeed.

(彼はきっと成功するでしょう。)

(193) We can **no longer** believe him.

(我々は、もはや彼のいうことを信じられない。)

(19) No matter what may happen, he will start.

(たとえどんなことが起こっても、彼は出発するだろう。)

(195) He is **no more than** a dreamer.

(彼はただの夢想家にすぎない。)

(196) We had no sooner arrived home than it began to rain.

(私たちが家に帰るとすぐに雨が降りだした。)

(191) She has lived in America for five years, but she can not speak English at all.

(彼女は5年間アメリカに住んでいるが少しも英語が話せない。)

(198) I do not care in the least.

(私は少しも気にしていない。)

(199) He has **not less than** three cars.

(彼は少くとも三台の車をもっている。)

(200) Not merely you but he was wrong.

(あなただけでなく彼もまちがっていた。)

(201) The strong are **not necessarily** right.

(強い者がかならずしも正しいとはかぎらない。)

(202) He did not so much as clean his room.

(彼は、自分の部屋のそうじすらしなかった。)

(203) He is **not so much** a teacher **as** a scholar.

(彼は教師というよりはむしろ学者である。)

Now and then he would come to Tokyo to see us.

(時々,彼は,我々に会いに東京にやってきたものだった。)

(36) Tom was surprised to see the door open silently **of itself**. (トムはその扉が音もなくひとりでに開くのを見ておどろいた。)

(36) What **on earth** happened to the ship? (一体全体その船に何がおきたのだ。)

(39) She has been talking about the matter for two hours **on end**. (彼女は 2 時間立て続けにその問題について話している。)

(M) My mother is sick **on the one hand** and my sister **on the other**. (一方では,私の母は病気であり,他方では,私の姉も病気である。)

(20) He seemed to do it on purpose.(彼は、故意にそれをやったようだった。)

(211) I don't like him; **on the contrary**, I hate him. (私は彼が好きではない。それどころか彼をにくんでいる。)

(211) A little more corporation **on the part of** the members was needed. (会員の方にいっそうの協力が必要とされた。)

(型) She was, **on the whole**, satisfactory student. (彼女は, 概して申しぶんのない学生だった。)

(加) They tried it **one after another**. (彼らは次々にそれにいどんだ。)

(24) We must get out of this situation **one way or another**. (我々は何とかしてこの状況から抜けでなければならない。)

(四) This television set is **out of order** now. (このテレビは今故障している。)

(26) That method of language teaching is now **out of date**. (あの語学教授法は、今やもう時代遅れである。)

(217) He **owes** four dollars **to** me. (彼は私に 4 ドルの借りがある。)

(218) The accident occurred **owing to** my carelessness. (私の不注意のために、その事故が起こった。)

(29) He **passes for** a great magician. (彼は, 偉大な魔術師として認められている。)

(29) They have **passed through** a period of great anxiety. (彼らは非常に不安な時期を経験してきた。)

(21) In class, you must **pay attention to** your teacher. (授業中は先生の言うことに注意しなくてはならない。)

(22) She **persisted in** her belief that her only son was still alive. (彼女は自分のひとり息子がまだ生きているという信念に固執していた。)

(四) The American deputies **played a** leading **role** in this project. (アメリカ代表は今回のプロジェクトにおいて指導的役割を果たした。)

(24) He **pointed out** our destination on the map. (彼は地図上で私たちの目的地を指し示してくれた。)

(25) The rain will occasionally **pour down** today. (きょうは、時々雨がどしゃぶりに降るでしょう。)

(23) **I prefer** staying at home **to** going out for a drive. (私はドライブに出かけるよりも家にいたほうがよい。)

(22) You are busy **prepar**ing **for** the examination. (あなたがたは、試験の準備に忙しい。)

(22) Illness **prevents** me **from going** out. (私は病気のため外出できない。)

(29) They **provided** refugees **with** food and clothes. (彼らは難民たちに食べ物と衣類を与えた。)

(20) Let's **put** the tent **away** before we leave here. (ここを出発する前にテントをかたづけよう。)

(23) They **put** them **down** on the board in order not to forget. (彼らは、忘れてしまわないように、板の上にそれらを書きとめた。)

(図) We **put off** going on a picnic because of bad weather. (天気が悪いので私たちはピクニックに行くのを延期した。)

(23) The wind suddenly **put** the candles **out**. (その風が, 突然ろうそくの火を消した。)

(2) I can't **put up with** her selfishness any longer. (私はもう彼女のわがままにはがまんできない。)

(33) Did your sister recover from her cold? (あなたのお姉さんは風邪が治りましたか。)

(36) The battle **reduced** the country **to** a poor land. (戦闘のため、その国は不毛の地に陥った。)

(3) I **referred to** the famous writer's passage in my report. (私はレポートの中で、有名な作家の言葉を引用した。)

(29) The physical society **regarded** the discovery **as** of little value. (物理学会はその発見をほとんど価値のないものと考えた。)

(29) The conference **related to** water contamination. (その会議は水質汚染に関するものだった。)

(34) You had better not rely on her to come on time.(彼女が時間どおりに来ると当てにしないないほうがいいですよ。)

(24) The movie star **responded** promptly **to** the interviewer. (その映画スターは、インタビュアーにてきぱきと答えた。)

(24) Her illness resulted from overwork.(彼女の病気は働きすぎの結果生じたものだ。)

(M) The plan **resulted in** failure, after all. (その計画は結局のところ失敗に終わった。)

(24) They **robbed** the farmer **of** his money. (彼らは、その農夫から金をうばった。)

(3) We had to search for the lost key in the darkness.
(私たちは、暗闇で、なくしたかぎをさがさなければならなかった。)

(3) Today it's impossible to **separate** economics **from** politics. (今日,経済を政治と切りはなすことはできない。)

(如) He **set about** racking his brains to solve the problem. (彼はその問題の解決に知恵をしぼりはじめた。)

(34) They are going to **set off** for Australia in September. (彼らは9月にオーストラリアに出発する予定です。)

(24) In Japan the rainy season has already **set in**. (日本ではすでに雨季が始まりました。)

(3) The boy scouts learned how to **set up** a tent. (ボーイスカウトの団員はテントの組み立て方を習った。)

(3) The family settled down in the strange land.(その家族は、新しい土地に定住した。)

(類) John is the man who has shared dangers with me. (ジョンは、私と危険をともにしてきた男だ。)

(図) I got up early **so as to** be in time for the first train. (私はその始発列車に間に合うように早く起きた。)

(3) This is the best movie that I have seen so far.(これは私が今までに見たうちでもっともすぐれた映画だ。)

(類) So [As] far as I am concerned, I can't finish this work by tomorrow. (私に関するかぎりは、この仕事をあすまでに終えられない。)

(36) **So long as** the earth remains, day and night will never cease. (地球が存続するかぎり、昼と夜はなくならない。)

(題) He is, **so to speak**, a walking dictionary. (彼は,いわば,生き字引きだ。)

(図) **Sooner or later** what you've done will be known to everyone. (遅かれ早かれ, あなたがやったことは, 皆に知れるだろう。)

(29) You are old enough to **sort out** the good from the bad. (きみは、良いことと、悪いことを見分けるのに十分な年になっている。)

(3) She sometimes speaks of her dead son.(彼女はときどき死んだ息子のことを話す。)

(別) They stood for the new government.(彼らは新政府を支持した。)

(図) The policeman stared at me with a lofty air.(その警官はおうへいな態度で私をじっと見つめた。)

(選) It was natural that the prince should **succeed to** the throne. (王子が王位を継ぐのは当然だった。)

(M) The professionals such as doctors are proud of their own skill. (医者のような専門職業の人は自分の腕前を誇りに思っている。)

(選) He is **suffering from** a headache. (彼は頭痛で苦しんでいる。)

(瀬) He **summed up** the conclusion of the meeting (彼は会議の結論を要約した。)

(※) We should **take advantage of** every opportunity to accomplish the purpose. (我々はその目的を達成するためにあらゆる機会を利用すべきである。)

(滅) She **takes after** her mother in music talent. (彼女の音楽の才能は母親ゆずりである。)

(29) The waitress **took** the dishes **away**. (女給仕は食器をかたづけた。)

(酒) He **took** it **for granted** that he should go to school on Culture Day. (彼は文化の日には学校へ行くものと思い込んでいた。)

(河) She was quite **taken in** by his manner. (彼女はすっかり彼の態度にだまされてしまった。)

(27) The plane **took off** from Narita at 11 a.m. (飛行機は午前 11 時に成田を離陸した。)

(潤) I'll **take on** some of his work while he is out. (彼の外出中は,彼の仕事の一部を私が引き受けるつもりだ。)

(漢) I'll **take** my daughter **out** this Sunday. (今週の日曜日には、娘を連れて出るつもりだ。)

(酒) She is going to **take over** my business from Monday. (彼女は月曜日から私の仕事を引き継ぐことになっている。)

(酒) He is taking part in that play.
(彼はあの劇に出ることになっている。)

(河) Nothing wrong took place.(悪いことは何も起こらなかった。)

(スス) That poor Jimmy has nothing to **take pride in**. (あのあわれなジミーは自慢するものが何もない。)

(潤) He is taking the place of Prof. Esmond today. (彼はきょうエズモンド教授の代りに教えます。)

(20) He **took time to** finish the work. (彼はゆっくり時間をかけてその仕事を終えた。)

(20) He suggested that we should **take** the whole question **up**. (彼は私たちがその問題全体を取り上げるよう提案した。)

(28) He is **talking** his future **over** with his teacher. (彼は自分の将来について先生と相談している。)

(28) **Thanks to** television, my children are neglectful of their study. (テレビのおかげで私の子供は勉強を怠る。)

(28) He will arrive home an hour later, **that is to say**, at six. (彼は1時間後, すなわち6時に家に着くだろう。)

(38) I have the same book as you have. (私は君の持っているのと同じ本を持っている。)

(28) He **thought much of** the problem. (彼はその問題を重んじていた。)

(図) Westerners **think of** a snake **as** the Devil. (西洋の人々は蛇を悪魔とみなしている。)

(28) He can speak English to some extent. (彼はある程度英語が話せる。)

(20) I have to turn his offer down.(私は彼の申し出を断わらなければならない。)

(29) Please turn on the radio.(ラジオをつけてください。)

(2) It turned out to be a bad weather that day. (その日は悪天候になってしまった。)

(23) It's **up to** you whether we proceed or not. (我々が進むかどうかは、きみ次第だ。)

(29) Two servants **waited on** us at the dinner. (二人の召使いが、正さんの時に、我々の給仕をした。)

(29) **With all** his wealth he is not contented. (彼は裕福だけれども満足していない。)

(25) He can solve the problem with ease. (彼は容易にこの問題を解ける。)

(29) Come by five without fail. (かならず 5 時までに来なさい。)

- (29) They are working on this affair.(彼等はこの件に取りくんでいる。)
- (39) I can't **work out** such a problem. (こんな問題は解けません。)
- (29) You don't have to **worry about** it. (そのことについては心配しなくてもよい。)
- (30) The door did not yield to our pushing.(そのドアはいくら押しても開かなかった。)

## 大学受験デイリープログラム―難関特別コース― 英語100日間

$\sim$	于文歌	7 1 7	/一ノログノム 一無因付加っ
巻	日数	タ	イトル
	第1日	長文統解	関係代名詞 who, that, which/疑問詞+to·不定詞 /the+形容詞
第	第2日	長文読解	強調構文(It is~that …)/接続詞 that
	第3日	長文読解	比較構文(同等比較)/副詞(句)を強める倒置構文
1	第4日	長文読解	仮定法過去完了/結果を表す副詞館/比較級で最 上級の意味を表す構文
*	第5日	英作文	かけがえのない人生(an irrecoverable life of his own) /今の娘(a girl of this generation) 他
	第6日	長文読解	不定詞の副詞用法 (原因) / 使役動詞 make/動名
巻	第7日	長文読解	詞をふくむ慣用表現 強調の do/may have+過去分詞/仮定法過去(I
	第8日	長文読解	wish+主語+過去の助動詞) 様態を表す as/過去完了/関係副詞 when
	第9日	英作文	たいしたことはない(does not amount to much)
(長文読解)	第10日	語句·短文 演習問題	/最後にものをいう (ultimately make(s) difference) 他 第1日から第9日までの復習
読解			help + 原形不定詞 + 目的語/関係代名詞 what/
速	第11日	長文読解	群動詞の受動態 (be looked up to) 過去分詞の形容詞用法/「前置詞 + 名詞」の慣用表
読	第12日	長文読解	現
1	第13日	長文読解	状況を表す it/理由を表す分詞構文 動名詞の意味上の主語/付帯状況を示す with
١.	第14日	長文読解	/不定詞の意味上の主語
1	第15日	英作文	~しないようにしている(try not to ~)/すませ てしまう(take care of ~) 他
1	第16日	長文読解	関係代名詞の省略/不定詞の形容詞用法
=	第17日	長文読解	it 構文(形式主語,形式目的語)/接続詞 once
>	第18日	長文読解	動名詞の名詞用法 (補語)/should have+過去分 調
1	第19日	英作文 語句·短文	決めてかかる(take it for granted that …) / それ であればこそ(the very reason why …) 他
	第20日	演習問題	第11日から第19日までの復習
	第21日	長文読解	不定詞の名詞用法(補語)/近い未来を表す進行形 の特別用法
第	第22日	長文読解	現在完了進行形/再帰代名詞の強意用法
3P	第23日	長文読解	動名詞の用法(主語)/時制の一致
	第24日	長文読解	関係副詞 where / 過去完了進行形
2	第25日	英作文	これは~のようなものである(this is smilar to ~)
	第26日	長文読解	/~してみてはじめて(only after) 他 仮定法過去 (as if ~)/提案を示す命令文の特殊
**	第27日	長文読解	用法 手段を表す with の用法/否定的意味をふくむ only
~	第28日	長文読解	/従属節での主語, be 動詞の省略 感嘆文が目的語となる文/同族目的語
	第29日	英作文	(の) 三分の一ぐらい(about one third (of))/
長		語句・短文	<ul><li>のような気がした(felt (that)~)</li><li>第21日から第29日までの復習</li></ul>
長文装候	第30日	演習問題	第21日から第29日までの復智 挿入構文(主節の挿入)
-de	第31日	長文読解	/複合関係代名詞 (whatever) ifの省略による側置/to-不定詞をふくむ慣用的
速	第32日	長文読解	表現 (be to ~)
読	第33日	長文読解	進行形受動態/時を表す接続詞 as
	第34日	長文読解	同格の of /関係代名詞 as
1	第35日	英作文	一番ちがうところは(most different in)/新しけ れば新しいほどよい(the newer the better) 他
	第36日	長文読解	譲歩を表す接続詞 as/文頭に置かれる there 構文
=	第37日	長文統解	次に述べることを指す this/反復・連続を表すand
>	第38日	長文読解	所有を表す with の用法/修辞疑問文
1	第39日	英作文 語句:短文	めがねの有難味 (the value of glasses)/何かの 事情で (for one reason or another) 他
	第40日	演習問題	第31日から第39日までの復習
第	第41日	長文読解	it と there の構文 (○形式主語 it を用いた文 ○形式目的語 it を用いた文 他)
3巻	第42日	長文読解	強調構文 (○it is ~ that (who) ··· ○倒置 ○the very ~)
(#X	第43日	英作文 語句·短文	〜だと…です (命令文, and …) 他 選択空所補充問題(1)
(長文景解)難	第44日	長文読解	倒置構文(○強調を表す側置 ○特定の語句(so, nor, 否定語句等)によって起こる側置 他)
難点	第45日	長文読解	比較構文(○原級・比較級・最上級の基本構文 ○原級・比較級・最上級を含む慣用表現 他)
征	第46日	英作文	~にくらべると得である (more economical than ~)他
服ト	第47日	語句·短文 長文読解	選択空所補充問題(2) 分詞の用法(○名詞修飾語として ○補語として
レ	第48日	長文読解	○分詞構文) 関係詞構文(○前置詞+関係代名詞 ○関係代名
1	第49日	英作文	詞の非制限用法 ○関係副詞の用法) ~に…を知らせる (inform ~ of …) 他
ニング	第50日	語句・短文	選択空所補充問題(3) 同格構文 (○that に導かれる同格節の見分け方
	<b>第30日</b>	長文統解	Othat に導かれる同格節の訳し方 他)

スー	スー 英語100日間				
巻	日数	タ	イトル		
第	第51日	長文読解	挿入構文 (修飾語句(副詞・副詞句)の挿入 ○関 係詞 (what, which, as) による挿入 他)		
3巻	第52日	英作文 語句・短文	〜すればいいのに (Why can't you 〜?) 他 選択空所補充問題(4)		
(E)	第53日	長文読解	省略構文(○述語動詞の省略 ○名詞句の一部省略 ○than以下の一部省略)		
(長文技術)難	第54日	長文読解	代用表現(○代名詞の指示物(指示代名詞・人称代		
難	第55日	英作文	名詞) ○代動詞 他) 一目瞭然だ (you can easily tell ~) 他		
点征	第56日	語句·短文 長文読解	同意語句を選択する問題(1) 名詞構文 (○不定詞の意味上の主語 ○動名詞の		
服卜	第57日	長文読解	意味上の主語 他) 否定構文 (○二重否定 ○部分否定 ○否定相当		
レ	第58日	英作文	語句) ~してばかりいる (keep~ing) 他		
1		語句・短文	同意語句を選択する問題(2) 仮定法 (○側置による if の省略 ○ if 節が表面に		
는 건	第59日	長文読解	出ない文 ○if 節に相当する語句) 相関構文 (○等位相関接続詞(both A and B)		
7	第60日	長文読解	○従位相関接続詞 (so ~ that …) 他)		
	第61日	長文読解	主題の発見		
第	第62日	長文読解	主題文の位置		
,,,	第63日	英作文 語句・短文	言語(言葉に関してのエッセイ) 整序問題		
4	第64日	長文読解	文の流れをつかみながら読む(1)―接続語句―		
巻	第65日	長文読解	文の流れをつかみながら読む(2)—指示語—		
	第66日	英作文 語句・短文	日常生活(衣食住に関する文章) 正誤問題		
長文	第67日	長文読解	主題の展開(1)―例証・比喩―		
(長文読解)	第68日	長文読解	主題の展開(2)―比較・反論の提示―		
大	第69日	英作文 語句·短文	読書(読書に関する文章) 発音問題(1)		
意	第70日	長文読解	論理の展開(1)―前提と論議―		
把握	第71日	長文読解	論理の展開(2)―主題と説明―		
握	第72日	英作文	文化・文明(科学に関する文章)		
トレ	第73日	語句·短文 長文読解	発音問題(2) 論理の展開(3)―序論・本論・結論―		
ī	第74日	長文読解			
=		英作文	筆者の主張の把握 政治・経済(政治・経済に関する文章)		
ググ	第75日	語句・短文	アクセント問題		
	第76日	長文読解	小説の筋の展開		
	第77日	長文読解 英作文	口語表現の把握 自然(自然界の温度に関する文章)		
	第78日	語句・短文	特殊問題		
	第79日	長文読解	総まとめ(1)―表題選択・要旨―		
Ш	第80日	長文読解	総まとめ(2)―整序問題・内容真偽―		
	第81日	長文読解	空所補充問題(1)		
第	第82日	長文読解	空所補充問題(2)		
377	第83日	英作文 語句·短文	部分訳問題 選択空所補充問題		
5	第84日	長文読解	下線部説明問題(1)		
巻	第85日	長文読解	下線部裝明問題(2)		
존	第86日	英作文 語句・短文	全文訳問題 同意語句を選択する問題		
	第87日	長文読解	下線部說明問題(3)		
難	第88日	長文読解	全文の論旨把握問題(1)		
問	第89日	英作文	整序問題 整序・正誤問題		
実	第90日	語句·短文 長文読解	全文の論旨把握問題(2)		
戦	第91日	長文読解	全文和訳問題		
+x  -	第92日	英作文	完成問題(会話文)		
ľ	第93日	語句·短文 長文読解	発音・アクセント問題 下線部和訳問題(1)		
ľ	第94日	長文統解	下線部和呎陽順(2)		
[		英作文	状况指定問題(手紙文)		
-	第95日	語句・短文	特殊問題		
2	第96日	総合演習(			
グ	第97日	総合演習(			
	第98日	総合演習(			
	第99日	総合演習(			
	第100日	総合演習(			
			★一部変更することがあります。		

## DAILY PROGRAM

大学受験難関特別コース100日

発行人 加藤 譲 発行所 株式会社 教育社

英語